

第85回日本公衆衛生学会総会

演 題 集

※演題集は9月始め時点の情報です。

内容は一部変更される場合があります。

最新情報は第85回日本公衆衛生学会総会ホームページをご確認ください。

(<https://www.c-linkage.co.jp/jsph85/>)

2026年10月29日(木)～31日(土)

京王プラザホテル(新宿)／新宿NSビル

学会総会事務局

- ・開催期間中（10月29日（木）～31日（土））

京王プラザホテル（新宿）

〒160-8330 東京都新宿区西新宿2丁目2-1

新宿 NS ビル

〒160-0023 東京都新宿区西新宿2丁目4-1

- ・上記期間以外

第85回日本公衆衛生学会総会 事務局

順天堂大学大学院医学研究科公衆衛生学

第85回日本公衆衛生学会総会 運営事務局

株式会社コンベンションリンクージ内

〒102-0075 東京都千代田区三番町2

TEL：03-3263-8688 FAX：03-3263-8687

E-mail：jsph85@c-linkage.co.jp

目 次

概要	4
関連・付随行事	5
運営組織体制	6
参加される方へのお知らせ	10
会場への交通案内図	14
会場案内図	16
日程表	20
自由集会の日程	26
プログラム	29
一般演題一覧	73

概 要

①開催日

2026 年 10 月 29 日 (木)

午前 開会式、特別講演、教育講演、シンポジウム、ランチョンセミナー、
企業・一般・書籍展示
午後 シンポジウム、自由集会、優秀演題賞選考会、指導医講習会、
一般演題（口演・示説）、企業・一般・書籍展示

2026 年 10 月 30 日 (金)

午前 学会長講演、特別講演、シンポジウム、指導医講習会、ランチョンセミナー、
公衆衛生モニタリング・レポート拡大委員会、一般演題（口演・示説）、
企業・一般・書籍展示
午後 総会、シンポジウム、自由集会、市民公開講座、国際参加賞受賞講演、
奨励賞受賞講演、一般演題（口演・示説）、企業・一般・書籍展示

2026 年 10 月 31 日 (土)

午前 シンポジウム、ランチョンセミナー、一般演題（口演・示説）、
企業・一般・書籍展示
午後 シンポジウム、公衆衛生プログラム連絡校会議、市民公開講座、
一般演題（口演・示説）、企業・一般・書籍展示

②会場

京王プラザホテル（新宿）

〒160-8330 東京都新宿区西新宿 2 丁目 2-1

新宿 NS ビル

〒160-0023 東京都新宿区西新宿 2 丁目 4-1

③開催形式

現地開催＋オンデマンド配信

オンデマンド配信期間：2026 年 11 月 18 日（水）～2026 年 12 月 25 日（金）

・シンポジウム・講演等

＊一部プログラムについてオンデマンド配信を予定しております。

ライブ配信はございません。

＊抄録本文は学会ホームページで閲覧可能です。閲覧には参加登録が必要です。

④総会テーマ

公衆衛生の向上 もう一步前に進もう

ー関連諸科学からのアプローチー

⑤総会 HP

<https://www.c-linkage.co.jp/jsph85/>

⑥事務局

実行委員会事務局・学術部会事務局

順天堂大学大学院医学研究科公衆衛生学

第 85 回日本公衆衛生学会総会 運営事務局

株式会社コンベンションリンケージ内

〒102-0075 東京都千代田区三番町 2

TEL：03-3263-8688 FAX：03-3263-8687

E-mail：jsph85@c-linkage.co.jp

関連・付随行事

行 事 名	月 日	時 間	会 場
関連行事			
日本公衆衛生学会代議員会	10 月 28 日 (水)	13:00～14:00	新宿 NS ビル 3F 3-J
日本公衆衛生雑誌拡大編集委員会	10 月 29 日 (木)	11:55～12:55	京王プラザホテル 南館 3F グレース
公衆衛生モニタリングレポート拡大委員会	10 月 30 日 (金)	11:30～12:30	京王プラザホテル 南館 3F グレース
感染症リスクアセスメント研修会	10 月 31 日 (土)	13:00～17:00	新宿 NS ビル 3F 3-J
公衆衛生専門管理栄養士専門研修	10 月 31 日 (土)	13:45～15:15	京王プラザホテル 5F コンコード C
付随行事			
全国衛生学公衆衛生学教育協議会総会	10 月 28 日 (水)	14:00～16:00	新宿 NS ビル 3F 3-J
健康危機管理対応人材育成合同検討委員会 ワークショップ	10 月 28 日 (水)	16:15～17:45	新宿 NS ビル 3F 3-J
全国衛生学公衆衛生学教育協議会世話人会	10 月 28 日 (水)	18:00～19:00	新宿 NS ビル 3F 3-J
令和 8 年度全国衛生部長会 世話人会	10 月 28 日 (水)	11:00～12:00	京王プラザホテル 4F 花 D
令和 8 年度全国衛生部長会 総会	10 月 28 日 (水)	13:00～15:00	京王プラザホテル 5F コンコード C
令和 8 年度全国衛生部長会 社会医学系専門医協会共通講習会	10 月 28 日 (水)	15:30～16:30	京王プラザホテル 5F コンコード C
全国保健所長会総会	10 月 28 日 (水)	10:00～17:00 (予定)	京王プラザホテル 5F コンコード B
地方衛生研究所全国協議会 総会	10 月 28 日 (水)	14:00～16:00	TKP 新宿カンファレンスセンター
全国精神保健福祉センター長会 理事会	10 月 27 日 (火)	10:30～11:30	ベイサイドホテル アジュール竹芝 16 階 憩
全国精神保健福祉センター長会 会議	10 月 27 日 (火)	13:00～14:35	ベイサイドホテル アジュール竹芝 16 階 曙
全国精神保健福祉センター研究協議会	10 月 27 日 (火)	15:10～17:30	ベイサイドホテル アジュール竹芝 14 階 天平
全国精神保健福祉センター研究協議会 意見交換会	10 月 27 日 (火)	18:00～19:30	ベイサイドホテル アジュール竹芝 サルーテ竹芝
全国保健師教育機関協議会秋季研修会	10 月 28 日 (水)	午後	京王プラザホテル 4F 錦

運営組織体制

●役員

(2026年9月1日)

最高顧問
名誉会長
名誉顧問

学会会長
副学会長(学会長代行)
副学会長

監事

小川秀興
小池百合子
吉住健一
新井英紀
木南浩之
代田武子
谷川桃子
小竹治夫
尾崎秀之
高崎みほ
加藤

学校法人順天堂理事長
東京都知事
特別区長会会長(新宿区長)
学校法人順天堂理事長補佐
順天堂大学学長特別補佐
順天堂大学学長
順天堂大学大学院医学研究科公衆衛生学主任教授
東京都保健医療局技監
公益社団法人東京都医師会会長
東京都保健医療局局長
東京都保健医療局総務部長

●実行委員会

	氏名	所 属
委員長	和田裕雄 山岸良匡 綿田裕孝	順天堂大学大学院医学研究科公衆衛生学教授 順天堂大学大学院医学研究科公衆衛生学教授 順天堂大学大学院医学研究科長・医学部長・大学院 医学研究科代謝内分泌内科学主任教授
副委員長	鳥居明子	公益社団法人東京都医師会理事
委員	小竹桃子 伊藤雅史 上野弘道 岡野範子 加藤育男 北村晃 木暮陽介 島田健吾 杉下由行 田中勇次郎 戸塚麻美 豊田輝 永嶋昌樹 中坪直樹 西村一弘 西脇喜恵子 原田典明 平賀正司 藤山美里 増田和貴 松永実千代 師岡伸公 柳橋礼子 吉村和久	東京都保健医療局技監 一般社団法人日本医療法人協会副会長・東京都支部長 公益社団法人東京都獣医師会会長 公益社団法人東京社会福祉士会会長 東京都市長会会長 公益社団法人東京都歯科医師会会長 公益社団法人東京都診療放射線技師会業務執行理事 公益社団法人東京都環境衛生協会理事長 東京都保健医療局保健政策部長 一般社団法人東京都作業療法士会会長 公益社団法人東京都助産師会理事 東京都理学療法士協会会長 公益社団法人東京都介護福祉士会会長 東京都保健所長会会長 公益社団法人東京都栄養士会会長 一般社団法人東京公認心理師協会会長 公益社団法人東京都臨床検査技師会会長 東京都立中部総合精神保健福祉センター所長 公益社団法人東京都歯科衛生士会会長 特別区保健所長会会長 一般社団法人東京精神保健福祉士協会会長 東京都町村会会長 公益社団法人東京都看護協会会長 大田区保健所所長

●学術部会

	氏名	所 属
部会長	服部信孝 綿田裕孝	順天堂大学学長補佐・大学院医学研究科神経学特 任教授 順天堂大学大学院医学研究科長・医学部長・大学 院医学研究科代謝内分泌内科学主任教授
顧問	東尚弘 石丸文至 葛西隆敏	東京大学大学院公衆衛生学/健康医療政策学教授 こども家庭庁成育局母子保健課推進官 順天堂大学医学部内科学教室・循環器内科学講座 先任准教授

		氏 名	所 属
顧 問		小 林 弘 幸	順天堂大学健康総合科学先端研究機構特任教授・大学院医学研究科病院管理学特任教授
		齋 浦 明 夫	順天堂大学大学院医学研究科肝・胆・脾外科学主任教授
		白 濱 龍太郎	順天堂大学医学部衛生学・公衆衛生学講座（公衆衛生学）客員准教授・医療法人 RESM 理事長
		中 田 光 紀	産業医科大学医学部公衆衛生学教授
		浜 口 伝 博	順天堂大学医学部衛生学・公衆衛生学講座（公衆衛生学）非常勤講師、Firm and Brain 代表
		久 岡 英 彦	順天堂大学大学院医学研究科総合診療科学特任教授
		堀 江 重 郎	順天堂大学大学院医学研究科寄付講座（遺伝子疾患先端情報学講座）特任教授・大学院医学研究科泌尿器科学特任教授
		堀 岡 伸 彦	厚生労働省健康・生活衛生局健康課長
		南 野 徹	順天堂大学大学院医学研究科循環器内科学主任教授
委 員		朝 倉 敬 子	東邦大学医学部社会医学講座予防医療学分野教授
		浅 沼 一 成	元国立保健医療科学院院長
		有屋田 健 一	筑波大学医学医療系特任助教
		池 原 賢 代	琉球大学医学部保健学科疫学・行動科学教授
		石 川 ひろの	帝京大学大学院公衆衛生学研究科教授
		石 原 真 穂	大阪大学大学院医学系研究科社会医学講座公衆衛生学助教
		稲 田 晴 彦	東京大学大学院医学系研究科社会医学専攻社会予防医学講座准教授
		井 上 茂	東京医科大学公衆衛生学分野主任教授
		井 上 まり子	帝京大学大学院公衆衛生学研究科教授
		今 野 弘 規	近畿大学医学部公衆衛生学教室主任教授
		岩 崎 基	国立がん研究センターがん対策研究所疫学研究部部長
		梅 澤 光 政	獨協医科大学医学部特任准教授
		江 口 依 里	福島県立医科大学医学部（生命科学・社会医学系）疫学講座准教授
		大久保 孝 義	帝京大学医学部衛生学公衆衛生学講座主任教授
		大 塚 俊 昭	日本医科大学大学院医学研究科衛生学・公衆衛生学分野教授
		大 塚 雄一郎	日本大学医学部社会医学系公衆衛生学分野准教授
		大 平 哲 也	福島県立医科大学医学部（生命科学・社会医学系）疫学講座主任教授
		岡 村 智 教	慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学教室教授
		奥 田 博 子	国立保健医療科学院公衆衛生看護研究分野統括研究官
		小田切 優 子	東京医科大学医学部公衆衛生学分野講師
		小 原 崇一郎	帝京大学大学院公衆衛生学研究科准教授
		加 藤 活 人	日本医科大学大学院医学研究科衛生学公衆衛生学分野准教授
		金 森 悟	帝京大学大学院公衆衛生学研究科准教授
		兼 板 佳 孝	日本大学医学部社会医学系公衆衛生学分野教授
		苅 田 香 苗	杏林大学医学部衛生学公衆衛生学教室教授
		河 村 千登星	筑波大学医学医療系助教
		菊 池 宏 幸	東京医科大学医学部公衆衛生学分野准教授
		岸 田 里 恵	国立健康危機管理研究機構グローバルヘルス政策研究センター客員研究員
		木 原 朋 未	国立健康危機管理研究機構危機管理・運営局企画調整部公衆衛生課長

	氏 名	所 属
委 員	木 村 仁 美	国立健康危機管理研究機構グローバルヘルス政策研究センター客員研究員
	木 山 昌 彦	福島県立医科大学医学部（生命科学・社会医学系）疫学講座博士研究員
	黒 澤 美智子	順天堂大学医学部衛生学・公衆衛生学講座（衛生学）非常勤講師
	斉 藤 功	大分大学医学部公衆衛生・疫学講座教授
	齋 藤 英 子	東京大学大学院新領域創成科学研究科准教授
	佐 田 みずき	国立健康危機管理研究機構国立感染症研究所研究企画調整センター室長
	佐 藤 泰 憲	慶應義塾大学医学部生物統計学教室教授
	篠 原 厚 子	順天堂大学医学部衛生学・公衆衛生学講座（衛生学）客員教授
	篠 原 正 和	神戸大学大学院医学研究科未来社会医学分野分子疫学分野教授
	清 水 悠 路	大阪健康安全基盤研究所公衆衛生部
	白 山 芳 久	順天堂大学国際教養学部国際教養学科准教授
	陣 内 裕 成	日本医科大学医学部衛生学公衆衛生学准教授
	須 賀 万 智	東京慈恵会医科大学環境保健医学講座教授
	鈴 木 有 佳	慶應義塾大学医学部医療政策・管理学教室助教
	関 谷 紀 貴	東京科学大学大学院感染症健康危機管理学特任准教授
	高 田 碧	名古屋大学大学院医学系研究科総合医学専攻社会生命科学講師
	高 橋 正 也	独立行政法人労働者健康安全機構労働安全衛生総合研究所過労死等防止調査研究センターセンター長
	高 橋 宗 康	帝京大学大学院公衆衛生学研究科教授
	高 宮 朋 子	東京医科大学医学部公衆衛生学分野准教授
	武 林 亨	慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学教室教授
	淡 野 桜 子	順天堂大学医学部衛生学・公衆衛生学講座（公衆衛生学）非常勤講師
	戸 張 裕 子	東京薬科大学薬学部臨床薬学大講座准教授
	富 尾 淳	国立保健医療科学院防災・公衆衛生レジリエンス研究センターセンター長
	中 尾 陸 宏	昭和医科大学ストレスマネジメント研究所教授（所長）
	長 尾 匡 則	福島県立医科大学ふくしま国際医療科学センター放射線医学県民健康管理センター講師
	中 田 光 紀	産業医科大学医学部公衆衛生学教授
	中 田 由 夫	筑波大学体育系教授
	野 田 博 之	自治医科大学卒後指導部長／地域医療学センター医療政策・管理学部門教授
	野 原 理 子	東京女子医科大学医学部公衆衛生学分野教授・基幹分野長
	長谷川 友 紀	東邦大学医学部社会医学講座医療政策・経営科学分野教授
	福 島 教 照	東京医科大学医学部公衆衛生学分野准教授
	福 田 洋	順天堂大学本郷・お茶の水キャンパス健康安全推進センター・大学院医学研究科共同研究講座（先端予防医学・健康情報学講座）特任教授
	福 田 吉 治	帝京大学大学院公衆衛生学研究科教授
	伏 見 清 秀	東京科学大学大学院医療政策情報学教授
	藤 原 武 男	東京科学大学大学院医歯学総合研究科公衆衛生学分野教授
	細 澤 麻里子	国立健康危機管理研究機構グローバルヘルス政策研究センターグローバルヘルス指標・評価研究科研究科長

	氏 名	所 属
委 員	堀 幸	国立健康危機管理研究機構グローバルヘルス政策研究センター主任研究員
	前 田 光 哉	港区みなと保健所所長
	町 田 征 己	東京医科大学公衆衛生学分野准教授
	松 浦 祐 史	こども家庭庁成育局母子保健課推進官
	松 川 岳 久	順天堂大学大学院薬学研究科教授
	丸 山 広 達	愛媛大学大学院農学研究科生命機能学専攻健康機能栄養科学特別コース地域健康栄養学分野准教授
	道 川 武 紘	東邦大学医学部社会医学講座衛生学分野准教授
	箕 浦 明	昭和医科大学医学部衛生学公衆衛生学講座講師
	宮 田 潤	長崎大学医歯薬学総合研究科（医学系）
	村 井 詩 子	高知県立大学大学院人間生活学研究科講師
	村 木 功	筑波大学医学医療系社会健康医学教授
	矢 沢 知 子	東京科学大学大学院感染症健康危機管理学教授
	康 永 秀 生	東京大学大学院医学系研究科公共健康医学専攻疫学保健学講座教授
	山 内 貴 史	東京慈恵会医科大学環境保健医学講座准教授
	山 内 武 紀	昭和医科大学医学部衛生学公衆衛生学講座准教授
	湯 浅 資 之	順天堂大学国際教養学部特任教授
	吉 川 徹	独立行政法人労働者健康安全機構労働安全衛生総合研究所過労死等防止調査研究センター統括研究員
	吉 田 正 雄	杏林大学医学部衛生学公衆衛生学教室准教授
	吉 村 和 久	大田区保健所所長
	吉 本 隆 彦	昭和医科大学医学部衛生学公衆衛生学講座准教授
	吉 山 崇	公益財団法人結核予防会結核研究所企画主幹

参加される方へのお知らせ

詳細は総会 HP (<https://www.c-linkage.co.jp/jsph85/>) よりご確認ください。

1. 第 85 回総会にご参加の皆様へ

(1) 参加証（ネームカード）の着用について

会場へ入場する際には、必ず参加証（ネームカード）をご着用ください。

申込期限、支払期限は、下記のとおりです。

No.	参加登録方法	支払区分	申込期限	支払期限	参加証
1	事前参加登録 (8,000 円)	クレジットカード 銀行振込	8 月 31 日 (月)	8 月 31 日 (月)	事前ダウンロード
2	当日参加登録 (会期前) (10,000 円)	クレジットカード	10 月 28 日 (水)	10 月 28 日 (水)	事前ダウンロード
		銀行振込	10 月 19 日 (月)	10 月 19 日 (月)	
3	当日参加登録 (会期中) (10,000 円)	クレジットカード	来場時まで	来場時まで	ダウンロードまたは、 会場にて受取
4	参加登録 (会期後) (10,000 円)	クレジットカード	11 月 2 日 (月)～ 12 月 25 日 (金)	12 月 25 日 (金)	ダウンロード

参加証の受取り方法：事前申込の方は、参加登録システム Confit より、9 月下旬以降にダウンロードいただけます。

(2) 当日受付

場所：京王プラザホテル 4F 花ホワイエ

日時：10 月 29 日 (木) 8:30～18:00

10 月 30 日 (金) 7:30～17:45

10 月 31 日 (土) 7:30～15:00

(3) 表彰式

本総会では、以下の通り、表彰式を開催いたします。

■優秀演題賞表彰式

日時：10 月 30 日 (金) 意見交換会にて (19:50～20:50)

会場：第 2 会場 京王プラザホテル 5 階コンコード B

■奨励賞表彰式

日時：10 月 30 日 (金) 奨励賞受賞講演にて (14:10～15:25)

会場：第 7 会場 京王プラザホテル南館 3 階 (ロビー階) グレース

■国際参加賞表彰式

日時：10 月 30 日 (金) 国際参加賞受賞講演にて (15:40～18:00)

会場：第 7 会場 京王プラザホテル南館 3 階 (ロビー階) グレース

(4) ランチョンセミナー申込

第 85 回日本公衆衛生学会総会では、サステナビリティ（持続可能性）に配慮した学会運営の一環として、フードロス（食品廃棄）削減に取り組んでおります。

この趣旨に基づき、お弁当を提供する各セミナーについては「事前申込制」を採用いたします。

申込みは参加登録システム内で受付します。詳細は総会ホームページをご確認ください。

※該当セミナー開始時間後に無効となりますのでご注意ください。

2. 座長の方へ

①特別プログラム・シンポジウムの座長の方

- ・ご担当のプログラム開始 10 分前までに会場内向かって右手前方の「次座長席」へご着席ください。
- ・担当時間内の運営は座長に一任いたしますが、終了が予定時間より遅れないようご協力をお願いいたします。

②一般演題（口演）の座長の方

- ・ご担当のセッション開始 10 分前までに会場内向かって右手前方の「次座長席」へご着席ください。
- ・1 演題の発表時間は 12 分（発表 7 分、質疑 5 分）です。限られた時間内で発表が円滑に進むようご配慮ください。

③一般演題（ポスター）の座長の方

- ・ご担当のセッション開始 10 分前までに会場内「ポスター座長受付」へお越しください。
- ・1 演題の発表時間は 8 分（発表 5 分、質疑 3 分）です。限られた時間内で発表が円滑に進むようご配慮ください。

3. ①特別プログラム・シンポジウム、一般演題（口演）などの演者の方

【当日の PC 受付】

京王プラザホテル 4F 花ホワイエ

- ・発表データの試写（確認）を自身で行っていただきます。
- ・必ずご発表のセッションの 30 分前までに、PC 受付でご発表データの試写（確認）をお願いします。
- ・PC 本体を持込みの場合も必ず PC 受付にお立ち寄りください。
- ・PC 受付での発表データの修正作業は、準備進行の妨げになりますのでご遠慮ください。

【日時】

- ・10 月 29 日（木）8:15～17:30
- ・10 月 30 日（金）8:00～17:30
- ・10 月 31 日（土）8:00～15:00

発表に関する注意事項

（発表方法）

- ・会場に用意する PC は Windows です。
- ・データをお持ち込みになって会場の PC（Windows）を用いるか、PC 本体をお持ち込みになるか、のいずれかです。
- ・いずれの場合も PowerPoint を使用した発表です。
※35mm スライド、ビデオ、DVD での発表はできませんのでご注意ください。
- ・発表スライドはスクリーンへの 1 面映写となります。スクリーンサイズは 16:9 です。
- ・セッションの進行及び演台スペースの関係上、PowerPoint の発表者ツールはご使用できません。
- ・発表原稿が必要な方は、予めプリントアウトしたものをご持参ください。
- ・ご発表時は、演台に設置された操作マウスを発表者ご自身で操作してください。
- ・進行は座長に一任しておりますが、持ち時間は厳守してください。

（データの持ち込み方法）

- ・発表データは PowerPoint のみとし、USB フラッシュメモリにてご持参ください。
※その他のメディア（CDR、MO、FD、ZIP 等）は対応できませんのでご注意ください。
- ・使用アプリケーションは Microsoft PowerPoint です。
- ・Mac で発表データを作成される場合は、ご自身の PC 本体をお持ち込みください。
- ・フォントは OS 標準で装備されているものをご使用ください。画面レイアウトの崩れを防ぐには、下記フォントのご使用をお薦めいたします。
 - ・日本語：MS ゴシック、MSP ゴシック、MS 明朝、MSP 明朝
 - ・英語：Arial、Century、Century Gothic、Times New Roman※上記以外のフォントを使用した場合、文字や段落のずれ、文字化け、文字が表示されない等のトラブルが起る可能性があります。
- ・事前にご自身でウイルスチェックを必ず行ってください。
- ・お預かりした発表データは、総会終了後に事務局で完全消去いたします。

（PC 本体をお持ち込みになる場合）

- ・PC 本体をお持ち込みの方は、PC 受付でのデータ確認終了後、発表会場のオペレーター卓（会場内左手前方）までご自身で PC 本体をお持ちください。なお、OS は Windows、Mac（OS 10 以上）のどちらも使用可能です。
- ・PC 本体をお持ち込みの場合もバックアップとして USB フラッシュメモリにてデータをご持参ください。
- ・動画をご使用の場合は、PowerPoint とのリンク状態を保つ為、動画ファイルも同じフォルダに保存してください。

- い。ファイル形式は、Windows Media Player で動作するファイル形式でご用意ください。
- ・動画および音声をご使用の場合は、ご自身の PC 本体をお持ち込みください。
- ・PC 本体をお持ち込みの場合は、外部ディスプレイ出力が可能であることを必ずご確認ください。
- ・映像出力端子が HDMI でないものは、接続アダプターをご持参ください。
- ・バッテリー切れを防ぐため電源アダプターをご持参ください。再起動することがありますのでパスワード入力
は不要と設定してください。
- ・スクリーンセーバー、省電力設定については、予めオフに設定してください。
- ・お預かりした PC 本体は発表終了後、PC オペレーターより返却いたしますので、ご自身でお引き取りください。

②一般演題（ポスター）の演者の方

ポスター会場と貼付日時

ポスター会場は新宿 NS ビルになります。指定の演題番号の場所に掲示してください。

月日	貼付時間	発表時間	撤去時間
10 月 29 日（木）	10:00～14:40	14:40～15:55 16:00～17:15	17:15～18:00
10 月 30 日（金）	8:30～13:00	13:00～14:15 14:25～15:40	15:50～19:00
10 月 31 日（土）	8:30～10:00 11:15～13:00	10:00～11:15 13:00～14:15	14:15～16:00

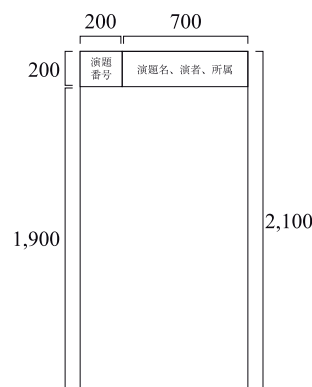
- ・上記時間内に必ず貼付および撤去をお願いします。撤去時間以降に残っているポスターは事務局にて処分いたしますのでご了承下さい。

事務局準備品

- ・事務局では以下のものをご用意いたします。
- ・ボード：1 題ごとに縦 2,100mm×横 900mm の縦長のパネル等をご用意いたします。
- ・ピン・画鋏：ポスター貼付用のピン・画鋏は事務局でご用意いたします。
- ※テープ・糊は使用できません。

作成要領

- ・図にある通り、縦 1,900mm×横 900mm が本文の貼付有効範囲です。
- ・演題番号（200mm×200mm）は事務局で準備します。演題名・演者（共同演者含む）・所属の情報は右上の 200mm×700mm に掲載することを推奨します。
- ・用紙の形式は特に決まりがありません。
- ・文字の大きさは見やすく作成してください。本文の文字は 30 ポイント程度を推奨します。



ポスターの貼付有効範囲

4. 座長・演者の皆様へ

- ・総会 HP「座長・演者へのご案内」欄をご確認いただきますようお願いいたします。

5. 症例報告をする際の個人情報の取扱いに関する留意点

以下の各項目に記述された事項は、可能な限り遵守してください。

- 1) 対象者個人の特定可能な氏名、病院名、入院番号・診療番号・検査番号等、イニシャルまたは「呼び名」は記載しない。
- 2) 対象者の住所は記載しない。但し、疾患の発生場所が病態等に関与する場合は都道府県名、二次医療圏名までを記載することを可とする。
- 3) 日付は、対象疾患の経過を知る上で必要となることが多いので、個人が特定できないと判断される場合は年月までを記載してよい。
- 4) 他の情報と診療科名を照合することにより対象者が特定され得る場合、診療科名は記載しない。
- 5) 対象者の顔写真を提示する際には目を隠す。眼疾患の場合は、顔全体が分からないよう眼球のみの拡大写真とする。
- 6) 対象者を特定できる生検、剖検、画像情報に含まれる番号などは削除する。
- 7) 対象者の職業歴、既往歴、家族歴、宗教歴、生活習慣・嗜好は、報告対象疾患との関連性が薄い場合は記述しない。

- 8) 公衆衛生的視点から是非必要であり上記の配慮が一部困難な場合、もしくは上記の配慮をしても個人が特定化される可能性のある場合は、発表に関する同意を対象者自身（または代理人、小児では保護者）から得たことを明記する。

6. 「COI に関する開示」について

日本公衆衛生学会「公衆衛生学研究の COI（利益相反）に関する指針と細則（<https://www.jsph.jp/about/coi/index.html>）」に従って全ての発表者（筆頭演者および共同演者）は、事前と当日に COI に関しての自己申告と開示をしてください。

詳細は日本公衆衛生学会までお問い合わせください。

日本公衆衛生学会
〒160-0022 東京都新宿区新宿 1-29-8 公衛ビル内
TEL: 03-3352-4338 FAX: 03-3352-4333
URL: <https://www.jsph.jp/>

■スライド開示例

発表者の COI の開示について

日本公衆衛生学会
COI 開示
発表者名：公衆太郎，衛生次郎，健康三郎
演題発表に関連し，発表者らに開示すべき
COI 関係にある企業などはありません。

日本公衆衛生学会
COI 開示
発表者名：公衆太郎，衛生次郎，健康三郎
演題発表に関連し，開示すべき COI 関係にある企業等は下記です。

(開示例)

発表者全員，過去 3 年を一括して
講演料：A 会社，B 会社
原稿料：C 会社
奨学寄附金：B 会社，D 会社

7. クロークについて

下記の通り、クロークをご用意いたします。

スペースに限りがございますので、荷物が収容数を超えた場合には、別の場所のご案内や、お預りをお断りすることがございます。予めご了承ください。

場所：京王プラザホテル 3・4・5 階 常設クローク

日時：10 月 29 日（木）8:15～20:30

10 月 30 日（金）7:30～20:30

10 月 31 日（土）7:30～18:00

8. 託児について

本総会では、会場準備の都合上、会場内および会場近隣での託児サービスは行いません。

9. 会場での呼び出しについて

会場内での呼び出しは、原則として行いません。総合受付付近の連絡板をご利用ください。会場内では携帯電話の電源を切るか、マナーモードに設定をお願いいたします。

会場への交通案内図

<会場>

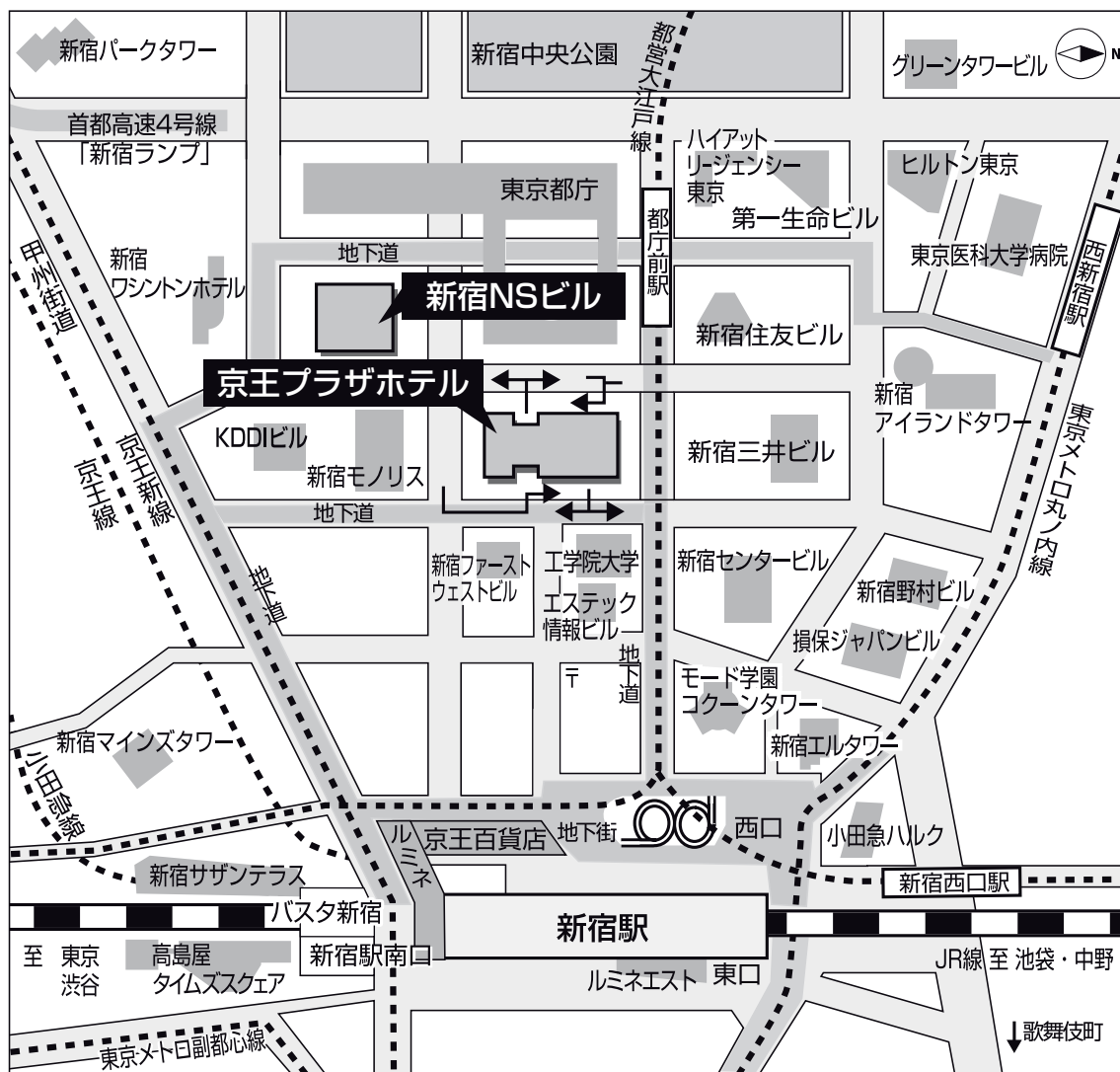
■京王プラザホテル（新宿）

〒160-8330 東京都新宿区西新宿 2 丁目 2-1

■新宿 NSビル ※ポスター会場、自由集会会場

〒160-0023 東京都新宿区西新宿 2 丁目 4-1

<会場への交通案内図>



<交通アクセス>

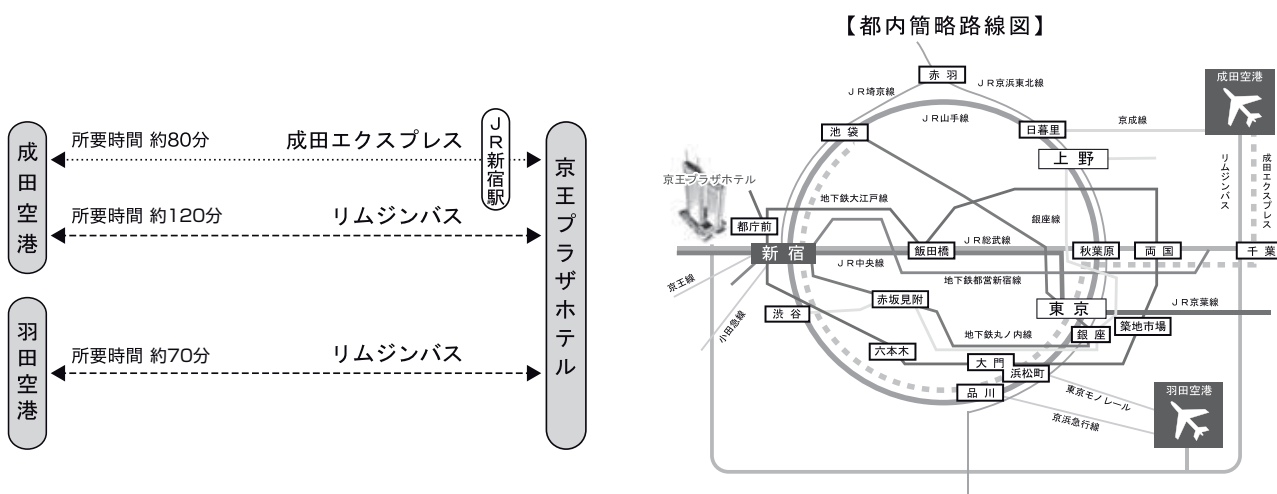
■京王プラザホテル（新宿）

- ▶ JR 線・京王線・小田急線・地下鉄新宿駅西口より 徒歩 5 分
都庁方面への連絡地下道をまっすぐお進みください。地下道をでてすぐ左側にございます。
- ▶ 都営大江戸線都庁前駅 B1 出口より 徒歩すぐ
改札を出て JR 新宿駅方面に進み、B1 出口階段を上がってすぐ右側にございます。
- ▶ 羽田空港から直通リムジンバス 約 70 分

■新宿 NS ビル

- ▶ JR 線・京王線・小田急線・地下鉄新宿駅西口より 徒歩 7 分

※京王プラザホテル（新宿）から新宿 NS ビルまでは徒歩 3 分ほどです。

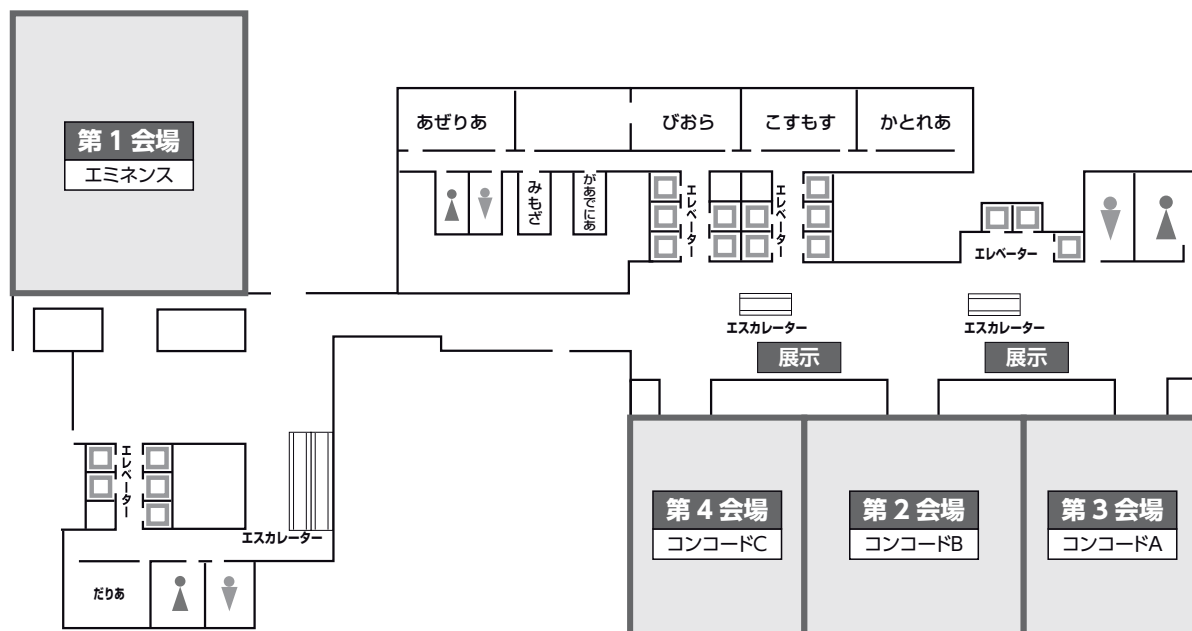


<会場周辺図>

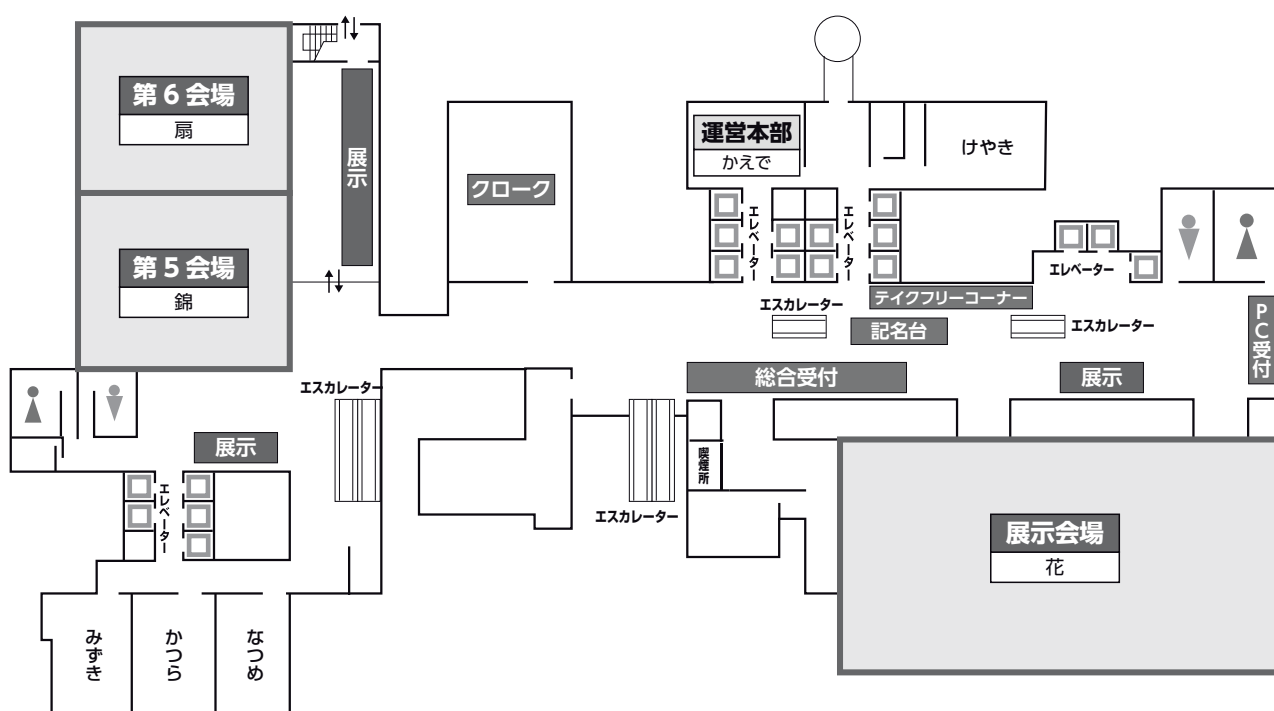


会場案内図

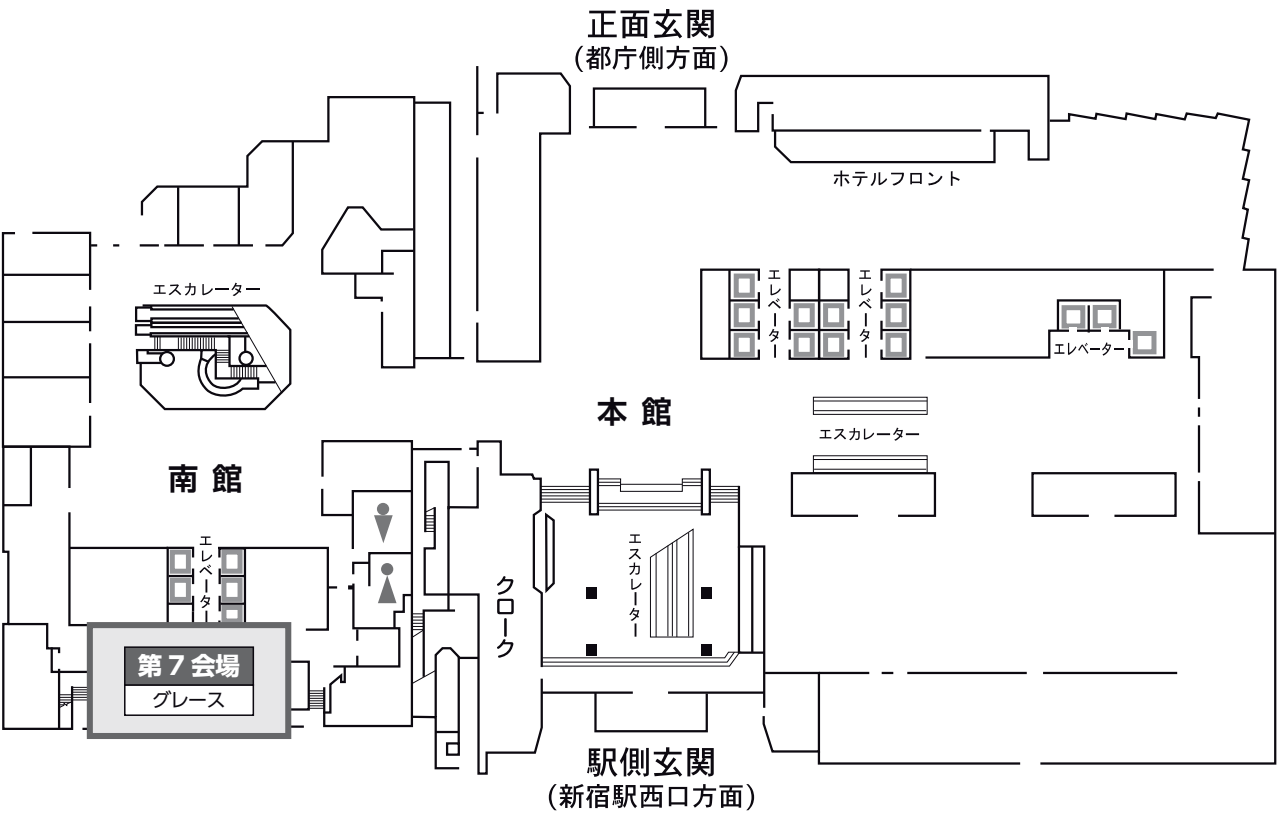
京王プラザホテル 5F



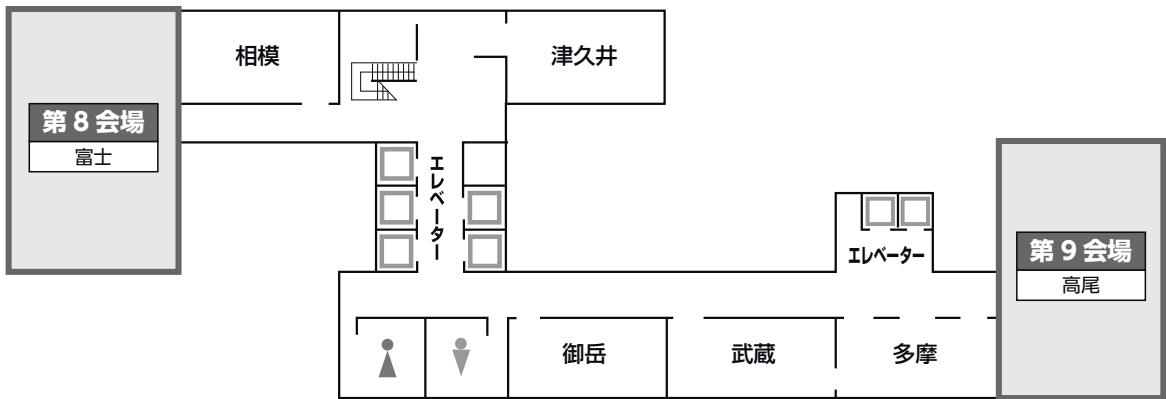
京王プラザホテル 4F



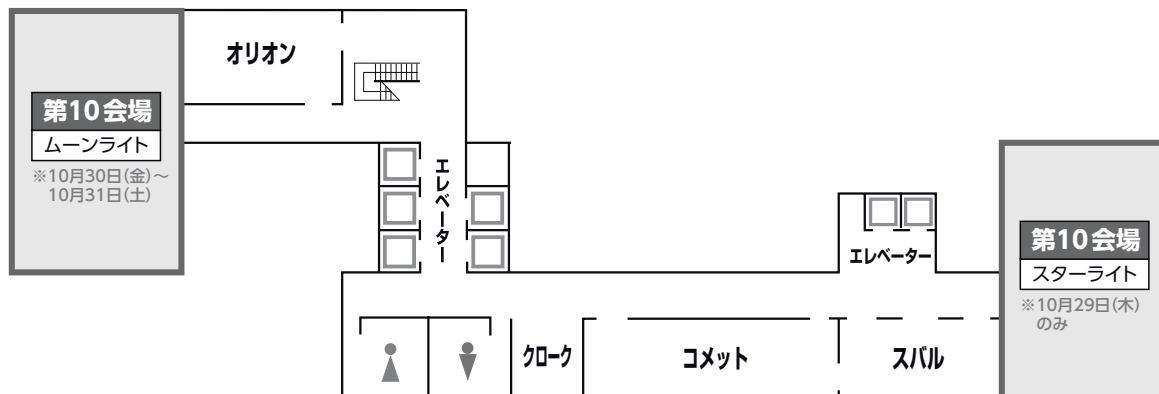
京王プラザホテル 3F (ロビー階)



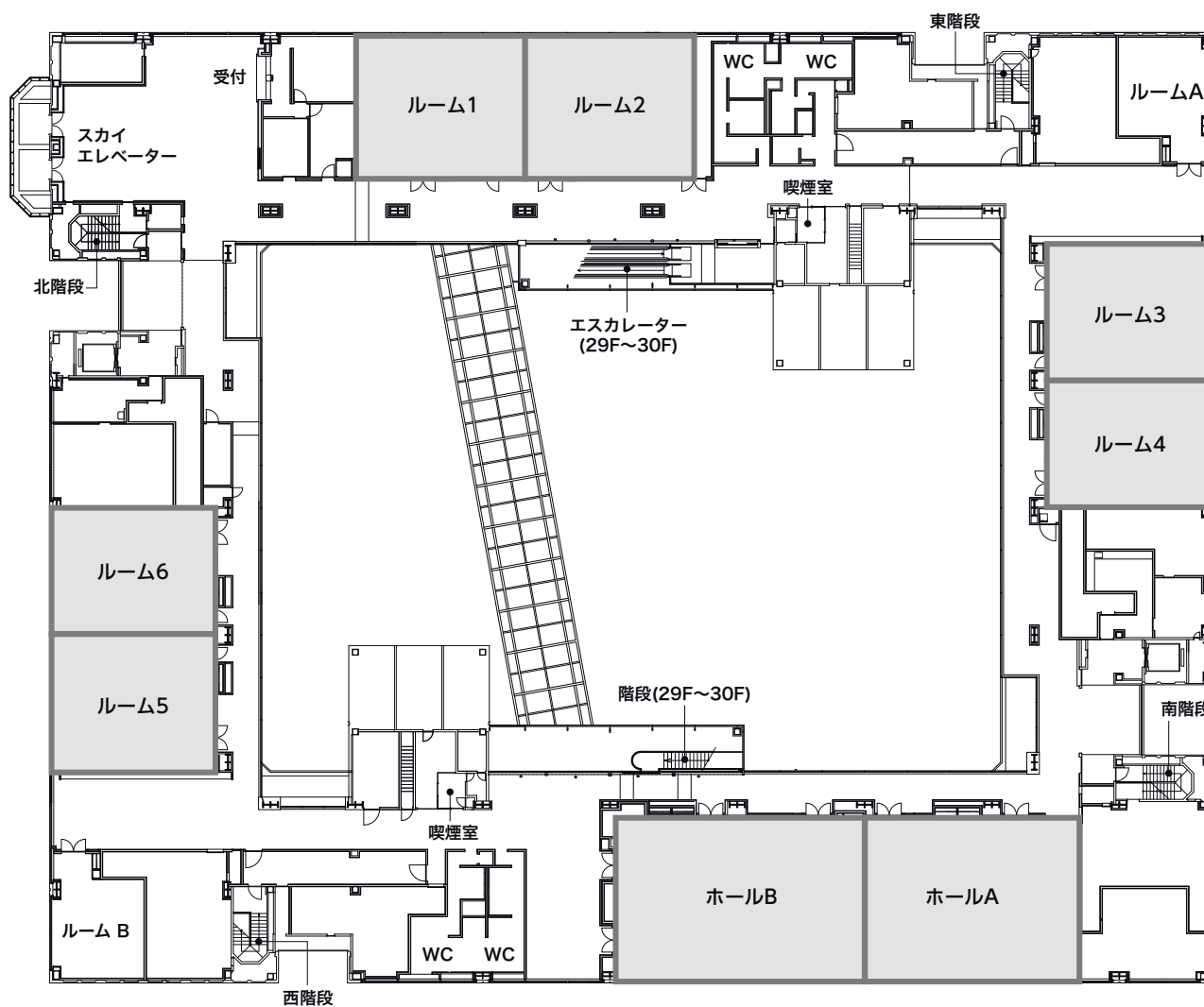
京王プラザホテル 42F



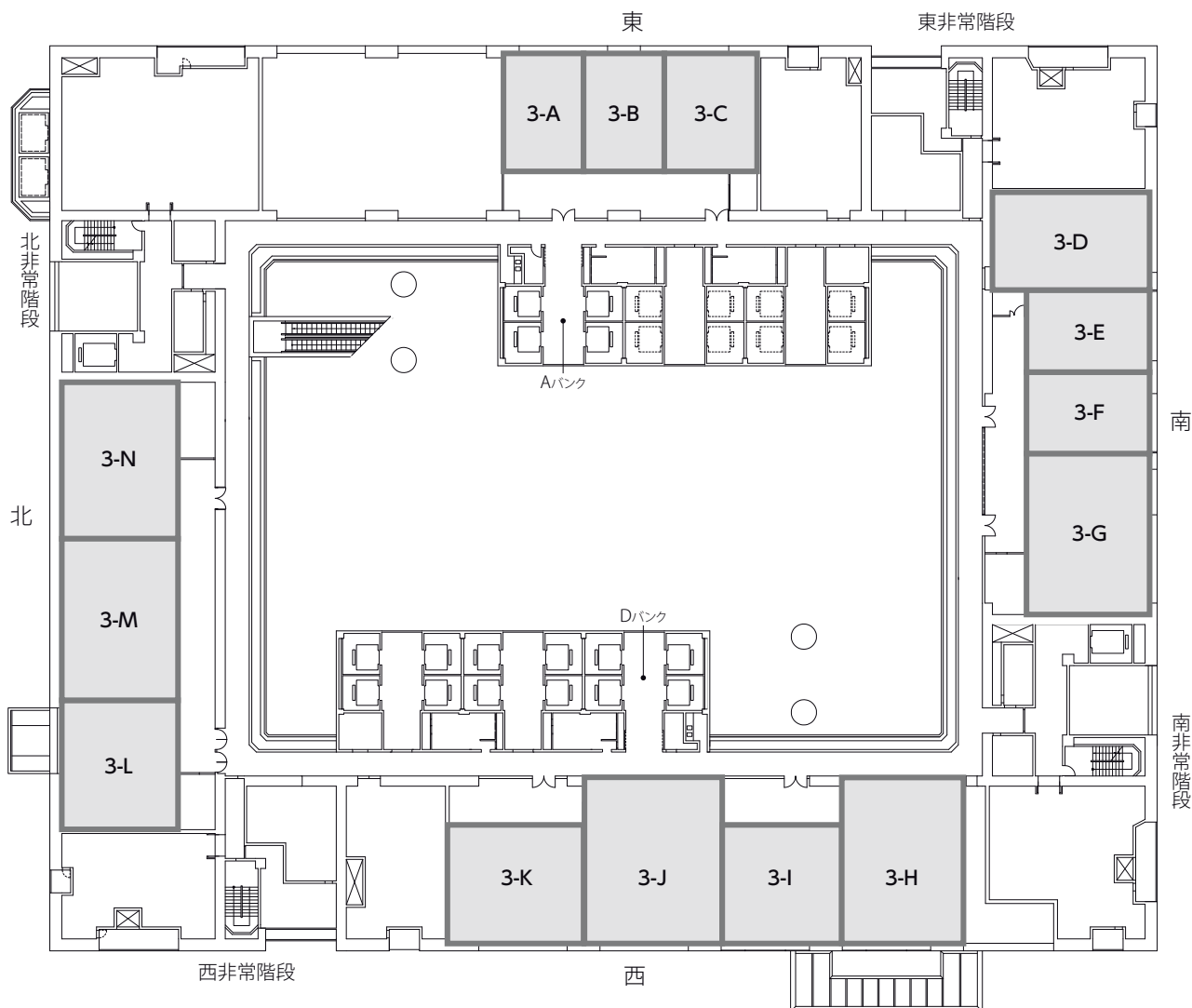
京王プラザホテル 43F



新宿NSビル 30F スカイクンファレンス【ポスター会場】



新宿NSビル 3F 会議室【自由集会会場】



日程表

第1日目：2026年10月29日(木)

		8:00	8:30	9:00	9:30	10:00	10:30	11:00	11:30	12:00	12:30	13:00	13:30	14:00
京王プラザホテル	第1会場 5階 エミネス					開会式	教育講演1 未知との遭遇 未来への言葉 ― 東京都医師会からは如何にコロナと闘ったか― 演者：尾崎治夫	25	教育講演2 結核の蔓延度をはかり、結核を減らす 演者：吉山崇		ランチョンセミナー1 共催：オーガニックサイエンス株式会社		特別講演1 睡眠の謎に挑む：基礎神経科学から社会実装研究まで 演者：柳沢正史	05
	第2会場 5階 コンコードB						シンポジウム2 公衆衛生学分野におけるデジタル技術の活用 座長：内田満夫、桑原恵介		ランチョンセミナー2 共催：味の素株式会社／株式会社 明治		シンポジウム3 Well-being研究の潮流と社会実装 座長：大平哲也、白井こころ			
	第3会場 5階 コンコードA						シンポジウム6 公衆衛生倫理の展開 座長：中澤栄輔、井上まり子		ランチョンセミナー3 共催：大塚製薬株式会社		シンポジウム7 地域包括ケアのこれまでとこれから 座長：安田誠史、岸恵美子			
	第4会場 5階 コンコードC						シンポジウム11 当事者共創ウェルビーイングエンパワメント 座長：安梅勲江、渡辺多恵子		ランチョンセミナー4 共催：武田薬品工業株式会社		シンポジウム12 健康危機管理の人材育成の新たな潮流 座長：砂川富正			
	第5会場 4階 錦						シンポジウム14 多様なケアする家族の経験に基づく家族支援 座長：涌井智子、松澤明美		ランチョンセミナー5 共催：国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所		シンポジウム15 人々を中心に多分野をつなぐ保健師の力 座長：大森純子、五十嵐久美子			
	第6会場 4階 扇						シンポジウム18 地域精神保健と実装科学・産学官連携 座長：根本隆洋、今村晴彦		ランチョンセミナー6 共催：日本在宅睡眠健診協会		シンポジウム19 高齢者の被災者ジャーニー（課題と対策） 座長：齋藤貴之、浜崎景			
	第7会場 3階 グレース（ロビー階）						地方衛生研究所 研修フォーラム		55	日本公衆衛生雑誌 拡大編集委員会	55			
	第8会場 42階 富士						シンポジウム23 歯科口腔疾患のニーズを再考 座長：田口円裕、長優子	45	ランチョンセミナー7 共催：株式会社ファルモ	45	シンポジウム24 食事調査の定量的評価 座長：佐々木敏、中村美詠子			
	第9会場 42階 高尾						シンポジウム27 感染症に強い地域づくり 座長：中島一敏、金成由美子		ランチョンセミナー8 共催：株式会社ツリーベル		スポンサードセッション3 共催：IATSS			
	第10会場 43階 スターライト						シンポジウム30 乳幼児健診のあり方-精度管理と事後対応- 座長：山縣然太郎、村嶋幸代		ランチョンシンポジウム1 健康日本21（第三次）のソーシャルキャピタル 座長：近藤克則、藤川愛（総会主催）		シンポジウム31 多死社会の公衆衛生（厚労省ガイドライン） 座長：武藤剛、高杉友			
新宿NSビル	ポスター 30階 スカイカンファレンス						ポスター貼付・閲覧							
	自由集会 3階 NS会議室 ・東ブロック ・南ブロック ・西ブロック ・北ブロック	自由集会（会場：新宿NSビル 3F NS会議室 時間：19:00～20:30） 自由集会 9 会場：東ブロック(3-A) 全国衛生行政研究会セミナー 世話人：嶋村清志 自由集会 10 会場：東ブロック(3-B) 母子保健・学校保健 ぜんぶ乗せ！ ― 薬局・学校・地域をつなぐフリートーク ― 世話人：戸張裕子 自由集会 11 会場：東ブロック(3-C) 丸腰の会(医療資格を持たずに公衆衛生活動をしている人の情報交換会) 世話人：片野田耕太・齋藤宏子（丸腰の会・会長） 自由集会 12 会場：南ブロック(3-D) 精神保健の向上 もう一歩前に進もう オープンダイアローグからのアプローチ 世話人：横山勝教 自由集会 13 会場：南ブロック(3-E) 第2回集まり、語り、つながる会～住民と保健師の対話によるつながりの醸成～ 世話人：前川明宏 自由集会 14 会場：南ブロック(3-F) 健康づくりと運動 健康運動のファティズムを考える 世話人：篠田邦彦 自由集会 15 会場：南ブロック(3-G) 健康日本21（第三次）を踏まえて「レベル0」から始める地域・職域連携 世話人：岡田結生子												

14:30	15:00	15:30	16:00	16:30	17:00	17:30	18:00	18:30	19:00	19:30	20:00	20:30	21:00
	教育講演3 睡眠予防医学の基盤となる睡眠計測の実例ー睡眠時無呼吸症候群スクリーニング検査と睡眠負債の可視化を中心にー 演者：中野博		教育講演4 東日本大震災直後の東京電力福島第一、第二発電所員へのメンタルヘルス支援ー災害時の公衆衛生活動の実例ー 演者：重村淳	45	シンポジウム1 能登半島地震後の高齢者支援 座長：表志津子、隈丸加奈子		15	市民公開講座1 映画上映 終わりの見えない闘い					
	シンポジウム4 食環境整備の推進：産学連携スマートミール 座長：武見ゆかり、梅澤光政	35	スポンサードセッション1 共催：ノボルディスクファーマ株式会社		35	シンポジウム5 リスクアセスメントを活かす母子保健DX 座長：山縣然太郎、大久保祐輔							
	シンポジウム8 医療福祉計画評価でのロジックモデル活用 座長：今村知明、埴岡健一		05	シンポジウム9 デジタルデバイスを活用した睡眠の可視化 座長：兼板佳孝、和田裕雄		35	シンポジウム10 医療機関へのサイバーセキュリティ支援 座長：竹内公一、佐藤真一		自由集会1 公衆衛生ってなにそれ？美味しいの？ 世話人：山岸良匡				
	シンポジウム13 共生社会に向けた医療保険制度 座長：高橋香		優秀演題賞選考会						自由集会2 みんなで考える感染症危機管理リーダーシップ：職種を超えてつながる 世話人：和田耕治				
	シンポジウム16 5歳児健診がつながる生涯のウェルビーイング 座長：小倉加恵子、越田理恵		シンポジウム17 子ども・子育て・家族支援の新たな展開 座長：加藤則子、小橋元		イブニングセミナー 共催：医療法人新光会			自由集会3 MPH・DrPHのつどい 世話人：井上まり子					
	シンポジウム20 新技術を生かした途上国の結核対策 座長：前田秀雄、長嶺路子		指導医講習会					自由集会4 公衆衛生看護の“今”をアップデート～協働で広がるOne Teamの輪～ 世話人：岡本玲子					
	スポンサードセッション2 共催：森友通商株式会社		シンポジウム21 健康危機管理を担う人材育成の未来 座長：赤星昂己		シンポジウム22 防災×保健の協働実践 座長：寶澤篤、大森純子		自由集会5 超少子化時代の伴走型母子保健DXとしての内閣府SIP「MOM UP PARK」 世話人：土屋厚子						
25	シンポジウム25 信頼できる医療情報の共創と活用 座長：井花庸子、堀抜文香	55	シンポジウム26 未来を予測するシステムダイナミクスモデル 座長：藤原武男、富永京子	25	口演1 疫学・保健医療情報／保健医療介護サービス研究／関連諸科学			49	05	自由集会6 JACSIS/JASTIS研究会ー誰でも参画できるー 世話人：田淵貴大	35		
	シンポジウム28 地域保健のための薬剤師の役割 座長：庄野あい子、阿部真也		シンポジウム29 精神障害者を支えるピアサポーター 座長：柳尚夫、稲葉静代		口演2 生活習慣病・メタボリックシンドローム1				自由集会7 あなたの町の「治し支える医療」ー地域診断から次の一歩へー 世話人：小倉加恵子				
	シンポジウム32 保健所のHIV/性感染症対策と郵送検査 座長：白井千香、劔陽子		シンポジウム33 健康づくりビジネスの最前線 座長：近藤尚己、野村恭子		口演3 感染症			04	自由集会8 ニーズ調査を活用した地域診断と介護予防事業の効果評価 世話人：朴志娟				
	14:40～15:55 座長進行による発表		16:00～17:15 座長進行による発表		ポスター閲覧・撤去								

自由集会（会場：新宿NSビル 3F NS会議室 時間：19:00～20:30）

自由集会 16 会場：西ブロック(3-H)
衛生・公衆衛生学実習を通じた医学教育における公衆衛生マインドの醸成
世話人：中山健夫・谷原真一

自由集会 17 会場：西ブロック(3-I)
自治体こども計画へ子ども・若者のこえを反映させ、地域へ還す方法について考える
世話人：竹原健二

自由集会 18 会場：西ブロック(3-J)
保健医療福祉調整本部に求められる職員健康管理とは
世話人：城間紀之

自由集会 19 会場：西ブロック(3-K)
感染症情報の現状と展望を考える
世話人：大屋日登美

自由集会 20 会場：北ブロック(3-L)
災害時における栄養食生活支援活動を考える
世話人：磯部澄枝

自由集会 21 会場：北ブロック(3-M)
Evidence into Action:公衆衛生における実装科学の挑戦
世話人：中村学

自由集会 22 会場：北ブロック(3-N)
【AMED・日本公衆衛生学会共催】医学系研究をわかりやすく伝えるワークショップ in 日本公衆衛生学会
世話人：高橋秀人（日本公衆衛生学会 広報・e-learning委員会委員長）

第2日目：2026年10月30日(金)

		8:00		8:30		9:00		9:30		10:00		10:30		11:00		11:30		12:00		12:30		13:00		13:30		14:00		
京王プラザホテル	第1会場 5階 エミネンス						特別企画講演1 わが国の死因究明 制度の現状と 将来展望 演者：福永龍繁			特別講演2 Circadian Medicine and Sleep Health 演者：Charles A. Czeisler			ランチョンセミナー9 共催：NTTプレジジョン メディシン株式会社			学会長講演 公衆衛生学をもう一歩 前に一関連諸科学を活用 した地域・職域の健康課題 へのアプローチ 演者：谷川武												
	第2会場 5階 コンコードB						モーニングセミナー 共催：サノフィ株式会社		45	スポンサードシンポジウム1 「健康日本21」の連携指標の策定 座長：岡山明、岡村智教 共催：健康日本21推進全国 連絡協議会		15	ランチョンセミナー10 共催：MSD株式会社			シンポジウム34 健診を起点とする地域医療と 公衆衛生の協働 座長：宇田英典、川畑輝子										55		
	第3会場 5階 コンコードA						シンポジウム36 健康危機対応人材育成の 新展開 座長：赤星昂己、今中雄一			シンポジウム37 感染症疫学アップデート 座長：白井千香、杉下由行			ランチョンセミナー11 共催：楽天インサイト 株式会社			シンポジウム38 呼吸器感染症予防ワクチン 接種率向上の意義 座長：角野文彦、福島若葉												
	第4会場 5階 コンコードC						シンポジウム40 食・地域・環境からみる プラネタリーヘルス 座長：依田健志			シンポジウム41 災害福祉支援 座長：松本良二、石田久美子			ランチョンセミナー12 共催：日本生命保険 相互会社			シンポジウム42 医療危機の現状と 対応策の検討 座長：松本良二、石田久美子												
	第5会場 4階 錦						シンポジウム46 公衆衛生活動は協働から共 創の時代へ 座長：前川明宏、岩室紳也			スポンサードセッション5 共催：日本医療研究開発機構 (AMED)			ランチョンセミナー13 共催：日本メンズヘルス 医学会 更年期健康 経営協会			シンポジウム47 効果的で継続的な住民組織 活動支援を考える 座長：村山洋史、田口敦子												
	第6会場 4階 扇						シンポジウム51 大規模データで探る女性の 健康課題 座長：刈田香苗、祖父江友孝			シンポジウム52 エコチル調査の今後： 思春期以降の長期影響 座長：野見山哲生、山崎新						シンポジウム53 学校基盤研究コンソーシアム 構築 座長：甲田勝康、森崎菜穂												
	第7会場 3階 グレース (ロビー階)						シンポジウム56 周産期メンタルヘルス 座長：蔭山正子、横山恵子			シンポジウム57 市区町村における地域・ 職域連携 座長：津下一代、渡井いずみ			公衆衛生モニタリング レポート拡大委員会			シンポジウム58 子どもに届けるからだの知識 座長：各務竹康、寺脇博之												
	第8会場 42階 富士						シンポジウム59 自治体の身体活動促進： 最新知見と実践事例 座長：菊池宏幸、菊池可南子			シンポジウム60 公衆衛生対策に関する ディベート 座長：尾崎米厚			35	ランチョンセミナー14 共催：MeijiSeika ファルマ株式会社	35	45	シンポジウム61 公衆衛生医師 インターンシップ 座長：名越究、町田宗仁											
	第9会場 42階 高尾						シンポジウム62 注目すべき睡眠障害 座長：和田裕雄、有馬久富			シンポジウム63 戦略的な思考に基づく 栄養政策・施策の展開 座長：由田克士、諸岡歩				ランチョンセミナー15 共催：株式会社フィ リップス・ジャパン			シンポジウム64 保健師実践を拓くGIS 座長：堀池諒											
	第10会場 43階 ムーンライト						シンポジウム66 大規模イベントにおける公衆 衛生対応 座長：富尾淳、齋藤智也			シンポジウム67 Sustainable mining 座長：山本秀樹、津田洋子				ランチョンシンポジウム2 介護SCRと将来推計 座長：陣内裕成、長嶺由衣子 (総会主催)			シンポジウム68 私たちのEBPMは 実装可能か 座長：西岡大輔、上野恵子											
新宿NSビル	ポスター 30階 スカイ カンファレンス						ポスター貼付・閲覧															13:00～14:15 座長進行による発表						
	自由集会 3階 NS会議室 ・東ブロック ・南ブロック ・西ブロック ・北ブロック	自由集会（会場：新宿NSビル 3F NS会議室 時間：19:20～20:50） 自由集会 29 会場：東ブロック(3-A) 生活保護受給者の健康づくりは、地域社会の健康づくり 世話人：西岡大輔 自由集会 30 会場：東ブロック(3-B) へき地保健師のつどい「都市近接だからこそ「見えにくい」 へき地」 世話人：櫻井純子 自由集会 31 会場：東ブロック(3-C) 法医公衆衛生学の展望:「人の死」から見つめる公衆衛生 世話人：田宮菜奈子 自由集会 32 会場：南ブロック(3-D) 公衆衛生医師の「要素」と「行動」を可視化する —医学生・医師のための自由集会— 世話人：松澤知 自由集会 33 会場：南ブロック(3-E) 社会医学若手フォーラム 世話人：下敷領一平 自由集会 34 会場：南ブロック(3-F) 生活習慣病対策の再考～NCDから低栄養対策まで～ 世話人：丸山広達 自由集会 35 会場：南ブロック(3-G) 次なる健康危機に向けた人材育成と地域保健体制： もう一歩前に進もう！ 世話人：富尾淳																										



14:30	15:00	15:30	16:00	16:30	17:00	17:30	18:00	18:30	19:00	19:30	20:00	20:30	21:00
特別シンポジウム1 公衆衛生における睡眠時無呼吸症候群(SAS)対策の現状と課題 座長：中山健夫、谷川武		25	特別シンポジウム2 睡眠面からの健康づくり 施策の動向—先進的好事例とその普及— 座長：成井浩司、鈴木康裕		55	市民公開講座2 すこやかな暮らしを支える合氣道の生活—体験して学ぶ— 日常の氣の活用— 演者：藤平信一		総会					
シンポジウム35 市町村と保健所で創る新たな公衆衛生の展開 座長：宇田英典、河西あかね										コハレ ラ ス ヤ	意見交換会		
シンポジウム39 地域医療構想とロジックモデル 座長：山名隼人、小林大介			スポンサードセッション4 共催：日本イーライリリー株式会社						25				
シンポジウム43 ブロック訓練に学ぶ保健医療福祉調整本部 座長：西田敏秀、池田和功			シンポジウム44 平常時と災害時をつなぐ保健所 座長：宮園将哉、原田昌範			シンポジウム45 健康危機管理研究の最前線 座長：今中雄一、坪倉正治				自由集会23 ポピュレーションアプローチで住民の運動促進をどう進める？ 何でも相談・交流会 世話人：岡田真平			
シンポジウム48 地域に根ざした自殺対策の新展開 座長：佐々木那津、竹島正			シンポジウム49 2040年常勤保健師ゼロ・急減問題 座長：吉岡京子、塩見美紗			シンポジウム50 法改正でどう変わるがん登録とがん対策 座長：大木いづみ、堀芽久美				自由集会24 結核集団発生の対策に関する自由集会 世話人：加藤誠也			
スポンサードセッション6 共催：シスメックス株式会社			シンポジウム54 職域健診への尿ナトリウム比測定の実装 座長：三浦克之、實澤篤			シンポジウム55 政治政策と現場をつないで進めるタバコ対策 座長：田淵貴大、大和浩				自由集会25 ワンヘルス人獣共通感染症2026 (モニタリングレポート委員会 感染症班・環境班) 世話人：佐藤祐子			
奨励賞受賞講演			国際参加賞受賞講演							自由集会26 実地疫学専門家の集い 世話人：加藤博史			
15	スポンサードシンポジウム2 鍼灸で公衆衛生をもう一步前へ 座長：小野直哉、友岡清秀 共催：セイリン株式会社		45	口演4 親子保健・学校保健		09	口演5 高齢者のQOLと介護予防／ 高齢者の医療と福祉		25	01	自由集会27 地域保健と職域保健との連携 ～歯科保健医療の視点から～ 世話人：田村光平		
	シンポジウム65 PHR社会実装と産官学民連携 座長：石見拓、阿部達也			口演6 生活習慣病2／ヘルスプロモーション／公衆栄養			口演7 健康危機管理			49	自由集会28 大都市における孤独・孤立問題の実態：新宿を事例に 世話人：村山陽		
	シンポジウム69 ソーシャルワークと連携した健康づくり 座長：西岡大輔			口演8 精神保健福祉／地域社会と健康／産業保健		12	口演9 口腔保健／健康運動指導／睡眠予防医学／食品衛生／環境保健			04			
	14:25～15:40 座長進行による発表			ポスター閲覧・撤去									

自由集会（会場：新宿NSビル 3F NS会議室 時間：19:20～20:50）

自由集会 36 会場：西ブロック(3-H)
総合事業における地域資源連携の実践と展望
—自治体は民間主体とどう協働するか—
世話人：藤原佳典

自由集会 37 会場：西ブロック(3-I)
行政管理栄養士の人材育成と「公衆衛生専門管理栄養士」に期待される役割を考える
世話人：諸岡歩

自由集会 38 会場：西ブロック(3-J)
公衆衛生をコミュニケーションの視点で考えてみよう！
—学際的交流を目指して—
世話人：高梨克也・今村晴彦

自由集会 39 会場：西ブロック(3-K)
2040年を見据えた保健師活動体制
～今、改めて保健師の地区担当制を考える～
世話人：平野かよ子

自由集会 40 会場：北ブロック(3-L)
自殺対策・メンタルヘルス対策情報交換会：
若者の生きづらさ・孤独孤立を考える
世話人：立瀬剛志

自由集会 41 会場：北ブロック(3-M)
それぞれの『コロナ戦記』5 Years Later
世話人：関なおみ

自由集会 42 会場：北ブロック(3-N)
男性保健師の会
世話人：細川陸也

第3日目：2026年10月31日(土)

		8:00	8:30	9:00	9:30	10:00	10:30	11:00	11:30	12:00	12:30	13:00	13:30	14:00
京王プラザホテル	第1会場 5階 エミネス			特別企画講演2 Digitally Inclusive, Healthy Ageing Communities (DIHAC): A cross-cultural study in Japan, the Republic of Korea, Singapore, Thailand, and beyond. 演者：Myo Nyein Aung		スポンサードセッション7 共催：公益財団法人 笹川保健財団		15	ランチョンセミナー16 共催：ファイザー株式会社 ワクチンメディカル アフェアーズ			市民公開講座3 インド哲学から見た「いのち」 演者：丸井浩		
	第2会場 5階 コンコードB			シンポジウム70 デジタルバイオマーカーの 公衆衛生的意義 座長：高田礼子、杉山雄大	45	シンポジウム71 公衆衛生領域における 社会的インパクト評価 座長：近藤克則			ランチョンセミナー17 共催：サントリービバ レッジソリューション 株式会社			シンポジウム72 多様な社会資源接続による 新たなアプローチ 座長：藤原佳典、澤岡詩野	55	
	第3会場 5階 コンコードA			シンポジウム74 グローバル健康課題と 公衆衛生 座長：大澤絵里、宮野真輔		シンポジウム75 行政×研究の協働 座長：東尚弘、後藤温			ランチョンセミナー18 共催：エーザイ株式会社			シンポジウム76 精神障害にも対応した 地域包括ケアシステム 座長：伊東千絵子、辻本哲士		
	第4会場 5階 コンコードC			シンポジウム78 地域保健における 科学的知見と対話 座長：上原里程、清野薫子		対談・映画上映 終わりの見えない闘い 共催：株式会社真誠／株式会社 波里				シンポジウム79 幼少から青年期までの Well-being 座長：宮崎智之、玉腰暁子	25	45		
	第5会場 4階 錦			シンポジウム80 オーラルフレイル対策の 戦略的位置づけ 座長：福田英輝、大浦智子		シンポジウム81 持続可能な食環境づくりと 地域実践 座長：岡田知佳、伊東秀之			ランチョンセミナー19 共催：株式会社フォー シーズHD			シンポジウム82 心不全重症化予防事業 による包括的予防方法 座長：加藤有花、小久保喜弘		
	第6会場 4階 扇			シンポジウム84 助けを求められない人への 支援 座長：長谷部雅美、中島修		シンポジウム85 人獣共通感染症・輸入感染症 2026 R8 座長：緒方剛、伊東則彦						シンポジウム86 親子のスマホ・ネット 依存予防 座長：瀬在泉、山田正明		
	第7会場 3階 グレース (ロビー階)			シンポジウム88 政策評価実装の人材育成 座長：芳我ちより、埴岡健一		シンポジウム89 原子力災害時の公衆衛生と 産業保健の接点 座長：立石清一郎、金成由美子			ランチョンセミナー20 (総会主催)		55	シンポジウム90 社会医学専門医のキャリアと 人生価値 座長：横山勝教、杉山雄大		
	第8会場 42階 富士			シンポジウム92 子育て世代・高齢者の受援力 座長：尾島俊之、木村美也子		シンポジウム93 森林浴を活用した健康増進 座長：井上茂、中田由夫	35		ランチョンセミナー21 共催：PHコンサル ティング株式会社	35		シンポジウム94 医療安全対策における 保健所の役割 座長：稲葉静代		
	第9会場 42階 高尾			学部生・高校生 セッション1 疾病予防・医療	42	学部生・高校生 セッション2 地域・社会と健康	12		ランチョンシンポジウム3 認知症基本法時代の 共生社会実現に向けて 座長：小野玲、岡村毅 (総会主催)			学部生・高校生 セッション3 災害・国際／英語発表		
	第10会場 43階 ムーンライト			口演10 医療制度・医療政策／公衆衛生従事 者育成／保健所・衛生行政・地域保健		06	English Session		32					
新宿NSビル	ポスター 30階 スカイ カンファレンス			ポスター貼付・閲覧		10:00～11:15 座長進行による発表		ポスター貼付・閲覧		13:00～14:15 座長進行による発表				
	自由集会 3階 NS会議室 ・東ブロック ・南ブロック ・西ブロック ・北ブロック	感染症リスクアセスメント研修 会場：西ブロック（3-J） 日時：10月31日（土）13:00～17:00												



14:30		15:00		15:30	16:00	16:30	17:00	17:30	18:00	18:30	19:00	19:30	20:00	20:30	21:00
市民公開講座4 日常生活に活かせるヒマラヤの教えー新型コロナウイルス対策で疲弊した保健医療従事者への癒しのひと時ー 演者：相川圭子		25		奨励賞授与式・閉会式											
シンポジウム73 未来型住民コホートの共創：山梨COI拠点 座長：後藤温、大岡忠生															
シンポジウム77 健康と身近な生活環境 座長：牛山明、森田明美															
15 公衆衛生専門管理栄養士専門研修															
シンポジウム83 公的統計データの公衆衛生研究への活用 座長：小林廉毅															
シンポジウム87 高齢者介護の質向上 座長：中山健夫、當山まゆみ															
25 シンポジウム91 社会医学・公衆衛生学への目覚め 座長：和田裕雄															
15 シンポジウム95 パンデミック対策で壊れた見えない社会機能 座長：齋藤智也、関なおみ															
12 シンポジウム96 保健行政が既存事業を活かし進めるプレコンセプションケア 座長：中澤智、児玉知子															
ポスター撤去															

自由集会の日程

○お申し込み・お問合せはホームページ・各世話人へご連絡ください。

10月29日(木)		
第3会場(京王プラザホテル 5F コンコードA)	19:00~20:30	
自由集会1	(理事長指定企画) 公衆衛生ってなにそれ? 美味しいの?	
世話人: 山岸 良匡	TEL: 03-5802-1049	E-mail: k.yamagishi.zc@juntendo.ac.jp
第4会場(京王プラザホテル 5F コンコードC)	19:00~20:30	
自由集会2	みんなで考える感染症危機管理リーダーシップ: 職種を超えてつながる	
世話人: 和田 耕治	TEL: 03-3202-7181	E-mail: le-jinzai@jihs.go.jp
第5会場(京王プラザホテル 4F 錦)	19:00~20:30	
自由集会3	MPH・DrPHのつどい	
世話人: 井上 まり子	TEL: 03-3964-1211 内線 46220	E-mail: inoue.mariko.pb@teikyo-u.ac.jp
第6会場(京王プラザホテル 4F 扇)	19:00~20:30	
自由集会4	公衆衛生看護の“今”をアップデート~協働で広がる One Team の輪~	
世話人: 岡本 玲子	TEL: 090-5061-6787	E-mail: reiko@sahs.med.osaka-u.ac.jp
第7会場(京王プラザホテル 3F グレース)	19:00~20:30	
自由集会5	超少子化時代の伴走型母子保健 DX としての内閣府 SIP「MOM UP PARK」	
世話人: 土屋 厚子	TEL: 090-7689-4823	E-mail: atsuko.t.33930@gmail.com
第8会場(京王プラザホテル 42F 富士)	19:05~20:35	
自由集会6	JACSIS/JASTIS 研究会—誰でも参画できる—	
世話人: 田淵 貴大	TEL: 090-2029-1034	E-mail: tabuchitak@gmail.com
第9会場(京王プラザホテル 42F 高尾)	19:05~20:35	
自由集会7	あなたの町の「治し支える医療」—地域診断から次の一歩へ—	
世話人: 小倉 加恵子	TEL: 0858-23-3188	E-mail: ogura-k@ncchd.go.jp
第10会場(京王プラザホテル 43F スターライト)	19:20~20:50	
自由集会8	ニーズ調査を活用した地域診断と介護予防事業の効果評価	
世話人: 朴 志娟	TEL: 04-7157-0996	E-mail: j.park@jages.net
東ブロック(新宿 NS ビル 3F 東ブロック(3-A))	19:00~20:30	
自由集会9	全国衛生行政研究会セミナー	
世話人: 嶋村 清志	TEL: 077-562-3526	E-mail: shimamura-kiyoshi@pref.shiga.lg.jp
東ブロック(新宿 NS ビル 3F 東ブロック(3-B))	19:00~20:30	
自由集会10	母子保健・学校保健 ぜんぶ乗せ! — 薬局・学校・地域をつなぐフリートーク —	
世話人: 戸張 裕子	TEL: 090-7800-5679	E-mail: tobari@toyaku.ac.jp
東ブロック(新宿 NS ビル 3F 東ブロック(3-C))	19:00~20:30	
自由集会11	丸腰の会 (医療資格を持たずに公衆衛生活動をしている人の情報交換会)	
世話人: 片野田 耕太・齋藤 宏子 (丸腰の会・会長)	TEL: 090-9312-6691	E-mail: kkatanod@ncc.go.jp
南ブロック(新宿 NS ビル 3F 南ブロック(3-D))	19:00~20:30	
自由集会12	精神保健の向上 もう一歩前に進もう オープンダイアログからのアプローチ	
世話人: 横山 勝教	TEL: 090-1894-5952	E-mail: fz2117@pref.kagawa.lg.jp
南ブロック(新宿 NS ビル 3F 南ブロック(3-E))	19:00~20:30	
自由集会13	第2回集まり、語り、つながる会~住民と保健師の対話によるつながりの醸成~	
世話人: 前川 明宏	TEL: 080-1847-7357	E-mail: akihiro_maekawa_mail@yahoo.co.jp
南ブロック(新宿 NS ビル 3F 南ブロック(3-F))	19:00~20:30	
自由集会14	健康づくりと運動 健康運動のファディズムを考える	
世話人: 篠田 邦彦	TEL: 090-2730-3480	E-mail: shinokuma60@gmail.com
南ブロック(新宿 NS ビル 3F 南ブロック(3-G))	19:00~20:30	
自由集会15	健康日本 21 (第三次) を踏まえて「レベル0」から始める地域・職域連携	
世話人: 岡田 結生子	TEL: 090-7523-3477	E-mail: yui-okada@keio.jp
西ブロック(新宿 NS ビル 3F 西ブロック(3-H))	19:00~20:30	
自由集会16	衛生・公衆衛生学実習を通じた医学教育における公衆衛生マインドの醸成	
世話人: 中山 健夫・谷原 真一	TEL: 090-7138-7999	E-mail: echph@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp
西ブロック(新宿 NS ビル 3F 西ブロック(3-I))	19:00~20:30	
自由集会17	自治体こども計画へ子ども・若者のこえを反映させ、地域へ還す方法について考える	
世話人: 竹原 健二	TEL: 03-3416-0181 (内線 4250)	E-mail: takehara-k@ncchd.go.jp

西ブロック（新宿 NS ビル 3F 西ブロック（3-J）） 19:00～20:30 自由集会 18 保健医療福祉調整本部に求められる職員健康管理とは 世話人：城間 紀之 TEL：082-257-5167 E-mail: d232539@hiroshima-u.ac.jp
西ブロック（新宿 NS ビル 3F 西ブロック（3-K）） 19:00～20:30 自由集会 19 感染症情報の現状と展望を考える 世話人：大屋 日登美 TEL：042-769-8348 E-mail: y.harima.xq@city.sagamihara.kanagawa.jp
北ブロック（新宿 NS ビル 3F 北ブロック（3-L）） 19:00～20:30 自由集会 20 災害時における栄養食生活支援活動を考える 世話人：磯部 澄枝 TEL：025-757-2401 E-mail: isobe.sumie@pref.niigata.lg.jp
北ブロック（新宿 NS ビル 3F 北ブロック（3-M）） 19:00～20:30 自由集会 21 Evidence into Action：公衆衛生における実装科学の挑戦 世話人：中村 学 TEL：090-7123-8449 E-mail: m_nakamura@keio.jp
北ブロック（新宿 NS ビル 3F 北ブロック（3-N）） 19:00～20:30 自由集会 22 【AMED・日本公衆衛生学会共催】医学系研究をわかりやすく伝えるワークショップ in 日本公衆衛生学会 世話人：高橋 秀人（日本公衆衛生学会 広報・e-learning 委員会委員長） TEL：080-6583-3353 E-mail: takahashi.h.jp@gmail.com

10 月 30 日（金）
第 4 会場（京王プラザホテル 5F コンコード C） 19:20～20:50 自由集会 23 ポピュレーションアプローチで住民の運動促進をどう進める？何でも相談・交流会 世話人：岡田 真平 TEL：0268-61-6148 E-mail: okap@pedam.org
第 5 会場（京王プラザホテル 4F 錦） 19:20～20:50 自由集会 24 結核集団発生の対策に関する自由集会 世話人：加藤 誠也 TEL：042-493-5711 E-mail: zama@jata.or.jp
第 6 会場（京王プラザホテル 4F 扇） 19:20～20:50 自由集会 25 ワンヘルス人獣共通感染症 2026（モニタリングレポート委員会感染症班・環境班） 世話人：佐藤 祐子 TEL：090-1103-1907 E-mail: yusagon5@gmail.com
第 7 会場（京王プラザホテル 3F グレース） 19:20～20:50 自由集会 26 実地疫学専門家の集い 世話人：加藤 博史 TEL：03-5285-1111 E-mail: kato.h@jihs.go.jp
第 8 会場（京王プラザホテル 42F 富士） 19:20～20:50 自由集会 27 地域保健と職域保健との連携～歯科保健医療の視点から～ 世話人：田村 光平 TEL：090-8928-2879 E-mail: kohetamu@narmed-u.ac.jp
第 9 会場（京王プラザホテル 42F 高尾） 19:20～20:50 自由集会 28 大都市における孤独・孤立問題の実態：新宿を事例に 世話人：村山 陽 TEL：090-7825-1123 E-mail: yhocho05@tmig.or.jp
東ブロック（新宿 NS ビル 3F 東ブロック（3-A）） 19:20～20:50 自由集会 29 生活保護受給者の健康づくりは、地域社会の健康づくり 世話人：西岡 大輔 TEL：078-796-4524 E-mail: dicenish@peridot.kobe-u.ac.jp
東ブロック（新宿 NS ビル 3F 東ブロック（3-B）） 19:20～20:50 自由集会 30 へき地保健師のつどい「都市近接だからこそ「見えにくい」へき地」 世話人：櫻井 純子 TEL：090-6934-1115 E-mail: hekichiokenshi@gmail.com
東ブロック（新宿 NS ビル 3F 東ブロック（3-C）） 19:20～20:50 自由集会 31 法医公衆衛生学の展望：「人の死」から見つめる公衆衛生 世話人：田宮 菜奈子 TEL：029-853-8849 E-mail: hsr@md.tsukuba.ac.jp
南ブロック（新宿 NS ビル 3F 南ブロック（3-D）） 19:20～20:50 自由集会 32 公衆衛生医師の「要素」と「行動」を可視化する—医学生・医師のための自由集会— 世話人：松澤 知 TEL：025-256-8924 E-mail: matsuzawa.tomo@pref.niigata.lg.jp
南ブロック（新宿 NS ビル 3F 南ブロック（3-E）） 19:20～20:50 自由集会 33 社会医学若手フォーラム 世話人：下敷領 一平 TEL：0959-75-0121 E-mail: ippei.35sh@gmail.com
南ブロック（新宿 NS ビル 3F 南ブロック（3-F）） 19:20～20:50 自由集会 34 生活習慣病対策の再考～NCD から低栄養対策まで～ 世話人：丸山 広達 TEL：090-5061-3443 E-mail: maruyama.kotatsu.rt@ehime-u.ac.jp
南ブロック（新宿 NS ビル 3F 南ブロック（3-G）） 19:20～20:50 自由集会 35 次なる健康危機に向けた人材育成と地域保健体制：もう一歩前に進もう！ 世話人：富尾 淳 TEL：048-458-6174 E-mail: tomio.j.aa@niph.go.jp
西ブロック（新宿 NS ビル 3F 西ブロック（3-H）） 19:20～20:50 自由集会 36 総合事業における地域資源連携の実践と展望—自治体は民間主体とどう協働するか— 世話人：藤原 佳典 TEL：090-9138-6342 E-mail: fujiwayo@tmig.or.jp

西ブロック（新宿 NS ビル 3F 西ブロック（3-I））	19:20～20:50	
自由集会 37	行政管理栄養士の人材育成と「公衆衛生専門管理栄養士」に期待される役割を考える	
世話人：諸岡 歩	TEL：080-6154-5536	E-mail: Ayumi_Morooka@pref.hyogo.lg.jp
西ブロック（新宿 NS ビル 3F 西ブロック（3-J））	19:20～20:50	
自由集会 38	公衆衛生をコミュニケーションの視点で考えてみよう！－学際的交流を目指して－	
世話人：高梨 克也・今村 晴彦	TEL：0749-28-8437	E-mail: takanashi.k@shc.usp.ac.jp
西ブロック（新宿 NS ビル 3F 西ブロック（3-K））	19:20～20:50	
自由集会 39	2040 年を見据えた保健師活動体制～今、改めて保健師の地区担当制を考える～	
世話人：平野 かよ子	TEL：090-4438-0767	E-mail: kayhirano1972@gmail.com
北ブロック（新宿 NS ビル 3F 北ブロック（3-L））	19:20～20:50	
自由集会 40	自殺対策・メンタルヘルス対策情報交換会：若者の生きづらさ・孤独孤立を考える	
世話人：立瀬 剛志	TEL：090-9144-2740	E-mail: tatsuse@med.u-toyama.ac.jp
北ブロック（新宿 NS ビル 3F 北ブロック（3-M））	19:20～20:50	
自由集会 41	それぞれの『コロナ戦記』5 Years Later	
世話人：関 なおみ	TEL：035-285-1111	E-mail: seki.n@jihs.go.jp
北ブロック（新宿 NS ビル 3F 北ブロック（3-N））	19:20～20:50	
自由集会 42	男性保健師の会	
世話人：細川 陸也	TEL：090-8388-2390	E-mail: rikuya-h@koto.kpu-m.ac.jp

プログラム

◆特別講演 1

10月29日(木) 13:30~14:30 第1会場(京王プラザホテル 5F エミネンス)

睡眠の謎に挑む：基礎神経科学から社会実装研究まで

座長：磯 博康（日本公衆衛生学会理事長）
演者：柳沢 正史（筑波大学 国際統合睡眠医科学研究機構）

◆特別講演 2

10月30日(金) 10:10~11:10 第1会場(京王プラザホテル 5F エミネンス)

Circadian Medicine and Sleep Health

座長：谷川 武（順天堂大学大学院医学研究科 公衆衛生学講座）
野田 愛（順天堂大学 国際教養学部）
演者：Charles A. Czeisler（Division of Sleep Medicine, Harvard Medical School / Brigham and Women's Hospital）

◆学会長講演

10月30日(金) 12:40~13:40 第1会場(京王プラザホテル 5F エミネンス)

公衆衛生学をもう一歩前に一関連諸科学を活用した地域・職域の健康課題へのアプローチ

座長：下光 輝一（東京医科大学名誉教授）
中村 幸志（琉球大学大学院医学研究科 公衆衛生学・疫学講座）
演者：谷川 武（順天堂大学大学院医学研究科 公衆衛生学講座）

◆特別企画講演 1

10月30日(金) 9:00~9:50 第1会場(京王プラザホテル 5F エミネンス)

わが国の死因究明制度の現状と将来展望

座長：山本 秀樹（帝京大学 薬学部 環境衛生学研究室）
演者：福永 龍繁（東京都監察医務院）

◆特別企画講演 2

10月31日(土) 8:30~9:30 第1会場(京王プラザホテル 5F エミネンス)

Digitally Inclusive, Healthy Ageing Communities (DIHAC): A cross-cultural study in Japan, the Republic of Korea, Singapore, Thailand, and beyond.

座長：伊藤 明子（赤坂ファミリークリニック 院長）
演者：Myo Nyein Aung（順天堂大学大学院医学研究科・国際教養学部）

◆教育講演 1

10月29日(木) 10:10~11:00 第1会場(京王プラザホテル 5F エミネンス)

未知との遭遇 未来への言霊 ー東京都医師会は如何にコロナと闘ったかー

座長：鳥居 明（東京都医師会 公衆衛生担当理事）
演者：尾崎 治夫（東京都医師会 会長）

◆教育講演 2

10月29日(木) 11:10~12:00 第1会場(京王プラザホテル 5F エミネンス)

結核の蔓延度をはかり、結核を減らす

座長：石川 信克(結核予防会 結核研究所 名誉所長)

演者：吉山 崇(結核予防会 結核研究所)

◆教育講演 3

10月29日(木) 14:40~15:30 第1会場(京王プラザホテル 5F エミネンス)

睡眠予防医学の基盤となる睡眠計測の実例

—睡眠時無呼吸症候群スクリーニング検査と睡眠負債の可視化を中心に—

座長：和田 裕雄(順天堂大学大学院医学研究科公衆衛生学講座 教授)

演者：中野 博(国立病院機構福岡病院 睡眠センター)

◆教育講演 4

10月29日(木) 15:40~16:30 第1会場(京王プラザホテル 5F エミネンス)

東日本大震災直後の東京電力福島第一、第二発電所所員へのメンタルヘルス支援

—災害時の公衆衛生活動の実例—

座長：大平 哲也(福島県立医科大学疫学講座主任教授)

演者：重村 淳(目白大学 保健医療学部 作業療法学科 教授)

◆特別シンポジウム 1

10月30日(金) 14:10~15:25 第1会場(京王プラザホテル 5F エミネンス)

公衆衛生における睡眠時無呼吸症候群(SAS)対策の現状と課題

座長：谷川 武(順天堂大学大学院医学研究科 公衆衛生学講座 主任教授)

中山 健夫(京都大学 大学院医学研究科 社会健康医学系専攻 健康情報学分野 教授)

演者：公衆衛生における睡眠時無呼吸症候群(SAS)対策の現状と課題：特定健診ならびに労働衛生・労災保険二次健康診断等給付への道のり

谷川 武(順天堂大学大学院医学研究科 公衆衛生学講座 主任教授)

SASが脳卒中、心臓病に及ぼす影響に関する国外の知見

中田 光紀(産業医科大学 医学部 公衆衛生学 教授)

SASの健康影響-心血管系に関する国内の知見を中心に-

陳 和夫(日本大学医学部 内科学系睡眠学分野 特任教授)

特定健診の項目採択と SAS

中山 健夫(京都大学 大学院医学研究科 社会健康医学系専攻 健康情報学分野 教授)

指定発言：行政の立場から

堀岡 伸彦(厚生労働省 健康・生活衛生局 健康課長)

諸富 伸夫(厚生労働省 労働基準局 安全衛生部 労働衛生課長)

◆特別シンポジウム 2

10月30日(金) 15:40~16:55 第1会場(京王プラザホテル 5F エミネンス)

睡眠面からの健康づくり施策の動向―先進的好事例とその普及―

- 座長：成井 浩司(赤坂おだやかクリニック名誉院長)
鈴木 康裕(国際医療福祉大学学長)
- 演者：睡眠と健康に関する省庁横断的取り組みの重要性
成井 浩司(赤坂おだやかクリニック名誉院長)
厚生労働省における取り組みと横断的取り組みへの展望
堀岡 伸彦(厚生労働省 健康・生活衛生局健康課長)
経済産業省における取り組みと横断的取り組みへの展望
福田 光紀(経済産業省 商務・サービスグループ ヘルスケア産業課長)
- 事例紹介：大東建託株式会社
野村不動産株式会社
- 指定発言：鈴木 康裕

◆シンポジウム 1

10月29日(木) 16:45~18:00 第1会場(京王プラザホテル 5F エミネンス)

能登半島地震後の高齢者支援を時系列で捉える―多職種連携の視点から―

- 座長：表 志津子(金沢大学)
隈丸加奈子(順天堂大学)
- 演者：能登半島地震の救急現場で直面した被災高齢者の実態
平井 忠幸(金沢大学)
能登半島地震後の高齢者施設入所者の避難後死亡率調査
坪倉 正治(福島県立医科大学)
仮設住宅の高齢者の視点からみた中長期的な心身の健康問題
田中 浩二(金沢大学)
能登半島地震後の施設入所高齢者の避難後の帰還調整
上吉原良実(国立健康危機管理研究機構 DMAT 事務局)

◆シンポジウム 2

10月29日(木) 10:10~11:25 第2会場(京王プラザホテル 5F コンコード B)

公衆衛生学分野におけるデジタル技術の活用～特に人工知能について～

- 座長：内田 満夫(群馬大学数理データ科学教育研究センター)
桑原 恵介(横浜市立大学医学部公衆衛生学)
- 演者：AI を用いた行政データ分析の連携
大川 貴史(群馬大学保健学研究科)
生成 AI を用いた精神保健領域の研究
渡辺 和広(北里大学医学部公衆衛生学)
AI を用いた感染症情報分析に関する研究
山内 武紀(昭和医科大学医学部衛生学)
ローカル環境における生成 AI モデル構築の紹介
清水沙友里(横浜市立大学医学部臨床疫学・臨床薬理学)

◆シンポジウム 3

10月29日(木) 12:50~14:05 第2会場(京王プラザホテル 5F コンコードB)

Well-being 研究の潮流と社会実装の取り組み

座長：大平 哲也(福島県立医科大学)
白井 ころ(大阪大学)

演者：Well-being 創生センターにおける研究と社会実装

藤原 武男(東京科学大学)

都市環境におけるウェルビーングリサーチと社会実装

武林 亨(慶應義塾大学)

ISO 国際基準の視点から見る Well-being の社会実装

佐藤 洋(産業技術総合研究所)

万博での取り組みを通じた、健康づくりの観点からみた Well-being の社会実装

菅野 光美(大阪府庁)

◆シンポジウム 4

10月29日(木) 14:20~15:35 第2会場(京王プラザホテル 5F コンコードB)

地域・職域での自然に健康になれる食環境整備推進：産学連携スマートミール認証の活用

座長：武見 ゆかり(日本栄養大学(旧女子栄養大学))

梅澤 光政(獨協医科大学医学部)

演者：地域における減塩のための食環境整備の推進

野村 善博(日本高血圧学会 減塩・栄養委員会)

職域の健康経営の一環としての食環境整備の位置づけ

樋口 毅(株式会社ルネサンス)

自然に健康になれる食環境づくりに向けたスマートミール認証の実績と課題

赤松 利恵(お茶の水女子大学)

◆シンポジウム 5

10月29日(木) 17:35~18:50 第2会場(京王プラザホテル 5F コンコードB)

リスクアセスメントデータを地域診断に活かす母子保健 DX の実装と展開

座長：山縣 然太郎(国立成育医療研究センター こどもシンクタンク)

大久保 祐輔(国立成育医療研究センター 社会医学研究部)

演者：母子保健分野における DX 推進とデータ活用の方向性

植田 彰彦(こども家庭庁成育局母子保健課)

リスクアセスメントシートを活用した地域診断の可能性と課題

帯包 エリカ(国立成育医療研究センター 社会医学研究部)

母子保健データの DX 基盤構築と自治体間比較分析の展望

櫻井 陽一(NTT ドコモビジネス株式会社)

自治体におけるリスクアセスメント導入と対象者支援への応用

調整中

◆シンポジウム 6

10月29日(木) 10:10～11:25 第3会場(京王プラザホテル 5F コンコードA)

公衆衛生倫理の展開—同意を巡る研究の倫理と公衆衛生倫理

座長：中澤 栄輔（東京大学）

井上まり子（帝京大学）

演者：感染症対策など公衆衛生政策における同意を巡る倫理的考察

中澤 栄輔（東京大学）

研究倫理指針の改訂と疫学研究の倫理

井上 悠輔（京都大学）

コミュニティの分断と公共的意思決定

井上まり子（帝京大学）

◆シンポジウム 7

10月29日(木) 12:50～14:05 第3会場(京王プラザホテル 5F コンコードA)

地域包括ケアのこれまでとこれから

座長：安田 誠史（高知大学 医学部 公衆衛生学教室）

岸 恵美子（東京医療保健大学 東が丘看護学部）

演者：これまでの総括（仮題）

安田 誠史（高知大学 医学部 公衆衛生学教室）

これからの課題と対策（仮題）

植田 拓也（東京都健康長寿医療センター研究所 東京都介護予防・フレイル予防推進支援センター）

保健事業と介護予防の一体的実施を足掛りとする実践（仮題）

北川 瞳（八尾市保健所 保健企画課 健康まちづくり科学センター）

地域共生社会での重層的支援を足掛りとする実践（仮題）

小池 良実（岡さんのいえ TOMO）

◆シンポジウム 8

10月29日(木) 14:20～15:35 第3会場(京王プラザホテル 5F コンコードA)

医療福祉計画評価におけるロジックモデル活用の展開と課題～国・県・市の実践から～

座長：今村 知明（奈良県立医科大学 公衆衛生学講座）

埴岡 健一（国際医療福祉大学大学院 医療福祉ジャーナリズム分野）

演者：医療計画ロジックモデルと地域医療構想との連携

埴岡 健一（国際医療福祉大学大学院 医療福祉ジャーナリズム分野）

国のがん対策推進基本計画の中間評価

大井久美子（厚生労働省健康・生活衛生局 がん・疾病対策課）

沖縄県における医療計画の進捗評価—地域医療構想との連携も見据えて—

長浜麻紀子（沖縄県 保健医療介護部 医療政策課）

那覇市の在宅医療・介護連携推進事業におけるロジックモデルと指標の設定

高江洲アヤ子（那覇市医師会 那覇市在宅医療・介護連携支援センター ちゅいしーじー那覇）

◆シンポジウム 9

10月29日(木) 15:50~17:05 第3会場(京王プラザホテル 5F コンコードA)

睡眠と休養 2026：最新のデジタルデバイスを活用した睡眠の可視化

- 座長：兼板 佳孝（日本大学医学部社会医学系公衆衛生学）
和田 裕雄（順天堂大学大学院医学研究科公衆衛生学）
演者：疫学研究での客観評価による睡眠の実態：睡眠学の常識の見直しと個人差・地域差
森田 恵美（筑波大学 国際統合睡眠医科学研究機構）
子ども睡眠健診の実現に向けて
岸 哲史（東京大学大学院教育学研究科身体教育学コース）
睡眠負債の客観的測定手法を用いた中高生の疫学研究
植田 結人（順天堂大学大学院医学研究科公衆衛生学）
労働者の睡眠休養感と客観的覚醒機能との関連
大塚雄一郎（日本大学医学部社会医学系公衆衛生学分野）

◆シンポジウム 10

10月29日(木) 17:20~18:35 第3会場(京王プラザホテル 5F コンコードA)

医療機関のサイバーセキュリティの脆弱さと地域医療連携の課題に対する支援

- 座長：竹内 公一（千葉県松戸保健所（松戸健康福祉センター））
佐藤 真一（我孫子聖仁会病院）
演者：サイバーセキュリティ対策の必要性和情報連携・遠隔医療の進展による地域医療
竹内 公一（千葉県松戸保健所（松戸健康福祉センター））
地域医師会が進める医療機関におけるサイバーセキュリティ対策研修会の実施と方向性
岡崎 光洋（秋田大学医学部附属病院 医療 DX センター 遠隔医療推進部門）

◆シンポジウム 11

10月29日(木) 10:10~11:25 第4会場(京王プラザホテル 5F コンコードC)

関連諸科学の連携に基づく共創ウェルビーイング実現方法：当事者主体エンパワメント

- 座長：安梅 勅江（筑波大学）
渡辺多恵子（淑徳大学）
演者：行動科学アプローチと共創ウェルビーイング
松本 宗賢（令和健康科学大学）
保健福祉学アプローチと共創ウェルビーイング
川崎百合子（飛島村すこやかセンター）
発達科学アプローチと共創ウェルビーイング
白山 美鈴（路交館北丘聖愛園）
司法福祉学と共創ウェルビーイング
酒寄 学（社会福祉法人芳香会）

◆シンポジウム 12

10月29日(木) 12:50~14:05 第4会場(京王プラザホテル 5F コンコードC)

健康危機管理/感染症危機管理における人材育成の新たな潮流

座長：砂川 富正（国立健康危機管理研究機構 人材育成局研究企画部/国立感染症研究所 応用疫学研究センター）

演者：国立保健医療科学院における人材育成

富尾 淳（国立保健医療科学院 防災・公衆衛生レジリエンス研究センター）

サーベイランスオフィサープログラム（SCOP）における人材育成

神垣 太郎（国立健康危機管理研究機構国立感染症研究所 感染症サーベイランス研究部）

感染症危機管理リーダーシップ研修（IDCL）における人材育成

佐藤 瞳（国立健康危機管理研究機構 危機管理・運営局 企画調整部 政策研究課 研究開発連携室）

実地疫学専門家養成コース（FETP）における人材育成

土橋 西紀（国立健康危機管理研究機構国立感染症研究所 応用疫学研究センター）

◆シンポジウム 13

10月29日(木) 14:20~15:35 第4会場(京王プラザホテル 5F コンコードC)

共生社会に向けた医療保険制度の課題と将来像

座長：高橋 香（国際移住機関（IOM））

演者：外国人住民の増加と人口構造の変化が医療保険制度に与える影響

林 玲子（国立社会保障・人口問題研究所）

外国人患者対応の現状と課題—医療機関における取組から—

向井 陽太（佐久総合病院/佐久医療センター）

中長期在留者の健康保険・医療アクセスの実態を把握するには何が必要か

東 尚弘（東京大学大学院医学系研究科公衆衛生学）

外国人住民の増加に対応した医療保険制度の政策課題と将来展望

島崎 謙治（国際医療福祉大学大学院）

◆シンポジウム 14

10月29日(木) 10:10~11:25 第5会場(京王プラザホテル 4F 錦)

多様なケアする家族の声を聴く-当事者経験から問い直す家族支援の実践・研究・政策

座長：涌井 智子（東京都健康長寿医療センター研究所）

松澤 明美（北海道大学）

演者：父の在宅看取りを経験して見えてきた「暮らし」を支える家族の役割

松本 佳子（医療経済研究機構）

ケアとともに生きる家族としての経験を振り返って：障害のある母との歩み

高橋 唯（ヤングケアラー経験者）

認知症による長期行方不明事案における、残された家族が抱える様々な苦悩と葛藤

江東 愛子（NPO 法人いしだたみ・認知症行方不明者家族等の支えあいの会）

◆シンポジウム 15

10月29日(木) 12:50~14:05 第5会場(京王プラザホテル 4F 錦)

人々を中心に多分野をつなぐ保健師の力—One Team で拓く協働・連携の未来—

座長：大森 純子（聖路加国際大学大学院）

五十嵐久美子（国立保健医療科学院）

演者：産業保健と地域保健の協働・連携

渡井いづみ（浜松医科大学）

母子保健と家庭福祉の協働・連携

奈喜良桂子（千代田区保健福祉部）

大学と実践現場の協働・連携

遠藤 雅幸（川崎市立看護大学）

多職種・住民との協働・連携

木村 絵美（女川町役場健康福祉課）

◆シンポジウム 16

10月29日(木) 14:20~15:35 第5会場(京王プラザホテル 4F 錦)

5歳児健診がつなぐ生涯のウェルビーイング～こどもまんなか社会を公衆衛生から描く～

座長：小倉加恵子（鳥取県福祉保健部／子ども家庭部（兼）倉吉保健所）

越田 理恵（金沢市福祉健康局（兼）金沢市保健所）

演者：5歳児健診を活用した「こどもまんなか社会」の実現に向けた啓発の推進

小倉加恵子（鳥取県福祉保健部／子ども家庭部（兼）倉吉保健所）

健康の社会決定因子と5歳児健診の可能性

藤原 武男（東京科学大学医学部公衆衛生分野）

母子保健から見た5歳児健診と成育期支援の連続性

大木 幸子（杏林大学保健学部看護学科地域看護学研究室）

5歳児健診の学校保健への接続と地域での支援体制

古池 雄治（茨城大学教育学部 教育保健教室）

◆シンポジウム 17

10月29日(木) 15:50~17:05 第5会場(京王プラザホテル 4F 錦)

子ども・子育て・家族支援の新たな展開

座長：加藤 則子（十文字学園女子大学）

小橋 元（獨協医科大学）

演者：子ども虐待受刑者の調査：虐待防止に向けて

黒田 公美（東京科学大学）

子どもの居場所とオンラインをハブとしたヤングケアラーへの包括的支援

門田 行史（自治医科大学）

子ども虐待を予防する孤立させない地域づくり

阿部 美子（獨協医科大学）

◆シンポジウム 18

10月29日(木) 10:10~11:25 第6会場(京王プラザホテル 4F 副)

若年層を対象とした地域精神保健の社会実装：実装科学からのアプローチと産学官連携

座長：根本 隆洋（東邦大学医学部 精神神経医学講座／社会実装精神医学講座）

今村 晴彦（長野県立大学大学院 健康栄養科学研究科）

演者：地域精神保健の機能強化に向けた若年者メンタルヘルス支援窓口 SODA の実装

内野 敬（東邦大学医学部 社会実装精神医学講座）

若年者相談支援窓口の社会実装に向けた阻害・促進要因の把握：実装科学の枠組みから

今村 晴彦（長野県立大学大学院 健康栄養科学研究科）

メンタルヘルス支援の普及に向けた産学官連携の挑戦：企業の視点から

木野ゆりか（日本生命保険相互会社 ヘルスケア事業部）

◆シンポジウム 19

10月29日(木) 12:50~14:05 第6会場(京王プラザホテル 4F 副)

高齢者の被災者ジャーニーにおける課題と対策—急性期から慢性期の健康リスク—

座長：齋藤 貴之（群馬大学）

浜崎 景（群馬大学）

演者：災害フェーズごとにみる高齢者の健康課題

坪倉 正治（福島県立医科大学）

高齢者における急性期から生活支援に至る課題

鈴木 伸明（群馬県社会福祉協議会 災害福祉支援センター）

高齢者における災害後の二次的健康影響とそのリスク要因の検討

趙 天辰（福島県立医科大学）

高齢者の災害関連死を抑制するための支援 —看護の視点から—

内田 陽子（群馬大学）

◆シンポジウム 20

10月29日(木) 14:20~15:35 第6会場(京王プラザホテル 4F 副)

JSPH、JSTB 学会共同企画シンポジウム：新技術を生かした途上国の結核対策

座長：前田 秀雄（公益財団法人結核予防会）

長嶺 路子（東京都板橋区保健所）

演者：ザンビア農村における結核患者発見強化の取り組み

高山 義浩（沖縄県立中部病院感染症内科・地域ケア科）

ネパールにおける結核スクリーニングと積極的患者発見

永田 由佳（公益財団法人結核予防会国際部）

カンボジアにおける第3回全国結核有病率調査とその意義

小野崎郁史（公益財団法人結核予防会国際部）

◆シンポジウム 21

10月29日(木) 15:50~17:05 第7会場(京王プラザホテル 3F グレース)

健康危機管理を担う人材育成の未来 現場・行政・教育をつなぐ人材育成モデルの構築

座長：赤星 昂己（国立健康危機管理研究機構危機管理運営局 DMAT 事務局）

演者：災害等危機管理専門家養成コース（CMTP）の設置と未来

近藤 久禎（国立健康危機管理研究機構危機管理運営局 DMAT 事務局）

CMTP 研修生から見た災害医療の未来

上村 浩貴（国立健康危機管理研究機構危機管理運営局 DMAT 事務局）

FETP の歴史から見る災害医療人材育成の未来

砂川 富正（国立感染症研究所応用疫学研究センター）

CMTP 制度設計について

中務 智彰（厚生労働省医政局地域医療計画課）

◆シンポジウム 22

10月29日(木) 17:20~18:35 第7会場(京王プラザホテル 3F グレース)

防災×保健の協働による防災コミュニケーションの実践

座長：寶澤 篤(東北大学大学院医学系研究科公衆衛生学分野(日本公衆衛生学会 災害・緊急時公衆衛生活動委員会 委員長))

大森 純子(聖路加国際大学大学院公衆衛生看護学(日本公衆衛生学会 災害・緊急時公衆衛生活動委員会 委員))

演者：防災×保健の協働：保健師が事前防災に関わる意義

岩本 萌(東北大学大学院医学系研究科)

厚生労働省における防災部門等との連携について

後藤 友美(厚生労働省健康・生活衛生局健康課保健指導室)

静岡県富士市を対象とした『お母さんお父さん教室』での事前防災の行動変容に向けた取り組み

藤本 慎也(東北大学災害科学国際研究所)

防災×保健の協働を促進させるためのプラットフォームの構築

大類 真嗣(東北大学災害科学国際研究所(日本公衆衛生学会 災害・緊急時公衆衛生活動委員会 委員))

◆シンポジウム 23

10月29日(木) 10:10~11:25 第8会場(京王プラザホテル 42F 富士)

疫学的視点から歯科口腔疾患のニーズを再考する

座長：田口 円裕(東京歯科大学 水道橋病院・歯科医療政策学)

長 優子(江戸川区健康部健康サービス課 中央健康サポートセンター)

演者：近年の歯科口腔疾患のニーズの考え方：McKeown 論と GBD study

相田 潤(東京科学大学 大学院医歯学総合研究科 歯科公衆衛生学分野)

医療計画と公的データの実際

種村 崇(静岡県 健康福祉部健康局 健康増進課 地域支援班)

NDB オープンデータなどを活用した需要とニーズの見方について

石丸 美穂(東京科学大学 大学院医歯学総合研究科 歯科公衆衛生学分野)

◆シンポジウム 24

10月29日(木) 12:55~14:10 第8会場(京王プラザホテル 42F 富士)

食事調査における“定量的評価”の重要性

座長：佐々木 敏(東京大学)

中村美詠子(医薬基盤・健康・栄養研究所)

演者：食事の定量的評価と食事摂取基準

朝倉 敬子(東邦大学)

陰膳法を用いた食事調査による定量的評価とその実際

龍田 希(国立環境研究所)

写真併用3日間食事記録調査を用いたコホート研究からの知見

大塚 礼(国立長寿医療研究センター)

食事記録調査と生体指標のコラボレーション

松本 麻衣(医薬基盤・健康・栄養研究所)

◆シンポジウム 25

10月29日(木) 14:25~15:40 第8会場(京王プラザホテル 42F 富士)

信頼できる医療情報をどう探し、どう届けるかー当事者・医療者・公的情報発信の役割ー

座長：井花 庸子(国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター)

堀抜 文香(国立がん研究センター)

演者：「正しい医療情報はなぜ届かないのか」ー患者・家族の視点から考える医療情報環境ー

大澤 裕子(NPO 法人親子に寄り添う連携支援プロジェクト)

SNS 患者コミュニティは医療情報環境にどのような役割を持つかー1 型糖尿病コミュニティの実践からー

能勢 謙介(iVOX 運営)

診察室の外へ医療情報を届けるー小児医療アプリ「教えて！ドクター」の実践ー

坂本 昌彦(JA 長野厚生連 佐久総合病院佐久医療センター 小児科)

信頼できる医療情報をどう実現するかーナショナルセンターにおける疾患横断的医療情報発信と質保証ー

藤岡 泉(国立成育医療研究センター)

◆シンポジウム 26

10月29日(木) 15:55~17:10 第8会場(京王プラザホテル 42F 富士)

相互に影響し合う事象がつくる世界の未来を予測するシステムダイナミクスモデルの活用

座長：藤原 武男(東京科学大学 大学院医歯学総合研究科 公衆衛生学分野)

富永 京子(立命館大学 産業社会学部現代社会学科)

演者：なぜ System Dynamics Model を使うのか？

菖蒲川由郷(東京科学大学 未来社会創成研究院)

疫学解析、System Dynamics Model、Agent Based Model の違い

那波 伸敏(東京科学大学 大学院医歯学総合研究科 地球環境医学分野)

System Dynamics Model を活用した研究事例

西 信雄(聖路加国際大学 大学院公衆衛生学研究科)

環境保健およびプラネタリーウェルビーイングにおける System Dynamics Model の実例

西村 久明(東京科学大学 大学院医歯学総合研究科 公衆衛生学分野)

◆シンポジウム 27

10月29日(木) 10:10~11:25 第9会場(京王プラザホテル 42F 高尾)

感染症に強い地域づくりー人材の確保・育成と地域ネットワークの構築ー

座長：中島 一敏(大東文化大学 スポーツ・健康科学部 健康科学科)

金成由美子(福島県県南保健所)

演者：地域ネットワーク構築を担う人材育成とその活用の検討

黒須 一見(国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所)

山梨県感染症対策センターにおけるインテリジェンス人材の確保と活用

大沼 恵(山梨県富士・東部保健福祉事務所(兼務：山梨県福祉保健部感染症対策センター))

Shiga HAI-Net の感染制御リーダーの育成とリーダー間ネットワークの構築

淡野 睦(滋賀県健康医療福祉健康危機管理課)

湖北地域における人材育成とネットワーク構築

有村 剛(湖北地域介護サービス事業者協議会)

◆シンポジウム 28

10月29日(木) 14:25～15:40 第9会場(京王プラザホテル 42F 高尾)

地域保健のための薬剤師の役割～緊急避妊薬の提供や学校保健を通じて～

座長：庄野あい子（昭和薬科大学）
阿部 真也（株式会社ツルハ）
演者：地域包括ケアシステム構築のための薬剤師の役割（仮）
狭間 研至（ファルメディコ株式会社）
薬機法改正による緊急避妊薬の調剤・販売（仮）
城戸真由美（調剤薬局ツルハドラッグ八勝通店）
地域で取り組む学校薬剤師（仮）
加藤 淳（おいのもり調剤薬局）
東京都における薬剤師に関わる政策の現状（仮）
調整中

◆シンポジウム 29

10月29日(木) 15:55～17:10 第9会場(京王プラザホテル 42F 高尾)

精神障害者が“地域で暮らし続ける”ために 経験専門家であるピアサポーターの意義

座長：柳 尚夫（岐阜県精神保健福祉センター）
稲葉 静代（岐阜県可茂保健所）
演者：精神保健分野における地域移行・地域定着の意義
海老名英治（厚生労働省精神・障害保健課）
ピアサポーターと共に築く未来
相川 章子（埼玉県立大学）
ピアサポートグループの運営を行政に活かして
杉山 更紗（大津市保健所）

◆シンポジウム 30

10月29日(木) 10:10～11:25 第10会場(京王プラザホテル 43F スターライト)

母子保健 DX 時代の乳幼児健診のあり方-精度管理と事後フォローアップ-

座長：山縣然太郎（国立成育医療研究センター）
村嶋 幸代（東京大学名誉教授）
演者：新たな乳幼児健診のあり方
田中 彰子（こども家庭庁成育局母子保健課）
レセプトを用いた精度管理
原間 大輔（山梨大学医学部小児科学講座）
ICT を活用した乳幼児健診
田口 敦子（慶應義塾大学看護医療学部地域看護学分野）
5歳児健診の現状と課題
永光信一郎（福岡大学医学部小児科学講座）

◆シンポジウム 31

10月29日(木) 13:10~14:25 第10会場(京王プラザホテル 43F スターライト)

多死社会の公衆衛生上の課題と葬儀社ガイドライン周知の取組み

- 座長：武藤 剛（東京女子医科大学医学部衛生学公衆衛生学）
高杉 友（近畿大学理工学部 社会環境工学科）
- 演者：御遺体を取扱う葬儀社に期待される感染対策の教育と実践（仮）
黒須 一見（国立健康危機管理研究機構（JIHS）国立感染症研究所）
葬儀社の室内環境衛生モニタリング結果と環境改善にむけて（仮）
鈴木 規道（千葉大学予防医学センター）
多死社会における遺族支援と葬儀社の役割：デス・リテラシーを高める（仮）
河口謙二郎（東京女子医科大学医学部衛生学公衆衛生学講座）
法医解剖からみる多死社会の実際と死因統計への寄与の可能性（仮）
猪口 剛（千葉大学大学院医学研究院法医学）

◆シンポジウム 32

10月29日(木) 14:40~15:55 第10会場(京王プラザホテル 43F スターライト)

郵送検査時代に考える！保健所・自治体のエイズ／性感染症対策における役割

- 座長：白井 千香（枚方市保健所）
剣 陽子（熊本県阿蘇保健所／健康福祉部健康危機管理課）
- 演者：改定予防指針から考える 自治体・保健所への期待
白阪 琢磨（国立病院機構大阪医療センター HIV/AIDS 先端医療開発センター／エイズ予防財団）
「届きにくい」層へいかにアプローチするか：MSM 向け郵送検査からみた、協働型アウトリーチの公衆衛生施策の実装
岩橋 恒太（特定非営利活動法人 akta）
地方における HIV 郵送検査モデルの実証研究から見えてきた課題
鄭 瑞雄（都立駒込病院感染症科）
自治体における HIV／性感染症検査の全体像と郵送検査の実際
兒玉とも江（岡山市保健所感染症対策課）

◆シンポジウム 33

10月29日(木) 16:10~17:25 第10会場(京王プラザホテル 43F スターライト)

「自然に健康になれる環境づくり」ビジネスの最前線—エビデンスから実装まで—

- 座長：近藤 尚己（京都大学大学院医学研究科）
野村 恭子（秋田大学大学院医学系研究科）
- 演者：特定保健指導の場を活用した社会的処方デジタルプラットフォーム
古市 恭久（株式会社日立製作所）
保険販売員による社会的処方サービスの研究について
甲斐 裕子（公益財団法人明治安田厚生事業団体力医学研究所）
行動科学の手法を応用したエンタメ型健康づくりサービス「健診戦」
松本 友里（株式会社博報堂）
「健診戦」の効果に繰り返し参加は必要か：参加頻度による効果の違いの検討—縦断研究—
永田 英恵（京都大学大学院医学研究科）

◆シンポジウム 34

10月30日(金) 12:40~13:55 第2会場(京王プラザホテル 5F コンコードB)

地域包括ケアを展開するための健診・検診事業の位置づけと、地域医療と公衆衛生の協働

- 座長：宇田 英典（地域医療振興協会）
川畑 輝子（地域医療振興協会 地域医療研究所）
- 演者：健康寿命の延伸に向けた地域医療と公衆衛生の協働と健診・検診の新たな役割
尾島 俊之（浜松医科大学 医学部 医学科 健康社会医学講座）
地域における健診事業の現状と今後の方向性
宮原 広典（鹿児島厚生連病院）
へき地を支えるユニバーサルサービスとしての健診・予防医療
杉田 義博（地域医療振興協会 日光市民病院）
健診を入り口とした地域貢献—医療施設における特定保健指導推進の取組—
川畑 輝子（地域医療振興協会 地域医療研究所）

◆シンポジウム 35

10月30日(金) 14:10~15:25 第2会場(京王プラザホテル 5F コンコードB)

健康危機管理の基軸である市町村と保健所で創る新たな公衆衛生

- 座長：宇田 英典（公益社団法人 地域医療振興協会）
河西あかね（一般財団法人 日本公衆衛生協会 健康危機管理支援部）
- 演者：災害時の公衆衛生対策における保健所の役割
藤内 修二（大分県 東部保健所）
海老名市における健康危機保健活動
澁谷 晶子（神奈川県 海老名市保健福祉部健康推進課）
調布市における健康危機管理の体制づくり ～危機管理監の立場から～
有松 勝行（東京都 調布市総務部総合防災安全課）

◆シンポジウム 36

10月30日(金) 8:30~9:45 第3会場(京王プラザホテル 5F コンコードA)

健康危機対応の人材育成・備えの新展開：実践力とオールハザード共通基盤

- 座長：赤星 昂己（国立健康危機管理研究機構 危機管理・運営局 DMAT 事務局）
今中 雄一（京都大学大学院医学研究科 ヘルスセキュリティセンター 健康危機管理システム学分野／社会健康医学系専攻 医療経済学分野）
- 演者：災害等危機管理専門家養成コース（CMTP）の新たな展開
赤星 昂己（国立健康危機管理研究機構 危機管理・運営局 DMAT 事務局）
Field Epidemiology Training Program Japan（FETP-J）の新たな展開
島田 智恵（国立健康危機管理研究機構国立感染症研究所）
内閣府（防災）または「防災庁」による避難支援力強化の展開
水野 忠幸（内閣府）
健康危機管理人材育成の履修証明プログラムと院生向けプログラムの新たな展開
今中 雄一（京都大学大学院医学研究科 ヘルスセキュリティセンター 健康危機管理システム学分野／社会健康医学系専攻 医療経済学分野）

◆シンポジウム 37

10月30日(金) 10:00~11:15 第3会場(京王プラザホテル 5F コンコードA)

グローバル社会における感染症疫学のアップデート

座長：白井 千香(枚方市保健所)

杉下 由行(東京都保健医療局)

演者：グローバル社会における麻疹・風疹対策—排除維持を支える国内の疫学・検査・行政連携

砂川 富正(JIHS 感染症応用疫学研究センター)

梅毒の世界的流行とトレポネーマの分子疫学

川畑 拓也(大阪健康安全基盤研究所)

分子疫学調査を踏まえた外国生まれ結核患者の実地疫学調査について

藤山 理世(神戸市保健所)

指定発言

座間 智子(結核予防会結核研究所)

◆シンポジウム 38

10月30日(金) 12:40~13:55 第3会場(京王プラザホテル 5F コンコードA)

自治体における高齢者を対象とした呼吸器感染症予防ワクチン接種率向上の意義と課題

座長：角野 文彦(藍野大学)

福島 若葉(大阪公立大学大学院)

演者：高齢者における呼吸器感染症予防ワクチン接種の重要性 — 肺炎球菌ワクチンを中心に —

山本 寛(東京都健康長寿医療センター)

自治体として接種率を向上することの意義と医療上のインパクト — 高齢者における肺炎球菌・インフルエンザ・COVID 19 ワクチン接種率上昇が入院・医療費に与える影響 —

福田 治久(九州大学大学院)

予防接種制度からみた自治体施策 — 接種率を高めるための方法と課題(予防接種法上の定期接種 B 類疾病の論点を含む) —

坂元 昇(川崎市立看護大学大学院)

◆シンポジウム 39

10月30日(金) 14:10~15:25 第3会場(京王プラザホテル 5F コンコードA)

地域医療構想とロジックモデル 領域別の検討から医療提供体制への提言

座長：山名 隼人(自治医科大学)

小林 大介(滋賀医科大学)

演者：高度慢性期の視点から

猪飼 宏(京都府立医科大学)

ロジックモデルの導入の実行可能性は？ 高齢者救急の視点からの検討

清水沙友里(横浜市立大学)

介護の視点から

渡邊多永子(筑波大学)

急性期医療 DPC データと臨床指標の活用

国澤 進(京都大学)

◆シンポジウム 40

10月30日(金) 8:30~9:45 第4会場(京王プラザホテル 5F コンコードC)

食・地域・環境からみるプラネタリーヘルス

座長：依田 健志(川崎医科大学 公衆衛生学)

演者：プラネタリーヘルスを地域から捉え直す：国際保健への人類学的な示唆

Gergely Mohacsi(大阪大学大学院 人間科学研究科)

地域の食を通じた健康増進—フィールド栄養学の観点から

木村 友美(津田塾大学 学芸学部 多文化・国際協力学科)

スリランカにおける気候変動と住民生活環境からみる人間の健康

後藤 健介(大阪教育大学 健康安全教育系)

◆シンポジウム 41

10月30日(金) 10:00~11:15 第4会場(京王プラザホテル 5F コンコードC)

災害対応の基本は生活支援：「福祉」の重要性から

座長：松本 良二(千葉健生病院、元保健所長)

石田久美子(茨城県竜ヶ崎保健所)

演者：「災害関連死ゼロ」に向けて：板橋区と8県13自治体による「広域避難」体制の構築

遠藤 宏(東京都板橋区危機管理部部長)

避難所における災害時要配慮者の尊厳確保：国際比較から見る専門的ケア枠組みの必要性

北川 慶子(佐賀大学名誉教授/東北大学災害科学国際研究所特任教授/避難所・避難生活学会理事)

避難生活を支える災害時の福祉支援活動

鈴木 伸明(群馬県社会福祉協議会 災害福祉支援センター所長/群馬県災害福祉支援ネットワーク事務局/ぐんまDWAT事務局)

2025年災害法制改正と防災庁設置から考える被災者支援の変化

菅野 拓(大阪公立大学大学院文学研究科人間行動学専攻地理学教室准教授)

◆シンポジウム 42

10月30日(金) 12:40~13:55 第4会場(京王プラザホテル 5F コンコードC)

医療の重大な危機、これをどう乗り越えていくのか

座長：松本 良二(千葉健生病院、元保健所長)

石田久美子(茨城県竜ヶ崎保健所)

演者：人口急変動時代の医療のあり方を考える～医師会の立場から

松岡かおり(日本医師会常任理事/医療法人社団睦会いけだ病院院長)

患者・医療従事者・社会が「三方よし」となる医療制度改革の方向性

松江 英夫(社会構想大学院大学社会構想研究科教授)

医療と病院の再編を前に進める—データと合意形成でつくる持続可能性—

吉村 健佑(千葉大学医学部附属病院特任教授/次世代医療構想センター長)

医療と介護の連携が地域社会における医療を持続可能とする解決策

古元 重和(北海道大学大学院医学研究院社会医学分野医療政策評価学教授/前厚生労働省老健局老人保健課長)

◆シンポジウム 43

10月30日(金) 14:10~15:25 第4会場(京王プラザホテル 5F コンコードC)

ブロック訓練に学ぶ保健医療福祉調整本部の多様性と連携

- 座長：西田 敏秀（宮崎県延岡保健所）
池田 和功（和歌山県新宮保健所）
演者：栃木県における保健医療福祉調整本部の体制整備 ～保健医療福祉活動訓練を踏まえて～
早川 貴裕（栃木県安足健康福祉センター）
山口県における保健医療福祉調整本部の体制整備 ～中国ブロック DMAT 実働訓練での取り組み～
古賀 聖典（山口県立総合医療センター）
DMAT からみた行政本部体制との連携
千島佳也子（国立健康危機管理研究機構危機管理運営局 DMAT 事務局）

◆シンポジウム 44

10月30日(金) 15:40~16:55 第4会場(京王プラザホテル 5F コンコードC)

平常時の働きやすさと災害時の柔軟さを両立する保健所

- 座長：宮園 将哉（大阪府岸和田保健所）
原田 昌範（山口県防府保健所／山口県立総合医療センター）
演者：山口県防府保健所—DX化された保健所の運営—
市村 尚之（山口県柳井環境保健所／山口県立総合医療センター）
西宮市保健所一次のパンデミックに備えた執務室づくり—
福田 典子（西宮市保健所）
平常時と災害時をつなぐ保健所執務環境のアイデア
小林 健治（摂南大学理工学部建築学科）
災害時の保健所執務室に求められる機能—日常からつなぐ—
池内 淳子（摂南大学理工学部建築学科）

◆シンポジウム 45

10月30日(金) 17:10~18:25 第4会場(京王プラザホテル 5F コンコードC)

健康危機管理研究の最前線

- 座長：今中 雄一（京都大学大学院医学研究科 ヘルスセキュリティセンター 健康危機管理システム学分野／社会健康医学系専攻 医療経済学分野）
坪倉 正治（福島県立医科大学 放射線健康管理学講座）
演者：福島県の経験に学ぶ健康危機管理研究の最前線
坪倉 正治（福島県立医科大学 放射線健康管理学講座）
災害関連死研究の最前線
坪井 基浩（東北大学災害科学国際研究所災害医療国際協力学分野）
災害に備えるBCP（事業継続計画）研究
高橋 礼子（愛知医科大学災害医療研究センター）
サイレント・パンデミック（AMR）の経済評価
中尾 裕貴（京都大学大学院医学研究科 ヘルスセキュリティセンター 健康危機管理システム学分野）

◆シンポジウム 46

10月30日(金) 8:30~9:45 第5会場(京王プラザホテル 4F 錦)

公衆衛生活動は協働から共創の時代へ ～平均寿命が延伸した理由は対話?～

- 座長：前川 明宏（岩手県健康国保課）
岩室 紳也（ヘルスプロモーション推進センター）
演者：平時の対話環境が災害時の支え合いに、地域でつなぎ続けてきた“はまかだ運動”
佐々木亮平（岩手医科大学教養教育センター）
人と人とのつながりと、対話環境の醸成を通じた、健康な地域づくり
小澤 沙希（岩手県陸前高田市福祉部）
健康づくりは市民との協働から共創へ、地域のつながりで男性の市民活動活性化
森林友佳子（千葉県浦安市）

◆シンポジウム 47

10月30日(金) 12:40~13:55 第5会場(京王プラザホテル 4F 錦)

効果的で継続的な住民組織活動支援を考える

- 座長：村山 洋史（東京都健康長寿医療センター研究所社会参加とヘルシーエイジング研究チーム）
田口 敦子（慶應義塾大学看護医療学部）
演者：これまでの住民組織活動研究から見えてきたこと
村山 洋史（東京都健康長寿医療センター研究所社会参加とヘルシーエイジング研究チーム）
横浜市保健活動推進員活動の支援の実態と課題
久我 咲子（横浜市健康福祉局健康推進部健康推進課）
三条市における健幸づくり推進員活動について
味田さゆり（三条市福祉保健部健康づくり課）
暮らしに幸せを感じるまち HAPPYTOWN はとやまの挑戦
齋藤 芸路（鳩山町長寿福祉課地域包括支援センター）

◆シンポジウム 48

10月30日(金) 14:10~15:25 第5会場(京王プラザホテル 4F 錦)

地域に根ざした自殺対策の新展開 ―行政実践・全国データ・当事者参画から考える

- 座長：佐々木那津（東京大学大学院医学系研究科 精神保健学分野）
竹島 正（大正大学地域構想研究所 全国精神保健福祉連絡協議会）
演者：行政現場からみた自殺対策の実装と地域支援の実際
中村 征人（愛知県がんセンター地域医療連携・相談支援センター室長補佐）
全国精神保健福祉センター調査からみた地域自殺対策の実態と課題
島田 達洋（栃木県保健福祉部 精神保健福祉センター）
自殺研究における歴史アーカイブズと当事者参画
後藤 基行（立命館大学大学院 先端総合学術研究科）
自殺対策の次の10年を支える科学基盤―公衆衛生学・データ・政策の再接続―
野村 恭子（秋田大学医学部衛生学公衆衛生学講座）

◆シンポジウム 49

10月30日(金) 15:40~16:55 第5会場(京王プラザホテル 4F 錦)

2040年を待たずに進行中の常勤保健師ゼロ・急減の実態とその影響

座長：吉岡 京子（東京大学大学院医学系研究科地域看護学・公衆衛生看護学分野）

塩見 美抄（京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻）

演者：駐在保健師の歴史から学ぶ保健師ゼロ時代への示唆

木村 哲也（国立ハンセン病資料館事業部事業課）

小規模自治体だからこそ発揮できる強みと保健師への期待：事務職課長の視点から

小川 亮一（鋸南町役場保健福祉課）

保健師ゼロ自治体への派遣実践：現場の課題と対応の実例

市川 智美（福島県庁障がい福祉課）

保健師ゼロ・急減が健康指標に与える影響：小規模市町村を対象とした地域相関分析

兒玉 慎平（鹿児島大学医学部保健学科 地域包括看護学講座）

◆シンポジウム 50

10月30日(金) 17:10~18:25 第5会場(京王プラザホテル 4F 錦)

がん登録等の推進に関する法律改正でどう変わる？がん登録とがん対策

座長：大木いずみ（埼玉県立大学/日本がん登録協議会）

堀 芽久美（国立がん研究センターがん対策研究所がん登録センター利活用推進室）

演者：法改正とデータ連結時代におけるがん登録データの利活用と実装科学：エビデンスから実装へ

島津 太一（国立がん研究センターがん対策研究所行動科学研究部）

全国がん登録から導きだされた子宮頸がん高罹患地域の同定と予防啓発の社会実装

片山佳代子（群馬大学大学院情報学研究科/日本がん登録協議会）

市町村の支援を通してがん登録情報の利用を促進する：宮城モデルのご紹介

金村 政輝（宮城県立がんセンター研究所/日本がん登録協議会）

がん登録データ利活用の今とこれからーデータ連結時代に向けた展望ー

堀 芽久美（国立がん研究センターがん対策研究所がん登録センター利活用推進室）

◆シンポジウム 51

10月30日(金) 8:30~9:45 第6会場(京王プラザホテル 4F 扇)

大規模データで探る健康障害と関連要因：女性の健康課題に学ぶ研究立案からデータ解析

座長：荻田 香苗（杏林大学医学部衛生学公衆衛生学教室）

祖父江友孝（内閣府食品安全委員会）

演者：妊娠女性の健康課題：大気環境の影響を調べる疫学研究

道川 武紘（東邦大学医学部社会医学講座衛生学分野）

妊娠女性と乳幼児の健康課題：環境中化学物質の影響を調べる疫学研究

辻 真弓（産業医科大学医学部衛生学講座）

幼児期から老年期における失明の原因となる目の病気：近視・白内障に関する疫学研究

吉田 正雄（杏林大学医学部衛生学公衆衛生学教室）

既存データから見える不妊・更年期と女性の就労形態

錦谷まりこ（九州大学データ駆動イノベーション推進本部健康医療 DX 推進部門）

◆シンポジウム 52

10月30日(金) 10:00~11:15 第6会場(京王プラザホテル 4F 副)

エコチル調査の現状と今後：思春期以降の調査が解き明かす環境と健康の長期影響

座長：野見山哲生（信州大学・エコチル調査信州サブユニットセンター）

山崎 新（国立環境研究所・エコチル調査コアセンター）

演者：エコチル調査のこれまでと現在：成果と到達点

野見山哲生（信州大学）

参加者継続を支える取り組み：各ユニットセンターの実践と課題

伊藤 由起（名古屋市立大学・エコチル調査愛知ユニットセンター）

思春期以降の追跡の意義：環境と健康の長期影響解明の展望

辻 真弓（産業医科大学・エコチル調査産業医科大学サブユニットセンター）

エコチル調査が示す精密公衆衛生の可能性：大規模ゲノム解析から見える子どもの健康と発達

熊坂 夏彦（国立成育医療研究センター・東京大学）

◆シンポジウム 53

10月30日(金) 12:40~13:55 第6会場(京王プラザホテル 4F 副)

学校を基盤とした新たな研究基盤 — コンソーシアム構築に向けて

座長：甲田 勝康（関西医科大学 衛生・公衆衛生学講座）

森崎 菜穂（国立成育医療研究センター 社会医学研究部）

演者：学校を基盤とした研究の課題とコンソーシアムの必要性と今後の展望

石塚 一枝（国立成育医療研究センター 女性の健康総合センター ライフコース疫学研究室）

ヘルスプロモートिंगスクールの取り組みからみた学校保健研究の可能性

喜屋武 享（琉球大学医学部 保健学科 臨床心理・学校保健分野）

学校現場における体力データの利活用の可能性

城所 哲宏（日本体育大学 准教授）

子どもの骨密度と生活習慣

山北 満哉（山梨県立大学 看護学部 看護関連科学領域）

◆シンポジウム 54

10月30日(金) 15:40~16:55 第6会場(京王プラザホテル 4F 副)

職域における特定健康診査に尿ナトカリ比測定を実装する — 厚労省エビデンス構築事業

座長：三浦 克之（滋賀医科大学）

寶澤 篤（東北大学）

演者：事業概要と職域健診における尿ナトカリ比測定導入の課題およびその対応

小暮 真奈（東北大学）

職域健診を活用した尿ナトカリ比改善のための簡易保健指導（保健指導チームを代表して）

由田 克士（大阪公立大学）

職域における尿ナトカリ比低減のための食環境整備の実装戦略

坂口 景子（淑徳大学）

エビデンス構築事業における介入効果の評価（データ解析 WG を代表して）

久松 隆史（岡山大学）

◆シンポジウム 55

10月30日(金) 17:10~18:25 第6会場(京王プラザホテル 4F 扇)

政治・政策と現場をつないで進めるタバコ対策

座長：田淵 貴大(東北大学)

大和 浩(産業医科大学)

演者：みなさんのタバコ対策へのニーズを踏まえて我々はどうすればいいのか

齋藤 順子(帝京大学)

格差問題とタバコ対策、根拠に基づく政策立案：日本にタバコ議連があるという現実を踏まえてどうすればよいのか？

佐藤 豪竜(慶應義塾大学)

健康増進法のさらなる改正に向けて：保健医療科学院での取り組みの紹介も

牛山 明(国立保健医療科学院)

国会議員がタバコ対策を進めるための協働とは？

梅村さとし(衆議院)

◆シンポジウム 56

10月30日(金) 8:30~9:45 第7会場(京王プラザホテル 3F グレース)

周産期メンタルヘルス：精神疾患のある人の妊娠から子育ての支援

座長：蔭山 正子(大阪大学大学院医学系研究科公衆衛生看護学)

横山 恵子(横浜創英大学看護学部)

演者：周産期メンタルヘルスにおける保健センター保健師と精神科の協働

根本 清貴(筑波大学医学医療系 医療情報マネジメント学・精神医学)

宮城県の妊産婦メンタルヘルスネットワーク構築事業

菊地 紗耶(東北大学大学院医学系研究科 精神神経学分野)

訪問看護を通じた周産期のメンタル支援の実際

大場 エミ(一般社団法人 親と子の支援 ゆりかご会 ゆりかご訪問看護ステーション)

精神疾患で育児中の親の配偶者と子どもの支援

横山 恵子(横浜創英大学看護学部)

◆シンポジウム 57

10月30日(金) 10:00~11:15 第7会場(京王プラザホテル 3F グレース)

どう進める？市区町村における地域・職域連携～伴走支援で見えてきた進め方のポイント

座長：津下 一代(日本栄養大学)

渡井いずみ(浜松医科大学)

演者：昼間人口の多い都心部における取り組み

田中 政行(東京都港区みなと保健所)

地方ベッドタウン市における取り組み

尾崎伊都子(名古屋市立大学)

管轄保健所の立場から連携と支援

松本 繁(愛知県春日井保健所)

温泉観光都市における取り組み

井原 美恵(静岡県伊東市)

◆シンポジウム 58

10月30日(金) 12:40~13:55 第7会場(京王プラザホテル 3F グレース)

子どもに届けるからだの知識：未就学児・若年層から行う生活習慣病予防の早期介入

- 座長：各務 竹康（福島県立医科大学 医学部 衛生学・予防医学講座）
寺脇 博之（聖路加国際大学臨床検査科／福島県立医科大学先端地域生活習慣病治療講座）
演者：保護者の健康意識向上をも志向する「ボトムアップ型健康啓発活動」
磯山 優（帝京大学経済学部経営学科）
大学におけるウェルネスと生活習慣病の実態
山本眞由美（岐阜大学保健管理センター）
小学生を対象にした健康啓発授業と「ビオトープ」
嘉村 正徳（嘉村医院）
未就学児～小学校低学年を対象にした「からだフェスティバル」
中村めぐみ（聖路加国際大学国際・地域連携部）

◆シンポジウム 59

10月30日(金) 8:30~9:45 第8会場(京王プラザホテル 42F 富士)

自治体の身体活動・運動促進：最新エビデンスと実装の実際

- 座長：菊池 宏幸（東京医科大学 公衆衛生学分野）
菊池可南子（慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科）
演者：ソーシャルマーケティングを用いた普及事業（身体活動普及ガイド／雲南省の事例より）
鎌田 真光（東京大学大学院医学系研究科 公共健康医学専攻 健康教育・社会学分野）
システムズアプローチの視点（神奈川県藤沢市の事例を踏まえて）
小熊 祐子（慶應義塾大学スポーツ医学研究センター・大学院健康マネジメント研究科）
健康日本21（第三次）におけるロジックモデルとその活用
井上 茂（東京医科大学 公衆衛生学分野）
運動習慣化に向けて自治体に期待される役割とスポーツ庁の支援策
中村 宇一（スポーツ庁 健康スポーツ課）

◆シンポジウム 60

10月30日(金) 10:00~11:15 第8会場(京王プラザホテル 42F 富士)

賛否の分かれる公衆衛生対策に関するディベート

- 座長：尾崎 米厚（鳥取大学医学部 医学科 社会医学講座 環境予防医学分野）
演者：プレコンセプションケア健診の行政支援の是非
高橋美保子（埼玉医科大学医学部社会医学）
プレコンセプションケア健診の行政支援の是非
郡山 千早（鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 疫学・予防医学）
未成年（16歳未満）のSNS使用制限の是非
横川 博英（順天堂大学医学部総合診療科学講座）
未成年（16歳未満）のSNS使用制限の是非
弓屋 結（広島大学 大学院医系科学研究科公衆衛生学）

◆シンポジウム 61

10月30日(金) 12:45~14:00 第8会場(京王プラザホテル 42F 富士)

自治体公衆衛生医師確保につなげる！理想のインターンシップ！

座長：名越 究（島根大学）

町田 宗仁（国立保健医療科学院）

演者：自治体の公衆衛生医師確保対策の現在

平本 恵子（広島県西部厚生環境事務所・保健所）

若手医師が自治体採用に至るまでの道のりについて

菊地 省大（東京都保健医療局感染症対策部）

インターンシップ成功の秘訣とは

牛山佳菜代（目白大学）

将来的な自治体公衆衛生医師需給見通しと対策の必要性

河野 洋平（厚生労働省健康・生活衛生局健康課地域保健室）

◆シンポジウム 62

10月30日(金) 8:30~9:45 第9会場(京王プラザホテル 42F 高尾)

注目すべき睡眠障害 睡眠呼吸障害、不眠、COMISA

座長：和田 裕雄（順天堂大学医学部 公衆衛生学講座）

有馬 久富（福岡大学医学部 衛生・公衆衛生学講座）

演者：小児の睡眠問題と持続的注意

朱 沁曄（順天堂大学医学部 公衆衛生学講座）

医学部学生の子どものSASの有病率

西島 嗣生（岩手医科大学医学部 睡眠医療学科）

子どもの精神状態は睡眠による？

松岡美智子（久留米大学医学部 神経精神医学講座）

COMISAって何？

吉村 力（福岡大学病院 睡眠センター）

◆シンポジウム 63

10月30日(金) 10:00~11:15 第9会場(京王プラザホテル 42F 高尾)

戦略的な思考に基づく栄養政策・施策の展開 ～行政管理栄養士の人材育成の視点から～

座長：由田 克士（大阪公立大学大学院 生活科学研究科 食栄養学分野 公衆栄養学）

諸岡 歩（兵庫県保健医療部健康増進課）

演者：行政管理栄養士に求める公衆衛生戦略～地域活動と地域づくりの視点から～

藤内 修二（大分県東部保健所）

政策形成・企画発想能力を高め、栄養政策・施策を戦略的に展開する

久保 彰子（日本栄養大学 栄養学部）

公衆衛生専門管理栄養士を実践現場にいかす ～都道府県の立場から～

木原 葵（兵庫県伊丹健康福祉事務所）

公衆衛生専門管理栄養士を実践現場にいかす ～市町村の立場から～

市川 祐子（神奈川県伊勢原市健康づくり課）

◆シンポジウム 64

10月30日(金) 12:45~14:00 第9会場(京王プラザホテル 42F 高尾)

地理情報科学で拓く行政保健師の実践と学術

座長：堀池 諒(奈良県立医科大学 公衆衛生看護学領域)

演者：「地図が変える保健師活動」—QGISを用いた地域課題の可視化と実践(避難所配置から健康資源到達圏解析へ)—

長井 菜月(京都市伏見区役所保健福祉センター)

データで支える地域保健～全国から市町村単位まで QGIS で見える化～

佐藤めぐみ(現所属：大阪府和泉保健所)

マクロな指標とミクロな地域支援を「つなぐ」～GISを用いた脆弱性視覚化から考える～

星 翼(埼玉県南部保健所)

◆シンポジウム 65

10月30日(金) 14:15~15:30 第9会場(京王プラザホテル 42F 高尾)

PHRを社会実装する：産官学民連携と現場の協働

座長：石見 拓(京都大学大学院予防医療学)

阿部 達也(株式会社ヘルステック研究所)

演者：地域におけるPHR-EHR連携基盤づくり：産官学民ですすめるPHRハブの社会実装

小松 雅代(京都大学大学院医学研究科予防医療学)

健康日記アプリ・リサーチマネージャーを活用したPHRの有効性の検証：ランダム化比較試験

高橋 由光(京都大学大学院医学研究科パブリックヘルス実装学)

PHRによる地域医療連携での活用事例で紹介：ヘルスケアパスポート plus

宮内 康裕(TIS株式会社)

生活習慣病・循環器病管理PHRアプリの開発と社会実装：三重における取組を全国へ

伊藤 弘将(三重大学大学院医学系研究科循環器・腎臓内科学)

◆シンポジウム 66

10月30日(金) 8:30~9:45 第10会場(京王プラザホテル 43F ムーンライト)

大規模イベントにおける公衆衛生対応の実践と体制強化—レガシーの継承と発展

座長：富尾 淳(国立保健医療科学院)

齋藤 智也(国立健康危機管理研究機構国立感染症研究所)

演者：大規模イベントにおける公衆衛生対応

富尾 淳(国立保健医療科学院)

大阪・関西万博感染症情報解析センターの取り組みとその振り返り

福住 宗久(大阪健康安全基盤研究所)

愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会における自治体の取り組み

小嶋 雅代(名古屋市健康福祉局)

大規模イベントにおけるリスクコミュニケーション

加藤 美生(国立健康危機管理研究機構国立感染症研究所)

◆シンポジウム 67

10月30日(金) 10:00~11:15 第10会場(京王プラザホテル 43F ムーンライト)

Sustainable mining (持続可能な鉱業) に関する教訓と国際動向

座長: 山本 秀樹(帝京大学 薬学部 環境衛生学研究室)

津田 洋子(帝京大学 大学院公衆衛生学研究科)

演者: 足尾銅山の歴史と健康被害と対策の歴史

津田 洋子(帝京大学 大学院公衆衛生学研究科)

Zambia 共和国コッパーベルト州における公衆衛生上の課題とコッパーベルト大学における Sustainable mining に関する取り組み

立山由紀子(帝京大学 薬学部 環境衛生学研究室)

三井三池炭鉱の粉じん爆発やじん肺などの健康被害から学ぶ教訓と大牟田市の取り組みについて

浅山 敬(帝京大学 医学部 衛生学公衆衛生学講座)

モンゴルにおける鉱山開発と鉱山労働者の健康保護のための国際的連携

石丸 知弘(産業医科大学 医学部医学概論研究室)

◆シンポジウム 68

10月30日(金) 13:00~14:15 第10会場(京王プラザホテル 43F ムーンライト)

私たちの EBPM は実装可能かー データに現れない集団の健康を考える

座長: 西岡 大輔(神戸大学大学院医学系研究科 社会健康公正学部門)

上野 恵子(金沢大学)

演者: 公衆衛生学と社会福祉学の接点を探求する

西岡 大輔(神戸大学)

生活困窮者における食事の質に関する定量的研究: 公衆衛生の立場から

田中 琴音(神奈川県立保健福祉大学)

生活保護制度の狭間と支援の工夫: 福祉事務所行政の立場から

樋口 明夫(所属なし(元自治体福祉事務所長))

生活困窮者の健康・生活を捉える質的研究と混合研究: 社会福祉の立場から

林 慎吾(東北大学)

◆シンポジウム 69

10月30日(金) 14:30~15:45 第10会場(京王プラザホテル 43F ムーンライト)

ソーシャルワークと連携せずに健康づくりができるか? 保健と福祉の協働に向けて

座長: 西岡 大輔(神戸大学大学院医学系研究科 社会健康公正学部門/日本医療ソーシャルワーカー協会)

演者: 周産期における親子の健康な暮らしと支援の連続性を保障する取り組み: 病院起点のソーシャルワーク実践

佐藤 杏(東京大学医学部附属病院/日本医療ソーシャルワーカー協会)

こどもたちのチャレンジが地域を変える: 診療所起点のソーシャルワーク実践

戸泉めぐみ(オレンジホームケアクリニック SW/Orange Kids' Care Lab. 代表理事)

福祉事務所職員の理解を更新する: 行政起点のソーシャルワーク実践

上田 勲(豊中市保健所)

◆シンポジウム 70

10月31日(土) 8:30~9:45 第2会場(京王プラザホテル 5F コンコードB)

デジタルバイオマーカーの公衆衛生的意義

座長：高田 礼子(聖マリアンナ医科大学 予防医学教室)

杉山 雄大(筑波大学 ヘルスサービス開発研究センター)

演者：ウェアラブルデバイスを用いた住民の血圧・循環器リスク管理の可能性

矢野裕一朗(順天堂大学医学部 総合診療科学講座)

腕時計型ウェアラブルデバイスを用いた孤独感、倦怠感、抑うつ、生活の質(QOL)などの推定

泉 啓介(株式会社テックドクター、慶應義塾大学医学部リウマチ・膠原病内科、東京医療センター)

ウェアラブルデバイス・デジタルバイオマーカーの産業保健での活用可能性

大神 明(産業医科大学産業生態科学研究所 作業関連疾患予防学)

ウェアラブルデバイス・デジタルバイオマーカーに関する法政策

藤田 卓仙(東京財団)

◆シンポジウム 71

10月31日(土) 10:00~11:15 第2会場(京王プラザホテル 5F コンコードB)

公衆衛生領域における施策・事業の社会的インパクト評価の普及に向けて

座長：近藤 克則(千葉大学 予防医学センター / 一般財団法人 医療経済研究・社会保険福祉協会 医療経済研究機構)

演者：PFS/SIB における成果評価の取り組み事例

高木 大資(京都大学大学院医学研究科社会的インパクト評価学講座)

施策・事業効果の貨幣価値換算

河口謙二郎(東京女子医科大学医学部医学科)

“支援”の現場との協働による社会的インパクト評価設計の試み

川内はるな(京都大学大学院医学研究科社会的インパクト評価学講座)

公衆衛生領域における社会的インパクト評価ガイドラインの提案

石村 奈々(京都大学大学院医学研究科社会的インパクト評価学講座)

◆シンポジウム 72

10月31日(土) 12:40~13:55 第2会場(京王プラザホテル 5F コンコードB)

健康を入口としない多様な社会資源との接続による新たな地域支援事業のアプローチ

座長：藤原 佳典(東京都健康長寿医療センター研究所)

澤岡 詩野(東海大学健康学部)

演者：地域支援事業における多様な社会資源の活用の可能性

植田 拓也(東京都健康長寿医療センター研究所)

空き家活用による多様な居場所の創出：建築学的視点から

三浦 研(京都大学大学院工学系研究科建築学専攻)

まちづくり・地域活性化施策を通じたコミュニティ形成・Well-being への波及：京都市の事例から

葛城 優美(京都市総合企画局人口戦略室)

文化財を活かした地域づくりと多様な関わりの創出：都留市の取組から

知念 浩生(都留市教育委員会生涯学習課)

◆シンポジウム 73

10月31日(土) 14:10~15:25 第2会場(京王プラザホテル 5F コンコードB)

大学・企業・地域が共創する未来型住民コホートの構築に向けて：山梨 COI-NEXT

- 座長：後藤 温（横浜市立大学大学院医学研究科公衆衛生学教室）
大岡 忠生（山梨大学大学院総合研究部医学域社会医学講座）
- 演者：世界最大規模の住民オミックス IoT コホート・バイオバンクの構築に向けた取り組み
大岡 忠生（山梨大学大学院総合研究部医学域社会医学講座）
自治体データ統合による健康介入の医療経済評価とデジタルツイン構築の展望
福田 治久（九州大学大学院医学研究院医療経営・管理学講座）
低侵襲代謝センサーと IoT デバイスによるリアルタイム代謝モニタリングの実現に向けて
鶴岡 典子（東北大学大学院工学研究科・工学部ロボティクス専攻）
居住環境のオミックス統合解析に基づく生活環境病の機序解明と健康まちづくりへの応用
海塩 渉（東京科学大学 環境・社会理工学院建築学系）

◆シンポジウム 74

10月31日(土) 8:30~9:45 第3会場(京王プラザホテル 5F コンコードA)

グローバルな健康課題に貢献する公衆衛生

- 座長：大澤 絵里（国立保健医療科学院）
宮野 真輔（順天堂大学）
- 演者：Essential Public Health Functions の世界的議論とグローバルヘルスに貢献しうる公衆衛生看護
五十嵐久美子（国立保健医療科学院）
日本の地域における公衆衛生の実践からグローバルヘルスへの示唆
四方 啓裕（福井県若狭健康福祉センター）
低所得国におけるコミュニティ・ヘルスを担う人材とその実践に関する制度的分析
虎頭 恭子（国立健康危機管理研究機構国際協力局）
UHC 達成に貢献する看護人材の役割～State of the World's Nursing 2025 および Global Strategic Directions for Nursing and Midwifery 2030 から
穴見（秋元）翠（World Health Organization Regional Office for the Western Pacific）

◆シンポジウム 75

10月31日(土) 10:00~11:15 第3会場(京王プラザホテル 5F コンコードA)

国の健康医療政策における行政担当者と研究者の協働を考える

- 座長：東 尚弘（東京大学医学系研究科公衆衛生学分野）
後藤 温（横浜市立大学医学部医学科 公衆衛生学教室）
- 演者：座長趣旨説明— 行政と研究の協働における課題
東 尚弘（東京大学医学系研究科公衆衛生学分野）
子ども家庭庁と研究者の連携体制の今
竹原 健二（国立成育医療研究センター政策科学研究部）
厚生労働省における研究者との連携方法
荒木 裕人（厚生労働省大臣官房厚生科学課）
厚生労働省における研究者との連携事例
鶴田 真也（厚生労働省健康・生活衛生局がん・疾病対策課）

◆シンポジウム 76

10月31日(土) 12:40~13:55 第3会場(京王プラザホテル 5F コンコードA)

精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けて～自殺対策の実践と連携から

- 座長：伊東千絵子（奈良県精神保健福祉センター）
辻本 哲士（滋賀県立精神保健福祉センター）
演者：「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」構築における現状と課題～施策横断的な視点から
野口 正行（岡山県精神保健福祉センター）
精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築への展望-地域における包括的な自殺対策の実践から-
遠藤 仁（岩手県精神保健福祉センター）
「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」を支える自殺未遂者支援という地域支援インフラ
西畑 陽介（堺市こころの健康センター）

◆シンポジウム 77

10月31日(土) 14:10~15:25 第3会場(京王プラザホテル 5F コンコードA)

健康を支える身近な生活環境づくり

- 座長：牛山 明（国立保健医療科学院 生活環境研究部）
森田 明美（鳥取大学医学部 社会医学講座 健康政策医学分野）
演者：居住環境と健康—自然素材による健康増進に関する実験と疫学研究—
東 賢一（近畿大学大学院 医学研究科 予防医学・行動科学）
被服環境と健康：身近な生活環境としての衣服とその調節機能
深沢太香子（京都教育大学 教育学部 家政科）
気候変動と生活環境—子どもや高齢者の生活習慣と健康への影響—
増本 年男（鳥取大学医学部 社会医学講座 健康政策医学分野）

◆シンポジウム 78

10月31日(土) 8:30~9:45 第4会場(京王プラザホテル 5F コンコードC)

地域保健における“伝える力”の進化：科学的知見を社会的合意につなげる実践知

- 座長：上原 里程（国立保健医療科学院）
清野 薫子（国立保健医療科学院）
演者：健康情報はいかにして住民の手に届く～「しまね MAME インフォ」を通して明らかになったこと
名越 究（鳥根大学医学部環境保健医学講座）
AI時代にこそ求められる伝える技術：基礎からナッジ理論の応用まで
福田 吉治（帝京大学大学院公衆衛生学研究科）
「伝える」を保健活動として実装する—対人支援における実践
奥田 博子（国立保健医療科学院）

◆シンポジウム 79

10月31日(土) 12:10~13:25 第4会場(京王プラザホテル 5F コンコードC)

幼少期から青年期までを繋ぐ Well-being：データと対話で支える成長

- 座長：宮崎 智之（横浜市立大学）
玉腰 暁子（北海道大学）
演者：就学前から切れ目なく子どもの発達とウェルビーイングを見守り・支えるデータ技術開発
千住 淳（浜松医科大学）
GIGA 端末を用いた小中学生のこころの状態把握とそれに基づく学校支援
石井 美緒（横浜市立大学）
特徴の異なる地域の高校生のライフデザイン
木村 尚史（国立環境研究所）

◆シンポジウム 80

10月31日(土) 8:30~9:45 第5会場(京王プラザホテル 4F 錦)

地域におけるオーラルフレイル対策の戦略的位置づけ

- 座長：福田 英輝(国立保健医療科学院)
大浦 智子(国立研究開発法人国立長寿医療研究センター)
演者：歯科口腔保健の推進におけるオーラルフレイル対策の位置づけ
小嶺 祐子(厚生労働省医政局歯科保健課)
オーラルフレイル対策を推進する学術的根拠とその実践例
竹内 研時(東北大学大学院歯学研究科)
地域包括ケアにおけるオーラルフレイル対策の意義と位置づけ
渡辺修一郎(桜美林大学健康福祉学群)
高齢者対策の中で展開するオーラルフレイル対策の実践
清水 裕子(埼玉県志木市子ども・健康部)

◆シンポジウム 81

10月31日(土) 10:00~11:15 第5会場(京王プラザホテル 4F 錦)

持続可能な食環境とまちづくり：エビデンスと地域実践からの示唆

- 座長：岡田 知佳(医薬基盤・健康・栄養研究所 栄養疫学・政策研究センター 栄養疫学研究室)
伊東 秀之(医薬基盤・健康・栄養研究所 産官学連携研究センター)
演者：健康的な食環境づくりに向けた食情報活用の展開
岡田 知佳(医薬基盤・健康・栄養研究所 栄養疫学・政策研究センター 栄養疫学研究室)
データヘルスを活用した持続可能な食環境の構築
古井 祐司(東京大学未来ビジョン研究センター/自治医科大学)
食環境づくりに向けた産官学連携・食環境プロジェクトの取り組み
北岡かおり(医薬基盤・健康・栄養研究所 産官学連携研究センター 研究連携推進室)
ひょうご健康的な食環境づくりプロジェクト(BE WELL)の推進
諸岡 歩(兵庫県保健医療部健康増進課)

◆シンポジウム 82

10月31日(土) 12:40~13:55 第5会場(京王プラザホテル 4F 錦)

生涯健康支援 10 を用いた CKM 症候群ステージ別包括的な予防方法の開発

- 座長：加藤 有花(国立循環器病研究センター)
小久保喜弘(国立循環器病研究センター)
演者：生涯健康支援 10 を用いた CKM 症候群ステージ別包括的な予防方法：吹田研究
加藤 有花(国立循環器病研究センター)
心不全重症化予防事業の富良野での取り組み
森 雄一郎(京都大学大学院医学研究科 社会健康医学系専攻 健康増進・行動学分野)
心不全重症化予防事業の港区での取り組み
加藤 祐子(心臓血管研究所附属病院循環器内科心不全)
心不全重症化予防事業の宮古島での取り組み
池原 賢代(琉球大学医学部保健学科疫学・行動科学研究室)

◆シンポジウム 83

10月31日(土) 14:10~15:25 第5会場(京王プラザホテル 4F 錦)

公的統計データの公衆衛生・疫学研究への活用：+αの分析を目指して

座長：小林 廉毅(東京大学)

演者：国勢調査と人口動態統計のデータリンケージ分析

田中 宏和(国立がん研究センター がん対策研究所)

地理的な社会経済状況と死亡率・健康寿命・がん検診の分析

片岡 葵(神戸大学大学院医学系研究科)

がん死亡率の将来予測と介入効果のシミュレーション

福井 敬祐(関西大学社会安全学部)

看護配置情報とDPCデータ分析による病院看護師の人員不足と患者アウトカムの分析

森岡 典子(国立保健医療科学院疫学・統計研究部)

◆シンポジウム 84

10月31日(土) 8:30~9:45 第6会場(京王プラザホテル 4F 扇)

助けを求められない人への支援：8050問題を考える

座長：長谷部雅美(聖学院大学 心理福祉学部)

中島 修(文京学院大学 人間学部人間福祉学科)

演者：地域高齢者調査から捉える8050問題の実態と援助要請

山崎 幸子(文京学院大学 人間学部心理学科)

中高年のひきこもり支援の現状と課題について

阿部 達明(NPO 法人楽の会リーラ)

8050問題における居宅介護支援員の役割と期待とミスマッチ

石井 正宏(NPO 法人パノラマ)

助けを求められない人と社会をつなぐには

村山 陽(東京都健康長寿医療センター研究所 社会参加とヘルシーエイジング研究チーム)

◆シンポジウム 85

10月31日(土) 10:00~11:15 第6会場(京王プラザホテル 4F 扇)

人獣共通・輸入感染症2026【学会モニタリングレポート委員会感染症等班報告 R8】

座長：緒方 剛(筑波大学医学群)

伊東 則彦(北海道名寄保健所(兼)紋別保健所)

演者：輸入感染症TB2026他(外国出生結核患者の昨年の動向)等

大角 晃弘(Research Institute of Tuberculosis (RIT), Japan Anti-Tuberculosis Association (JATA))

エキノコックス2026他

孝口 裕一(北海道立衛生研究所感染症部医動物G)

エゾウイルス2026他

松野 啓太(北海道大学人獣共通感染症国際共同研究所)

STD他2026(STD;人獣共通感染症、輸入感染症の視点を踏まえて)等

城所 敏英(日本公衆衛生学会モニタリングレポート委員会感染症等班員)

◆シンポジウム 86

10月31日(土) 12:40~13:55 第6会場(京王プラザホテル 4F 副)

デジタル社会における親子のスマホ・ネット依存予防

- 座長：瀬在 泉（防衛医科大学校医学教育部看護学科）
山田 正明（富山大学医学部 疫学健康政策学講座）
演者：ネット依存は脳に害？（仮）
山田 正明（富山大学医学部 疫学健康政策学講座）
保護者のネット依存と子どもの発育・発達との関連（仮）
榊原 文（島根大学医学部看護学科 地域・老年看護学講座）
海外の動向と日本の実情（仮）
磯村 毅（予防医療研究所 スマホ依存防止学会代表）
就学前児の親の意識と予防教育の実践（仮）
富岡ひとみ（NPO かけはし スマホ依存防止学会上席アドバイザー）

◆シンポジウム 87

10月31日(土) 14:10~15:25 第6会場(京王プラザホテル 4F 副)

高齢者介護の質向上に向けた取り組み：制度、データ利活用、人材育成・教育の視点より

- 座長：中山 健夫（京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻健康情報学分野）
當山まゆみ（京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻健康情報学分野）
演者：人材確保に関連する医療・介護保険制度の動向
次橋 幸男（奈良県立医科大学公衆衛生学講座）
介護の質と科学的介護情報システム（LIFE）
大浦 智子（国立長寿医療研究センター 老年学・社会科学研究センター 科学的介護推進チーム）
高齢者介護の質向上に向けた PDCA サイクルの実装支援
田中 誠也（国立長寿医療研究センター 先端医療開発推進センター）
高齢者介護施設職員を対象としたリスクマネジメント教育
有久 勝彦（森ノ宮医療大学 総合リハビリテーション学部）

◆シンポジウム 88

10月31日(土) 8:30~9:45 第7会場(京王プラザホテル 3F グレース)

政策評価の実装に向けた公衆衛生人材育成：ロジックモデルワークショップの方法と普及

- 座長：芳我ちより（香川大学医学部看護学科 地域看護学）
埴岡 健一（国際医療福祉大学大学院 医療福祉ジャーナリズム分野）
演者：ロジックモデルを用いた政策評価実装ワークショップの設計
埴岡 健一（国際医療福祉大学大学院 医療福祉ジャーナリズム分野）
課題解決型人材育成とワークショップの教育効果（参加者アンケート分析より）
芳我ちより（香川大学医学部看護学科 地域看護学）
自治体の在宅医療・介護連携推進に向けたロジックモデルワークショップの実践と課題
松本 佳子（医療経済研究機構）

◆シンポジウム 89

10月31日(土) 10:00~11:15 第7会場(京王プラザホテル 3F グレース)

原子力災害時の公衆衛生と産業保健の接点～「支援する被災者」を支える新たな体制構築

座長：立石清一郎（産業医科大学 産業生態科学研究所 災害産業保健センター）
金成由美子（福島県県南保健所）

演者：福島原子力発電所事故発災後における保健所の対応について

笹原 賢司（福島県会津・南会津保健所）

公と私のはざま-支援者自身が被災者

各務 竹康（福島県立医科大学 医学部 衛生学・予防医学講座）

原子力災害における産業保健支援体制について

立石清一郎（産業医科大学 産業生態科学研究所 災害産業保健センター）

◆シンポジウム 90

10月31日(土) 12:55~14:10 第7会場(京王プラザホテル 3F グレース)

専攻医経験者有志が企画！社会医学系専門医研修から学ぶキャリア形成と人生価値

座長：横山 勝教（香川県中讃保健所）

杉山 雄大（国立健康危機管理研究機構システム基盤整備局医療DX部）

演者：産業保健のプロフェッショナルを目指して：専攻医～社会医学系専門医取得を通して学んだこと

三宅 芙由（リコーククリエイティブサービス株式会社 ファシリティサービスセンター健康支援室）

専攻医（行政）で学んだ知識と経験を活かした社会医学系専門医のキャリア形成とは

城間 紀之（広島市健康福祉局保健部健康推進課）

社会医学系専門医制度の価値を現場で育てる一産業分野の指導医としての実践と期待—

真鍋 憲幸（三菱ケミカル株式会社 人事本部全社統括産業医）

つながりの力を活かして～産学官医連携で育てる社会医学系専門医制度の価値

吉田 穂波（神奈川県立保健福祉大学大学院 ヘルスイノベーション研究科）

◆シンポジウム 91

10月31日(土) 14:25~15:40 第7会場(京王プラザホテル 3F グレース)

社会医学・公衆衛生学への目覚め：異なる道、一つの志

座長：和田 裕雄（社会医学系専門医協会・順天堂大学大学院医学研究科）

演者：When Clinicians Turn Toward Social Medicine and Public Health

Malcolm V. Brock（Johns Hopkins University and Bloomberg School of Public Health）

日本の臨床医の場合（仮題）

宇野 俊介（American College of Physicians 日本支部・慶應義塾大学）

医学教育の観点から（仮題）

大久保由美子（日本医学教育学会・帝京大学）

行政が期待すること

松本 晴樹（文部科学省）

特別発言：今中 雄一（社会医学系専門医協会・京都大学）

◆シンポジウム 92

10月31日(土) 8:30~9:45 第8会場(京王プラザホテル 42F 富士)

子育て世代・高齢者の支援を受け入れる力、受援力：その特徴と向上のためのアプローチ

座長：尾島 俊之（浜松医科大学）

木村美也子（昭和女子大学）

演者：子育て世代、高齢者の受援力の特徴とは？

井手 一茂（千葉大学）

子育て世代、高齢者の受援力—地域による違いの検討—

香田 将英（東北大学）

被災と受援力—子育て世代、高齢者に着目して—

尾島 俊之（浜松医科大学）

受援力を高めるために求められるアプローチとは？

木村美也子（昭和女子大学）

◆シンポジウム 93

10月31日(土) 10:00~11:15 第8会場(京王プラザホテル 42F 富士)

森林浴を活用した健康増進のエビデンスと実践

座長：井上 茂（東京医科大学公衆衛生学分野）

中田 由夫（筑波大学体育系）

演者：森林浴の健康効果に関するエビデンス

落合 博子（国際医療福祉大学成田病院形成外科）

職場の健康づくりにおける森林浴の活用

木村 理砂（株式会社 Momo ウェルビーイング、北里大学大学院産業精神保健学）

地域の健康づくりにおける森林浴の活用

河西 恒（しなの市 Woods-LifeCommunity 事務局）

森林浴を活かした離島医療の実践と死生観—屋久島にて

杉下 智彦（屋久島尾之間診療所院長、東京女子医科大学公衆衛生講座グローバルヘルス部門）

◆シンポジウム 94

10月31日(土) 12:45~14:00 第8会場(京王プラザホテル 42F 富士)

医療安全対策における行政の役割 ～保健所に期待されるもの～

座長：稲葉 静代（岐阜県可茂保健所）

演者：患者安全における保健所行政の重要性（仮）

長尾 能雅（名古屋大学医学部附属病院 患者安全推進部）

医療法での行政処分と保健所指導（神戸市の事例）

岡島 花江（神戸市健康局保健所）

医療安全に対する保健所の取り組み

中村 清司（松山市役所 健康医療部）

◆シンポジウム 95

10月31日(土) 14:15~15:30 第8会場(京王プラザホテル 42F 富士)

パンデミック対策で壊れた見えない社会機能：まだ道半ばの教訓と次への備え

座長：齋藤 智也(国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所 感染症危機管理研究センター)
関 なおみ(国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所 感染症危機管理研究センター)

演者：高齢者施設から見たパンデミック

鈴木 大悟(とある株式会社)

制度の外側で何が起きたかー在留外国人支援の現場から見た健康危機対応

高田友佳子(みんなの外国人ネットワーク/CINGA)

パンデミックを越えて 地域からみた感染対策の限界と課題

高山 義浩(沖縄県立中部病院)

パンデミック期におけるメディアの情報発信の取り組みと教訓

前村 聡(日本経済新聞社)

◆シンポジウム 96

10月31日(土) 14:25~15:40 第9会場(京王プラザホテル 42F 高尾)

保健行政が既存事業を活かし進めるプレコンセプションケア
～母子・思春期保健、感染症対策等を活用した事例～

座長：中澤 智(神奈川県横浜市 泉区こども家庭支援課)

児玉 知子(国立保健医療科学院)

演者：保健行政が地域と協働し進めるプレコンセプションケア

渡會 睦子(東京医療保健大学 医療保健学部 地域健康づくり研究・教育センター・一般社団法人
住民とともに活動する保健師の会)

乳幼児期から行うプレコンセプションケアと性教育

佐藤沙也果(仙台市泉区)

地域住民と共にディスカッションしながら取り組むプレコンセプションケア

柴田 みえ(横浜市泉区こども家庭支援課子育て支援担当)

産婦人科医から見たプレコンセプションケアと性教育

本多つよし(福島県立医科大学 地域産婦人科支援講座)

◆ランチョンシンポジウム 1

10月29日(木) 11:45~13:00 第10会場(京王プラザホテル 43F スターライト)

健康日本 21(第三次)のソーシャルキャピタルを問い直す-エビデンス・実装・政策-

座長：近藤 克則(千葉大学予防医学センター健康まちづくり共同研究部門)

藤川 愛(高松市保健所)

演者：ソーシャルキャピタルは健康指標となり得るのかー妥当性とエビデンスー

中込 敦士(千葉大学予防医学センター)

地域資源を活用したソーシャルキャピタルの醸成は可能かー実践事例と量的検証ー

飯塚 玄明(千葉大学予防医学センター)

防災とソーシャルキャピタルー災害時の機能と平時からの備えー

臼田裕一郎(国立研究開発法人防災科学技術研究所)

アクションプランと地域実装ーモニタリングとステークホルダーの役割ー

永田 英恵(京都大学大学院医学研究科)

指定討論者：尾島 俊之(浜松医科大学健康社会医学講座)

◆ランチョンシンポジウム 2

10月30日(金) 11:35~12:50 第10会場(京王プラザホテル 43F ムーンライト)

介護版の標準化レセプト出現比と将来推計から考えるサービス提供体制の現状と未来

- 座長：陣内 裕成（日本医科大学）
長嶺由衣子（厚生労働省医療情報担当参事官室）
演者：公開された介護版 SCR 等の概説
陣内 裕成（日本医科大学）
地域差と関連する介護サービスのアウトカム
植嶋 大晃（関西医科大学）
サービス提供の地域差に影響する地理要因
中谷 友樹（東北大学）
地域特性に合わせた提供体制の計画事例の紹介
高嶺 公子（沖縄県地域包括ケア推進課）

◆ランチョンシンポジウム 3

10月31日(土) 11:35~12:50 第9会場(京王プラザホテル 42F 高尾)

認知症基本法時代の共生社会をどう実現するか：エビデンスと実践の統合

- 座長：小野 玲（国立長寿医療研究センター 老年社会科学研究部）
岡村 毅（東京都健康長寿医療センター）
演者：認知症診断後の重度化プロセス：ナチュラルヒストリーと予後
小野 玲（国立長寿医療研究センター 老年社会科学研究部）
認知症に対するスティグマと共生社会の障壁
野口 泰司（浜松医科大学 健康社会医学講座）
当事者の声を踏まえつつ、エビデンスを地域実践につなぐ
進藤 由美（東京都健康長寿医療センター研究所 健康長寿医療研修センター）

◆スポンサードシンポジウム 1

10月30日(金) 10:00~11:15 第2会場(京王プラザホテル 5F コンコードB)

「健康日本 21」の推進を目指した連携指標の策定

- 座長：岡山 明（生活習慣病予防研究センター）
岡村 智教（慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学）
演者：「健康日本 21 推進全国連絡協議会」介入団体における健康日本 21（第三次）の推進の現状
岡村 智教（慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学）
運動・身体活動の連携指標の策定
小熊 祐子（日本体力医学会）
禁煙・受動喫煙防止の推進に関する連携指標の策定
齋藤 麗子（日本禁煙推進医師歯科連盟）
栄養・食生活改善に関する連携指標の策定
田中久美子（日本食生活協会）
共催：健康日本 21 推進全国連絡協議会

◆スポンサードシンポジウム 2

10月30日(金) 14:15~15:30 第8会場(京王プラザホテル 42F 富士)

ウェルビーイングのツボ ～伝統医療で公衆衛生学をもう一歩前へ！～

座長：小野 直哉（（公財）未来工学研究所）
友岡 清秀（順天堂大学医学部衛生学・公衆衛生学講座）
演者：趣旨説明
友岡 清秀
ウェルビーイングと伝統医学
前野 隆司（武蔵野大学 ウェルビーイング学部 学部長・教授）
養生とウェルビーイング
伊藤 和憲（明治国際医療大学鍼灸学部 学部長・教授）
災害鍼灸と Well-being：鍼灸による被災地（被災者・支援者）支援
小野 直哉（（公財）未来工学研究所 特別研究員）
女性の健康における東洋医学とウェルビーイング
謝敷 裕美（順天堂大学大学院医学研究科公衆衛生学講座 博士課程）
総合討論
共催：セイリン株式会社

◆オンデマンドシンポジウム 1

公的データベース利活用の現状と課題

座長：今村 知明（奈良県立医科大学）
小西 孝明（国立がん研究センター）
演者：匿名医療保険等関連情報データベース（NDB）第三者提供の現状と今後（仮）
吉村 季恵（厚生労働省 保険局医療介護連携政策課 保険データ企画室）
匿名医療保険等関連情報データベース（NDB）を用いた臨床研究（仮）
西岡 祐一（奈良県立医科大学 公衆衛生学講座）
大規模レセプトデータを用いた臨床疫学研究の実例（仮）
岡田 啓（東京大学 糖尿病・生活習慣病予防講座）
大規模レセプトデータを用いた臨床疫学研究の実例（仮）
杉山 雄大（国立健康危機管理研究機構）

◆オンデマンドシンポジウム 2

住まいと健康の疫学調査、その現在地と未来～調査の知見から次なる展開を議論する～

座長：高杉 友（近畿大学 理工学部 社会環境工学科）
鈴木 規道（千葉大学予防医学センター）
演者：住宅の断熱性能向上による高血圧・循環器疾患予防の波及効果 ―スマートウェルネス住宅全国調査から得られた知見―
海塩 渉（東京科学大学）
住環境の空間特性および間取りとウェルビーイングとの関連 ―健康と住まいに関する全国調査（J-hohec）および一般調査―
嶋谷 圭一（千葉大学予防医学センター）
住環境疫学における産業情報を活用した研究基盤の構築と課題 ―健康と住まいに関する全国調査（J-hohec）―
岩山遼太郎（積水ハウス株式会社）
妊娠期から幼児期の住まいの環境暴露と母児の健康 ―胎児期に始まる子どもの健康と発達に関する調査 住まいの環境調査―
鈴木 規道（千葉大学予防医学センター）
共催：セイリン株式会社

◆オンデマンドシンポジウム 3

出生コホート連携が拓く公衆衛生の新展開

- 座長：田中 笑子（武蔵野大学 看護学部）
森崎 菜穂（国立成育医療研究センター 女性の健康政策研究部）
演者：出生コホート連携の現状と公衆衛生への展開、社会実装
目時 弘仁（東北医科薬科大学 医学部）
統合メタ解析に基づく出生コホート研究の一般化可能性について
岩田 啓芳（北海道大学 環境健康科学研究教育センター）
100 万人ゲノム連携と出生コホートの役割と可能性について
松田 浩一（バイオバンク・ジャパン、東京大学大学院新領域創成科学研究科）
紛争・災害を含む多様な環境における出生コホート研究の可能性と課題
藤屋 リカ（慶應義塾大学 看護医療学部）

◆オンデマンドシンポジウム 4

0 次予防の健幸まちづくりの新フェーズー健幸モビリティハブとまちづくり政策の方向性

- 座長：大久保一郎（神奈川県茅ヶ崎市保健所）
久野 譜也（筑波大学大学院）
演者：外出・交流を阻む「公共交通」の衰退と後期高齢者高止まり時代に求められる対策、そして健康影響のエビデンス
谷口 綾子（筑波大学システム情報系）
モビリティハブの国内外の潮流と健幸づくりとモビリティハブを考える研究会における中間整理から可能性を考える
安藤 章（明海大学不動産学部）
予防を包含した全世代型地域包括ケアを進める中野区が目指すスマートウェルネスシティーー都市施策と人々の健幸ー
酒井 直人（東京都中野区）
自然に健やかで幸せになれるまちづくり政策が目指すもの
田邊 解（筑波大学スマートウェルネスシティー政策開発研究センター）

◆オンデマンドシンポジウム 5

【日本ヘルスコミュニケーション学会・日本公衆衛生学会共催】 AI・SNS 時代の公衆衛生：成果を社会に届けるために私たちは何をすべきか

- 座長：高橋 秀人（筑波大学 医学医療系）
伊藤 ゆり（神戸大学大学院医学系研究科）
演者：インフォデミック時代の科学の「伝え方」～炎上せず・スルーされず、ちゃんと「伝わる」方法とは～
市川 衛（武蔵大学社会学部メディア社会学科）
エビデンスに基づく健康情報を届ける技術ーポッドキャストを活用した社会とのコミュニケーション
林 英恵（Down to Earth BEYOND HEALTH INSTITUTE / 慶應義塾大学グローバルリサーチインスティテュート）
「わかりやすく伝える」は設計できるか～学際的手法による手引開発と全国 23 回ワークショップから得られた知見
山田 恵子（埼玉県立大学 保健医療福祉学部）
公衆衛生の情報発信を“研究”する：ヘルスコミュニケーション学の視点から
石川ひろの（帝京大学大学院公衆衛生学研究科）
共催：日本ヘルスコミュニケーション学会

◆オンデマンドシンポジウム 6

子どもたちの人生を豊かに育むための地域連携 ～こころ・からだ・性の健康教育～

座長：児玉 知子（国立保健医療科学院）
渡會 睦子（東京医療保健大学 医療保健学部・一般社団法人 住民とともに活動する保健師の会）
演者：児童養護施設における紙芝居で伝える「生きるための心を伝える教育」の効果
會田 健司（児童養護施設 山形学園）
児童虐待防止に関連した法律の改正にともなう児童虐待防止の対策
湯川 慶子（国立保健医療科学院）
地域が連携し行う「子どもたちの人生を豊かに育む教育」
廣末 ゆか（一般社団法人 住民とともに活動する保健師の会）
嬰兒殺事例を発端にした「生きる力を育む生（性）教育」を用いた公衆衛生看護活動
西本美公子（高知県須崎市）

◆オンデマンドシンポジウム 7

高齢者就労・就労的活動を支える中間支援の実践と展望

座長：藤原 佳典（東京都健康長寿医療センター研究所）
村山 洋史（東京都健康長寿医療センター研究所社会参加とヘルシーエイジング研究チーム）
演者：東京都北区における高齢者就労支援の歩み
新井 好子（北区福祉部高齢福祉課）
東京都内 58 か所のシルバー人材センターへの活動支援
上野 芳江（公益財団法人東京しごと財団）
NPO の立場で行う高齢者の生きがい就労マッチング
遠座 俊明（特定非営利活動法人健康・生きがい就労ラボ）
社会参加消極層をターゲットにしたジョブボラの取り組み
野中久美子（東京都健康長寿医療センター研究所社会参加とヘルシーエイジング研究チーム）

◆オンデマンドシンポジウム 8

女性の Well-being 向上を阻むアンコンシャスバイアスの解消法

座長：大澤 絵里（国立保健医療科学院公衆衛生政策研究部）
久野 譜也（筑波大学大学院）
演者：自分の健幸を後回しにする子育て女性と社会が抱えるアンコンシャスバイアス
松島みどり（筑波大学人文社会系）
若年女性の世界ワーストの「痩せ」を生み続ける社会のアンコンシャスバイアスと今後目指すべき包摂的な社会
田村 好史（順天堂大学大学院医学研究科）
アンコンシャスバイアスを解消し、女性の健幸課題を向上させる MOM UP PARK と Well-being 経営支援サービスの実装
塚尾 晶子（つくばウエルネスリサーチ）
女性の健康スポーツ実施率を高めるためにスポーツ庁における多様な環境整備と第 4 期スポーツ基本計画における取組
中村 宇一（スポーツ庁健康スポーツ課）

◆オンデマンドシンポジウム 9

One Health, プラネタリーヘルスを考える—実践活動からの健康評価の検討—

座長：佐藤 祐子（オフィスゆうらし Lab.）
富崎 悦子（慶應義塾大学）
演者：ワンヘルスの実践
佐藤 祐子（オフィスゆうらし Lab.）
木育（もくいく）を活用した実践と健康
松井 勅尚（一般社団法人 KASANE）
くらしの中で実感する人と地球の健康
田中 笑子（武蔵野大学）

◆オンデマンドシンポジウム 10

学校を起点とした HPV ワクチン定期接種促進に向けた情報提供

座長：片山佳代子（群馬大学）
上田 豊（和歌山県立医科大学）
演者：官学連携健康推進事業としての子宮頸がん出前授業
川越 靖之（宮崎県立看護大学）
医学生による HPV ワクチン出張授業の取り組み
長尾 奏花（三重大学医学部医学科）
小中学校での性教育と HPV ワクチンに関する情報提供
森重 朝子（豊中市教育委員会（ボランティア））
学校から家庭につながるワクチンに関する学びと HPV ワクチン接種の検討
八木 麻未（和歌山県立医科大学）

◆オンデマンドシンポジウム 11

地域医療の継続から考える感染症健康危機への備え～診療所向け BCP の展望を踏まえて

座長：関 なおみ（国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所 感染症危機管理研究センター）
田辺 正樹（三重大学 感染制御・感染症危機管理学）
演者：新興感染症発生・まん延時における医療提供体制
飯田 淳義（厚生労働省 医政局 地域医療計画課 新興感染症等医療対策室）
総合病院における BCP 作成の取り組み
守山 祐樹（国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター 国際感染症センター）
新興感染症発生時に診療所機能を維持するには：日本医師会としての取り組み
平林 弘久（日本医師会 診療所における新興感染症対策研修検討会）
東京都の感染症対策における医師会の取り組み
首里 京子（東京都医師会 疾病対策担当）

◆オンデマンドシンポジウム 12

プラネタリーヘルス研究から実践への橋渡しとその課題：産官学連携による実装に向けて

座長：鹿嶋小緒里（広島大学 IDEC 国際連携機構 プラネタリーヘルス・イノベーションサイエンスセンター、
広島大学大学院環境保健科学研究室）

南谷 健太（森・濱田松本法律事務所 外国法共同事業）

演者：環境省におけるプラネタリーヘルス関連施策の現状と課題：熱中症対策を中心に

高山 研（環境省 大臣官房 環境保健部）

プラネタリーヘルスの追求を核とした経営戦略 ～人と地球の健康への願いを実現する～

富士 智之（株式会社島津製作所 経営戦略室・グローバル戦略ユニット）

東京大学 GATEWAY Campus を拠点にしたプラネタリーヘルスの産学連携の取組みについて

五十嵐圭日子（東京大学プラネタリーヘルス研究機構）

産官学民を巻き込んだプラネタリーヘルス推進活動の軌跡と課題

菅原 丈二（特定非営利活動法人 日本医療政策機構）

◆オンデマンドシンポジウム 13

来るべき地域コミュニケーション学は公衆衛生学にどのように貢献できるか？

座長：今村 晴彦（長野県立大学大学院 健康栄養科学研究科）

高梨 克也（滋賀県立大学 人間文化学部人間関係学科）

演者：伊豆市地域づくり協議会活動における公式/非公式のコミュニケーション

高梨 克也（滋賀県立大学 人間文化学部人間関係学科）

過疎山村における高齢者の買い物困難とコミュニケーションの問題：長野県天龍村での調査を通じて

丸山 真央（大阪大学 大学院人間科学研究科）

日常的な買物会話からみる過疎地域のソーシャル・キャピタル：広島県島しょ地域と長野県天龍村の事例より

酒井 晴香（広島大学 大学院人間社会科学研究科）

制度の隙間をつなぐ多機関連携の可能性と課題：岩手県北上市の重層的支援体制整備事業を例に

役重眞喜子（岩手県立大学 総合政策学部）

◆オンデマンド市民公開シンポジウム

環境化学物質および生物多様性と健康：予防と増進

座長：澤田 典絵（国立がん研究センター）

中山 祥嗣（国立環境研究所）

演者：我が国における有機フッ素化合物（PFAS）リスク評価（仮）

祖父江友孝（食品安全委員会）

有機フッ素化合物（PFAS）とがんの疫学研究（仮）

澤田 典絵（国立がん研究センター）

エクスポゾームにおける生物多様性（仮）

中山 祥嗣（国立環境研究所）

生物多様性と健康のつながり（仮）

土屋 一彬（国立環境研究所）

◆奨励賞受賞講演

10月30日(金) 14:10~15:25 第7会場(京王プラザホテル 3F グレース)

奨励賞受賞講演

座長：中村 幸志（琉球大学大学院医学研究科 公衆衛生学・疫学講座）
演者：加速度計を用いた身体活動評価と公衆衛生への応用に関する研究
天竺 志保（京都大学大学院医学研究科／帝京大学大学院公衆衛生学研究科）
平時からの健康危機管理と多分野協働による地域保健の基盤整備
齊藤 和美（大阪市健康局 健康推進部 健康づくり課）
「今、自分にできること」を積み重ねて—公衆衛生の現場から—
寺川 由美（大阪市保健所）
COVID-19 罹患後症状がその後の心身・社会経済状況に及ぼす影響に関する研究
堀 幸（国立健康危機管理研究機構）
飲食店の受動喫煙防止対策の推進に関する研究
村木 功（筑波大学医学医療系）

◆優秀演題賞選考会

10月29日(木) 15:50~17:50 第4会場(京王プラザホテル 5F コンコードC)

優秀演題賞選考会

座長：磯 博康（日本公衆衛生学会理事長）
東 尚弘（東京大学医学系研究科公衆衛生学分野）
審査員：中田 光紀（産業医科大学医学部 公衆衛生学）
齊藤 功（大分大学医学部公衆衛生・疫学講座）
井上 茂（東京医科大学公衆衛生学分野）
演者：東日本大震災被災者を対象とした被災後の心理的ストレス変化と脳卒中との関連
坪井 良樹（藤田医科大学 医療科学部 予防医科学分野）
行政保健師における職場のシビリティと暴力予防対策、メンタルヘルス、過少報告の関連
吉井 秀輝（神奈川県立保健福祉大学大学院ヘルスイノベーション研究科）
妊娠初期のビタミンAの摂取と先天性腎尿路異常の関連：エコチル調査
中村 美紀（群馬大学大学院医学系研究科公衆衛生学分野）
発災後30日目からみた住宅再建経路と社会的つながりの長期推移：RIAS 研究
坪田 恵（帝京大学医学部衛生学公衆衛生学講座）
Terrain Steepness and Hip Fracture Surgery Rates Across Japanese Prefectures
齋藤 治輝（福島県立医科大学医学部）
特定健康診査の検査項目の組み合わせと脳卒中・心筋梗塞発症リスク
青木 鐘子（順天堂大学）
地域における要支援母子のスクリーニングの評価—マルトリートメントの予防に向けて
中村 和恵（岡山市保健所）
日本の高齢者における無歯顎の地域格差：個人および地域的要因の役割
Aishwarya Pratap Gaikwad（東京科学大学大学院医歯学総合研究科歯科公衆衛生学分野）
膀胱癌早期診断の標準化を目指した人工知能支援システムの開発と多施設外部検証
高橋 秀和（名古屋大学大学院）
小学生の客観的な注意力およびいびきと多動・不注意との関連
植田 結人（順天堂大学大学院医学研究科公衆衛生学講座）

◆国際参加賞受賞講演

10月30日(金) 15:40~18:00 第7会場(京王プラザホテル 3F グレース)

15:40-15:55

Address by the President of the Japanese Society of Public Health Award Ceremony

- 磯 博康 (President of the Japanese Society of Public Health)
- 谷川 武 (Chair of the 85th Annual Meeting of the Japanese Society of Public Health)
- 野田 愛 (Chair of the International Promotion Committee of the Japanese Society of Public Health)

16:00-16:30

<Session 1>

座長：橋爪 真弘
河野 文子

Auditing Age-driven Bias in Emergency Triage: An AI-Based Counterfactual Analysis

Ariel Guerra-Adames (University of Bordeaux) Panama

Long-term Injury related Health Burden After the 2018 Central Sulawesi Disaster

Madelina Ariani (広島大学大学院医系科学研究科) Indonesia

Estimating Excess Injury Burden During the Tigray Armed Conflict in Ethiopia

Bethel Fekede Menuta (広島大学大学院医系科学研究科) Ethiopia

16:30-17:10

<Session 2>

座長：福田 吉治
鈴木 有佳

Community Attitudes toward People Living with Dementia in Japan and Indonesia

Dianis Wulan Sari (Airlangga University) International

Impact of Social Capital on Dental Visits among Japanese Older Adults

Pemmika Intato (東京科学大学大学院医歯学総合研究科) Thailand

Public Assistance Program Transitions and Depressive Symptoms in Older Adults

Yilun Jiang (京都大学大学院医学研究科 社会疫学分野) China

Mental Health of Sexual & Gender Minorities in Asia, 2023-2025: A scoping review

Thi Phuong Lam Nguyen (国際医療福祉大学) Vietnam

17:10-17:50

<Session 3>

座長：金子 聡
朱 沁曄

Urban-Rural Disparities in COVID-19 Knowledge Among Schoolchildren in Goa, India.

Nalusha Quadros (東洋大学) India

Health Literacy and COVID-19 Protective Behaviour Change: A Cross-National Study

Inria Astari Zahra (鹿児島大学大学院医歯学総合研究科) Indonesia

Dietary calcium intake and cancer risk: a prospective cohort study in Viet Nam

Tien Hung Nguyen (国際医療福祉大学) Vietnam

Dietary Interventions for Glycaemic Control in T2DM: Longitudinal Meta-Analysis

Ziyoda Rakhimova (東京科学大学大学院) Uzbekistan

17:50 Closing remarks: 野田 愛

◆【対談】終わりの見えない闘い

10月31日(土) 10:00~10:20 第4会場(京王プラザホテル 5F コンコードC)

【対談】終わりの見えない闘い

◆【映画上映】終わりの見えない闘い

10月31日(土) 10:20~12:00 第4会場(京王プラザホテル 5F コンコードC)

◆指導医講習会

10月29日(木) 15:50~16:50 第6会場(京王プラザホテル 4F 扇)

◆地方衛生研究所研修フォーラム

10月29日(木) 10:10~11:40 第7会場(京王プラザホテル 3F グレース)

◆総会

10月30日(金) 18:50~19:20 第1会場(京王プラザホテル 5F エミネンス)

◆ハレルヤコーラス

10月30日(金) 19:30~19:50 第2会場(京王プラザホテル 5F コンコードB)

◆意見交換会

10月30日(金) 19:50~20:50 第2会場(京王プラザホテル 5F コンコードB)

◆開会式

10月29日(木) 9:30~10:00 第1会場(京王プラザホテル 5F エミネンス)

◆閉会式・奨励賞授与式

10月31日(土) 15:30~16:00 第1会場(京王プラザホテル 5F エミネンス)

◆市民公開講座1

10月29日(木) 18:15~20:00 第1会場(京王プラザホテル 5F エミネンス)

映画上映 終わりの見えない闘い

冒頭挨拶：和田 裕雄(順天堂大学大学院医学研究科公衆衛生学講座 教授)

◆市民公開講座2

10月30日(金) 17:10~18:40 第1会場(京王プラザホテル 5F エミネンス)

すこやかな暮らしを支える合氣道的な生活ー体験して学ぶ日常の氣の活用ー

座長：谷川 武(順天堂大学大学院医学研究科 公衆衛生学講座)

演者：藤平 信一(心身統一合氣道会 会長)

◆市民公開講座 3

10月31日(土) 12:40～14:10 第1会場(京王プラザホテル 5F エミネンス)

インド哲学から見た「いのち」

座長：友岡 清秀（順天堂大学大学院医学研究科 公衆衛生学講座）
大林 基（映像ディレクター）
演者：丸井 浩（東京大学名誉教授）

◆市民公開講座 4

10月31日(土) 14:10～15:20 第1会場(京王プラザホテル 5F エミネンス)

日常生活に活かせるヒマラヤの教え

—新型コロナウイルス対策で疲弊した保健医療従事者への癒しのひと時—

座長：谷川 武（順天堂大学大学院医学研究科 公衆衛生学講座）
演者：相川 圭子（ヨグマタ）

一般演題（口演）一覧

※「口演 - 演題発表 No.」

例) O1 - 1

口演 1	疫学・保健医療情報／保健医療介護サービス研究／関連諸科学	O1-1～O1-7
口演 2	生活習慣病・メタボリックシンドローム 1	O2-1～O2-7
口演 3	感染症	O3-1～O3-7
口演 4	親子保健・学校保健	O4-1～O4-7
口演 5	高齢者の QOL と介護予防／高齢者の医療と福祉	O5-1～O5-8
口演 6	生活習慣病 2／ヘルスプロモーション／公衆栄養	O6-1～O6-7
口演 7	健康危機管理	O7-1～O7-7
口演 8	精神保健福祉／地域社会と健康／産業保健	O8-1～O8-6
口演 9	口腔保健／健康運動指導／睡眠予防医学／食品衛生／環境保健	O9-1～O9-7
口演 10	医療制度・医療政策／公衆衛生従事者育成／保健所・衛生行政・地域保健	O10-1～O10-8
English Session	English Session	OE-1～OE-6
学部生・高校生セッション 1	疾病予防・医療	OS1-1～OS1-6
学部生・高校生セッション 2	地域・社会と健康	OS2-1～OS2-6
学部生・高校生セッション 3	災害・国際／英語発表	OS3-1～OS3-6

口演 1：疫学・保健医療情報／保健医療介護サービス研究／関連諸科学

10月29日(木) 17:25～18:49
第8会場(京王プラザホテル 42F 富士)

O1-1	大山 飛鳥	(大阪健康安全基盤研究所) 反実仮想アプローチによる健康アプリ新規加入による歩数増加と継続効果の検証
O1-2	浅野 倫吾	(大阪大学大学院医学系研究科 社会医学講座・公衆衛生学) 院外心停止の蘇生関連因子・転帰とCOVID-19 パンデミックの関係
O1-3	張 華敏	(筑波大学大学院 人間総合科学学術群) Association between fetal growth and childhood BMI and blood pressure
O1-4	大瀬戸恒志	(東北大学 災害科学国際研究所) 妊娠中の居住地周辺の緑地と妊娠高血圧腎症の関連
O1-5	丸井 秀則	(福島県立医科大学医学部放射線健康管理学講座) 能登半島地震後の小木福祉避難所における人的資源投入と保健医療活動の実態
O1-6	中込 敦士	(千葉大学) 生成 AI 利用と健康・ウェルビーイング：日本人成人のアウトカムワイド縦断研究
O1-7	ラウアー快	(山梨大学大学院総合研究部医学域 社会医学講座) BMI に関連する血漿タンパク質の同定と因果性の評価：UKB/YMoC Study

口演 2：生活習慣病・メタボリックシンドローム 1

10月29日(木) 17:25～18:49
第9会場(京王プラザホテル 42F 高尾)

O2-1	玉本 咲楽	(奈良県立医科大学 公衆衛生学講座) 奈良県の喘息と COPD における薬剤処方割合と患者背景に関する記述研究
O2-2	栗山 長門	(静岡社会健康医学大学院大学 社会健康医学部門) 高齢者における脳白質病変と腸内細菌叢の関連-認知症の層別化住民コホート研究より-
O2-3	窪田 裕	(奈良県立医科大学公衆衛生学講座) 奈良県における市町村ごとの糖尿病/高血圧/脂質異常症の標準化有病比の相関分析
O2-4	上島じゅ菜	(順天堂大学) 中年期における血圧の長期的推移と軽度認知障害との関連
O2-5	西川日奈子	(山梨大学大学院 総合研究部医学域 社会医学講座) 肝脂肪蓄積指標と網羅的血漿プロテオームの関連：YMoC Study
O2-6	宮本 和美	(株式会社メドミライ) 遠隔保健指導の効果と行動変容要因の検討のための RWD を応用した研究デザインの検討
O2-7	兜 桃葉	(神戸大学大学院) 2015-2020 年の全国町丁字別社会環境要因によるがん種別死亡率格差の評価

口演 3：感染症

10月29日(木) 17:40～19:04
第10会場(京王プラザホテル 43F スターライト)

O3-1	八木耕太郎	(埼玉県衛生研究所) 埼玉県における ARI サーベイランスの年齢階級別解析
O3-2	西村 真衣	(大阪市) デング熱国内感染疑い事例を受けての大阪市の対応

O3-3	寶来 徳子	(国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所) 【第3報】大阪・関西万博感染症週報の有用性と活用方法に関する調査
O3-4	枝澤 真紀	(武庫川女子大学看護学部) 女子大学生の HPV ワクチン接種に向けた思決定支援プログラムの効果評価
O3-5	木原 朋未	(国立健康危機管理研究機構) 地域住民における新型コロナワクチン接種状況と新型コロナウイルス感染歴に関する検討
O3-6	重村 洋明	(福岡県保健環境研究所) サーベイランス精度向上に向けた CRE の bla 遺伝子解析と新規プライマー開発
O3-7	市村 康典	(国立健康危機管理研究機構) ラオス麻疹風疹含有ワクチン定期接種対象小児における麻疹・風疹抗体保有状況の地域差

口演 4：親子保健・学校保健

10月30日(金) 15:45～17:09
第8会場(京王プラザホテル 42F 富士)

O4-1	大村真樹子	(明治学院大学) 親の社会経済状況と子どもの情緒・行動問題：発達段階別の媒介分析
O4-2	重見 大介	(日本医科大学 女性診療科・産科) 産後1ヶ月以降におけるオンライン産後うつリスク評価と要行政連携者の関連
O4-3	元田 葉月	(大阪公立大学大学院看護学研究科ヘルスプロモーションケア科学分野) 母親の産後うつ傾向と健康状態の関連
O4-4	芳我ちより	(香川大学) 思春期における体格推移が代謝異常に及ぼす影響：脂質に着目して【第二報】
O4-5	李 嫣然	(順天堂大学大学院医学研究科公衆衛生学講座) 高校生における健康関連 QOL と持続的注意力との関連
O4-6	榎並 公平	(聖路加国際大学大学院公衆衛生学研究科) 就学前児の自己調整と大学在学：出生コホートに基づく長期的関連
O4-7	手塚 美春	(山形大学大学院医学系研究科看護学専攻) 両立支援制度を利用しながら働く子育て中の労働者に対する同僚の気持ち

口演 5：高齢者の QOL と介護予防／高齢者の医療と福祉

10月30日(金) 17:25～19:01
第8会場(京王プラザホテル 42F 富士)

O5-1	梶葉 健斗	(名古屋大学大学院医学系研究科実社会情報健康医療学) 地域住民を対象とした住民健康実態調査データによる要介護認定リスク予測モデルの開発
O5-2	野藤 悠	(東京都健康長寿医療センター研究所) シルバー人材センター会員におけるフレイル状態別の仕事特性の比較
O5-3	加藤 大祐	(大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻社会医学行動科学講座) 年齢差別経験と認知症の初回把握との関連：英国高齢者縦断研究
O5-4	藤井 一弥	(東北大学大学院医学系研究科 公衆衛生学分野) 小児期の肯定的体験は逆境体験のある中高齢者のフレイル有症割合低下と関連するか
O5-5	高橋 知也	(東京都健康長寿医療センター研究所) 絵本読み聞かせ講座受講前後での高齢者の認知・非認知能力の比較：りぷりんと研究より
O5-6	垣本 由布	(東海大学) 孤立死の死因不明化の閾値：地域看取り率向上への示唆

05-7	森井 康博	(国立保健医療科学院 保健医療経済評価研究センター) 将来の医療機関閉業や人口動態変化を考慮した訪問診療の地理的アクセシビリティの分析
05-8	北澤 賢明	(福島県立医科大学放射線健康管理学講座) 令和6年能登半島地震後の地域医療におけるオンライン診療の活用

口演6：生活習慣病2／ヘルスプロモーション／公衆栄養

10月30日(金) 15:45～17:09
第9会場(京王プラザホテル 42F 高尾)

06-1	山根 七歩	(順天堂大学) 小児期から成人期における生活習慣の変化と主観的健康感との関連：IBACHIL 研究
06-2	大本 悠暉	(慶應義塾大学医学部) 心血管代謝リスクと縦断的な慢性疾患併存パターンの関連：K-means 法による検討
06-3	山村 桃花	(福島県立医科大学医学部放射線健康管理学講座) 令和6年能登半島地震後の特定健診受診状況と健康指標の変化：奥能登4市町の分析
06-4	小山 佳穂	(順天堂大学) 血圧の長期的変化と要介護認知症発症リスクとの関連
06-5	井上真理子	(富山大学) 1歳時点のチーズ摂取頻度と3歳時点の神経発達との関連
06-6	古屋 来弥	(神奈川県立保健福祉大学 保健福祉学部 栄養学科) 神経性やせ症の生活価値観の特徴：「JACISIS 研究」による横断研究
06-7	木下 紗葵	(神奈川県立保健福祉大学 保健福祉学部 栄養学科) オンラインフードデリバリー利用と肥満との関連：「JACSIS 研究」による横断研究

口演7：健康危機管理

10月30日(金) 17:25～18:49
第9会場(京王プラザホテル 42F 高尾)

07-1	吉永 敦史	(草加市立病院 災害対策室) 医師・行政の緊密な連携で実現した市役所横断的災害対策と地域防災計画の実装
07-2	橋本真由子	(お茶の水女子大学) 日本栄養士会災害支援チーム(JDA-DAT)に求められる新たな支援ニーズの検討
07-3	池田 琴	(お茶の水女子大学) COVID-19 第7波における自宅療養者への配食サービスの実態
07-4	森 一真	(佐賀大学医学部医学科) 高齢者向け押しボタンシステムを活用した災害時安否確認訓練の評価と地域防災への示唆
07-5	二上 純奈	(福島県立医科大学 医学部 放射線健康管理学講座) 福井県における原子力防災の課題認識に関する質的研究
07-6	石川 悠杏	(福島県立医科大学医学部放射線健康管理学講座) 福島第一原子力発電所事故後の避難に関連して生じた災害関連後遺症の一例
07-7	比氣 彩歌	(福島県立医科大学医学部 放射線健康管理学講座) 医療機関における原子力災害対応 BCP の策定状況と災害対応上の懸念

口演8：精神保健福祉／地域社会と健康／産業保健

10月30日(金) 16:00～17:12
第10会場(京王プラザホテル 43F ムーンライト)

08-1	星 翼	(埼玉県南部保健所) SVI(社会的脆弱性指数)による埼玉県での脆弱性可視化と自治体ペアリング
08-2	田中 奈美	(順天堂大学) 日本在住移民の伝導的・批判的ヘルスリテラシーと日本語力・支援資源との関連
08-3	康永 拳太	(筑波大学医学群看護学類4年) 全国市町村での通いの場と要支援者割合の関連—GISによる可視化と生態学的分析—
08-4	古谷美央子	(東京科学大学) 日本における月経前症候群・月経前不快気分障害と自殺念慮および家庭内暴力との関連
08-5	岡崎奈穂美	(北海道十勝総合振興局保健環境部保健行政室) 警察官からの精神保健に係る相談・情報提供事例の分析と必要な継続支援の検討
08-6	熊代 悠生	(金沢大学) 独居とうつ病傾向の関連における慢性疼痛の修飾効果：志賀町スタディにおける性差検討

口演9：口腔保健／健康運動指導／睡眠予防医学／食 品衛生／環境保健

10月30日(金) 17:40～19:04
第10会場(京王プラザホテル 43F ムーンライト)

09-1	江口 佳奈	(横浜市立大学データサイエンス研究科ヘルスデータサイエンス専攻) 日本における企業規模による歯科受診格差：4時点パネルデータを用いた検討
09-2	米澤 恵里	(酒田米菓株式会社) 咀嚼チェックせんべいの有用性の検証および口腔機能指標との関連
09-3	門間 陽樹	(医薬基盤・健康・栄養研究所) オフィスワーカーが勤務中に立つ理由：経験的サンプリング法による記述研究
09-4	樋口遼太郎	(山梨大学大学院総合研究部医学域 社会医学講座 社会医学講座) ウェアラブル端末由来の歩数と網羅的血漿プロテオームの関連：YMoC Study
09-5	種村菜奈枝	(武蔵大学) 日常的な食品摂取状況を踏まえた放射性セシウム基準の一部緩和に対する国民の支持度
09-6	片桐 碧海	(東京科学大学) 極端な気温と小児けいれんによる入院との関連：全国データを用いた時系列データ解析
09-7	藤川 葵	(順天堂大学大学院医学研究科公衆衛生学講座) 非回復性睡眠の頻度と抑うつとの関連：1536名の勤務医を対象とした横断研究

口演10：医療制度・医療政策／公衆衛生従事者育成／保健所・衛生行政・地域保健

10月31日(土) 8:30～10:06
第10会場(京王プラザホテル 43F ムーンライト)

010-1	小田 凌也	(広島大学) 需要予測と数理最適化による将来の救急資源配置の検討
010-2	西岡 祐一	(奈良県立医科大学 公衆衛生学講座) かかりつけ医機能が発揮される制度の円滑な施行に向けた指標例の策定
010-3	福田 彩乃	(順天堂大学医学部医学教育研究室) 卒後臨床研修における性差が臨床能力の獲得に与える影響

O10-4	月館 友寛	(青森県 健康医療福祉部 健康医療福祉政策課) 医学生との協働による早期体験実習参加促進事業の成果 ―青森県における実践報告―
O10-5	尾崎 章彦	(公益財団法人ときわ会常磐病院) 日本の製薬企業による資金提供の長期推移と集中度の分析
O10-6	安齋由貴子	(清泉大学看護学部) 多問題を抱える住民に対して市町村保健師が行う支援
O10-7	渡井いずみ	(浜松医科大学 地域看護学講座) 地域・職域連携②市区町村調査：健康日本21 アクション・プラン実施率との関連
O10-8	淡野 睦	(滋賀県健康医療福祉部 健康危機管理課) 感染制御リーダーによる組織的感染対策の実装と地域連携との関連

English Session

10月31日(土) 10:20~11:32
第10会場(京王プラザホテル 43F ムーンライト)

OE-1	吴 笑宇	(南京医科大学) Incorporating Feedback-aware DLNM into Sepsis Resuscitation: A Time-series Analysis
OE-2	Sokly Mom	(Department of Public Health, Faculty of Medicine, Kagawa University) Trends in Tuberculosis in ASEAN Countries, 2010–2024
OE-3	Safira Khairinisa	(Department of Dental Public Health, Institute of Science Tokyo) Disentangling the Effect of Socioeconomic Mobility on Tooth Loss in Older Adults
OE-4	荒川 志織	(佼成学園女子高校) Exploratory Comparison of Handwashing and Infection Prevention in Thailand
OE-5	李 双紅	(筑波大学) 地域在住高齢者の社会関連性と認知機能：2014–2017 年縦断研究
OE-6	Lucky Akter	(Hamamatsu University School of Medicine) Childhood Temperament in the Association Between Parental Education and Executive Function

学部生・高校生セッション1：疾病予防・医療

10月31日(土) 8:30~9:42
第9会場(京王プラザホテル 42F 高尾)

OS1-1	本多 光太	(東海大学医学部) 機械学習を用いた慢性呼吸不全患者に対する呼吸理学療法の普及に向けた課題の検証
OS1-2	ヒュンロイ	(国際医療福祉大学) Tryptophan intake and the risk of rectum cancer
OS1-3	木本 裕也	(奈良県立医科大学 医学部医学科) NDB オープンデータをを用いた年齢層別全身麻酔需要の変化と将来推計
OS1-4	丹治 咲貴	(奈良県立医科大学公衆衛生学講座) 奈良県における市区町村の透析患者の解析
OS1-5	藤田 航	(北海道大学) 市町村がん検診の精密検査未把握率・未受診率の推移と課題―人口規模別・がん種別分析
OS1-6	浅岡 泰志	(北海道大学) 市町村がん検診の精密検査受診率の推移と課題―人口規模別・がん種別分析

学部生・高校生セッション2：地域・社会と健康

10月31日(土) 10:00~11:12
第9会場(京王プラザホテル 42F 高尾)

OS2-1	小倉 爽歌	(大阪公立大学医学部医学科) 産後うつ病の有病率とリスク因子の検討
OS2-2	阿部 稜	(福島県立医科大学放射線健康管理講座) 保護者のピロリ菌に関する知識・ヘルスリテラシーと子どもへの検査受診意向の関連
OS2-3	竹本 淑斗	(関西大学社会安全学部安全マネジメント学科) 養鶏場における鳥インフルエンザ発生要因
OS2-5	李若塵フェリス	(順天堂大学医学部) 健康の社会的要因(SDH)に着目した事例検討後の医学生の認識変化
OS2-6	井上 啓	(東京都立国際高等学校) 高校生のサッカー競技中の脳震盪対策(予防と規則)に関する国際比較

学部生・高校生セッション3：災害・国際／英語発表

10月31日(土) 13:00~14:12
第9会場(京王プラザホテル 42F 高尾)

OS3-1	Lam Luong	(International University of Health and Welfare, Narita, Japan) Tryptophan intake and the risk of gastric cancer: insights from a case-control study
OS3-2	遠山 大陽	(北海道旭川東高等学校) PQS-Index: Regional Disparities in Pediatric Prevention Support
OS3-3	長谷川優葵	(金沢大学) 能登半島地震における避難状況に着目した被災住民の慢性疼痛の変化と心の健康との関連
OS3-4	Hayfa Adzkadhaby Algendian	(Islamic Junior High School Al Azhar 13, Surabaya, Indonesia) Adolescents' Dementia Contact and Attitudes in Indonesia: A Study Protocol
OS3-5	佐々木優子	(東京慈恵会医科大学医学部医学科 6年) Barriers to the career development of women surgeon: a scoping review
OS3-6	熊田 葵	(福島県立医科大学医学部放射線健康管理学講座) 原子力緊急事態における住民主導の要配慮者支援に関する質的検討

示説（ポスター）一覧

※「示説分科会 No. - セッション No. - 演題発表 No.」

例) P01-1-1

国際参加・第85回学会賞 ポスターセッション	国際参加・第85回学会賞ポスターセッション	PIA-1～PIA-7
学部生・高校生ポスター 1	生活習慣病・栄養・運動	PS1-1～PS1-8
学部生・高校生ポスター 2	ヘルスプロモーション・保健行動・精神・難病	PS2-1～PS2-8
学部生・高校生ポスター 3	親子保健・学校保健・高齢者	PS3-1～PS3-8
学部生・高校生ポスター 4	高齢者・地域・行政・サービス・睡眠	PS4-1～PS4-8
学部生・高校生ポスター 5	感染症・危機管理・産業・国際	PS5-1～PS5-8
学部生・高校生ポスター 6	医療制度・関連諸科学・English	PS6-1～PS6-7
第1分科会	疫学・保健医療情報	P01-1-1～P01-6-7
第2分科会	ヘルスプロモーション	P02-1-1～P02-8-6
第3分科会	生活習慣病・メタボリックシンドローム	P03-1-1～P03-12-6
第4分科会	保健行動・健康教育	P04-1-1～P04-6-6
第5分科会	親子保健・学校保健	P05-1-1～P05-15-8
第6分科会	高齢者のQOLと介護予防	P06-1-1～P06-13-7
第7分科会	高齢者の医療と福祉	P07-1-1～P07-5-8
第8分科会	地域社会と健康	P08-1-1～P08-12-6
第9分科会	難病・障害の医療と福祉	P09-1-1～P09-3-7
第10分科会	精神保健福祉	P10-1-1～P10-5-8
第11分科会	口腔保健	P11-1-1～P11-5-8
第12分科会	感染症	P12-1-1～P12-15-8
第13分科会	健康危機管理	P13-1-1～P13-11-7
第14分科会	医療制度・医療政策	P14-1-1～P14-5-8
第15分科会	公衆衛生従事者育成	P15-1-1～P15-8-6
第16分科会	保健所・衛生行政・地域保健	P16-1-1～P16-8-9
第17分科会	公衆栄養	P17-1-1～P17-6-8
第18分科会	健康運動指導	P18-1-1～P18-3-5
第19分科会	食品衛生・薬事衛生	P19-1-1～P19-2-6
第20分科会	産業保健	P20-1-1～P20-7-7
第21分科会	環境保健	P21-1-1～P21-4-6
第22分科会	国際保健	P22-1-1～P22-2-5
第23分科会	保健医療介護サービス研究	P23-1-1～P23-5-6
第24分科会	睡眠予防医学	P24-1-1～P24-2-7
第25分科会	関連諸科学	P25-1-1～P25-2-7
English Session	English Session	PE1-1～PE6-8

国際参加・第 85 回学会賞ポスターセッション

10 月 31 日 (土) 10:00~11:15
ポスター (新宿 NS ビル 30F スカイカンファレンス)

PIA-1	イスラエルマリナ	(秋田大学大学院医学系研究科) Behavioral and Metabolic Determinants of Human Milk Macronutrient Composition
PIA-2	Kunjo Nur E Jannat	(International University of Health and Welfare) Comparative Analysis of COVID-19 Responses and Outcomes in Bangladesh and Japan, 2020-2021
PIA-3	シュエシャオユ	(慶応義塾大学) Adapting to Work and Life as Internationally Educated Nurses: A Scoping Review
PIA-4	廖 郁慧	(早稲田大学大学院人間科学研究科) Impact of HPV Vaccine Policy Changes on Cervical Cancer Searches in Japan
PIA-5	Dulci Nafimanekwe Petrus	(International University of Health and Welfare) Toward UHC in Namibia: Policy Recommendations Inspired by Japan's NHI Scheme
PIA-6	キムナヒョン	(広島大学大学院) Oral and general health perceptions and dysphagia risk in older adults
PIA-7	趙 睿峰	(筑波大学) 日本の地域在住高齢者における社会的交流の変化と睡眠状態との関連

学部生・高校生ポスター 1: 生活習慣病・栄養・運動

10 月 31 日 (土) 10:00~11:15
ポスター (新宿 NS ビル 30F スカイカンファレンス)

PS1-1	永尾 心	(昭和女子大学) 女子大学生における不定愁訴と食生活・生活習慣および心理的要因との関連
PS1-2	村田 尚平	(目白研心) 食育で繋ぐ、人と社会の豊かさ ― 食支援活動を通じた学びと考察 ―
PS1-3	齋藤 一葉	(福島県立医科大学医学部疫学講座) サウナ浴の心血管疾患に対する効果: システムティックレビューとメタ解析
PS1-4	菊地 璃未	(仙台白百合女子大学) 管理栄養士養成課程女子大学生の身体活動量と座位時間の関連
PS1-5	大坂 乃愛	(仙台白百合女子大学) 女子大学生における食品摂取多様性と食環境および食行動との関連
PS1-6	石山 唯花	(仙台白百合女子大学) 腸活弁当を用いた食育介入が女子大学生の食行動意図に与える影響
PS1-7	中川 英美	(藤田医科大学 医療科学部 予防医科学分野) 遺伝的多型を考慮した TXNIP 遺伝子の白血球 DNA メチル化率と 2 型糖尿病との関連
PS1-8	原 日和	(奈良県立医科大学) 奈良県における糖尿病専門医への地理的アクセスとアルブミン尿検査実施状況との関連

学部生・高校生ポスター 2: ヘルスプロモーション・保健行動・精神・難病

10 月 31 日 (土) 10:00~11:15
ポスター (新宿 NS ビル 30F スカイカンファレンス)

PS2-1	櫻井 遥華	(東京慈恵会医科大学) 抗菌薬適正使用研究における対象領域の偏在に関するスコーピングレビュー
PS2-2	中本 帆波	(奈良県立医科大学) 知的障害者の社会的孤立に関連する地域特性の可視化
PS2-3	有村 風由	(奈良県立医科大学) QGIS を用いた路上喫煙地点の空間分析: 飲食店数および道路幅員との関連
PS2-4	蛸井 結菜	(東京科学大学) 乳幼児を持つ母親の減塩および増カリウムに関する食行動とその関連要因
PS2-5	北川 結唯	(東京科学大学公衆衛生看護学分野) 在宅勤務者を対象とした運動機能向上プログラム: 性別による効果検証【第 3 報】
PS2-6	湯澤優美香	(東京科学大学) 日勤労働者におけるクロノタイプ別にみた睡眠と仕事のパフォーマンスの実態
PS2-7	横田 葵	(東京科学大学) PEMAT 日本版を用いた高齢者向け健康情報資料の評価
PS2-8	武藤 宏樹	(山梨大学大学院 総合研究部医学域 社会医学講座) 日本人集団における心理的苦痛と網羅的血漿タンパク質の関連解析: YMoC Study

学部生・高校生ポスター 3: 親子保健・学校保健・高齢者

10 月 31 日 (土) 10:00~11:15
ポスター (新宿 NS ビル 30F スカイカンファレンス)

PS3-1	川瀬 遥架	(修文大学 看護学部) 看護学生の臨地実習中の友人・恋人からのサポートとストレスの関連に関する文献検討
PS3-2	池畑あき穂	(修文大学看護学部) 予期しない帝王切開を経験した初産婦の心理と看護支援に関する文献検討
PS3-3	高田 真帆	(奈良県立医科大学) 大阪府における子ども食堂の人口カバー率と地域差の分析: QGIS による到達圏解析
PS3-4	石田 樹真	(富山大学医学部医学科) 幼児期の発達遅延は学童期の母親のボンディングと関連するか
PS3-5	笠原 結	(富山大学医学部医学科) ウォーカビリティと妊娠期女性の健康アウトカムの関連 (エコチル調査の追加調査)
PS3-6	秋山 柚	(富山大学医学部医学科) 小学生を育児中の女性の教育歴と抑うつ傾向の関連 (エコチル調査の追加調査)
PS3-7	川崎 隼人	(国士舘大学体育学部スポーツ医科学科) 義務教育修了後の未成年者における健康診断の制度的保障の実態と課題
PS3-8	崎元康之介	(筑波大学医学群看護学類) 高齢者の心理的苦痛における社会経済的要因の関連―性差と心理的苦痛重症化の検討―

学部生・高校生ポスター 4：高齢者・地域・行政・サービス・睡眠

10月31日(土) 13:00~14:15
ポスター(新宿 NS ビル 30F スカイクンファレンス)

PS4-1	飯山 亜美	(修文大学看護学部) 認知症の家族を支えるヤングケアラーの心理的影響と支援の在り方に関する文献検討
PS4-2	上道 海奈	(修文大学看護学部) 排泄ケアを受ける患者の心理と看護支援の在り方に関する文献検討
PS4-3	神園 由莉	(昭和薬科大学公衆衛生学研究室) 要指導医薬品である緊急避妊薬の市販化直後の販売可能薬局の動向
PS4-4	桐田 知明	(早稲田大学人間科学部) 新聞における寄席演芸家の死亡報道の特徴に関する研究
PS4-5	大村 咲希	(早稲田大学人間科学部) 公共トイレに対する意識と利用行動および健康との関連
PS4-6	武富 康朗	(筑波大学医学群医学類) 精神的苦痛の有無による、健康診断受診率および未受診理由の違い
PS4-7	李 尚遙	(福島県立医科大学 医学部放射線健康管理学講座) 福島県双葉郡における百歳以上高齢者の災害関連死の過程と長期支援の必要性
PS4-8	楠田 駿	(広尾学園高等学校) 生徒を介した親世代への睡眠時無呼吸症候群検査勧奨と受診行動

学部生・高校生ポスター 5：感染症・危機管理・産業・国際

10月31日(土) 13:00~14:15
ポスター(新宿 NS ビル 30F スカイクンファレンス)

PS5-1	沢本 亜摘	(早稲田大学) カナダにおける日本人一時滞在者の医療アクセスをめぐる経験
PS5-2	豊田 七花	(奈良県立医科大学) 大阪府における性器クラミジア感染症の空間的集積と男女差の検討
PS5-4	秦泉寺あかり	(奈良県立医科大学) 奈良県内市町村における個別避難計画策定率に関連する地域特性
PS5-5	上田奈琉望	(奈良県立医科大学) 奈良県保健所管轄別における梅毒報告数と地域要因の関連の探索的分析
PS5-6	木村 澄怜	(東京科学大学) 【第1報】ガーナにおける UHC を目指した医療体制：医療従事者が支える病診連携
PS5-7	武井 蓮乃	(順天堂大学医学部) 職務の睡眠について STOP-Bang 項目の分析
PS5-8	大東 鈴穂	(奈良県立医科大学) GIS を用いた奈良県における地震発生時の単身高齢者の脆弱性の可視化

学部生・高校生ポスター 6：医療制度・関連諸科学・English

10月31日(土) 13:00~14:15
ポスター(新宿 NS ビル 30F スカイクンファレンス)

PS6-1	金 志成	(横浜インターナショナルスクール) Design and Ethics of ODD: JP - U.S. Comparison and Policy Recommendations for JP
-------	------	---

PS6-2	荒木 嘉維	(佐賀県立佐賀西高等学校) 化学構造情報に基づくドラッグ・ロス低分子医薬品の国内導入優先度判定モデルの構築
PS6-3	野本雄太郎	(京都府立医科大学 医学部 医学科 5 年) 京都府における中小医療機関の役割：レセプトデータによるかかりつけ医機能の実態調査
PS6-5	神谷 宏美	(群馬大学) 持続可能な病院経営に向けた財務構造に関する研究：国立病院機構 140 病院の比較分析
PS6-7	森本 結衣	(山梨大学大学院 総合研究部医学域 社会医学講座) アークルヴェータにおけるヴィクリティと血漿タンパク質の関連：YMoC Study

第1分科会：疫学・保健医療情報

10月29日(木) 14:40~15:55
ポスター(新宿 NS ビル 30F スカイクンファレンス)

P01-1-1	川本 龍一	(愛媛大学大学院医学系研究科地域医療・総合診療学講座) 日本人地域在住男性において太腿/ヒップ比は全死亡率の有用な予測因子である
P01-1-2	古賀 千絵	(京都大学 人と社会の未来研究院) 暴力疫学の構築に向けて：暴力予防の視点からみた多層的介入のナラティブレビュー
P01-1-3	鈴山 裕貴	(福岡大学病院総合診療科) 低 LDL コレステロールは抗凝固療法中心房細動患者の頭蓋外出血リスクと関連するか？
P01-1-4	青木 宏論	(奈良県立医科大学 公衆衛生学講座) 新生児集中治療室 (NICU) の全国入院数の経年変化と地域差
P01-1-5	森田えみり	(奈良県立医科大学 公衆衛生学講座) レセプトビッグデータ解析：視神経髄膜炎患者の感染症実態把握および治療薬別検討
P01-1-6	三重野牧子	(自治医科大学) NDB データと傷病統計 第1報 患者調査に基づく診療費等支払方法別の傷病量の推移
P01-1-7	川戸美由紀	(国立保健医療科学院) NDB データと傷病統計 第2報 医科医療費の動向調査に基づく傷病量の年別別の推移
P01-1-8	中濱 智則	(奈良県立医科大学 公衆衛生学講座) 大規模レセプトデータを用いた SGLT2 阻害薬と尿路結石関連介入リスクの検討

10月29日(木) 16:00~17:15
ポスター(新宿 NS ビル 30F スカイクンファレンス)

P01-2-1	逢見 憲一	(国立保健医療科学院生涯健康研究部) 2009~26 年のわが国のインフルエンザ・COVID-19 超過死亡とその要因
P01-2-2	田中 景子	(愛媛大学大学院医学系研究科疫学・公衆衛生学) リウマチ患者における抗リウマチ薬と帯状疱疹リスクとの関連：NDB データの活用
P01-2-3	柴田 裕	(秋田市保健所) 生成 AI と統計ソフト連携による政府統計データの自然言語解析システムの構築
P01-2-4	近藤 正弘	(こんどう内科クリニック) 後期成長長に基づく新しい体格構造指標 HVI・EWR の提案と妥当性の検証
P01-2-5	斎藤久美子	(名古屋大学大学院医学系研究科 実社会情報健康医療学) レセプトデータによる腸重積アルゴリズムの多施設妥当性検証：CLEAR Study
P01-2-6	大崎 徹	(奈良県立医科大学 公衆衛生学講座) 院外心停止蘇生後症例の実態把握：奈良県国保データベースを用いた記述研究
P01-2-7	我妻ゆき子	(筑波大学医学医療系) 健康診断受診者における経時的肺機能の低下と生活習慣

P01-2-8	森島 敏隆	(大阪国際がんセンター) 高難度がん手術患者はどこから紹介されるか：NDB で見える紹介元医療機関種別と広域性
---------	-------	--

**10月30日(金) 13:00~14:15
ポスター(新宿 NS ビル 30F スカイカンファレンス)**

P01-3-1	渡邊 英之	(久留米大学大学院医学研究科) 大腸がん術後の離職の性差と収入の関連：全国健康保険協会データベースを用いた検討
P01-3-2	黒田 浩子	(岡山市保健所) 岡山市における不詳死急増の疫学的検討と構造解析
P01-3-3	鈴木 貞夫	(岐阜県東濃保健所) 反科学的不適切論文の存在とその対処
P01-3-4	渡 三佳	(国立保健医療科学院) 特定健康診査の質問項目への対応に関する介入内容への ICHI コード付与における課題
P01-3-5	佐藤 志帆	(福島県立医科大学医学部疫学講座) WHO SAGE 6 か国データを用いた心理的苦痛と循環器疾患有病との関連
P01-3-6	植松 勇伍	(近畿大学薬学部 公衆衛生学研究室) 大阪ヘルスケアパビリオンのカラダ測定データに基づく腸内細菌と肌・髪指標の横断解析
P01-3-7	栗原 幸男	(高知大学医学部看護学科) ミクロデータをを用いた心疾患死亡危険度の世代間比較の試み

**10月30日(金) 14:25~15:40
ポスター(新宿 NS ビル 30F スカイカンファレンス)**

P01-4-1	下山 恭平	(千葉大学医学部附属病院 次世代医療構想センター) NDB オープンデータでみたセファゾリン供給不足の影響
P01-4-2	中満 智史	(熊本県健康福祉部健康危機管理課 (研究実施時：国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所 実地疫学専門家養成コース)) 感染症発生動向調査における動物の鳥インフルエンザサーベイランスシステム評価
P01-4-3	窪山 泉	(蓮田よつば病院) 拒食と認知症の予後
P01-4-4	熊澤芽葉恵	(国立健康危機管理研究機構) NDB オープンデータでみる梅毒報告増と検査乖離
P01-4-5	千葉 一平	(東北大学 東北メディカル・メガバンク機構) Fitbit で測定した身体活動・睡眠パラメータと脳容積・認知機能の関連
P01-4-6	錦谷まりこ	(九州大学 データ駆動イノベーション推進本部) 更年期症状に対する漢方薬療法開始・継続に関する疫学的報告 (第2報)
P01-4-7	Mustakim Mustakim	(Universitas Muhammadiyah Jakarta) Mediation Analysis on Grandmaternal smoking Association and Small for Gestational Age

**10月31日(土) 10:00~11:15
ポスター(新宿 NS ビル 30F スカイカンファレンス)**

P01-5-1	高橋 由光	(京都大学) インターネットパネルオンライン調査の医中誌 Web 系統的検索および報告の質評価
P01-5-2	須河 裕也	(奈良県立医科大学 公衆衛生学講座) DeSC データベースによる ICU 敗血症患者における早期経腸栄養の効果検証
P01-5-3	塚本 徹雄	(新潟医療福祉大学) 青少年 (15~24 歳) の都道府県別自殺率：21 世紀の傾向

P01-5-4	関本 美穂	(京都府立医科大学医学研究科 総合診療・地域医療学教室) 病院の統廃合・再編が患者吸引力和移動コストに与えた影響：国内 12 事例の分析
---------	-------	---

P01-5-6	山下 実紅	(奈良県立医科大学 公衆衛生学講座) ロボット支援下前立腺悪性腫瘍手術における生存期間・輸血量の解析
---------	-------	---

P01-5-7	川添百合香	(長崎大学病院臨床研究センター) HPV ワクチンの積極的勧奨再開後の接種割合増加と地域特性との関連
---------	-------	---

P01-5-8	生月 弓子	(医療法人小畑会 浜田病院) 2026 年 丙午 (ひのえうま) における迷信と出生行動の社会的要因分析研究
---------	-------	---

**10月31日(土) 13:00~14:15
ポスター(新宿 NS ビル 30F スカイカンファレンス)**

P01-6-1	吉井 健悟	(京都府立医科大学大学 生命基礎数理学) ケア断片化指標の縦断的不安定性と平均への回帰：京都府 10 年レセプトコホート
P01-6-2	大月 恒	(筑波大学大学院 人間総合科学学術群) 健診受診者におけるアルコール摂取量および摂取頻度についての検討
P01-6-3	加藤 大貴	(京都府立医科大学 生命基礎数理学生命基礎数理学教室) 医療施設調査を用いた病院機能の可視化—データ駆動型病院分類による検討—
P01-6-4	小倉 朋子	(帝京大学大学院公衆衛生学研究科) 女性特有疾患における有病率・治療率の地域差
P01-6-5	上村 亮介	(九州大学大学院医学系学府 医療経営・管理学) 窒息再発に関連する患者要因の検討：LIFE Study による症例集積研究
P01-6-6	吉田 朋子	(国立成育医療研究センター研究所 社会医学研究部) LIFE Study における健診・レセプトデータ連結による 4 か月児健診精度評価
P01-6-7	高橋裕太郎	(金沢大学医薬保健域研究域保健学系) 北信地域におけるがん治療開始までの待機期間の状況と遅延に関連する要因

第2分科会：ヘルスプロモーション

**10月29日(木) 14:40~15:55
ポスター(新宿 NS ビル 30F スカイカンファレンス)**

P02-1-1	根本 新	(株式会社スリープシステム研究所) 血管年齢推定方法と運動による改善例
P02-1-2	間戸 美恵	(獨協医科大学 看護学部) 保健師が認識する学校保健との連携に関わる困難さと期待
P02-1-3	栗盛須雅子	(帝京大学大学院公衆衛生学研究科) 茨城県結城市のオープンデータ活用による EBPM に基づく市民参加、行政協働の推進
P02-1-4	村木 功	(筑波大学社会健康医学) 改正健康増進法全面施行後の禁煙飲食店割合の長期変化
P02-1-5	松木 宣嘉	(岡山大学 学術研究院医歯薬学域 総合内科学) 温泉地での宿泊日数および入浴回数と主観的健康観の改善との関連
P02-1-6	桂藤 英世	(広島県健康福祉局健康づくり推進課) 女性の健康づくりに向けた、若年層の運動習慣化のための効果的啓発の検討
P02-1-7	武田美都里	(九州大学) 温泉成分再現入浴剤による排便状態改善効果の検討

**10月29日(木) 16:00~17:15
ポスター(新宿 NS ビル 30F スカイクンファレンス)**

P02-2-1	真溪 淳子	(仙台青葉学院大学) 学生のヘルスリテラシー向上を目的としたグループワークの取り組み
P02-2-2	正木由里子	(青森市保健所) QOL 健診とクアオルト健康ウォーキングの併催が市民の行動変容に及ぼす効果
P02-2-3	林 知里	(兵庫県立大学) 健康サポートバブル介入によるアルコール摂取量への影響
P02-2-4	白松 千愛	(掛川市地域包括ケア推進課) 寄合いワークショップによる地域元気の WAI 事業でのふくしあ保健師の役割【第1報】
P02-2-5	三輪真知子	(聖隷クリストファー大学) 「寄合いワークショップ」手法による実行計画のプロジェクト化の試み【第2報】
P02-2-6	島田 妙	(岡山市保健所) 「ベジ・ファースト OKAYAMA プロジェクト」の推進に向けて～成果と今後の展開～
P02-2-7	宮部成菜実	(東京科学大学) 自然に身体活動の向上と疲労回復を促す環境づくり：産学協働プログラム活動報告

**10月30日(金) 13:00~14:15
ポスター(新宿 NS ビル 30F スカイクンファレンス)**

P02-3-1	真辺 智規	(東京都健康長寿医療センター研究所) 「せたがやデジタルポイントラリー」の効果検証：アプリによる歩数データ【第1報】
P02-3-2	星野 功	(世田谷区高齢福祉部介護予防・地域支援課) 「せたがやデジタルポイントラリー」の効果検証：外出支援の主観的変化【第2報】
P02-3-3	鈴木 涼馬	(京都大学) 地域温浴施設におけるウェアラブルデバイスをを用いた入浴時健康評価の取り組み
P02-3-4	堀川 千嘉	(新潟県立大学大学院) 食事パターンと健康寿命の関係についてのシステマティックレビュー
P02-3-5	谷爲菜里奈	(国立がん研究センター がん対策研究所 予防研究部) 研究成果の社会普及に向けた情報提供基盤活用と市民連携：がん予防法 5+1
P02-3-6	今村 慶吾	(東京都健康長寿医療センター) 社会的孤立で分けたデジタル機器活用事業への参加・継続利用と抑うつ症状の縦断的関連
P02-3-7	吉田 康行	(東京都健康長寿医療センター研究所) 高齢者ウェアラブル研究における説明会不参加・同意辞退の関連要因
P02-3-8	信常 胡桃	(枚方市) 高校文化祭における高校生と協働した健康づくりの啓発について
P02-3-9	野中久美子	(東京都健康長寿医療センター研究所) 社会参加消極層を地域につなぐ「ジョブボラモデル」の展開：RE-AIM による評価
P02-3-10	中村 由佳	(地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センター研究所) 都市部在住若中年世代の地域ボランティア非参加関心層の参加ニーズの構造と属性差
P02-3-11	齋藤 尚子	(東京都健康長寿医療センター研究所社会参加とヘルシーエイジング研究チーム) 都市部在住若中年世代における地域ボランティア非参加関心層の特徴

**10月30日(金) 14:25~15:40
ポスター(新宿 NS ビル 30F スカイクンファレンス)**

P02-4-1	伊木 智子	(関西看護医療大学) 地域の保健事業における参加者固定の効果と支援課題：二次元気分尺度による検討
---------	-------	---

P02-4-2	池田裕美枝	(医療法人心鹿会海と空クリニック京都駅前) PMS 関連の心理的負担へのデジタル介入効果：準ランダム化試験
P02-4-3	木村 秀喜	(中村学園大学) 誰一人取り残さない減塩戦略に向けて 一減塩を意識させない料理法とネーミング
P02-4-4	演題取り下げ	
P02-4-5	亀山 泉	(埼玉県立大学大学院 保健医療福祉学研究所) 地域在住高齢者に対するアクションリサーチを用いた住民主体の運動プログラムの効果
P02-4-6	菊池可南子	(慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科) 日本の地方自治体における身体活動促進のシステムズアプローチ実装と評価設計
P02-4-7	吉田 祐子	(東京都健康長寿医療センター研究所) 高齢者における社会的孤立・孤独感と多剤服用の関連

**10月31日(土) 10:00~11:15
ポスター(新宿 NS ビル 30F スカイクンファレンス)**

P02-5-1	角田 晃啓	(森ノ宮医療大学大学院) コロナ禍における地域共創ウェルビーイング【第1報】小児期 HbA1c の経年変化
P02-5-2	後藤 桃佳	(愛知県飛島村役場) コロナ禍における地域共創ウェルビーイング【第2報】運動実践施設利用に関する分析
P02-5-3	澤田 優子	(森ノ宮医療大学総合リハビリテーション学部理学療法学科) コロナ禍における地域共創ウェルビーイング【第3報】運動施設と健康教室の機能分化
P02-5-4	星野 明子	(大阪歯科大学) 中山間地域 A 町自治会役員として地域活動への参画がもたらす気づき及び芽生え
P02-5-5	高橋 佳子	(国立成育医療研究センター) 若者の健康への取り組みの実態と今後の課題
P02-5-6	戸次加奈江	(国立保健医療科学院) 飲食店従事者の受動喫煙の実態に関するインターネット調査【第1報】非喫煙者の分析
P02-5-7	楠瀬 翔一	(国立保健医療科学院) 飲食店従事者の受動喫煙の実態に関するインターネット調査【第2報】喫煙者の分析
P02-5-8	遠藤 香織	(千葉大学予防医学センター健康住環境創造ラボ) ペットとの共歩き・共寝は Well-being を高めるか：日本における愛玩動物共生

**10月31日(土) 10:00~11:15
ポスター(新宿 NS ビル 30F スカイクンファレンス)**

P02-6-1	柴田 健雄	(東海大学大学院健康学研究科) 湯沢町ファミリー健康プラン第2次と第3次プラン策定時の青壮年期の比較
P02-6-2	後藤 花歩	(仙台市青葉区保健福祉センター) 自治体健康管理アプリの開発・導入経緯と課題・工夫点：質的記述的研究
P02-6-3	須藤 友美	(足立区衛生部足立保健所中央本町地域・保健総合支援課) 足立区ベジタベ10年！食習慣調査からみる野菜が食べやすい環境づくりの成果と課題
P02-6-4	植月三咲子	(ジョンソン・エンド・ジョンソン日本法人グループ) 職域における社会的処方の実態：産業保健職による地域資源紹介実践経験に関する調査
P02-6-5	江口重維子	(千葉大学予防医学センター) 商業施設における身体活動促進メッセージの視認と身体活動意識
P02-6-6	田口 敦子	(慶應義塾大学 看護医療学部) 横浜市保健活動推進員の活動経験と継続意向の関連：横断研究

P02-6-7	谷川 真澄	(株式会社なるど) 理学・作業療法士による保健活動の推進～伴走支援からの展開～
10月31日(土) 13:00～14:15 ポスター(新宿 NS ビル 30F スカイカンファレンス)		
P02-7-1	高本佳代子	(別府大学) 行政保健師による健康なまちづくりの実践経験の有無による活動項目の比較
P02-7-2	野村 恭子	(秋田大学医学部衛生学公衆衛生学) 閉経周辺期の女性の不眠症状に対する認知行動療法アプリを用いた RCT 研究プロトコル
P02-7-3	鈴木 孝太	(愛知医科大学医学部 衛生学講座) 専門性を活かす、ユーザーを主語とした生成 AI 活用：健康増進・保健指導への応用
P02-7-4	磯野さよ子	(熊本保健科学大学) 40 歳未満勤労男性のセルフマネジメントの実態と特徴に関する質的検討
P02-7-5	伊東 萌音	(東京医療保健大学大学院) 看護学生のカフェイン摂取と健康状態(睡眠状況、ストレス)との関連
P02-7-6	佐野 藍子	(新潟市北区役所健康福祉課) 地域コミュニティ協議会との協働による継続可能な健康づくり事業
P02-7-7	小堤由紀子	(銚田市役所) 「日本で一番野菜を作る銚田市」の市職員による「野菜をたべようプロジェクト」
P02-7-8	河原 一剛	(順天堂大学医学部附属静岡病院) 医療・文化・地域の交差が生む関係性の変化

10月31日(土) 13:00～14:15 ポスター(新宿 NS ビル 30F スカイカンファレンス)		
P02-8-1	長谷川美智子	(公益社団法人京都保健会 京都市民医連中央病院) 急性期病院における住民ボランティアのせん妄・認知症ケアの有効性—IPTW 解析—
P02-8-2	荒木田美香子	(川崎市立看護大学) 自治体におけるウォーキングアプリ活用事業の実態と課題
P02-8-3	福田 茉莉	(岡山大学) 家庭血圧測定行動の年間軌跡と関連要因の検討：益田研究
P02-8-4	荒井 一光	(東京大学大学院医学系研究科 健康教育・社会学分野) 都道府県健康増進計画における「まちなかウォーカブル区域」の記載と指標化の実態
P02-8-5	新井あゆみ	(国立健康危機管理研究機構 糖尿病情報センター) 健康日本 21 (第三次) 糖尿病分野での都道府県の取組とロジックモデル活用の実態調査
P02-8-6	松岡 洋子	(千葉大学予防医学センター) 商業施設の階段空間デザイン介入効果：通行量カウントデータの時系列分析

第 3 分科会：生活習慣病・メタボリックシンドローム

10月29日(木) 14:40～15:55 ポスター(新宿 NS ビル 30F スカイカンファレンス)		
P03-1-1	松浦 英夫	(耳原総合病院) 院内がん登録からみた大腸がん検診の検討
P03-1-2	南 昌秀	(コマッククリニック) 職域における脳ドック 一万人超の受診結果
P03-1-3	浅川 香月	(摂南大学) 若年層における喫煙が空腹時血糖に与える影響
P03-1-4	船越 弥生	(大分大学医学部公衆衛生・疫学講座) 血清極長鎖飽和脂肪酸と高トリグリセリド血症との関連：大洲コホートⅡ

P03-1-5	上野 ゆり	(株式会社タマディック) インセンティブ(目標達成祝金)を用いた健康増進施策が健康経営に及ぼす影響について
P03-1-6	田中 郁行	(東京大学大学院医学系研究科 地域看護学・公衆衛生看護学分野) 自治体が行う骨粗鬆症検診データを用いた骨密度低下の関連要因の検討
P03-1-7	佐藤 陽香	(福島県健康づくり推進課) 福島県における慢性腎臓病(CKD) 対策の現状と今後の課題
P03-1-8	桑原 和代	(東京科学大学) 日本における食塩摂取量と脳血管疾患年齢調整死亡率：1980 年と 2020 年代の比較
P03-1-9	河邊 優	(東京科学大学大学院 公衆衛生看護学分野) 乳幼児を育てる母親を対象とした減塩意識と食習慣、社会的要因との関連
P03-1-10	月野木ルミ	(東京科学大学 公衆衛生看護学分野) 保健師・管理栄養士を対象とした-2kg・-2cm に効果的な特定保健指導の方法

10月29日(木) 14:40～15:55 ポスター(新宿 NS ビル 30F スカイカンファレンス)		
P03-2-1	谷口かおり	(島根大学医学部看護学科基礎看護学講座) 既存 ICT 資源を活用した特定保健指導支援モデルの構築
P03-2-2	滝谷真紀人	(株式会社キャンサーズキャン) 北海道内の市町村におけるがん検診精密検査受診率向上に向けた取り組みの把握と考察
P03-2-3	澤井 明香	(宮城大学大学院 食産業学研究科) 若年者における朝食摂取条件の違いと炭酸飲料の性質が自律神経活動に及ぼす影響
P03-2-4	尾白 有加	(新潟大学大学院医歯学総合研究科) 特定保健指導における社会的処方の効果
P03-2-5	小野 順子	(福岡県立大学) 糖尿病性腎症 2～4 期該当者における腎機能低下関連要因の検討
P03-2-6	内藤 慶太	(山梨大学大学院総合研究部医学域社会医学講座) インスリン抵抗性関連タンパク質の探索と因果性の検討：UKB/YMoC Study
P03-2-7	金井 柊	(山梨大学大学院 総合研究部医学域 社会医学講座) スタチン内服に伴う血漿プロテオーム変化の因果的検討：YMoC Study

10月29日(木) 16:00～17:15 ポスター(新宿 NS ビル 30F スカイカンファレンス)		
P03-3-1	中谷 直樹	(東北大学東北メディカル・メガバンク機構) 夫婦間のがん検診受診の一致性：TMM 計画地域住民コホート調査(宮城)
P03-3-2	木下 節子	(木下データヘルス研究所, 元埼玉県立大学) S 県特定健康診査結果に対する平成 30 年度から令和 4 年度の時系列及び年齢階級別把握
P03-3-3	井手野由季	(群馬大学) 日本人女性の食事パターンと大腸がん罹患リスクとの関連：日本ナースヘルス研究
P03-3-4	畠山 洋輔	(東邦大学医学部社会医学講座) 特定健康診査・特定保健指導と三大疾病のアウトカムとの関連：都道府県縦断研究
P03-3-6	金村 政輝	(宮城県立がんセンター研究所) がん登録情報を活用したがん検診の精度管理：宮城県からの報告 1
P03-3-7	佐藤 洋子	(宮城県立がんセンター) 市町村による全国がん登録データの活用：宮城県からの報告 2
P03-3-8	渡邊 瑞穂	(峡東保健福祉事務所) 農業従事者の生活習慣の特徴—峡東管内 A 市の特定保健指導対象者の分析—

**10月30日(金) 13:00~14:15
ポスター(新宿 NS ビル 30F スカイクンファレンス)**

P03-4-1	木下 徹	(愛媛大学大学院農学研究科) ホップ成分サプリメントの摂取と筋トレの継続による体組成および筋力への有効性評価
P03-4-2	宮座 静香	(奈良県立医科大学公衆衛生学講座) 心房細動関連脳梗塞患者における発症前心房細動診断および抗凝固薬処方の実態
P03-4-3	入江ふじこ	(全日本労働福祉協会茨城県支部) 日本人一般集団における高 HDL-C 値と循環器疾患死亡との関連: 茨城県健康研究
P03-4-4	木下 潤子	(徳島大学大学院医歯薬学研究部公衆衛生学分野) 蛋白尿に関連する生活習慣の検討〜性差に着目した横断研究〜
P03-4-5	三宅 亜弥	(摂南大学) 若年層における早食いが血圧に与える影響について
P03-4-6	今村 知明	(奈良県立医科大学公衆衛生学講座) 特定健診の受診が中長期間の死亡率に与える影響への縦断分析結果
P03-4-7	足立 育子	(公益財団法人岩手県予防医学協会) 慢性腎臓病進行の危険因子〜岩手県の健診受診者 187,316 人のデータから〜
P03-4-8	厚海 都花	(福島県保健福祉部健康づくり推進課) 福島県の市町村におけるがん検診の精密検査結果の把握等に関するアンケート調査

**10月30日(金) 13:00~14:15
ポスター(新宿 NS ビル 30F スカイクンファレンス)**

P03-5-1	渡辺 愛美	(岡山市保健所) 岡山市の胃がん検診における二次読影制度の精度管理評価に関する報告
P03-5-2	砂古 環	(摂南大学) 成人における間食が肥満に与える影響
P03-5-3	梅原安紗子	(順天堂大学) 地域住民におけるソーシャルネットワークと糖尿病関連指標との関連: 東温スタディ
P03-5-4	庄野あい子	(昭和薬科大学 公衆衛生学研究室) 薬局を活用した便潜血検査の可能性
P03-5-5	長尾 匡則	(福島県立医科大学放射線医学県民健康管理センター) 災害からの避難が糖尿病患者の死亡率に与える影響: 福島県「県民健康調査」
P03-5-6	加藤 啓史	(筑波大学) 特定健康診査における既往歴の有無と総死亡リスクとの関連

**10月30日(金) 13:00~14:15
ポスター(新宿 NS ビル 30F スカイクンファレンス)**

P03-6-1	垂水 知世	(四国大学大学院看護学研究科) 乳児期から 18 歳未満の児童に対する肥満予防対策に関する文献検討
P03-6-2	荒川 未来	(京都府立医科大学) 高齢者における過去・現在の運動歴と現在の筋力との関連: J-MICC 京都 Study
P03-6-3	藤浪 正子	(静岡県健康福祉部健康局健康政策課) 優先して取り組む高血圧対策はなにか〜静岡県 52 万人の特定健診データより〜
P03-6-4	杉山 智章	(順天堂大学) 血圧と要介護認知症のリスクの関連: 多目的コホート研究 (JPHC study)
P03-6-5	佐藤 蓮	(筑波大学) 中高年成人における血清 NT-proBNP と AWGS2025 定義サルコペニアの関連
P03-6-6	吉田 裕美	(慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科) 生活習慣介入早期の反応不良者に対する段階的介入に関するナラティブレビュー

P03-6-7	櫻井 桂子	(慶應義塾大学) 自治体リアルワールドデータを用いた 2 型糖尿病患者における eGFR 値の利用可能性
---------	-------	---

**10月30日(金) 14:25~15:40
ポスター(新宿 NS ビル 30F スカイクンファレンス)**

P03-7-1	木村 亮太	(黒沢病院附属ヘルスパーククリニック 検査部) 非肥満・血糖正常者における脂肪肝 grading の有用性
P03-7-2	斎藤加奈子	(帝京大学大学院 公衆衛生学研究科) “メタボ直前” リスク保有者に対する通知介入のメタボ移行抑制効果の検証
P03-7-3	田中 直	(弘前大学大学院医学研究科附属健康未来イノベーションセンター) ロコモティブシンドローム・メタボリックシンドロームと睡眠障害の関連
P03-7-4	斉藤 功	(大分大学医学部公衆衛生・疫学講座) 血中コルチゾールと自律神経系機能: 大洲コホート II
P03-7-5	三村 亘	(国立健康危機管理研究機構 臨床研究センター) 特定健診における眼底検査の心血管疾患予防効果の検証
P03-7-6	永井 雅人	(岩手医科大学) 東北メディカル・メガバンク計画地域住民コホート調査における岩手県のがん罹患状況
P03-7-7	明野由里奈	(九州大学大学院医学研究院保健学部門) 自治体における重症化予防対策・適正受診指導事業の指導効果: LIFE Study
P03-7-8	三浦利恵子	(公益財団法人 郡山市健康振興財団) 健診結果からみる慢性腎臓病 (CKD) の関連因子について

**10月30日(金) 14:25~15:40
ポスター(新宿 NS ビル 30F スカイクンファレンス)**

P03-8-1	向井 咲乃	(大阪府豊能郡能勢町 福祉部すこやか支援課) 自治体における家庭血圧測定推進の取組 (第 4 報): 測定による健康意識・行動の変化
P03-8-2	福島 晴樹	(播磨町役場保険課) がん検診無料クーポン券による若年層のがん検診受診率への効果の検討
P03-8-3	澤田 椿紀	(愛媛大学大学院農学研究科) 穀類摂取量とインスリン抵抗性との横断的関連: 東温スタディ
P03-8-4	丹野 泰角	(横須賀市役所) AI×ビッグデータ×人の温もりによる生活習慣病入院リスク者への支援
P03-8-5	新井 悠	(群馬大学大学院パブリックヘルス学環) 糖尿病該当者における悪化に対する生活習慣の影響: 2011~2022 年の縦断解析
P03-8-6	平野 直樹	(大分大学医学部公衆衛生・疫学講座) 健診受検者を対象とした A Body Shape Index と低筋量との関連
P03-8-7	内山田健次	(大分大学医学部公衆衛生・疫学講座) 地域住民における脈拍変動と JTC 間隔との関連: 大洲コホート II
P03-8-8	近藤 雪栄	(横浜市医療局地域医療部がん・疾病対策課) 横浜市における子宮頸がん検診 HPV 検査単独法導入の実装評価

**10月31日(土) 10:00~11:15
ポスター(新宿 NS ビル 30F スカイクンファレンス)**

P03-9-1	福島 泰子	(医療法人財団アドベンチスト会 東京衛生アドベンチスト病院) 40 歳未満女性の乳がん検診受診とプレスト・アウェアネスとの関連
---------	-------	--

P03-9-2	川添 詩野	(愛媛大学大学院連合農学研究科) マグネシウム摂取と動脈硬化の関連：東温スタディ
P03-9-3	山岡 恭子	(松山市保健所) 松山市健康増進計画 2024 の推進に向けた「18 歳からの健診」10 年間の事業報告
P03-9-4	劉 寧	(DeSC ヘルスケア株式会社) 「kencom」(PHR アプリ)の使用と健診主要検査値の変化の関連性について
P03-9-5	津山菜々子	(摂南大学) 身体活動が血圧上昇に与える影響について
P03-9-6	平良 瑠菜	(琉球大学大学院保健学研究科) 喫煙状況別のアルコール摂取量と循環器疾患死亡リスクとの関連
P03-9-7	織井 教光	(愛媛大学大学院農学研究科) 血中レチノール・βカロテン濃度と尿酸値との縦断的関連：東温スタディ
P03-9-8	藤本 悠	(関西医科大学 看護学部) PHR 共有を用いた外来生活指導の効果：pragmatic RCT

10月31日(土) 10:00~11:15 ポスター(新宿 NS ビル 30F スカイクンファレンス)

P03-10-1	杉本 優真	(大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻) 働く若年・中年男性における早食いと食事時間の関連
P03-10-2	坂田 郁子	(西南女学院大学) 自治体による食環境整備への取組の違いが減塩・カリウム摂取増加におよぼす効果
P03-10-3	竹内 健太	(慶應義塾大学) 特定保健指導従事者の高血圧に関する認識と保健指導内容の関連について
P03-10-4	山内 碧海	(奈良県立医科大学大学院看護学研究科) QGIS を用いた子宮頸がん検診実施医療機関への地理的アクセス状況と地域特性の関連
P03-10-5	杉本 章二	(公益財団法人高知県総合保健協会) 高知県における地域肺がん検診への取り組み状況
P03-10-6	大木いずみ	(埼玉県立大学 健康開発学科) 新型コロナウイルス感染が栃木県のがん診療へ与える影響：がん登録による 5 年間の観察
P03-10-7	福田 知里	(名古屋大学大学院医学系研究科) 20 歳からの体重増加と高血圧発症リスク：職域コホートによる年齢階級別 PAF の算出

10月31日(土) 13:00~14:15 ポスター(新宿 NS ビル 30F スカイクンファレンス)

P03-11-1	奈良香菜子	(株式会社 PREVENT) モバイルヘルス介入における段階別セルフモニタリング行動と脂質変化
P03-11-2	向井 菜々	(東大阪市東保健センター) QGIS を用いた大阪市における高血圧有病者数と地域要因に関する空間解析
P03-11-3	中田由紀子	(下関市立大学看護学部看護学科) AI は特定保健指導の専門性をどう支えるのか—ICT 活用の発展からの検討—
P03-11-4	久松 梨沙	(久留米市保健所 健康推進課) 久留米市における慢性腎臓病 (CKD) 重症化予防支援事業の取組み
P03-11-5	中尾 杏子	(東京大学) 特定保健指導の経年実施における指導効果の変化と関連要因の分析
P03-11-6	島田 保子	(株式会社タニタヘルスリンク) 健康管理アプリ継続利用者の特性と長期的な BMI 推移への影響【第 1 報】
P03-11-7	龍口 知子	(株式会社タニタヘルスリンク) 健康管理アプリ利用による BMI 適正化効果と行動変容因子の解析【第 2 報】

P03-11-8	高田 陽奈	(愛媛大学) 愛媛県産高アミロース玄米の継続摂取と便通との関連についての無作為化比較試験
----------	-------	---

10月31日(土) 13:00~14:15 ポスター(新宿 NS ビル 30F スカイクンファレンス)

P03-12-1	飯田 英和	(千葉大学医学部附属病院次世代医療構想センター) 千葉県旭市の特定健診・後期高齢者健診における一日推定塩分摂取量の 3 年間の推移
P03-12-2	西田 友子	(岐阜大学医学部看護学科) 若年成人女性における長時間の座位行動と身体的健康との関連
P03-12-3	川島 正敏	(東海旅客鉄道株式会社 健康管理センター 名古屋健康管理室) 健康診断時における尿蛋白の差異による、その後の血圧の推移について
P03-12-4	熊谷 貴子	(青森県立保健大学) 青森県一地域での 20 年継続健診受診者データに基づく糖尿病発症関連因子の検討
P03-12-5	大野 昂紀	(慶應義塾大学) 特定健診受診の有無と主要心血管イベントとの関連：大規模レセプトデータを用いた検討
P03-12-6	小野 啓	(千葉大学) 千葉県国保加入者の肥満症の実態調査およびメタボリック症候群との差異

第 4 分科会：保健行動・健康教育

10月29日(木) 14:40~15:55 ポスター(新宿 NS ビル 30F スカイクンファレンス)

P04-1-1	高野 直久	(医療法人社団志成会高野歯科医院) 喫煙状況の変化による歯科医院での禁煙支援について
P04-1-2	佐藤 香純	(東北大学大学院) ソーシャルメディアと大学生のボディイメージとの関連と性差：構造方程式モデリング
P04-1-3	武村 真治	(国立保健医療科学院) たばこを製造・販売している企業の「株価」と健康指標との関連
P04-1-4	坂野 瑚豊	(岩沼市健康福祉部健康増進課) 児童館における喫煙防止教育の評価：家族喫煙状況に着目した活動報告
P04-1-5	謝敷 裕美	(順天堂大学大学院医学研究科) 月経前症候群における主観的月経血流量と半定量的質問紙を用いた月経量の妥当性評価
P04-1-6	栗原那奈子	(一般財団法人 京浜保健衛生協会) 特定保健指導の自律性支援と体重減少率の関連：目標設定を介した媒介プロセスの検討
P04-1-7	小林 絢香	(愛知県立時習館高等学校附属中学校) 大学生のスマホ依存傾向と心身の健康との関連

10月29日(木) 16:00~17:15 ポスター(新宿 NS ビル 30F スカイクンファレンス)

P04-2-1	大石 美樹	(帝京大学大学院公衆衛生学研究科) たばこ広告曝露・SNS 利用と水たばこ使用の関連：JASTIS データによる横断研究
P04-2-2	草柳 有沙	(帝京大学大学院公衆衛生学研究科) 月経随伴症状に関する SNS での情報接触と受診行動との関連
P04-2-3	本田 由佳	(慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科) IoT による月経リズムおよび睡眠の可視化とプレコンセプションケア活用可能性
P04-2-4	湯脇 恵一	(国立がん研究センター) 【第 1 報】健診施設の保健医療職への介入による喫煙者の禁煙治療受療：単群実装試験

P04-2-5	山下 恵	(国立がん研究センター) 【第2報】健診医療職への介入による喫煙者の薬局・禁煙外来への連携：実施可能性試験	P04-5-2	青木菜々美	(筑波大学人間総合科学学術院人間総合科学研究群看護科学学位プログラム) 体の不調に対する通いのケアと就業時間の関連について
P04-2-6	植松 佑太	(株式会社 asken) 食事記録アプリを活用した特定保健指導の減量効果	P04-5-3	山本かよ子	(学校法人藍野大学 藍野大学短期大学部 看護学科) 大学生の生活習慣の実態とヘルスプロモーションへの気づき——内容分析による検討
P04-2-7	平田紀美子	(日本医科大学) イオン会合性試験を用いたタバコの葉及び主流煙中ニコチン測定	P04-5-4	岩野 真保	(島根大学医学部環境保健医学講座) 県民向けオンライン健康教室「しまね MAME インフォ」の市町村保健事業での活用評価

10月30日(金) 13:00~14:15 ポスター(新宿 NS ビル 30F スカイクンファレンス)

P04-3-1	高岡茉奈美	(千葉大学大学院看護学研究院) 地域住民を対象とした排便セルフケア教育プログラムの効果検証：前後比較研究
P04-3-2	田川 清	(帝京大学大学院公衆衛生学研究科) 医療機関受診の分散性が避けられる入院(ACSC)に与える影響
P04-3-3	林 友子	(独立行政法人国立病院機構新潟病院附属看護学校) 豪雪地域に暮らす高齢糖尿病患者への診療所看護師による患者教育の現状
P04-3-4	山田 正明	(富山大学医学部疫学健康政策学講座) 小中学校でのネット依存の予防教育によるネット時間の減少効果
P04-3-5	小林 佳人	(青森県立保健大学大学院) 若年成人向けライフプラン統合型健康教育プログラムの開発
P04-3-6	大澤 絵里	(国立保健医療科学院公衆衛生政策研究部) 幼児をもつ家庭の喫煙・受動喫煙曝露評価—質問紙と尿中バイオマーカーによる検討—
P04-3-7	牛山 明	(国立保健医療科学院) たばこの画像付き警告表示に関する市民の意識調査 - JASTIS2026 調査 -

10月30日(金) 14:25~15:40 ポスター(新宿 NS ビル 30F スカイクンファレンス)

P04-4-1	長尾日香里	(国立がん研究センター がん対策研究所 行動科学研究部) 心理特性に応じた個別化禁煙支援メッセージの予備的検討
P04-4-2	坂巻つや子	(秀明大学) 千葉県における介護施設のタバコに関する実態調査
P04-4-3	池崎 澄江	(千葉大学大学院看護学研究院) 子宮頸がんワクチンキャッチアップ世代の接種状況【第1報】接種者と未接種者の比較
P04-4-4	黒肱 聖菜	(元千葉大学看護学研究科博士前期課程) 子宮頸がんワクチンキャッチアップ世代の接種状況【第2報】未接種者における接種意向
P04-4-5	網嶋 凜香	(順天堂大学・大学院医学研究科グローバルヘルスリサーチ研究室) 米国マイアミ市の若年層の薬物使用に対するハームリダクション支援
P04-4-6	田村 晴香	(岐阜大学医学部看護学科) 日本の若年成人における性行動とメンタルヘルスとの関連
P04-4-7	三好 知美	(日本大学医学部社会医学系公衆衛生学分野) 高校保健におけるヘルスニューメラシー教育と感染症リスク認知：非ランダム化比較試験

10月31日(土) 10:00~11:15 ポスター(新宿 NS ビル 30F スカイクンファレンス)

P04-5-1	磯山 優	(帝京大学経済学部) 専門医の講演が健康意識の改善に与える効果の継続性に関する研究
---------	------	--

10月31日(土) 13:00~14:15 ポスター(新宿 NS ビル 30F スカイクンファレンス)

P04-6-1	仁部 丈大	(山梨大学大学院 総合研究部医学域 社会医学講座) モバイルヘルスアプリによる飲酒記録と血漿タンパク質の縦断解析：YMoC Study
P04-6-2	小暮 優花	(山梨大学大学院 総合研究部医学域 社会医学講座) 日本人における子宮筋腫に関連する網羅的血漿プロテオーム解析：YMoC Study
P04-6-3	飯間公美子	(日本栄養大学大学院(元女子栄養大学大学院)) スマホアプリ『バランス日記』利用支援ガイドの作成と有効性検証：ランダム化比較試験
P04-6-4	大野 佳子	(群馬医療福祉大学) 看護職の禁煙支援力向上研修の構成要素：支援困難感と喫煙の意味づけへの対応
P04-6-5	嶺嶺 朋弥	(岐阜大学) 妊娠出産後における父母の喫煙行動の変化と認識：産後1年6ヵ月までの追跡調査
P04-6-6	岡山 明	(生活習慣病予防研究センター) 保健指導 AI トレーナーの開発と評価

第5分科会：親子保健・学校保健

10月29日(木) 14:40~15:55 ポスター(新宿 NS ビル 30F スカイクンファレンス)

P05-1-1	高木 悦子	(帝京科学大学) 全国基礎自治体母子保健担当部署で実施されている父親支援実態調査結果
P05-1-2	山田 典子	(横浜市立大学) 保育現場における外傷記録モバイルシステムの開発と実装評価
P05-1-3	庄司 保子	(富山大学学術研究部医学系疫学健康政策学講座) 非肥満思春期女子における減量行動歴の関連因子：富山出生コホート研究
P05-1-4	山本 朋代	(産業医科大学 産業保健データサイエンスセンター) 乳児期における世帯主の抑うつ関連障害の受診実態
P05-1-5	岡 いくよ	(畿央大学) 産前・産後ポピュレーションアプローチ 支援基盤を補完する大学拠点プラットフォーム
P05-1-6	清水 雅世	(太田市立城西中学校) 養護教諭のメンタルヘルスについて

P05-1-7	板山 稔	(長岡崇徳大学) 訪問看護ステーションにおける看護師のヤングケアラー支援の実態	P05-4-2	高橋真由美	(河内長野市こども子育て部こどもファミリーセンター) 5歳児健診における心理発達判定と1歳7か月・3歳児健診判定及び育てにくさとの関連
P05-1-8	鈴木 裕美	(香川大学医学部衛生学) 児童生徒のネット依存に対する治療キャンプの1年後効果	P05-4-3	野添 華	(香春町役場) 小規模自治体での5歳児健診の導入～支援体制構築へのスクラップ・アンド・ビルド～
10月29日(木) 14:40～15:55 ポスター(新宿 NS ビル 30F スカイカンファレンス)			P05-4-4	竹口 和江	(長崎県立大学) 母親からのソーシャルサポートと共働きの父親の育児・家事との関連
P05-2-1	谷 杏奈	(神戸市こども家庭局) 神戸市の母子保健データを用いた児童虐待の予測因子の検討	P05-4-5	川村 真紀	(世田谷保健所) こども家庭センターの設置を機とした母子保健活動とアセスメントシートの開発
P05-2-2	山本真樹子	(奈良学園大学) 女性の出産体験と助産師のありようの一致相「待つ」—2組の女性と助産師の語りから—	P05-4-6	松原みゆき	(日本赤十字広島看護大学) 大木町に在住する子育て世代の心理的ストレスに関連する要因
P05-2-3	安井 千恵	(港区みなと保健所) 港区内の民間カフェチェーンと連携したアウトリーチ型育児講演会の実践報告	P05-4-7	池田明日香	(大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻) 自治体の妊娠届出時支援区分と子育てCPRA®の関連—妊娠期・育児期における検討—
P05-2-4	吉羽 久美	(東京女子医科大学) 乳幼児を持つ母親のアタッチメントスタイルと養育における援助要請行動の媒介効果	P05-4-8	田熊 菜津	(慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科) 児童養護施設の日常生活における支援の入口
P05-2-5	野村 智実	(国立健康危機管理研究機構 国立看護大学校) 子育て理論モデルに基づく幼児をもつ父親の子育て行動と関連要因の探索的検討	10月29日(木) 16:00～17:15 ポスター(新宿 NS ビル 30F スカイカンファレンス)		
P05-2-6	秋山 実季	(東邦大学医学部社会医学講座衛生学分野) 父親の飲酒習慣と妊娠判明までの母親の飲酒行動との関連: 横断研究	P05-5-1	奥田 昌之	(山口大学) 日本人中学生の体格と貧血、鉄欠乏との関係に関する記述統計
P05-2-7	八木 彩香	(神戸大学) 在日外国人母子に対し保健師がうまくいったと認識する支援の特徴	P05-5-2	本田千可子	(東京科学大学) 自治体母子手帳アプリによるブッシュ型傷害予防動画教材の効果: ランダム化比較試験
P05-2-8	入谷 智子	(びわこ成蹊スポーツ大学) 未解決型愛着スタイルである母親と育児不安や生活習慣(飲酒や喫煙)の関連	P05-5-3	長町 尚美	(香川大学大学院) 思春期における体格推移が代謝異常に及ぼす影響: 糖代謝異常に着目して【第一報】
10月29日(木) 14:40～15:55 ポスター(新宿 NS ビル 30F スカイカンファレンス)			P05-5-4	萩 瞳	(湯浅町役場) 生活場面を基盤とした5歳児健診の役割と意義—保健・教育・保育の協働による実践—
P05-3-1	佐田 文宏	(東京大学 保健・健康推進本部) 幼小児期のBMI軌跡に関連する周産期要因と思春期の生活習慣・心理社会的要因	P05-5-5	小林 瞳	(筑西市) 他部門連携による切れ目のない支援体制の構築—身体疾患を抱える児と保護者への支援—
P05-3-2	及川 奈央	(順天堂大学 小児科思春期科) 母子手帳情報に基づく乳幼児期の育児ストレスの経過とその予測要因	P05-5-6	徳岡 麻由	(高知県立大学看護学部) 助産師による思春期性教育を受講した高校生における相談意欲の関連要因
P05-3-3	前原 遙	(岡山大学 大学院医歯薬学総合研究科 疫学・衛生学分野) 親の朝食欠食が子の健康・発達・生活習慣に及ぼす長期的影響	P05-5-7	田淵紗也香	(京都光華大学) 市町村の母子保健サービスの提供体制と産後うつリスクの発生状況: 市・町村別比較
P05-3-4	許 以寧	(京都大学大学院総合生存学館) 一時保護児における乳幼児う蝕の有病状況	P05-5-8	鶴巻 采音	(筑波大学) 中学受験予定の有無による小学校6年生の精神健康、心理社会的要因、生活習慣の比較
P05-3-5	坂東 春美	(奈良県立医科大学大学院看護学研究科) 市町村別妊娠届出遅延率の地域格差と空間的偏在	10月29日(木) 16:00～17:15 ポスター(新宿 NS ビル 30F スカイカンファレンス)		
P05-3-6	山崎 駿介	(埼玉医科大学医学教育センター) 小地域における新型コロナウイルス感染症流行前後の学校感染症出席停止状況の変化	P05-6-1	佐藤志央理	(千葉大学医学部附属病院次世代医療構想センター) 母親の逆境の小児期体験(ACE)の潜在クラス分析とボンディングとの関連
P05-3-7	増本 年男	(鳥取大学医学部) 睡眠時間と子どもの発達: エコチル調査より	P05-6-2	松本 明莉	(早稲田大学) 産前産後の妊産婦における主観的ウェルビーイングの変動とその関連要因の分析
P05-3-8	森山 智加	(大阪公立大学大学院看護学研究科ヘルスプロモーションケア科学分野) 初潮年齢とその関連要因に関する研究—双生児データをを用いた分析—	P05-6-3	武本 翔子	(豊中市福祉事務所) 生活保護受給妊婦における妊娠実態と早期支援の可能性
10月29日(木) 16:00～17:15 ポスター(新宿 NS ビル 30F スカイカンファレンス)			P05-6-4	増田 理恵	(国立保健医療科学院) 若者支援団体の利用者の実態および支援団体の利用とこころの健康との関連
P05-4-1	松本 尚美	(岡山大学 学術研究院医歯薬学域 疫学・衛生学分野) 不登校支援に向けた国際エビデンス整理と行政データ連結コホートの活用可能性	P05-6-5	栗原 梨香	(帝京大学大学院 医療技術学研究科 看護学専攻) 幼児を育児している父親と母親の育児支援制度の利用状況について

P05-6-6	大谷 優華	(武庫川女子大学) 3 歳児をもつ母親のダブルケアに関する実態
P05-6-7	前野有佳里	(産業医科大学) 乳幼児健診における保健師の困難感と健診満足度の比較～5 歳児健診導入への一考察～

**10 月 30 日 (金) 13:00～14:15
ポスター (新宿 NS ビル 30F スカイクンファレンス)**

P05-7-1	王 妍霖	(筑波大学) 育児環境潜在プロファイルと幼児粗大運動発達の関連
P05-7-2	横竹 沙耶	(元武庫川女子大学大学院) 1 歳 6 か月児をもつ父親と母親における親役割達成感とその関連要因
P05-7-3	楠田 美奈	(杏林大学保健学部) 小学生高学年児童の骨の成長に影響する生活習慣
P05-7-4	舟迫 香	(栃木県中央児童相談所) 妊婦健康診査未受診事例における飛び込み出産・墜落分娩の背景要因の検討
P05-7-5	柴田 陽介	(浜松医科大学健康社会医学講座) 高校生年代における一般校と特別支援学校の死亡事故発生場面の違い
P05-7-6	福田 花	(森ノ宮医療大学大学院) インクルーシブ保育が子どもの社会性発達に及ぼす効果の検証
P05-7-7	寒水 章納	(福岡看護大学) 児童虐待の早期発見に向けて保健師に求められる観察とアセスメントの視点

**10 月 30 日 (金) 13:00～14:15
ポスター (新宿 NS ビル 30F スカイクンファレンス)**

P05-8-1	竹内 由夏	(千葉大学予防医学センター) 千葉市 3 歳児健康診査データによる肥満関連要因の探索
P05-8-2	佐藤 美樹	(川崎市立看護大学 看護学部) 乳幼児を持つ親の家族エンパワメントの構造—子どもの人数による多母集団同時分析—
P05-8-3	知花 文香	(東京科学大学 大学院保健衛生学研究科 精神保健看護学分野) 自閉スペクトラム症リスク児をもち就労中の父親と母親のメンタルヘルス：横断研究
P05-8-4	小野 浩二	(ビューティ&ウェルネス専門職大学) 都道府県別データからみた児童生徒の体力項目間の相関構造
P05-8-5	望月 唯	(御坊市役所 こども支援課) 5 歳児におけるスクリーンタイムと生活習慣の関連：健康診査アンケートの分析
P05-8-6	辻 京子	(四国大学) グリーゾーン家庭における保健師の判断過程の特徴—5 事例の実践記録分析—
P05-8-7	谷口 綾	(富山大学疫学健康政策学講座) 児童の近視割合とネット依存：とやま安心ネットワークショップ事業
P05-8-8	恵川 典子	(特定非営利活動法人子育て家庭保育看護協会) 多胎児家庭における病院同行支援要望およびイベント開催ニーズに関する質的研究

**10 月 30 日 (金) 13:00～14:15
ポスター (新宿 NS ビル 30F スカイクンファレンス)**

P05-9-1	板谷 咲奈	(鹿児島大学大学院 保健学研究科) 母親の睡眠習慣が学童期・思春期の子どもの生活習慣と自尊感情に与える影響
P05-9-2	羽田 理沙	(都留市役所) 5 歳児健診受診者の精神発達面において要支援判定となった児の養育の特徴

P05-9-3	平本衣里賀	(広島大学大学院医系科学研究科公衆衛生学) 幼児健診における親の発達相談・保健師判断の一致パターンと事後フォロー判定との関連
P05-9-4	松原三智子	(北海道科学大学) 医療的ケア児の母親の経験に関する文献検討

P05-9-5	藤城有美子	(駒沢女子大学) 通信制高校における生徒支援①—学業、友人関係、教師との関係でのストレス—
---------	-------	--

P05-9-6	平部 正樹	(聖心女子大学) 通信制高校における生徒支援②—教職員インタビューによる支援項目検討—
---------	-------	--

P05-9-7	小倉加恵子	(鳥取県福祉保健部／子ども家庭部 (兼) 倉吉保健所) 乳幼児健康診査における精度管理の段階モデルの提案と課題：鳥取県内 5 自治体調査
---------	-------	---

**10 月 30 日 (金) 14:25～15:40
ポスター (新宿 NS ビル 30F スカイクンファレンス)**

P05-10-1	萩野 翔太	(浜松医科大学健康社会医学講座) 小・中・高校生の学校管理下における突然死の病態および養護教諭対応【第 1 報】
----------	-------	---

P05-10-2	藤原 百花	(浜松医科大学健康社会医学講座) 小・中・高校生の学校管理下における突然死の性差【第 2 報】
----------	-------	--

P05-10-3	杉浦 至郎	(あいち小児保健医療総合センター 保健センター) 保護者の 5 歳児健康診査需要等に関する質問紙調査
----------	-------	---

P05-10-4	谷川果菜美	(大阪母子医療センター 母子保健情報センター) 母の背景要因と地域保健機関での継続支援に関する観察研究
----------	-------	--

P05-10-5	長沼 裕子	(名古屋市健康福祉局) 就学前の里子の子育て体験における養子縁組里親の「母の思い」に関する質的分析
----------	-------	--

P05-10-6	田中 貴子	(西南女学院大学) 市町村保健師の「事業化・施策化」のプロセス～A 町食育事業の事業創出過程
----------	-------	---

P05-10-7	井上 陽子	(大手前大学 国際看護学部) 男子大学生のレディネスが示す高校卒業後の月経教育の必要性—新入生への実態調査—
----------	-------	---

P05-10-8	吉田 丈俊	(富山大学附属病院周産母子センター) 助産師継続ケアと地域連携体制が周産期アウトカムに与える影響：エコチル地域追加調査
----------	-------	--

P05-10-9	大橋美の里	(株式会社両備システムズ) 自治体における保健記録電子化の定着プロセス～紙併用期の課題と移行支援の検討～
----------	-------	---

**10 月 30 日 (金) 14:25～15:40
ポスター (新宿 NS ビル 30F スカイクンファレンス)**

P05-11-1	宮島 有果	(長野市保健所) エコー画像診断に対し行政が医療機関へ共有クラウド導入を支援した実証事業の効果
----------	-------	--

P05-11-2	松永 博子	(東京都健康長寿医療センター研究所) 児童・生徒のストレスへの対処方法に関する探索的検討と SOS の出し方授業の効果
----------	-------	--

P05-11-3	武田恵里奈	(山形大学医学部看護学科) 乳幼児をもつ親の育児に伴う肯定的感情に関するスコーピングレビュー
----------	-------	---

P05-11-4	辻 啓子	(京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻社会疫学分野) 逆境的小児期体験と子どもを持つ希望の関連：肯定的小児期体験による交互作用の検討
----------	------	--

P05-11-5	久藤 麻子	(大阪医科薬科大学 医学部 衛生学・公衆衛生学) 葉酸摂取に関する婚姻届け時の情報提供と妊娠前の摂取状況との関連検討
----------	-------	---

P05-11-6	富崎 悦子	(慶應義塾大学) 育児の共同体制の変化が 5 歳時の行動発達と育児負担感に及ぼす影響
----------	-------	---

P05-11-7	飯塚 玄明	(千葉大学) 小児肥満予防の国際共同研究における千葉市でのクラスターランダム化比較試験
----------	-------	--

**10月31日(土) 10:00~11:15
ポスター(新宿 NS ビル 30F スカイクンファレンス)**

P05-12-1	川又 智絵	(常陸大宮市) 常陸大宮市 5 歳児健康診査の現状と課題
P05-12-2	渡邊 美貴	(愛知教育大学) ヤングケアラーに対する認識
P05-12-3	島本 淳子	(大阪公立大学大学院文学研究科) ピアノ学習は発達障害児の手指機能にどう関わるか
P05-12-4	小財 敬子	(京都大学医学研究科人間健康科学系専攻) 授乳困難における地域支援のアプローチとそのアウトカムに関するナラティブレビュー
P05-12-5	家入 香代	(国際医療福祉大学保健医療学部看護学科) 行政における CDR およびグリーンフケアの実装に関する現状と課題の探索
P05-12-6	松尾 瑠美	(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 疫学・衛生学分野) COVID-19 パンデミックが乳幼児の言語発達に与える縦断的影響
P05-12-7	佐藤 絃子	(国立健康危機管理研究機構) 仏語圏アフリカ母子保健行政官対象研修の特徴と内容変化 (2015-2025 年)
P05-12-8	西川 果那	(岐阜県関保健所) 5 歳児健康診査導入支援実践報告 保健医療福祉教育の連携による切れ目ない支援に向けて

**10月31日(土) 10:00~11:15
ポスター(新宿 NS ビル 30F スカイクンファレンス)**

P05-13-1	西野 友子	(国立成育医療研究センター社会医学研究部) 産科医療機関における社会的リスクのアセスメントと自治体連携の実態
P05-13-2	古川 照美	(青森県立保健大学) 中学生の保護者の生活習慣地域比較 一青森県と滋賀県一
P05-13-3	石田 雪乃	(奈良県立医科大学附属病院看護部耳鼻科) QGIS と社会的脆弱指数による虐待リスクの可視化 奈良県の若年出産を中心とした検討
P05-13-4	喜家村麻美	(慶応義塾大学健康マネジメント研究科) つわりを有する就労初産婦の職場適応を支える要因の検討: スコーピングレビュー
P05-13-5	石井 忍	(慶應義塾大学健康マネジメント研究科) 産後 1 年以内の母親における座位行動: スコーピングレビュー
P05-13-6	北見 英理	(茨城県歯科医師会) 学校歯科医が行う「喫煙が口腔に及ぼす影響」に関する歯と口の健康教室の評価
P05-13-7	井神 健太	(順天堂大学小児科) 思春期世代における SNS 使用は孤独感を高めるか: 思春期コホートに基づく因果推論

**10月31日(土) 13:00~14:15
ポスター(新宿 NS ビル 30F スカイクンファレンス)**

P05-14-1	相羽 竜成	(あいち小児保健医療総合センター) 時間外育児電話相談からみる男性の育児参加の実態
P05-14-2	島田佳奈子	(富山大学 エコチル調査富山ユニットセンター) 父親の育児行動と生後~4 歳に発生した子どもの外傷・熱傷との関連: エコチル調査
P05-14-3	久島 萌	(山梨大学大学院総合研究部附属出生コホート研究センター) 妊婦のサーカディアンリズムと子どもの ASD との関連: エコチル調査

P05-14-4	工藤 芳幸	(関西福祉科学大学) リハビリ専門職養成における対話のワークシヨップ導入の効果についての予備的研究
----------	-------	--

P05-14-5	ロジネ エメメタッセ フォンコワ	(Division of Health Science, The University of Osaka Graduate School of Medicine) 母親の養育態度が未就学児の週末のスクリーンタイムに及ぼす影響
----------	------------------	---

P05-14-6	後藤 春風	(大分県東部保健所) 産後ケア事業サポートプランの取り組みを通じた「親育て」に関する考察
----------	-------	---

P05-14-7	櫻井 美緒	(前橋市こども未来部こども支援課) 「妊婦のための支援給付」を通じた流産・死産・人工妊娠中絶後の親に対する支援の評価
----------	-------	---

P05-14-8	渡瀬 博俊	(墨田区保健所) 5 歳児健康相談の SDQ 利用による検討
----------	-------	-----------------------------------

**10月31日(土) 13:00~14:15
ポスター(新宿 NS ビル 30F スカイクンファレンス)**

P05-15-1	鈴木 浩子	(昭和大学大学院 保健医療学研究科) ICT を用いた育児中の母親のメンタルヘルスケアプログラムの評価
P05-15-2	尾関 唯未	(日本福祉大学) 地区組織活動を牽引する笑いの健康づくりリーダー養成に関する試み
P05-15-3	堀池 諒	(奈良県立医科大学) QGIS を用いた全国の緊急避妊薬対応薬局へのアクセス評価
P05-15-4	大塚雄一郎	(日本大学 医学部 社会医学系 公衆衛生学分野) 日本の青少年におけるフィルターバブル認知とその関連要因
P05-15-5	木村美也子	(昭和女子大学) 妊娠から子育て期までの医療者との関わり及び子育て支援への肯定的評価と受援力の関連
P05-15-6	上崎 秀造	(大阪大学大学院) 特定妊婦のタイプ別基本指導箋の試案作成: タイプ 1 若年初産養育力支援タイプについて
P05-15-7	佐藤 幸子	(東京都市大学大学院環境情報学研究科) 母子保健分野におけるプラネタリーヘルスの動向と必要とされる対策
P05-15-8	橋本 理史	(早稲田大学) 普通教室の冷房設備拡大が児童・生徒の健康・学力・体力に与えた影響

第 6 分科会: 高齢者の QOL と介護予防

**10月29日(木) 14:40~15:55
ポスター(新宿 NS ビル 30F スカイクンファレンス)**

P06-1-1	佐々木由理	(国立保健医療科学院) 東南アジア 5 か国における高齢者向け長期介護 (LTC) の現状と課題
P06-1-2	植田 拓也	(東京都健康長寿医療センター研究所) 都内島しょ地域でのフレイル予防等の推進支援: 通いの場等の取組状況【第 1 報】
P06-1-3	中本 五鈴	(東京都健康長寿医療センター研究所) 都内島しょ地域でのフレイル予防等の推進支援: 高齢者実態調査の結果【第 2 報】
P06-1-4	大曾根由実	(東京都健康長寿医療センター研究所) 都内島しょ地域でのフレイル予防等の推進支援: 認知症共生との一体的啓発【第 3 報】
P06-1-5	根本 裕太	(神奈川県立保健福祉大学) 地域在住高齢者における農作業実施時間と身体活動・社会的つながり・健康関心度の関連
P06-1-6	島田 真行	(福井大学医学部地域健康学講座) 新規要介護認定高齢者における日常生活自立度と大腿骨近位部骨折リスクの関連の検討

P06-1-7	木村 勇吾	(青森県立保健大学大学院健康科学研究科) 軽度認知機能障害 (MCI) が地域在住高齢者の 体組成に与える影響
P06-1-8	多田 章夫	(兵庫大学) 高齢者における転倒経験、転倒リスク、口腔 機能との関連

**10月29日(木) 14:40~15:55
ポスター(新宿 NS ビル 30F スカイクンファレンス)**

P06-2-1	戸田 典子	(世田谷区保健福祉政策部) 【第1報】「後期高齢者の質問票」からみたフ レイル関連項目の出現特徴の検討
P06-2-2	由利 緑巳	(大阪人間科学大学) 地域在住高齢者における「買い物工程分析 表」の評価者内・評価者間信頼性の検討
P06-2-3	森 裕樹	(東京都健康長寿医療センター研究所) COVID-19 流行下の私的交流及び通いの場参 加意向とその後のフレイルとの関連
P06-2-4	松村 拓実	(順天堂大学) 血清ビタミンC 濃度と要介護認知症リスク との関連
P06-2-5	藤原 佳典	(東京都健康長寿医療センター研究所) 文化・学習系ボランティアが健康悪化/改善 に及ぼす要因: REPRINTS
P06-2-6	山下 真里	(東京都健康長寿医療センター研究所) 部屋の散らかりは何を映すか: 地域在住高齢 者における実態と関連要因の探索的検討
P06-2-7	水本 淳	(北海道文教大学 医療保健科学部 リハビリ テーション学科) 地域在住高齢者における複数回転倒と坐骨歩 き移動距離との関連
P06-2-8	桜井 良太	(東京都健康長寿医療センター研究所) 独居認知症高齢者に対する見守り手法と介護 者の緊急時見守り体制の十分性認識との関連

**10月29日(木) 16:00~17:15
ポスター(新宿 NS ビル 30F スカイクンファレンス)**

P06-3-1	橋本 将和	(広島市翠町地域包括支援センター) 地域包括支援センターにおけるリハビリテ ーション関連職への期待と連携の現状
P06-3-2	高取 克彦	(畿央大学大学院健康科学研究科) 社会参加の変化と主観的年齢の若返り: 並行 過程潜在変化モデルによる性差の検討
P06-3-3	新井 武志	(長野県立大学大学院 健康栄養科学研究科) 多職種による通所介護施設への遠隔支援が利 用者の心身状態におよぼす影響
P06-3-4	橋本 充代	(獨協医科大学) 宇都宮市における総合事業通所型サービス C と一般介護予防教室の効果評価と参加者比較
P06-3-5	石橋 智昭	(公益財団法人ダイヤ高齢社会研究財団) フレイル水準別にみたシルバー人材センター 会員の2年後の就業状況
P06-3-6	横川 吉晴	(信州大学) フレイル健診高齢者のヘルスリテラシーと1 年後プレフレイル発生との関連
P06-3-7	山北 武	(千歳市介護予防センター) 地域住民が気軽に利用できる介護予防相談事 業: 評価と支援接続の実践と課題
P06-3-8	松本 博成	(東京大学) 日本語版「認知症リスク低減のための行動変 容モチベーション尺度」

**10月29日(木) 16:00~17:15
ポスター(新宿 NS ビル 30F スカイクンファレンス)**

P06-4-1	西前 純子	(神奈川県立保健福祉大学大学院ヘルスイノ ベーション研究科) 60代前半女性の就労を通じた社会的つなが りの質的検討
---------	-------	---

P06-4-2	眞崎 直子	(西南女学院大学) 一体的実施事業「つながる健康田川プロジェ クト」に関する研究
P06-4-3	山本久美子	(狛江市) 狛江市における高齢男性の身体的フレイル予 防事業への参加行動の構造分析
P06-4-4	鹿島美恵子	(東京都健康長寿医療センター研究所) 転倒不安を有する地域在住高齢者における社 会参加の特徴と関連因子
P06-4-5	林 尊弘	(愛知医療学院大学リハビリテーション学部) 地域在住高齢者における社会的フレイルと心 理的 Well-being の縦断的関連
P06-4-6	岩田 由香	(北海道大学大学院) 地域在住自立高齢者のソーシャルサポート提 供の関連要因: JAGES プロジェクト
P06-4-7	南里妃名子	(国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研 究所) 高齢者における便秘評価法の違いと包括的フ レイルとの関連
P06-4-8	光武 誠吾	(東京都健康長寿医療センター) Claims-based frailty index と大腿骨近位部骨 折との関連

**10月29日(木) 16:00~17:15
ポスター(新宿 NS ビル 30F スカイクンファレンス)**

P06-5-1	北村 佳代	(柏市健康医療部地域包括支援課) 高齢者における認知症相談窓口認知度と社会 的つながりの実態
P06-5-2	磯谷 果歩	(厚木保健福祉事務所) 集いの場に継続的に参加している高齢者の生 きがい感に関する研究
P06-5-3	松井 大輔	(京都府立医科大学大学院 地域保健医療疫 学) 高齢者における口腔機能低下症と身体的フレ イルの検討
P06-5-4	吉田 寛子	(大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻) 地域住民における孤独感と転倒・つまずき経 験との関連の検討
P06-5-5	山本有理亜	(武庫川女子大学大学院 看護学研究科修士課 程) 地域在住高齢者における栄養バランスと食関 連行動の実態
P06-5-6	木村 美佳	(特定非営利活動法人 国際生命科学研究機 構) 地域在住高齢者における社会的孤立と食習 慣、運動習慣との関連性について
P06-5-7	松尾 洋	(株式会社くまもと健康支援研究所) 生活支援体制整備事業における民間カフェと の協働による居場所づくり
P06-5-8	森田 千絵	(福岡女子大学大学院) 高齢者におけるたんぱく質及びアミノ酸摂取 量と体組成・握力との関連

**10月30日(金) 13:00~14:15
ポスター(新宿 NS ビル 30F スカイクンファレンス)**

P06-6-1	栗田 智史	(国立長寿医療研究センター予防老年学研究 部) 高齢ドライバーにおける主観的記憶障害と自 動車事故、ヒヤリハット経験の関連
P06-6-2	山村奈津子	(ミーカンパニー株式会社) 高齢者リハビリテーションに関わる専門人材 の地域偏在傾向の検討
P06-6-3	野口 泰司	(浜松医科大学) 市町村の認知症サポーターの普及と住民の認 知症に対する態度・認識: 生態学的研究
P06-6-4	山寺 直人	(大阪府豊中市保健所 健康医療部 健康推 進課) 認知症予防教室修了後の地域活動参加に関連 する要因の探索的検討

P06-6-5	松森英一郎	(関西医科大学大学院 生涯健康科学研究科) 地域在住高齢者における日常生活下の歩行ケイデンス指標と通常歩行速度の関連
P06-6-6	河合 恒	(東京都健康長寿医療センター研究所) 高齢者のデジタル技術による交流とウェルビーイングとの縦断的関連：お通者健診研究
P06-6-7	松崎 恵子	(埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科) 中高齢者のセクシュアリティ研究動向と公衆衛生の課題：スコーピングレビュー
P06-6-8	杉村 嘉邦	((株) 現代けんこう出版) 高齢者の咀嚼能力低下予防に資する身体的要因の探索

**10月30日(金) 13:00~14:15
ポスター(新宿 NS ビル 30F スカイクンファレンス)**

P06-7-1	黒川 浩美	(大阪青山大学) 高齢者における日常生活活動強度特性の検討
P06-7-2	西山 隆	(ミアヘルサ株式会社 介護事業本部 地域包括ケア推進課) 規範的統合を醸成する地域ケア個別会議のプロセスと要因に関する RTA を用いた研究
P06-7-3	塩田 真麻	(神奈川県立保健福祉大学) 高齢者における通いの場参加と認知的ソーシャルキャピタル：JAGES 縦断研究
P06-7-4	上村 一貴	(大阪公立大学 大学院リハビリテーション学研究科) 高齢者における行政情報の入手経路数と要介護・死亡の関連—4 年間の縦断研究
P06-7-5	二瓶 健司	(星総合病院) 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施におけるリハ専門職の地域連携の取り組み
P06-7-6	郭 帥	(筑波大学) 自覚ストレスと要介護認知症リスクとの関連への心理的苦痛による修飾：茨城県健康研究
P06-7-7	清野 諭	(山形大学 Well-Being 研究所) 高齢者の通いの場参加割合と要支援・要介護認定率：全国保険者データによる縦断的検討
P06-7-8	諸隈 千里	(能勢町 福祉部 福祉課) 住民主体の通いの場「いきいき百歳体操」参加者の新規参加者受入れ意向

**10月30日(金) 14:25~15:40
ポスター(新宿 NS ビル 30F スカイクンファレンス)**

P06-8-1	小島 令嗣	(山梨大学) フリーマーケットへの出店が地域高齢者の生きがいと主観的健康感に及ぼす影響
P06-8-2	川口 桂嗣	(敦賀市立看護大学) 認知症家族介護者支援におけるフォトボイスの意義と可能性に関する文献検討
P06-8-3	藤田 高史	(名古屋葵大学) 健常高齢者と MCI 高齢者のフレイル予防活動への参加目的に関する調査結果
P06-8-4	安心院朗子	(目白大学) ハンドル形電動車いすに対する若年ドライバーの運転行動認識—すれ違う場面での認識—
P06-8-5	中島 和子	(松江市・島根県共同設置松江保健所) 島根県の地域包括ケアシステム～市町村(介護保険者)の介護予防事業の伴走支援～
P06-8-6	黒田 恵子	(順天堂大学) 言語を介した知的余暇活動と軽度認知機能障害との関連：東温スタディ
P06-8-7	白取 千種	(港区みなと保健所健康推進課健康づくり係) 低栄養ハイリスク高齢者における主観的健康感と支援未接続の背景
P06-8-8	武内さやか	(浜松医科大学) 高齢者の社会的孤立支援を行うリンクワーカーの活動内容の明確化～家庭医の視点～

**10月30日(金) 14:25~15:40
ポスター(新宿 NS ビル 30F スカイクンファレンス)**

P06-9-1	横山 友里	(東京都健康長寿医療センター研究所) 住民ボランティア主体の通いの場のフレイル予防効果とボランティアの効果的な関わり
P06-9-2	役田 真一	(東洋大学大学院) 地域在住高齢者における日常的なデジタルゲーム実施と認知機能低下との関連
P06-9-3	小澤 初美	(都留市福祉保健部長寿介護課) 住民主体の e スポーツ教室の身体・認知機能に対する効果：ランダム化比較試験
P06-9-4	田中 龍舞	(武庫川女子大学食物栄養科学部食物栄養学科) 兵庫県 N 市における咬合力アップ運動実施による栄養状態および身体状況の経年的変化
P06-9-5	末木 結菜	(甲州市役所) 介護予防教室への参加促進に向けた地域との協働の取り組み
P06-9-6	小柳 淳	(新宿区健康部) 新宿区における低栄養高齢者に対するハイリスケアアプローチの実施について【第1報】
P06-9-7	島村 実奈	(新宿区健康部) 新宿区における低栄養高齢者に対するハイリスケアアプローチの実施について【第2報】
P06-9-8	和泉 京子	(武庫川女子大学看護学部) 民生委員の視点における向老期・高齢期世代の地域活動参加の実態

**10月30日(金) 14:25~15:40
ポスター(新宿 NS ビル 30F スカイクンファレンス)**

P06-10-1	加藤 清人	(平成医療短期大学リハビリテーション学科) ICT を活用した居宅高齢者向け包括的フレイル予防活動：初回調査時の対象者特性
P06-10-2	山田 卓也	(帝京大学大学院公衆衛生学研究科) 地域在住高齢者の健康関心と抑うつとの関連の検討
P06-10-3	齊藤麻由子	(富山大学疫学・健康政策学講座) 後期高齢者の walkability とフレイルとの関連：KDB データによる横断研究
P06-10-4	三澤 未佳	(都留市福祉保健部長寿介護課) 高齢者の総合的健診後の認知機能低下者への支援とその後の経過
P06-10-5	柴田亜梨紗	(文京区高齢福祉課) 文京区転倒骨折予防教室における複合的介入の効果-地域特性を踏まえた介入への示唆-
P06-10-6	渡邊 彩	(柏市健康医療部地域包括支援課) 高齢者の介護予防に向けた社会参加促進支援に係る事業展開について
P06-10-7	今井 悠	(東京都健康長寿医療センター研究所 社会参加とヘルシーエイジング研究チーム) 尿失禁と社会参加に着目したフレイル発症リスクの検討：草津コホート研究
P06-10-8	鈴木 雪絵	(新潟県福祉保健部高齢福祉保健課) 中等度難聴高齢者における補聴器使用による QOL の変化～中間報告～

**10月30日(金) 14:25~15:40
ポスター(新宿 NS ビル 30F スカイクンファレンス)**

P06-11-1	小澤 愛奈	(群馬大学大学院 パブリックヘルス学環) 群馬県後期高齢者のフレイル該当の実態＜第1報：フレイル該当と医療費負荷との関連＞
P06-11-2	女屋 秀斗	(群馬大学パブリックヘルス学環) 群馬県後期高齢者のフレイル該当の実態＜第2報：フレイル該当の地域別評価＞
P06-11-3	濱寄 朋子	(九州女子大学栄養学科) 介護施設における外食レクレーションの実態に関する研究

P06-11-4	水野 一成	(NTT ドコモ モバイル社会研究所) コミュニケーションロボットに対する高齢者の 利用意向の規定要因
P06-11-5	木村 安美	(広島修道大学健康科学部健康栄養学科) 食品摂取の多様性とフレイルおよびプレフレ イルとの関連：久山町研究
P06-11-6	金 東鉉	(東京都健康長寿医療センター) 地域在住高齢者の赤血球および血管の柔軟性 と認知機能の関連：草津コホート研究
P06-11-7	柄澤 紀花	(東京都健康長寿医療センター研究所) 地域在住高齢者におけるレジリエンス得点と 基本属性の関連
P06-11-8	鈴木 宏幸	(東京都健康長寿医療センター研究所) 表現型ボランティア参加者における外向き生 活行動の縦断変化：REPRINTS 研究

**10月31日(土) 13:00～14:15
ポスター(新宿 NS ビル 30F スカイクンファレンス)**

P06-12-1	玄 安季	(大阪公立大学大学院リハビリテーション学 研究科) デイケア利用高齢者の日常生活自立度と靴装 着センサーによる施設内歩行との関連
P06-12-2	吉田司秀子	(青森県立保健大学理学療法学科) 超音波骨指標の変化に関連する体組成因子- 地域在住中高齢者の縦断的検討-
P06-12-3	鄭 松伊	(秋田大学) 地域在住高齢者におけるデジタル孤立と身体 的フレイルとの関連
P06-12-4	井上 大聖	(福井大学大学院 医学系研究科 地域医療推進 講座 博士課程) 地域健診における立ち上がり床反力応答プロ ファイルとサルコペニア関連指標の関係
P06-12-5	大宮 朋子	(東北大学大学院医学系研究科) 地域在住高齢者への腰タイプ HAL による集 団型運動介入：実装可能性の検討(第1報)
P06-12-6	藤田 好彦	(茨城県立医療大学) 地域在住高齢者に対する腰タイプ HAL によ る運動介入：身体機能への影響(第2報)
P06-12-7	堀田 和司	(茨城県立医療大学保健医療学部) 地域在住高齢者への姿勢・バランス制御を重 視した HAL プログラムの開発(第3報)
P06-12-8	荒川 博美	(国際医療福祉大学) 認知症高齢者に地域で働く看護職等が行う地 域生活支援の実態とアセスメント視点

**10月31日(土) 13:00～14:15
ポスター(新宿 NS ビル 30F スカイクンファレンス)**

P06-13-1	深田 優香	(武庫川女子大学大学院) 高齢者の ICT 利用とその関連要因
P06-13-2	植木 章三	(大阪体育大学) 最近 15 年間の中山間地域高齢者における生 活機能・生活体力・食事多様性の推移
P06-13-3	李 相侖	(認知症介護研究・研修大府センター, 研究 部) 認知機能低下高齢者に対する肯定的交流プロ グラム—RCT 中間報告
P06-13-4	中尾理恵子	(長崎大学大学院医歯薬学総合研究科) 認知症カフェを利用する認知症高齢者の介護 者の介護負担感と地域特性との関連
P06-13-5	杉山 綾菜	(中部大学) ラジオ体操等の運動習慣がもたらす高齢者の 健康への影響
P06-13-6	平井 美咲	(東京都健康長寿医療センター研究所) 高齢期の趣味活動の実施と実施意欲、精神的 ウェルビーイングの関連：養父コホート研究
P06-13-7	泉 史郎	(名古屋市立大学保健福祉学部栄養学科) 地域在住高齢者の食料品アクセスと食物・栄 養素等摂取状況に関する文献レビュー

第7分科会：高齢者の医療と福祉

**10月29日(木) 14:40～15:55
ポスター(新宿 NS ビル 30F スカイクンファレンス)**

P07-1-1	春日井翔子	(平成医療福祉グループ総合研究所研究部) 介護施設入所高齢者における携帯電話の所有 と実際の利用：多施設共同横断研究
P07-1-2	杉山 美香	(東京都健康長寿医療センター研究所) 認知症支援拠点の9年間の地域実践研究—相 談・参加・多職種連携と DFCs 形成—
P07-1-3	小倉 黎	(奈良県立医科大学公衆衛生学講座) NDB オープンデータを用いた消化器外科手 術の難易度別年齢別将来推計
P07-1-4	今西 綾	(広陵町役場) 認知症施策推進計画策定に向けた多職種によ るロジックモデル活用プロセス
P07-1-5	砂田 大賀	(奈良県立医科大学公衆衛生学講座) 奈良県国保データベースによる75歳以上の 気管切開1年後死亡割合の年齢階級別の検討
P07-1-6	西 巧	(福岡県保健環境研究所) レセプトデータを用いた高齢者の多剤処方が 骨折による入院リスクに与える影響の評価
P07-1-7	後藤 弘樹	(豊橋市保健所保健医療企画課) 2040年を見据えた在宅医療・介護連携体 制—実態調査と意見交換会を通じた一考察—
P07-1-8	平山 修一	(株式会社ツルハ) 認知症独居高齢者の生活を考慮した薬剤師の 行動～徘徊保護と多職種連携の1症例～

**10月29日(木) 16:00～17:15
ポスター(新宿 NS ビル 30F スカイクンファレンス)**

P07-2-1	玉置 洋	(国立保健医療科学院) レセプト病名が介護費用に与える影響につい て
P07-2-2	松本 伸哉	(島根大学医学部環境保健医学講座) 在宅医療における訪問診療の移動時間の客観 的評価と診療報酬設定への示唆
P07-2-3	宮嶋 雅代	(北九州市役所保健福祉局障害者支援課) 高齢者虐待予防のための介護負担軽減の取り 組み～認知症の理解促進に向けて～
P07-2-4	竹本 聖	(奈良県立医科大学 公衆衛生学講座) 高齢者胆嚢摘出術における医療機関種別と診 療アウトカムの関連：奈良県 KDB 解析
P07-2-5	室田 美幸	(福井県坂井健康福祉センター) 保健所を核とした「地域空床数・資源の可視 化」「医療ケア介護人材の自律的育成」支援
P07-2-6	森口 史子	(生駒市役所) 地域包括ケアシステムを支える病院における 入退院支援と認知症ケアの実態把握
P07-2-7	田中 悠斗	(長崎県県南保健所) 診療所の閉鎖が相次ぐ A 市における持続可 能な在宅医療継続に向けた保健所の取組
P07-2-8	藤並 麻衣	(東京医療保健大学大学院和歌山看護学研究 科看護学専攻研究生) 在宅介護者の愛着スタイルと介護負担感及び ソーシャルサポートの関連

**10月30日(金) 13:00～14:15
ポスター(新宿 NS ビル 30F スカイクンファレンス)**

P07-3-1	彦 聖美	(公立小松大学保健医療学部看護学科) 熟練訪問看護師が捉える認知症高齢者を介護 する男性の特徴とその支援
P07-3-2	西上ありさ	(慶応義塾大学大学院健康マネジメント研究 科) 認知症の人に対する可能性指向のケアマネジ メント推進に向けた研修の開発
P07-3-3	前田優貴乃	(東京都健康長寿医療センター研究所) 地域在住高齢者における残薬および服薬管理 の実態調査

P07-3-4	鈴木久美子	(国立健康危機管理研究機構 AMR 臨床リファレンスセンター) 特別養護老人ホームにおける抗菌薬使用及び薬剤耐性菌保菌者への対応状況
P07-3-5	渡邊 良太	(愛知淑徳大学) 回復期リハビリテーション病棟における多施設データベース構築に向けた実施体制の整備
P07-3-6	齋藤 隆夫	(城西大学大学院薬学研究科医療栄養学専攻) 都道府県別レセプトデータを用いた栄養関連診療報酬加算の関連構造分析
P07-3-7	進藤 由美	(国立長寿医療研究センター) 自治体規模による認知症初期集中支援チームの効果と課題
P07-3-8	井村 春香	(広島大学大学院医系科学研究科) 生成 AI を用いたガイドライン参照支援が心不全在宅療養者のアセスメントに与える影響

10月30日(金) 14:25~15:40 ポスター(新宿 NS ビル 30F スカイクンファレンス)

P07-4-1	長澤ゆかり	(国際医療福祉大学) 全国 WEB 調査の自由記載から分析する認知症を発症した場合に希望する生活の場
P07-4-2	村上 文子	(東京大学大学院学際情報学府) 高齢者等終身サポート事業者が行う医療に係る意向表明文書の作成支援に関する調査
P07-4-3	藤原 聡子	(一般社団法人 医療経済研究・社会保険福祉協会 医療経済研究機構) 認知症の人と共に過ごす地域拠点を利用する高齢者の経験と認識に関する質的研究
P07-4-4	田沼 寮子	(東北文化学園大学) 訪問看護師がつなぐ在宅ケアと ICT : A 県東部地域における利用実態調査
P07-4-5	柿沼 倫弘	(国立保健医療科学院) 介護老人福祉施設の医療機関への退去割合の地域差の要因の検討
P07-4-6	佐藤 知子	(長野県立大学大学院健康栄養科学研究科) 訪問栄養指導の実装要因の検討 : 文献レビューと多職種インタビューによる分析
P07-4-7	小松亜弥音	(大阪公立大学) 企業・公共サービスを対象とした認知症の人の接し方に関する教育教材の文献的検討
P07-4-8	肥後あかね	(十島村役場) 離島へき地における保健師主導の地域包括ケア体制構築の実践

10月31日(土) 13:00~14:15 ポスター(新宿 NS ビル 30F スカイクンファレンス)

P07-5-1	斎藤 拓弥	(松田病院 リハビリテーション科) 大腿骨近位部骨折術後における機能的自立度評価法と早期退院との関連
P07-5-2	高 昊天	(筑波大学大学院人間総合科学学術院) Social Interaction and Joint Frailty-SCD Transitions in Community Older Adults
P07-5-3	細谷 高広	(城西大学大学院薬学研究科医療栄養学専攻) 埼玉県の市町村別にみた後期高齢者割合とその指数の地域集積性とその関連要因
P07-5-4	尾崎 誠哉	(群馬大学大学院保健学研究科) 群馬県の後期高齢者における糖尿病・高血圧症の保有状況と人工透析移行との関連
P07-5-5	二宮 彩子	(城西国際大学健康科学部) 終末期における在宅ケアの意思決定支援の実態
P07-5-6	伊東 尚美	(福島県立医科大学医学部放射線健康管理学講座) 福島原発事故後の双葉郡 8 町村における災害関連死の死亡地域分析
P07-5-7	茅野 正行	(宮崎県日向保健所) 一般病床平均在院日数と在宅医療・介護提供体制等の関連に関する検討

P07-5-8	趙 天辰	(福島県立医科大学 放射線健康管理学講座) 高齢者施設における災害時のケア継続のための支援ニーズの分析と DX 活用の検討
---------	------	--

第 8 分科会：地域社会と健康

10月29日(木) 14:40~15:55 ポスター(新宿 NS ビル 30F スカイクンファレンス)

P08-1-1	野田 章子	(南大沢認定栄養ケア・ステーション) 日本栄養士会認定 南大沢 認定栄養ケア・ステーションの事例報告と成果
P08-1-2	村山 洋史	(東京都健康長寿医療センター研究所社会参加とヘルシーエイジング研究チーム) フレイル予防拠点の普及はソーシャルキャピタルを高めるか : 兵庫県養父市での地域介入
P08-1-3	新留 理優	(筑波大学) 日本の青少年における身体活動水準と社会経済格差 : PISA 2022 を用いた国際比較
P08-1-4	松木 勇樹	(東海大学医学部看護学科) 一般住民を対象とした身体的・精神的疲労調査
P08-1-5	高橋 寧々	(東北大学大学院医学系研究科) 高齢者が地域活動に参加する理由に関する文献検討
P08-1-6	三浦 優佳	(公益財団法人味の素ファンデーション) フェーズフリー型レシビ集に関する研究ー制作背景と地域展開ー(第 1 報)
P08-1-7	佐藤香菜子	(金沢学院短期大学食物栄養学科) フェーズフリー型レシビ集に関する研究ー食生活改善推進員対象の質的研究ー(第 2 報)
P08-1-8	筒井 杏奈	(東邦大学医学部社会医学講座医療統計学分野) 国民生活基礎調査・NIPPON DATA90 にもとづく世帯構造と予後との関連の検討

10月29日(木) 14:40~15:55 ポスター(新宿 NS ビル 30F スカイクンファレンス)

P08-2-1	橋爪 祐美	(国立大学法人 筑波大学 医学医療系) Actual conditions of family caregivers in ger districts in Ulaanbaatar, Mongolia
P08-2-2	徳増 一樹	(岡山大学病院 総合内科・総合診療科) 地域医療におけるデータベース構築を目指してー簡便なツールの開発ー
P08-2-3	雑賀 智也	(千葉大学大学院先進予防医学共同専攻) かかりつけ薬局の有無と高齢者の孤独感との関連 : JAGES2022 横断研究
P08-2-4	鈴木 有佳	(慶應義塾大学) 性別役割意識が家事・育児担当割合と短時間睡眠の関連に与える影響
P08-2-5	辻 大士	(筑波大学) スポーツ推進計画と高齢者のスポーツグループ参加の関連 : 連続横断マルチレベル研究
P08-2-6	北東 美枝	(東京科学大学) 小規模自治体における区分別自治体特性による保健・医療・福祉の現状
P08-2-7	鈴木ひかり	(NPO 法人あなたのいばしょ) 「24 時間 365 日、無料・匿名チャット相談」からみえる、孤独・孤立の実態

10月29日(木) 16:00~17:15 ポスター(新宿 NS ビル 30F スカイクンファレンス)

P08-3-1	佐々木 穂	(愛媛大学大学院農学研究科) 健康の商業的決定要因に着目した「食と美」の事業モデルによる健康づくりの試み
P08-3-2	谷 智佳子	(東京都立大学子ども・若者貧困研究センター) 東京離島調査【第 1 報】ー伊豆大島・小笠原父島における子育ての現状と課題ー

P08-3-3	柳 奈津代	(東京都立大学 子ども・若者貧困研究センター) 東京離島調査【第2報】—小笠原村・父島の 子どもの食環境—	P08-5-8	川内はるな	(京都大学) こども食堂ロジックモデルの開発に向けた多 職種者ワークショップの活動報告と有用性
P08-3-4	阿部 彩	(東京都立大学) 東京離島調査【第3報】—伊豆大島における SWの多重性：利用者の立場から	P08-5-9	小阪 杏名	(京都大学大学院医学研究科社会疫学分野) 第2報 こども食堂の社会的インパクト評 価：ロジックモデル開発と内容的妥当性の検 証
P08-3-5	弘瀬 良華	(慶應義塾大学大学院) 認知症のある人とならない人に共通するマイクロ ハビネスの探索—共生の手がかりとして	10月30日(金) 13:00~14:15 ポスター(新宿 NSビル 30F スカイクンファレンス)		
P08-3-6	長井 菜月	(京都市伏見区役所保健福祉センター) QGISを用いた京都市健康づくり資源の到達 圏解析	P08-6-1	藤本 萌美	(京都大学大学院医学研究科) 地域住民における個人および地域レベルの社 会参加と精神的健康の関連
P08-3-7	丸山 夏歩	(品川区役所(元筑波大学大学院)) 知的障害者を対象とした試行的健康診断プロ グラムのプロセス評価	P08-6-2	外塚 未夢	(山形大学大学院農学研究科農学専攻) 庄内地域のこども食堂を拠点とした食育事業 導入の実践過程：アクションリサーチ
P08-3-8	高木 貴子	(京都大学) 社会的処方とリンクワーカーの概念整理に関 するスコーピングレビュー	P08-6-3	一丸友美子	(早稲田大学大学院人間科学研究科) 集合住宅における防災力向上を目的とした地 域連携に関する研究
10月29日(木) 16:00~17:15 ポスター(新宿 NSビル 30F スカイクンファレンス)			P08-6-4	野崎 章子	(千葉大学大学院看護学研究院) リビングラボとメンタルヘルスおよび well- being：ナラティブレビュー
P08-4-1	花里 真道	(千葉大学) 交流、緑、創造の場の認識と空間分布：西千 葉地域における探索的分析	P08-6-5	長縄 弥生	(愛知県がんセンター) 家族構成と保健行動との関連 —大規模調査 データ個票を用いた実証分析—
P08-4-2	田淵 あゆ	(東京大学医学部附属病院 国立大学病院デー タベースセンター) 日本の市町村における社会経済的地域類型別 にみた自殺率の季節性パターン	P08-6-6	石川 志麻	(慶應義塾大学看護医療学部) 大規模団地住民の社会的孤立・孤独予防に係 る CBPR で地域の変化を促す関わり
P08-4-3	竹内 寛貴	(千葉大学予防医学センター) 主観的経済的困窮感有無別における就労と健 康寿命喪失との関連：JAGES 縦断研究	P08-6-7	加藤 文俊	(慶應義塾大学) 大規模団地における住民とのコミュニケー ション機会の創出
P08-4-4	小林 周平	(千葉大学予防医学センター) ロジックモデルに基づくヨーグルトで街にミ ライをプロジェクト実装の初期評価	P08-6-8	岩佐 一	(福島県立医科大学) 地域高齢者における制度的信頼と生命予後の 関連
P08-4-5	本庄かおり	(大阪医科薬科大学) 子育て期女性における社会的つながりの大き さと主観的健康感との関連	10月30日(金) 14:25~15:40 ポスター(新宿 NSビル 30F スカイクンファレンス)		
P08-4-6	山本 一樹	(神奈川県立保健福祉大学大学院ヘルスイノ ベーション研究科) 地域在住高齢者における社会的つながりとフ レイルの双方向の関連：2年間の縦断研究	P08-7-1	西川紗祐未	(特定非営利活動法人クロスフィールズ) 能登半島地震広域避難高齢者を対象とした社 会的処方プログラムの実践と評価
10月30日(金) 13:00~14:15 ポスター(新宿 NSビル 30F スカイクンファレンス)			P08-7-2	水島 諒子	(国立保健医療科学院) 健康支援ボランティアの活動継続のための課 題抽出：フォーカスグループインタビュー
P08-5-1	山崎さやか	(健康科学大学看護学部) 経済的困難を抱える身寄りのない男性が医療 を受けるようになるプロセス	P08-7-3	會田 彩乃	(東北大学大学院) 不妊治療経験者がピアサポート活動に携わる プロセス検討：複線径路・等至性モデル分析
P08-5-2	後藤 淳子	(九州大学大学院医学研究院 医療経営・管 理学講座) 国籍・診療科別医療アクセス格差：LIFE Study 在留資格情報によるレセプト解析	P08-7-4	土肥 浩樹	(医療法人真生会 真生会富山病院) 地域密着型病院の国際医療支援～文化・言語 の壁を越えて、安心・満足のケアを～
P08-5-3	糸島 尚	(京都大学大学院医学研究科 ヘルスセキュリ ティセンター 安全安心科学講座) 医療・食料アクセスも統合した日本版健康的 都市デザイン指標 (HUDI-JP) の開発	P08-7-5	Lingling	(千葉大学) 四街道市における朝飯図書館：2年間の取組 からみえた成果と課題
P08-5-4	井手 一茂	(千葉大学) 地域づくりによる介護予防と高齢者の地域組 織参加：JAGES マルチレベル縦断研究	P08-7-6	立瀬 剛志	(富山大学疫学健康政策学) コロナ後の社会生活変化と孤独感の関連
P08-5-5	楊 セイ華	(順天堂大学大学院 国際教養学研究科) 医療通訳者のコンピテンシー構成要素：ス コーピングレビュー	P08-7-7	長島 萌実	(順天堂大学) 地域住民におけるソーシャルサポートと HbA1c との関連
P08-5-6	村山 陽	(東京都健康長寿医療センター研究所) 中高年者の貧困スティグマが精神的健康に及 ぼす影響：社会的孤立を媒介とした検討	P08-7-8	須田 拓実	(東京都健康長寿医療センター研究所社会参 加とヘルシーエイジング研究チーム) 対面・オンラインでのグループ参加と孤独感 との関連：高齢者と非高齢者の違い
P08-5-7	山内加奈子	(名城大学 薬学部) 地域高齢者における多剤服用がその後の骨折 および死亡に及ぼす影響			

**10月30日(金) 14:25~15:40
ポスター(新宿 NS ビル 30F スカイカンファレンス)**

P08-8-1	阿部 友和	(名古屋大学大学院医学系研究科 先端医療開発部 ヘルスケアスタートアップ社会実装推進拠点) オープンデータ統合と因果推論によるコミュニティバス政策の費用対効果再評価
P08-8-2	叶多 博美	(茨城キリスト教大学看護学部) 高台丘陵戸建て団地の成人居住者による子育て支援型互助活動の参加とその関連要因
P08-8-3	川瀬 智也	(淑徳大学看護栄養学部看護学科) 住民が考える“暮らしたいまち”とは—テキストマイニングによる分析
P08-8-4	千々木祥子	(筑波大学) 地方都市住民における社会的孤立の類型化と精神健康度及び生きがいとの関連
P08-8-5	外山日菜未	(福岡女子大学大学院) 中学生時の社会経済的地位が成人後の生活習慣に及ぼす影響
P08-8-6	森 隆彰	(同志社大学) 日本全国の小学5年生における朝食欠食と近隣環境要因との関連
P08-8-7	山本 大誠	(佐賀県医療センター 好生館) IoT ボタンを用いた独居高齢者見守りシステムの実証実験と社会実装に向けた課題検討

**10月31日(土) 10:00~11:15
ポスター(新宿 NS ビル 30F スカイカンファレンス)**

P08-9-1	岩田ちとせ	(北海道大学大学院医学院公衆衛生学教室) 地域住民における幼少期の肯定的経験(PCEs)と成人期の抑うつ症状との関連
P08-9-2	杉山ひかる	(滋賀県高島健康福祉事務所) ひきこもり支援に関わる民生委員・児童委員、主任児童委員の活動実態調査からの考察
P08-9-3	藤後 悦子	(東京未来大学) 汗の問題を抱える人々の理解と支援(第1報): 汗っかき自認者の困り感と未受診の実態
P08-9-4	山極 和佳	(東京未来大学) 汗の問題を抱える人々の理解と支援(第2報): 汗を理由とした不安場面の部位差
P08-9-5	姫岩 翔子	(沖縄県立宮古病院) 沖縄県の離島における新しい大腸がん検診「大腸がん検診キャラバン」
P08-9-6	小野 哲夫	地理的剥奪指数と都道府県健康栄養指標の関連: 国民健康・栄養調査による生態学的研究
P08-9-7	武井 美美	(順天堂大学大学院医学研究科 グローバルヘルスリサーチ分野) 都市部在住高齢者における社会的孤立と口腔機能の関連: 横断研究

**10月31日(土) 10:00~11:15
ポスター(新宿 NS ビル 30F スカイカンファレンス)**

P08-10-1	寺村 輝	(京都府立医科大学大学院医学研究科地域保健医療疫学) 非孤立型の社会的フレイルと高 HbA1c との関連における社会的孤立経路の関与
P08-10-2	田中 心花	(群馬大学パブリックヘルス学環) 群馬県後期高齢者における生活習慣病関連医療費の地域差: 市町村単位でみる疾患別実態
P08-10-3	山本加奈子	(聖路加国際大学大学院看護学研究科) 代理意思決定者がいないと認識する人のACPの準備状況とヘルスリテラシーの関連
P08-10-4	櫻庭 宙	(同志社大学) 要支援・要介護認定者の介護サービス費と地域環境との関連: 日本全国の高齢者地域調査

P08-10-5	野田 隆行	(公益財団法人明治安田厚生事業団 体力医学研究所) オンライン体操を活用した通いの場合は安全なのか: SOFT プロジェクト【第一報】
P08-10-6	黒田 藍	(八王子市成人保健課南大沢保健福祉センター) 身近で気軽に運動を継続できる環境づくりを目指したフレイル予防の取組【第2報】
P08-10-7	大導寺康平	(八王子市健康医療部成人保健課南大沢保健福祉センター) 環境づくりから見た地域高齢者の運動参加と社会的つながり形成のプロセス【第三報】
P08-10-8	方 恩知	(日本老年学的评价研究機構) 健康ポイント事業参加は新たな社会参加を促すか: A 市事業データを用いた縦断研究

**10月31日(土) 13:00~14:15
ポスター(新宿 NS ビル 30F スカイカンファレンス)**

P08-11-1	井上 智代	(新潟大学大学院医歯保健学研究科) 農村のソーシャル・キャピタルおよび高齢者のストレングスと子育てのしやすさとの関連
P08-11-2	竹林 嗣晃	(緑隆会 太田病院) 中山間地域高齢ドライバーの運転過信と事故経験の関連
P08-11-3	近藤いずみ	(奈良県立医科大学医学部看護学科公衆衛生看護学領域) 若年層の居場所・サードプレイス候補資源の分布と多様性に関する探索的分析
P08-11-4	加藤 礼識	(茨城キリスト教大学 生活科学部) 感染症流行下の別府市営温泉利用行動の施設類型別分析
P08-11-5	友澤 里穂	(京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻) 日本における「エイジズム」への検索関心と研究動向: 探索的検討
P08-11-6	森 幸恵	(東邦大学ウエルビーイング地域共創講座) 地域住民におけるソーシャルサポートの授受と精神的健康度の関連
P08-11-7	事崎 由佳	(岩手医科大学) 東日本大震災被災地域住民における社会的孤立と脳形態との関連

**10月31日(土) 13:00~14:15
ポスター(新宿 NS ビル 30F スカイカンファレンス)**

P08-12-1	下山田鮎美	(東北福祉大学) 思春期サードプレイスについての社会的態度の分布と関連要因
P08-12-2	甲斐 裕子	(公益財団法人 明治安田厚生事業団 体力医学研究所) 第1報 官民連携による社会的処方孤独感等に及ぼす影響: Y-Link プロジェクト
P08-12-3	吉葉かおり	(公益財団法人明治安田厚生事業団 体力医学研究所) 第2報 社会的処方を担うリンクワーカーの認識と課題: Y-Link プロジェクト
P08-12-4	氏川 智皓	(千葉大学 予防医学センター) 公共交通アクセスレベル PTAL と高齢者の歩行時間の関連: 社会経済状況による差異
P08-12-5	板谷 智也	(宮崎大学医学部看護学科) GIS による能登半島地震における応急仮設住宅の医療アクセス評価
P08-12-6	吉持 盾信	(浜松医科大学健康社会医学講座) 高齢者の地域ソーシャルキャピタルと生活範囲のマルチレベル分析: JAGES 横断研究

第 9 分科会：難病・障害の医療と福祉

10 月 30 日 (金) 14:25～15:40 ポスター (新宿 NS ビル 30F スカイクンファレンス)

P09-1-1	松永 晶子	(福井大学医学部地域健康学講座) パーキンソン病における死亡年齢の性差と死亡場所：福井県の人口動態統計を用いた分析
P09-1-2	亀井 哲也	(藤田医科大学 医療科学部 放射線学科) スモン患者検診データベースに基づく検討 第 1 報 栄養、体格、食欲と睡眠の状態
P09-1-3	世古 留美	(藤田医科大学 保健衛生学部 看護学科) スモン患者検診データベースに基づく検討 第 2 報 栄養、体格、食欲と睡眠の推移
P09-1-4	佐藤 仁美	(目黒区役所) 児童発達支援利用に至る契機と乳幼児健診の役割に関する調査研究
P09-1-5	榊 えみり	(鹿児島県難病相談・支援センター) 難病患者の災害時支援体制構築に向けた取組に関する一考察～鹿児島豪雨災害の経験～
P09-1-6	遠藤 香奈	(福島県北保健福祉事務所) 在宅神経難病患者の個別避難計画作成と実動訓練から見た保健所の役割についての考察
P09-1-7	平野 七海	(県立広島大学) 分布回帰を用いた障害者就労継続支援 A 型事業所における賃金格差の要因分析
P09-1-8	平野 優子	(日本医科大学) 侵襲的人工呼吸器装着 ALS 患者家族ケアにおける家族のレジリエンスの軌跡と関連要因

10 月 31 日 (土) 10:00～11:15 ポスター (新宿 NS ビル 30F スカイクンファレンス)

P09-2-1	三浦 有彩	(秋田県仙北地域振興局福祉環境部) 難病医療相談会における患者支援について
P09-2-2	奥本 愛衣	(加東健康福祉事務所) 災害リスクの可視化による在宅人工呼吸器装着難病児者への支援体制の課題分析
P09-2-3	白井 茜	(東京都多摩府中保健所) 筋萎縮性側索硬化症 (ALS) の療養支援の実態調査 (第 1 報)
P09-2-4	西谷 美理	(東京都多摩府中保健所) 筋萎縮性側索硬化症の療養支援の実態調査 (第 2 報)～有効な支援と困難な要因～
P09-2-5	徳田 萌花	(香川大学医学系研究科看護学専攻公衆衛生看護学コース) 日本における重症心身障害児の体温に関する文献レビュー
P09-2-6	田中 羅良	(北海道医療大学リハビリテーション科学部理学療法学科) 難病患者のリハビリテーションに関する経験：質的内容分析による遠隔地と都市部の比較
P09-2-7	元吉千咲子	(千葉大学大学院看護学研究科) ニューロダイバーシティの観点に基づく支援・介入に関するスコopingレビュー
P09-2-8	陳 蘊杰	(関西大学) AYA 世代における小児がん経験者の現状と支援ニーズに関する質的研究

10 月 31 日 (土) 13:00～14:15 ポスター (新宿 NS ビル 30F スカイクンファレンス)

P09-3-1	石丸 友那	(筑波大学人間総合科学学術院) 政令指定都市における短期入所の空間分布パターンの分析
P09-3-2	田島 藍子	(品川区役所 (元東京医療保健大学大学院看護学研究科)) 知的障がい者の保護者の養育・介護負担感に関連する要因

P09-3-3	室岡 真樹	(新潟県福祉保健部医師・看護職員確保対策課) 保健所発の関係機関連携による医療的ケア児支援体制強化のプロセス
P09-3-4	野地 歩美	(福島市保健所) 難病対策地域協議会の設置意義～患者・支援者の課題共有から支援の仕組み構築へ～
P09-3-5	坂野 康介	(北海道脳神経内科病院) 地域特性からみた北海道のパーキンソン病リハビリテーション実施状況に関する横断研究
P09-3-6	清水 由香	(武庫川女子大学 社会福祉学科) 障害者を兄弟姉妹にもつ大学生の精神健康に関する考察：障害の有無や障害種別の比較
P09-3-7	堀籠 衣子	(筑波大学大学院 医学学位プログラム) 障害者就労における健康保護へのアクセスを規定する制度構造の検討

第 10 分科会：精神保健福祉

10 月 29 日 (木) 14:40～15:55 ポスター (新宿 NS ビル 30F スカイクンファレンス)

P10-1-1	染谷 知恵	(東京都立中部総合精神保健福祉センター) 精神保健福祉センターにおける高次脳機能障害プログラムの実施報告
P10-1-2	周 若愚	(青島恒星科技学院) 青少年のインフルエンサー関与と SNS 利用問題の実態調査
P10-1-3	三浦亜矢子	(秋田県子ども・女性・障害者相談センター) ギャンブル相談における中断要因の検討ーSAT-G 修了者と中断者の比較からー
P10-1-4	石川 有紀	(新宿区保健所) 新宿区における精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進に向けた取組
P10-1-5	原田 小夜	(藍野大学) 訪問看護ステーションが対応した高齢精神障害者の救急・緊急対応事例の分析
P10-1-6	長坂 祥司	(山梨県立精神保健福祉センター) 県内医療機関における過量服薬 (OD)・薬物依存の診療実績に関する調査
P10-1-7	牧野 竣祐	(名古屋市役所) 精神障害者を抱える家族への支援 (親なきあとの支援)
P10-1-8	川井 梨沙	(大分県豊肥保健所) 精神相談記録の電子化を活用した事例検討会 ～保健師対人業務の質の向上と人材育成～

10 月 29 日 (木) 16:00～17:15 ポスター (新宿 NS ビル 30F スカイクンファレンス)

P10-2-1	Hellen Wairimu Babu	(Graduate School of Public Health, St. Luke's International University) Persistent effects of the COVID-19 pandemic on suicide mortality in Japan
P10-2-2	高島 佳之	(奈良県立医科大学医学部看護学科) 都道府県別の精神科訪問看護指示料算定回数との関連要因
P10-2-3	鶴飼 千夏	(横浜市立大学大学院医学研究科地域看護学分野) 18～39 歳の成人における精神的健康状態と個人および環境要因との関連
P10-2-4	津野香奈美	(神奈川県立保健福祉大学大学院ヘルスイノベーション研究科) 主観的家族サポートが低い若者の高レジリエンスを規定する要因：YURAGI-J
P10-2-5	鈴木 健斗	(早稲田大学 人間科学部) 発達特性を有する人における自己理解の形成過程とその支援

P10-2-6	大村 有美	(神戸市中央区役所) 神戸市中央区における精神障害者継続支援事業の評価と経過に関連する要因について
P10-2-7	北川愛玲菜	(摂南大学) 摂食障害と糖尿病との関連について
P10-2-8	佐々木多佳子	(長崎県西彼保健所) 市町自殺対策計画の推進のための県立保健所の役割に関する考察

10月30日(金) 13:00~14:15 ポスター(新宿 NS ビル 30F スカイクンファレンス)

P10-3-1	平光 良充	(名古屋市衛生研究所) 学校でのいじめ被害経験と成人後に相談相手がいらないこととの関連
P10-3-2	金子 湊大	(福岡県筑紫保健福祉環境事務所) 筑紫地区のにも包括構築に向けた取組～市長同意の医療保護入院者への市支援について～
P10-3-3	山内 貴史	(東京慈恵会医科大学環境保健医学講座) わが国政令市における外国人の自殺死亡の地域差：人口動態調査死亡個票を用いて
P10-3-4	山口 貴史	(茨城県竜ヶ崎保健所) 精神障害者地域移行支援における保健所の役割に関する一考察(第二報)
P10-3-5	田辺 智子	(墨田区保健所) 若年層自殺未遂者の特徴と背景要因の検討について
P10-3-6	本田 雄大	(京都大学 大学院医学研究科附属 ヘルスセキュリティセンター 健康危機管理システム学分野) 日本成人におけるアルコール・ギャンブル・ゲーム・インターネット依存リスクの重複
P10-3-7	蔭山 正子	(大阪大学大学院医学系研究科) 精神障がいのある人を対象とした MANSA 日本語版の開発および日本の特徴

10月30日(金) 14:25~15:40 ポスター(新宿 NS ビル 30F スカイクンファレンス)

P10-4-1	西村 麻衣	(港区みなと保健所) 行政保健師による図書館職員向けメンタルヘルス研修と職員の認識・対応意識との関連
P10-4-2	大庭 真梨	(国立精神・神経医療研究センター 臨床研究・教育研修部門) クラスターが不均一なクラスターランダム化比較試験のエスティマンドと解析モデル
P10-4-3	白田謙太郎	(国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所) 医療保護入院制度の変更と退院率の変化についての検討
P10-4-4	小倉こゆき	(千葉大学) メンタルヘルスの社会的決定要因の評価ツールの現状：スコーピングレビュー
P10-4-5	村田 康德	(神戸大学) バーンアウトと行動的感情調整方略の関連——日本とハンガリーの心理職に注目して——
P10-4-6	成田 太一	(新潟大学大学院医歯保健学研究科) 地方都市在住の精神障害者が抱く将来の不安：質問紙調査自由記述の質的分析
P10-4-7	野田 龍也	(関西医科大学 医学部 メディカルデータサイエンス講座) 自立支援医療(精神通院医療)の利用実態と課題：レセプトデータ分析から

10月31日(土) 10:00~11:15 ポスター(新宿 NS ビル 30F スカイクンファレンス)

P10-5-1	本保 善樹	(新久喜総合病院(元東京都精神保健福祉課)) 国連報告官報告による WHO 等のガイダンスと我が国の精神保健福祉法改正への示唆
---------	-------	--

P10-5-2	岡村 雄大	(滋賀県健康医療福祉部障害福祉課) こころのサポートしが(LINE 相談)事業の有用性について
P10-5-3	伊藤 治幸	(天使大学) 看護学生における骨格筋指数(SMI)と抑うつ症状との関連
P10-5-4	櫻井 慶	(千葉大学) 認知行動療法研修を通じた精神科訪問看護スタッフの認知・行動的变化に関する質的研究
P10-5-5	小野 洋平	(聖路加国際大学大学院公衆衛生学研究科) ひきこもりの当事者や家族のオンライン相談支援へのつながりやすさの可視化
P10-5-6	小俣 雪恵	(墨田区保健所) 教職員へのゲートキーパー研修実施直後のアンケートからの考察
P10-5-7	井澤 智子	(茨城県日立保健所) 医療保護入院患者の退院率と都道府県の医療福祉資源、社会経済指標に関する検討
P10-5-8	香田 将英	(東北大学大学院医学系研究科公衆衛生学分野) かかりつけ医を持たない成人の精神的健康と1年後の生成 AI 情緒的支援利用

第 11 分科会：口腔保健

10月29日(木) 14:40~15:55 ポスター(新宿 NS ビル 30F スカイクンファレンス)

P11-1-1	加藤 一夫	(愛知学院大学歯学部口腔衛生学講座) 脱灰エナメル質への S-PRG フィラー由来ミネラルの取り込みが再石灰化に及ぼす影響
P11-1-2	北林 珠奈	(武庫川女子大学大学院) もちむぎ配合ごはんと咀嚼回数・嗜好評価の関連性
P11-1-3	草間 太郎	(東北大学大学院歯学研究科) 高齢者における歯の喪失の死亡リスクへの寄与割合の教育格差の検討
P11-1-4	竹内 倫子	(岡山大学学術研究院医療開発領域歯科予防歯科部門) 歯科健診受診回数と医療費推移の関連：縦断解析
P11-1-5	鈴木 恵三	(札幌医科大学医学部社会医学講座公衆衛生学分野) “う蝕なしの者の割合 80%以上”で、う蝕ゼロ地区が増えるのか？
P11-1-6	三浦 宏子	(北海道医療大学歯学部保健衛生学分野) 歯科口腔保健の推進に関する基本的事項(第二次)指標の線形回帰モデルによる将来予測
P11-1-7	小島 美樹	(梅花女子大学看護保健学部口腔保健学科) 都道府県別データを用いた各種社会指標の変化と咀嚼状態に関する地域相関研究
P11-1-8	齋藤 晴生	(福島県保健福祉部健康づくり推進課) 福島県における高齢者施設の歯科保健に関するアンケート調査

10月29日(木) 16:00~17:15 ポスター(新宿 NS ビル 30F スカイクンファレンス)

P11-2-1	長谷川泰隆	((株)日立製作所 研究開発グループ) 職域における歯科検診受診判定後の歯科受診有無と6年累積医科医療費の関連
P11-2-2	久保田 悠	(神奈川県立保健福祉大学ヘルスイノベーション研究科) 東南アジア在留邦人における口腔健康問題と関連因子
P11-2-3	塩田 千尋	(東北大学大学院歯学研究科) 新規生活保護受給開始前後での診療行為別歯科受診割合の変化：LIFE study
P11-2-4	岩井 浩明	(朝日大学歯学部口腔感染症医療学講座社会口腔保健学分野) 後期高齢者における口腔の健康状態と主観的健康感との関連

P11-2-5	大島 克郎	(日本歯科大学) 病院歯科に勤務する歯科医師の離職要因：公 的統計の個票データによる分析
P11-2-6	西辻 直之	(公益社団法人東京都港区芝歯科医師会) 歯周病スクリーニングの標準化を見据えた唾 液ヘモグロビン検査の検討
P11-2-7	五十嵐彩夏	(茨城県保健医療部健康推進課) 就学前施設及び小学校でのフッ化物洗口のむ し歯予防効果—茨城県データによる検証—
P11-2-8	山本 貴文	(北海道大学病院 予防歯科) COVID-19 下の在宅歯科医療のレジリエンス

10月30日(金) 13:00~14:15 ポスター(新宿 NS ビル 30F スカイクンファレンス)

P11-3-1	荻野 大助	(名古屋市立大学保健福祉学部) 2025 年度入学大学一年生の生活習慣・口腔 状況と歯科保健に対する意識調査
P11-3-2	種村 崇	(静岡県健康増進課) 5 歳児う蝕有病と多発う蝕の地域格差：地理 的剥奪指標による生態学的研究
P11-3-3	成田 拓未	(調剤薬局ツルハドラッグ旭川大町店) 口腔ケアに関する患者の意識調査と薬剤師の 効果的な支援方法の検討
P11-3-4	川戸 貴行	(日本大学歯学部衛生学講座) 東京都歯科医師会における都内大学を対象と した歯科健診事業の活動報告
P11-3-5	安藤 雄一	(国立保健医療科学院) 「日本におけるフロリデーション実施の要件」 の作成
P11-3-6	劉 暢暢	(北海道大学) 日本における性的・ジェンダー少数者と歯の 喪失との関連：横断研究
P11-3-7	福田 英輝	(国立保健医療科学院) デルファイ調査による歯科医療提供体制の優 先課題の検討
P11-3-8	中村 友哉	(株式会社ツルハ) 薬剤師による口腔保健への参画を目指した知 識習得状況の実態調査

10月30日(金) 14:25~15:40 ポスター(新宿 NS ビル 30F スカイクンファレンス)

P11-4-1	櫻井 敦朗	(公益社団法人 東京都歯科医師会) 職域保険者による被扶養者向け歯科健診の試 行的取り組みの実態と浸透に向けた課題
P11-4-2	廣島屋貴俊	(鹿児島大学医歯学総合研究科発達成育 学予防歯科学分野) 鹿児島県における水道水フロリデーション導 入の費用対効果に関する検討
P11-4-3	留岡 諭志	(ライオン株式会社 ライフサイエンス研究 所) オーラルディアドコキネシス発音の回数・明 瞭度と口腔機能・栄養状態の関連
P11-4-4	三浦 碧巴	(広島大学大学院医系科学研究科口腔保健疫 学) 地域住民における嚥下障害リスクと慢性的な 疲労感の関係
P11-4-5	宮下 隆	(株式会社千葉薬品) 官民連携による口内環境測定システムを活用 した口腔保健介入の実践報告
P11-4-6	恒石美登里	(国立保健医療科学院) 第 8 次医療計画(在宅医療)における歯科関 連のロジックモデルと目標指標の現状
P11-4-7	水田 百香	(広島大学大学院医系科学研究科口腔保健疫 学) 朝食の頻度および食事時間の規則性と現在歯 数の関連

10月31日(土) 13:00~14:15 ポスター(新宿 NS ビル 30F スカイクンファレンス)

P11-5-1	榊原 康人	(名古屋市保健所緑保健センター保健予防課) 3 歳児における不正咬合を有する者の割合に 関する考察
P11-5-2	伊東 孝	(山口県健康福祉部健康増進課) 山口県における官民協働での歯科保健の取組 「健口スマイル運動」について
P11-5-3	中濱 有伽	(広島大学大学院医系科学研究科口腔保健疫 学) 地域住民における歯みがき頻度と睡眠の関連
P11-5-4	有富 理左	(東京科学大学医歯学総合研究科歯科公衆衛 生学分野) メチルメルカプタン濃度による歯周病評価と 歯周臨床所見および男女差の検討
P11-5-5	仲盛 優菜	(サンスター株式会社) 職域世代における口腔関連 QOL と睡眠関連 指標との関係について
P11-5-6	眞野 晃寿	(神奈川県立保健福祉大学大学院 ヘルスイ ノベーション研究科) 就労世代におけるオーラルフレイルとプレゼ ンティズムの関連性
P11-5-7	戸倉 詩織	(サンスター株式会社) 地域住民を対象とした口腔機能の実態把握— 多世代を対象とした横断的検討—
P11-5-8	松本 理帆	(第一三共ヘルスケア株式会社) 労働者における歯周病の有無と労働生産性と の関連

第 12 分科会：感染症

10月29日(木) 14:40~15:55 ポスター(新宿 NS ビル 30F スカイクンファレンス)

P12-1-1	小林 祐介	(国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究 所) 急性呼吸器感染症 (ARI) サーベイランスに おける症例情報取得手法に関する研究
P12-1-2	泊 賢太郎	(さいたま市健康科学研究センター) さいたま市内で分離された A 群溶血性レン サ球菌の性状と薬剤感受性について
P12-1-3	井田 真悟	(群馬県吾妻保健福祉事務所) 群馬県の COVID-19 入院患者データからみた 文化的背景と重症化の関連
P12-1-4	小川 幸	(横浜市保健所) 短期間に生じた局地的麻疹集団感染の記述疫 学
P12-1-5	竹本のぞみ	(沖縄県保健医療介護部 八重山保健所) 【第 1 報】八重山保健所管内におけるレプト スピラ症の集団発生の調査および報告
P12-1-6	真玉橋理子	(沖縄県立八重山保健所) 【第 2 報】八重山保健所におけるレプトスピ ラ症の啓発活動について
P12-1-7	居林 興輝	(大分県福祉保健部 健康政策・感染症対策 課) 大分県東部保健所における HIV・性感染症受 検者の動向分析
P12-1-8	加藤 裕一	(山形市保健所) 山形市民における COVID-19 家族内二次感染 の要因分析

10月29日(木) 14:40~15:55 ポスター(新宿 NS ビル 30F スカイクンファレンス)

P12-2-1	森川 美穂	(夷隅健康福祉センター) 千葉県夷隅保健所における外国人技能実習生 に関する実態調査と結核対策の検討
P12-2-2	千明ひろみ	(船橋市保健所) コロナ禍を経て取組む保健所の予防訪問活動 を通じた社会福祉施設との連携及び感染対策

P12-2-3	林 剛	(東京都健康安全研究センター) 2025 年の東京都における百日咳の発生状況と過去流行期との比較	P12-4-7	岩佐 敏	(峡南保健福祉事務所 (峡南保健所)) 高齢者に対するオミクロン株対応 2 価ワクチンの有効性
P12-2-4	田丸 亜貴	(独立行政法人大阪健康安全基盤研究所) 2015～2025 年度の大阪の多剤耐性結核菌株の分子疫学	P12-4-8	安井 善宏	(愛知県衛生研究所) 流入下水を利用した新型コロナウイルス感染症流行のトレンド把握
P12-2-5	平栗 沙季	(墨田区保健所) 10 代から始める性感染症予防教育の取り組み	10 月 29 日 (木) 16:00～17:15 ポスター (新宿 NS ビル 30F スカイクンファレンス)		
P12-2-6	吉田 佳督	(修文大学) 新型コロナウイルス感染症流行時におけるワクチン接種に対する国民の意識調査	P12-5-1	里見 正宏	(神奈川県予防医学協会ウエルポートみらい) 地域別・性別・年齢階層別の新型コロナウイルス感染症死亡率推移
P12-2-7	山口 あや	(墨田区保健所) 感染症危機発生時における保健所業務を補完する人材の育成と対策の強化	P12-5-2	射場 在紗	(国立健康危機管理研究機構) 新型コロナウイルス感染症の罹患後症状による生活への影響に関するインタビュー調査
P12-2-8	荒川 泰雄	(八王子市保健所) 八王子市の結核全症例における疫学的特徴のまとめ	P12-5-3	鎗内 隼	(大阪市保健所) 日本語教育機関における結核集団感染事例
10 月 29 日 (木) 14:40～15:55 ポスター (新宿 NS ビル 30F スカイクンファレンス)			P12-5-4	内田 博之	(浜松医科大学医学部附属病院 小児科) 腸管出血性大腸菌陽性者の二次伝播リスクに関する後方的コホート研究
P12-3-1	松本 真欣	(埼玉県立大学 健康開発学科 健康情報学専攻) COVID-19 感染と社会経済的要因との関連の変化 (2020～2025)	P12-5-5	保田 彩音	(大阪市西成区役所) 日本語学校との連携とオンライン DOTS が奏功した外国出生多剤耐性肺結核患者の一例
P12-3-2	齋藤 智也	(国立健康危機管理研究機構) 公開情報を用いた麻しん発生情報に関するダッシュボード作成	P12-5-6	野村 湧人	(大阪府) HIV 即日検査において保健師が利用者の感染リスク行動の振り返りを促すプロセス
P12-3-3	李 祥任	(結核予防会結核研究所臨床疫学部) 東京都における外国人コミュニティと連携した自治体結核健診受診促進アプローチの検討	P12-5-7	品川 彩乃	(福岡県北筑後保健福祉環境事務所) 外国出生者に対する結核対策～実態把握と啓発資料の作成～
P12-3-4	竹内 皓太	(環境省大臣官房環境保健部企画課熱中症対策室) 我が国における高齢者に対する定期接種化の議論についての考察	P12-5-8	立花 佳弘	(茨城県衛生研究所) 茨城県民の性感染症に関する知識と予防
P12-3-5	古賀 晴美	(千葉県野田保健所) 高齢者施設の感染対策のこれからを考える第 3 報 ～多角的視点からの取り組み～	10 月 29 日 (木) 16:00～17:15 ポスター (新宿 NS ビル 30F スカイクンファレンス)		
P12-3-6	三浦 郁修	(オランダ国国立公衆衛生環境研究所 (RIVM)) 呼吸器感染症サーベイランスデータを用いた機械学習による確率的短期予測モデルの評価	P12-6-1	中下 愛実	(昭和薬科大学) 精神科医療機関向けアウトブレイク対応力評価チェックリストの保健所視点での活用検討
P12-3-7	中下 綾子	(国立精神・神経医療研究センター 公共精神健康医療研究部) COVID-19 感染時の心理的反応と事後の抑うつ不安の発生リスクに関する縦断研究	P12-6-2	渡部 正也	(横浜市医療局健康安全課) 横浜市における 2025 年以降の麻しん発生動向の検討
P12-3-8	荒井 智博	(川崎市健康安全研究所) 川崎市における急性呼吸器感染症の発生状況に関する検討	P12-6-3	栗山 加奈	(横浜市医療局健康安全課) 外国出生結核患者から分離された結核菌株の VNTR 解析結果の検討
10 月 29 日 (木) 16:00～17:15 ポスター (新宿 NS ビル 30F スカイクンファレンス)			P12-6-4	齋藤 沙織	(宇都宮市保健所) 日本語学校における肺結核 2 症例の分子疫学解析
P12-4-1	小野山温那	(江東区保健所) 江東区における令和 7 年結核新規登録患者の疫学的特徴と課題	P12-6-5	田村 恵美	(筑西市役所) 地域住民における帯状疱疹罹患歴とワクチン接種状況に関する検討
P12-4-2	池田 敏子	(令和健康科学大学) 外国出生結核患者の服薬完遂に向けた保健師の服薬支援自己評価尺度の内容妥当性検討	P12-6-6	木下 諒	(国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所 疫学研究部) 2026 年 BVD 流行における航空ネットワークを用いた国際的輸入リスクの早期評価
P12-4-3	河内 桂子	(関保健所) 外国出生多剤耐性結核患者支援における意思決定支援と感染拡大防止の両立に関する考察	P12-6-7	成 儒彬	(九州大学大学院医学研究院保健学部門) 接種回数情報と転入者接種履歴が累積接種率推定に与える影響: VENUS Study
P12-4-4	藤野 智史	(埼玉県保健医療部感染症対策課) 性感染症検査における電子申請導入が運用と受検者の行動に与える影響の探索的検討	10 月 30 日 (金) 13:00～14:15 ポスター (新宿 NS ビル 30F スカイクンファレンス)		
P12-4-5	北形 綾一	(浜松医科大学小児科) 腸管出血性大腸菌の無症状病原体保有者に対する抗菌薬投与の排菌期間短縮効果と安全性	P12-7-1	松本 修	(日本生命保険相互会社) 生命保険データを用いた新型コロナウイルス感染症罹患後の保険事故発生率分析
P12-4-6	中嶋 直樹	(神奈川県衛生研究所) 神奈川県における cgSNV 解析による結核菌伝播解析と VNTR クラスタリングの評価	P12-7-2	瀬戸 順次	(山形県衛生研究所) 地方衛生研究所における病原体ゲノムデータ解析全国研修会の成果と展望
			P12-7-3	高津 宙子	(春日井保健所) 愛知県内の結核菌 VNTR (反復配列多型) 分析の活用 (第一報)

P12-7-4	鈴木 健斗	(東京都多摩小平保健所) コッホ現象が看過された乳児結核事例から BCG 接種時の多言語案内導入の取組
P12-7-5	岡澤 皓子	(茨城県ひたちなか保健所) 外国出生者への結核予防対策を目的とした保健事業における保健所保健師の活動
P12-7-6	山口 尚希	(奈良県立医科大学 公衆衛生学講座) 日本における、梅毒の治療薬の処方状況の推計
P12-7-7	大森 亮介	(北海道大学 人獣共通感染症国際共同研究所) 移動の量から行動の質へ：報告数に応じた行動変容による新たな流行予測
P12-7-8	福澤 好花	(東京都多摩小平保健所) Z 世代に届く性感染症検査普及啓発の取組 ～梅毒患者数減少を目指して～

**10 月 30 日 (金) 13:00～14:15
ポスター (新宿 NS ビル 30F スカイクンファレンス)**

P12-8-1	伊達 佳美	(神奈川県衛生研究所) 神奈川県における A 群溶血性レンサ球菌 M1UK 系統株の発生動向および分子疫学解析
P12-8-2	大久保朝香	(茨城県衛生研究所) 茨城県における小児からのサフォードウィルスの検出について
P12-8-3	大野利佐子	(大阪市保健所) 大阪市における先天梅毒の発生動向及び聞き取り調査結果の報告
P12-8-4	堀 愛	(筑波大学医学医療系) 地域連携による HIV/STI 移動型検査「いばらきモデル」初年度の受検者特性
P12-8-5	池田 優美	(国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所 実地疫学専門家養成コース (FETP)) 【第 1 報】大阪・関西万博における感染症イベントベースサーベイランス活動
P12-8-6	森 秀哉	(大阪市保健所東部生活衛生監視事務所) 【第 2 報】大阪・関西万博における症候群サーベイランス解析ツールの運用
P12-8-7	西山 裕之	(みなと保健所保健予防課) 議員、医師会、保健所、みんなで支える東京都港区の HPV ワクチン接種向上の取組
P12-8-8	水谷 麻里	(岡山市保健所) 百日咳発生時の医療機関への積極的疫学調査を通じたハイリスク接触者への早期受診勧奨

**10 月 30 日 (金) 14:25～15:40
ポスター (新宿 NS ビル 30F スカイクンファレンス)**

P12-9-1	飯島佐知子	(順天堂大学大学院医療看護学研究科) 子宮頸がん検診受診勧奨のための動画および検診情報検索システムの無作為比較試験
P12-9-2	高岡 美紗	(富山県衛生研究所) COVID-19 流行前と比較したインフルエンザ発生動向 (2025/26) - 富山県
P12-9-3	伊藤ゆかり	(大阪大学) 子ども支援 5 機関のコロナ禍における対応と連携の課題：全国機関調査の自由記述分析
P12-9-4	田中 佳織	(国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所 予防接種研究部) 乾燥組換え帯状疱疹ワクチン定期接種化以降の予防接種後副反応疑い報告のまとめ
P12-9-5	佐藤 華乃	(順天堂大学大学院医学研究科グローバルヘルスリサーチ) ポストコロナ期における社会活動回復とインフルエンザ陽性率の関連：多国間パネル分析
P12-9-6	小島 絵里	(文京保健所予防対策課) 文京区立保育園職員における麻しん風しん抗体測定結果と追加接種の必要性について
P12-9-7	小澤 広規	(横浜市衛生研究所) 下水サーベイランスにおける流行期感染症情報の特性とその役割

P12-9-8	北川 和寛	(福島県衛生研究所) 福島県における下水中の多項目呼吸器系ウイルス等同時検出方法の有用性に関する調査
P12-9-9	加藤 光晟	(筑波大学大学院人間総合科学学術院公衆衛生学学位プログラム) 男子中高生の HPV ワクチン接種意向と同調効果

**10 月 30 日 (金) 14:25～15:40
ポスター (新宿 NS ビル 30F スカイクンファレンス)**

P12-10-1	河野 英子	(国立健康危機管理研究機構) 新型コロナウイルス感染から 3 年後の小児の罹患後症状と疲労感・就学状況
P12-10-2	久司 周祐	(札幌市立大学) 結核対応支援 AI の行政利用に向けた評価設計：予備調査結果と本調査デザイン
P12-10-3	木部 万愛	(目黒区保健所) 同一の高齢者施設で発生した複数の結核患者について反復配列多型分析を活用した事例
P12-10-4	竹安 航	(鳥取市健康こども部鳥取市保健所) 鳥取市保健所における若年層に向けた性感染症予防対策の取組報告
P12-10-5	大道 一輝	(京都市保健所) 京都市における過去 10 年間の外国出生結核患者の動向
P12-10-6	余門 明里	(福岡県保健環境研究所) 福岡県の急性呼吸器感染症サーベイランス開始年における発生動向の解析
P12-10-7	杉山美奈子	(墨田区保健所 保健予防課) 保育施設における麻しん発生時の感染拡大防止対策と緊急接種の実例報告

**10 月 30 日 (金) 14:25～15:40
ポスター (新宿 NS ビル 30F スカイクンファレンス)**

P12-11-1	戸田花菜江	(愛知県衣浦東部保健所) 外国出生結核患者の特徴と支援上の課題
P12-11-2	佐々木 顕	(総合研究大学院大学) 数理疫学モデルによる下水ウイルス濃度データからの流行予測
P12-11-3	城所 敏英	(新宿区役所健康相談室) これからの保健所における HIV 検査を考えるために
P12-11-4	杉谷 幸代	(三重県津市健康づくり課) HPV ワクチン積極的勧奨再開後の接種状況と接種勧奨における一考察 (第 2 報)
P12-11-5	光嶋 紳吾	(三重大学大学院医学系研究科 公衆衛生・産業医学・実地疫学分野) 三重県における全乳児対象 RSV 予防戦略の検討：SYMPHONIE 研究
P12-11-6	岡田 雄大	(京都大学) COVID-19 流行下の 2020-23 の出生時期待余命や死亡年齢の分布変化
P12-11-7	康 茆瑛	(堺市健康福祉局保健所感染症対策課) 堺市における潜在性結核感染症治療の現状と課題

**10 月 31 日 (土) 10:00～11:15
ポスター (新宿 NS ビル 30F スカイクンファレンス)**

P12-12-1	堀 幸	(国立健康危機管理研究機構) 新型コロナウイルス感染から 3 年後の罹患後症状とその精神的健康状態への影響
P12-12-2	高橋 千香	(新宿区保健所) 学生寮で発生した侵襲性髄膜炎菌感染症事例の対応について
P12-12-3	山分 祥一	(葛飾区保健所) 医療機関での接触で 3 次感染まで拡大した麻しんの事例

P12-12-4	佐藤 めぐみ	(大阪府和泉保健所) 大阪府和泉保健所管内市町における第1期麻疹ワクチン接種率の推移と医療到達圏解析
P12-12-5	宮崎 彩子	(茨城県衛生研究所) 麻疹発生時対応における感染症情報センターの疫学調査支援について
P12-12-6	渡邊 愛可	(東京都保健医療局保健政策部疾病対策課) 同一飲食店における麻疹集団感染事例の報告
P12-12-7	田宮 和真	(北海道立衛生研究所) 北海道におけるマダニ・ダニ媒介感染症に関する住民の知識・態度・行動(KAP)調査
P12-12-8	大藤 さとこ	(大阪公立大学大学院医学研究科公衆衛生学) 医療従事者を対象とした妊婦へのワクチン接種に関する意識調査

10月31日(土) 10:00~11:15 ポスター(新宿 NSビル 30F スカイクンファレンス)

P12-13-1	笹沼 瑞季	(茨城県竜ヶ崎保健所) 結核集団感染事例および外国人支援機関への聞き取りから得た外国籍患者の健康課題
P12-13-2	三木 卓也	(名古屋市衛生研究所) 実地疫学と分子疫学の融合による多剤耐性結核事例の感染経路解明
P12-13-3	永田 万結	(京都大学大学院 医学研究科) ワクチン導入前時期の新型コロナウイルス感染症に対するマスク着用の年齢群別効果推定
P12-13-4	大屋日登美	(神奈川県衛生研究所) 肺炎マイコプラズマの病原体検出と薬剤耐性について(2003~2025年)
P12-13-5	鈴藤 和	(広島県立総合技術研究所保健環境センター) 2025年に広島県の小児から検出されたエコーウイルス11型
P12-13-6	山村 容加	(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 疫学・衛生学分野) 岡山県における感染症リアルタイム日次報告システムの構築と運用
P12-13-7	座間 智子	(公益財団法人結核予防会 結核研究所) 国境を越えて移動する外国生まれ結核患者に対する帰国時支援の確定に関わる調査
P12-13-8	北原 瑞枝	(長野市保健所) EHEC 集団食中毒事例における患者の下痢症状の重症度と排菌日数との関連

10月31日(土) 13:00~14:15 ポスター(新宿 NSビル 30F スカイクンファレンス)

P12-14-1	瀧澤 伸枝	(茨城県筑西保健所) A県B保健所管内における薬剤耐性対策の取組みについて【第1報】
P12-14-2	菊地 美咲	(茨城県筑西保健所) A県B保健所管内での薬剤耐性対策の取組みについて【第2報】ー病院職員への調査ー
P12-14-3	石川 瑠美	(東京医科大学 公衆衛生学分野) 医師による女子および男子HPVワクチン推奨の実施状況とそれに関連する要因
P12-14-4	山田 初美	(順天堂大学大学院医療看護学研究科) 日本の20代女子学生に対する子宮頸がん検診受診率向上のための教育プログラムの開発
P12-14-5	菅河真紀子	(湘南医療大学) Covid19 パンデミック時における医療供給体制のふりかえりに関する研究 II
P12-14-6	坪井 陽平	(名古屋保健所北保健センター) 名古屋市と市医師会による年末年始の感染症リアルタイムサーベイランスの取り組み
P12-14-7	清水 唯	(北海道立衛生研究所) 北海道における保健所への感染症アウトブレイク支援とその課題

P12-14-8	重久 朋史	(加世田保健所) 感染症週報の活用実態と今後のニーズに関する調査
----------	-------	-------------------------------------

10月31日(土) 13:00~14:15 ポスター(新宿 NSビル 30F スカイクンファレンス)

P12-15-1	保坂 直美	(山梨県) 県庁職員を対象としたインフルエンザワクチン接種予防効果検証アンケート調査について
P12-15-2	松井健一郎	(西多摩保健所) 高齢者施設にてヒトメタニューモウイルスが蔓延する中で肺結核患者が発生した際の対応
P12-15-3	佐藤 史歩	(埼玉県立大学大学院) COVID-19 流行規模と食料品消費支出との関連
P12-15-4	宮野 真輔	(国立健康危機管理研究機構) ラオス人民民主共和国における日本脳炎ワクチン導入後の全国血清疫学的評価
P12-15-5	諸石有美子	(中野区健康福祉部保健予防課) 中野区保健所における支援記録に基づく外国出生結核患者支援の現状と課題
P12-15-6	長田 雅子	(天使大学大学院助産研究科) 日本におけるスタフィロコッカス・カピティス病原クロロンの初同定と分子疫学的解析
P12-15-7	高橋 公子	(京都大学 大学院総合生存学館) 沖縄県 COVID-19 流行把握事業におけるPCR陽性率の比較
P12-15-8	久地井寿哉	(社会福祉法人はばたき福祉事業団(エイズ予防財団リサーチレジデント)) 全国のHIV感染血友病等患者の現状と将来不安に関する研究:質問紙調査の中間解析

第13分科会:健康危機管理

10月29日(木) 14:40~15:55 ポスター(新宿 NSビル 30F スカイクンファレンス)

P13-1-1	宇野 智行	(三重県医療保健部) 自治体における感染症危機管理体制の構築~情報共有と人材育成の実践と評価~
P13-1-2	増田 奈巳	(志木市役所) 志木市保健師の災害対策活動を通じた部署横断的連携の強化
P13-1-3	清水 華子	(石川県健康福祉部健康推進課) 令和6年能登半島地震等被災者に対する令和6年度健康調査の実施結果概要について
P13-1-4	林 史和	(福島県立医科大学放射線医学県民健康管理センター) 東日本大震災後の10年間の心理的苦痛の軌跡とその関連要因:福島県「県民健康調査」
P13-1-5	上原 桃美	(公益財団ダイヤ高齢社会研究財団) 都内特養における防災訓練の実施状況ー実施回数と形式・災害種別数の実態ー
P13-1-6	新小田雄一	(鹿児島市保健所) 鹿児島市保健所で対応した2026年3~4月における麻疹32例についての検討
P13-1-7	小林 良清	(長野県諏訪保健福祉事務所) 市町村における災害時保健医療福祉業務の準備状況
P13-1-8	丸谷 美紀	(国立保健医療科学院) 林野火災の精神的健康被害に関する公衆衛生看護の役割 スコーピングレビュープロトコル

10月29日(木) 14:40~15:55 ポスター(新宿 NSビル 30F スカイクンファレンス)

P13-2-1	諸岡 歩	(兵庫県健康増進課) 【第1報】災害時栄養・食生活支援体制の実態と課題~平時の体制に着目した全国調査~
---------	------	--

P13-2-2	磯部 澄枝	(新潟県十日町保健所) 【第2報】災害時における栄養・食生活支援の開始過程と連携課題	P13-4-5	尾島 俊之	(浜松医科大学健康社会医学講座) 過去の災害時の避難所の運営組織の状況
P13-2-3	中野 裕紀	(福島県立医科大学医学部疫学講座) 福島県議会議事録における安全・安心関連語出現頻度の長期推移:探索的テキスト解析	P13-4-6	田辺 正樹	(三重大学大学院医学系研究科 感染制御・感染症危機管理学) 無床診療所における新興感染症発生・まん延期の事業継続計画(BCP)作成の手引き
P13-2-4	佐々木亮平	(岩手医科大学教養教育センター) 災害時地域保健活動を推進する体制整備の検討(第1報):地域特性を示す指標	P13-4-7	西川 佳孝	(京都大学) CAST-D:災害関連の公衆衛生学・医学事例研究報告ガイドラインの開発
P13-2-5	山崎 初美	(神戸市こども家庭局) 災害時地域保健活動を推進する体制整備の検討(第2報):保健活動体制を示す指標	10月30日(金) 13:00~14:15 ポスター(新宿 NS ビル 30F スカイクンファレンス)		
P13-2-6	黒田 梨絵	(ぐんま未来大学) 避難所トイレの経時的汚染状況と消毒剤の効果—被災女性への公衆衛生活動の課題—	P13-5-1	中井 寿雄	(高知県立大学) 医療的ケア児における抱っこ避難の限界年齢に関する検討
P13-2-7	日比野直子	(三重県立看護大学) 医療機関に所属する災害派遣の経験がある災害支援ナースが捉えた活動への課題	P13-5-2	松本 智紘	(福島県立医科大学 医学部 放射線健康管理学講座) 放射線防護施設における陽圧化装置稼働下での健康リスクに関する評価
P13-2-8	中北 裕子	(三重県立看護大学) 能登半島地震の被災地へ派遣後の新任期保健師の取り組み	P13-5-3	松浦 仁美	(山口県立大学) 大規模地震時の自治体保健師広域応援派遣における本庁統括保健師らの後方支援実践内容
P13-2-9	野呂千鶴子	(国際医療福祉大学大学院) 認知症者とその家族の災害時避難とその支援に関する国際的文献のスコopingレビュー	P13-5-4	伊藤美樹子	(滋賀医科大学) COVID-19在宅患者への補液導入時のケアシステムの課題:訪問看護師の経験から
P13-2-10	濱田 知里	(高知大学) てんかん患者の生活および死亡状況に関する法医剖検例調査	P13-5-5	森本 和暉	(産業医科大学産業生態科学研究所 災害産業保健センター) 原子力災害関連労働者における放射線以外の健康影響に関するシステマティックレビュー
10月29日(木) 16:00~17:15 ポスター(新宿 NS ビル 30F スカイクンファレンス)			P13-5-6	折坂 聡美	(金沢市保健所) 保健所設置市である金沢市における災害時保健医療福祉体制の強化
P13-3-1	森 福治	(山形県庄内保健所) 新興感染症・災害による健康危機に対する保健所の平時の取組みとその効果(事例報告)	P13-5-7	曾根 志穂	(金城大学公衆衛生看護学専攻科) 高齢化社会における地域防災活動の検討
P13-3-2	高杉 友	(近畿大学) 地域レベルの教育年数と避難訓練参加の関連:JAGES 3年縦断研究	P13-5-8	西田 伸一	(医療法人社団泉社会西田医院) 災害等非常事態に備えた広域医療機関連携について
P13-3-3	後藤 善則	(石川県能登中部保健所) 令和6年能登半島地震において県・保健所から市町へ派遣したりエゾン保健師等の検証	10月30日(金) 13:00~14:15 ポスター(新宿 NS ビル 30F スカイクンファレンス)		
P13-3-4	溝腰 朗人	(大分県南部保健所) 「重ねるハザードマップ」等を活用した災害時受援マップの電子化と応用	P13-6-1	野田 博之	(自治医科大学) 日本における抗インフルエンザウイルス薬の国家備蓄に至る検討の推移に関する研究
P13-3-5	井上 英耶	(滋賀県衛生科学センター) わた SHIGA 輝く国スポ・障スポにおける感染症強化サーベイランスの実践と課題	P13-6-2	村井 達哉	(国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所 応用疫学研究センター) 山口県における医療機関と行政が連携したEBSネットワーク構築に向けたニーズ調査
P13-3-6	有馬 和代	(太成学院大学) コロナ禍における行政保健師の電話対応での業務負担の可視化	P13-6-3	原田 萌香	(国立健康・栄養研究所) 災害時等に備えた家庭の食料備蓄未実施の背景要因に関する記述的研究:摂津スタディ
P13-3-7	前田 光哉	(東京都港区みなと保健所) 新型インフルエンザ等対策行動計画の支援体制を探索	P13-6-4	稲葉 静代	(岐阜県可茂保健所) 災害時におけるクロノロジー自動整理支援の活用
P13-3-8	小池 梨花	(東京都保健医療局島しょ保健所小笠原所) 小笠原地域における災害時保健医療活動について	P13-6-5	竹中 萌	(広島大学大学院医系科学研究科公衆衛生学) 能登半島地震における災害対応従事者のプレゼンティーズム
10月29日(木) 16:00~17:15 ポスター(新宿 NS ビル 30F スカイクンファレンス)			P13-6-6	関 なおみ	(国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所) クルーズ船に係るハンタウイルス感染症への感染研 EOC アクチベーション
P13-4-1	古屋 美咲	(鹿児島県保健福祉部医師・看護人材課) 鹿児島県トカラ列島近海群発地震における災害支援ナース派遣の実践と課題について	P13-6-7	徳丸 莉紗	(鹿児島大学大学院保健学研究科) 熊本地震が被災市町村の要支援・要介護認定率に与えた影響
P13-4-2	榊原理恵子	(国立保健医療科学院) 乳幼児をかかえる家族における災害時の共助に関する研究動向			
P13-4-3	長谷川麻衣子	(長崎県福祉保健部地域保健推進課) 長崎県における行政とDMATの連携した災害時保健医療福祉調整体制構築の取組			
P13-4-4	小野寺妙子	(帝京平成大学) 公衆衛生スクリーニングのプロセス的理解—森永ヒ素ミルク事件を事例に—			

**10月30日(金) 13:00~14:15
ポスター(新宿 NS ビル 30F スカイクンファレンス)**

P13-7-1	伊藤 俊弘	(旭川医科大学医学部看護学講座) 北海道 A 町の国保加入者の疾病分類と医療費の動向ー新型コロナ感染症の影響を中心にー
P13-7-2	村山 華子	(広島大学 大学院医系科学研究科 公衆衛生学) 国際医療チーム受援時における医療リエゾン調整機能の検討
P13-7-3	吉松 美美	(国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所 感染症危機管理研究センター) ハンタウイルス肺症候群・エボラ出血熱事案における情報モニタリングの実践
P13-7-4	原岡 智子	(広島都市学園大学) 災害時に必要な地域資源の活動の展開
P13-7-5	佐藤 紀子	(国際医療福祉大学) 原発被災地移住者における放射線リスク認知の形成要因
P13-7-6	圓尾 文子	(兵庫県保健医療部) コロナ禍における院内感染対策としての職員応援チーム活動の有効性
P13-7-7	鈴木 雅子	(西九州大学) 大涌谷における火山ガス事故対策：表明選好法による高感受性者の立入意図の検討

**10月30日(金) 14:25~15:40
ポスター(新宿 NS ビル 30F スカイクンファレンス)**

P13-8-1	齊藤 良玄	(北海道大学病院) 災害時の共助を支える避難者支援 AI の開発と評価ー災害関連死の減少を目指してー
P13-8-2	奥田 博子	(国立保健医療科学院) 災害時保健活動マニュアルの改訂に向けた手引きの作成
P13-8-3	阪田 敬子	(川崎市保健所) 川崎市における感染症集団事例の対応と課題ー机上訓練と実事例への応用ー
P13-8-4	辻 若葉	(京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻) 災害時保健活動マニュアルにおける視覚障害者の支援体制の記載状況についての文献検討
P13-8-5	稲田 綾子	(西宮市役所 保健所) 西宮市災害時医療救護体制の構築ー病院調査と病院連絡会を通じた課題分析ー
P13-8-6	田邊 裕	(名古屋市保健所緑保健センター) 地域の保健医療関係者と信頼関係を築くための名古屋市保健所西保健センターの取り組み
P13-8-7	蝦名 玲子	(株式会社グローバルヘルスコミュニケーションズ) 健康危機機下で必要となるコンピテンシーに関する技術報告書の翻訳及び事前の現地調査
P13-8-8	西出 智美	(小木クリニック) 災害時における非医療職による院内ロジスティクスと診療継続との関連(第1報)
P13-8-9	瀬島 照弘	(小木クリニック) 診療所 BCP と外部医療機関との連携による災害時医療提供体制(第2報)

**10月31日(土) 10:00~11:15
ポスター(新宿 NS ビル 30F スカイクンファレンス)**

P13-9-1	池田 和功	(和歌山県新宮保健所) 保健所・市町村・支援チームの連携強化に向けた災害時保健活動マニュアルの整備と実践
P13-9-2	米田 澄	(県立広島大学) 交通事故オープンデータを用いた事故多発地域の特定ー広島市を事例にー
P13-9-3	杉田百合菜	(京都大学大学院) 看護職・看護学生の災害対応能力向上に向けた教育的介入効果に関する文献検討

P13-9-4	黒須 一見	(国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所) エムボックス診療の手引きクリニック用ダイジェスト版と患者向けリーフレットの作成
P13-9-5	南田 哲平	(奈良県立医科大学公衆衛生学講座) 災害時支援を見据えた電源依存患者の地域分布
P13-9-6	畠山 典子	(順天堂大学) 近年の自然災害時における避難生活の健康課題と二次健康被害予防に関する自治体調査
P13-9-7	森山 信彰	(国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所 身体活動研究センター) 災害後早期の身体活動状況と新規要支援・要介護認定の関連：The RIAS study

**10月31日(土) 13:00~14:15
ポスター(新宿 NS ビル 30F スカイクンファレンス)**

P13-10-1	庄司 祐美	(福井県嶺南振興局若狭健康福祉センター) 福井県若狭地域における災害支援体制強化に向けた県型保健所・市町連携の意義と課題
P13-10-2	酒井 遙介	(香川県東讃保健福祉事務所) 香川県保健所職員を対象としたリスクコミュニケーション研修の効果と実装への課題
P13-10-3	岡部由紀夫	(西九州大学健康福祉学部社会福祉学科) 防災教育におけることものの防災意識の変容と教育効果：防災講座前後の変化量に着目して
P13-10-4	安村 誠司	(福島県立医科大学放射線医学県民健康管理センター) 東京電力福島第一原子力発電所事故後の福島県「県民健康調査」の現状と課題
P13-10-5	中里 栄介	(佐賀県佐賀中部保健所) 「全国保健所長会 健康危機管理に関する委員会」の活動報告
P13-10-6	伊東和佳菜	(お茶の水女子大学大学院) 台湾・花蓮市における避難所運営の在り方ー民間団体と平時の仕組みの活用ー
P13-10-7	岸田 伸介	(香川県中讃保健福祉事務所) 管内の特定給食施設等における災害時の食事提供体制の現状と課題

**10月31日(土) 13:00~14:15
ポスター(新宿 NS ビル 30F スカイクンファレンス)**

P13-11-1	丹治 和美	(京都府立医科大学大学院保健看護学研究科) 京都府内市町村の災害時保健活動の準備促進のための要因の検討
P13-11-2	中久木康一	(東北大学大学院歯学研究科災害・環境歯学研究センター) 多職種での災害時「食べる」連携研修会(D-EATs)の展開と課題
P13-11-3	有谷 和真	(奈良県立医科大学附属病院看護部脳神経内科) QGISを用いた山間部の災害保健活動における道路寸断・避難所超過シミュレーション
P13-11-4	大類 真嗣	(東北大学災害科学国際研究所) 特定非常災害に指定された災害後の超過死亡の一般化：統計モデルの構築
P13-11-5	田辺 香苗	(川口市保健所) 健康危機対処計画に基づく体系化された保健所における月例訓練の継続要因に関する考察
P13-11-6	野村 綺音	(東京都西多摩保健所) 風水害を想定した在宅人工呼吸器装着難病患者の事前避難入院訓練の実践と課題
P13-11-7	佐田みずき	(国立健康危機管理研究機構) 公的統計資料を用いた国民生活・社会経済活動に関する情報の収集体制の検討

第 14 分科会：医療制度・医療政策

10 月 29 日 (木) 14:40～15:55 ポスター (新宿 NS ビル 30F スカイクンファレンス)

P14-1-1	渡邊 直行	(国際原子力機関/神奈川県) 医療における患者安全文化評価尺度の理論的 定位
P14-1-2	西條 泰明	(旭川医科大学社会医学講座) 日本の内科医における出身医学部と地方勤務 の関連：医師・歯科医師・薬剤師統計より
P14-1-3	津田 耕一	(帝京大学大学院 公衆衛生学研究科) 中間年薬価改定導入後の薬価引下げ傾向の変 化：NDB オープンデータによる比較分析
P14-1-4	佐藤 明弘	(医療法人社団草童会 南町田こどもクリ ニック) 発達支援の多職種連携と医療・教育・福祉未 接続の改善：支援体制と制度構造の検討
P14-1-5	松本 佳子	(一般財団法人 医療経済研究・社会保険福祉 協会 医療経済研究機構) 在宅医療・介護連携推進基本ロジックモデ ル・指標の開発 第 1 報：ロジックモデルの 検討
P14-1-6	中西 康裕	(国立保健医療科学院 医療・福祉サービ ス研究部) 在宅医療・介護連携推進基本ロジックモデ ル・指標の開発 第 2 報：医療レセプトでの 検討
P14-1-7	金 雪瑩	(国立保健医療科学院) 在宅医療・介護連携推進基本ロジックモデ ル・指標の開発 第 3 報：介護レセプトでの 検討
P14-1-8	小山 真一	(湘南医療大学大学院医療・マネジメントエ グゼクティブ領域) 医療機関グループの 6S 活動推進状況に関 する実態調査

10 月 29 日 (木) 16:00～17:15 ポスター (新宿 NS ビル 30F スカイクンファレンス)

P14-2-1	瀬川 菜月	(大阪府泉佐野保健所) 影響度分類レベル別病床あたりのインシデ ントレポート数の特徴【第 1 報】
P14-2-2	柴田 敏之	(大阪府健康医療部) 影響度分類レベル別病床あたりのインシデ ントレポート数の特徴【第 2 報】
P14-2-3	山崎 一幸	(奈良県立医科大学 公衆衛生学講座) 患者調査、病院報告を用いた一般病床の入院 需要の将来推計
P14-2-4	武田 和也	(淀川キリスト教病院) 交通事故による他害外傷における診断書の加 療見込み期間の現状と標準化への提言
P14-2-5	林 潤	(奈良市健康医療部医療政策課) 医療安全対策アンケートを活用した立入検査 の実装モデル—奈良県内 75 病院の分析—
P14-2-6	中山 未来	(帝京大学大学院 公衆衛生学研究科) 40 歳未満若年者への一般健康診断における 心電図検査の費用対効果の検証【第二報】
P14-2-7	中村 萌々	(京都府立医科大学医学部看護学科 3 年) 京都府の二次医療圏間における循環器・脳卒 中・がん・周産期・小児医療の地域差の検討
P14-2-8	前田 明里	(東京大学大学院医学系研究科 健康科学・ 看護学専攻 地域看護学・公衆衛生看護学分 野) 自治体における訪問看護利用者の自宅内事故 情報の把握・分析・活用実態と課題

10 月 30 日 (金) 13:00～14:15 ポスター (新宿 NS ビル 30F スカイクンファレンス)

P14-3-1	齋藤 光紀	(北海道大学大学院歯学院歯科公衆衛生学教 室) 北海道二次医療圏における歯科医師需要・供 給の将来推計
P14-3-2	河野加織里	(湘南医療大学大学院医療・マネジメントエ グゼクティブ領域) 保険薬局における財務パフォーマンスに影響 を及ぼす要因に関する研究
P14-3-3	今井 信也	(森ノ宮医療大学) 平均収益を基準とした高額医療機器の各都道 府県における適正台数の試算
P14-3-4	小林 寛基	(福井県立病院 救命救急センター) 救急安心センター事業導入後の福井県立病院 救急外来患者構成の変化：分割時系列分析
P14-3-5	北川多恵子	(世田谷区保健福祉政策部保健福祉政策課) 英国の医療連携体制の取り組みから、世田谷 区の地域医療構想のあり方を考える
P14-3-6	河内 佑介	(奈良県立医科大学 医学研究科 公衆衛生 学講座) 市町村単位の医師偏在指標の有用性と課 題 ～奈良県における二次医療圏域との比 較～
P14-3-7	川田加奈子	(浜松医科大学 健康社会医学講座) NDB オープンデータを用いた全額公費負担 医療における医薬品処方の探索的分析
P14-3-8	石田 真美	(京都府立医科大学大学院医学研究科 地域保 健医療疫学 リアルワールドデータ研究支援 部門) 高齢者終末期 5 年間の医療費・介護費推移と 併存疾患特性との関連

10 月 31 日 (土) 13:00～14:15 ポスター (新宿 NS ビル 30F スカイクンファレンス)

P14-4-1	佐野 博美	(DeSC ヘルスケア株式会社) DeSC データベースを用いた後期高齢者の自 己負担 2 割化の影響：疾患横断的解析
P14-4-2	土屋 博紀	(長野県大町保健福祉事務所) 第 3 期信州保健医療総合計画における進捗状 況評価の標準化への試み
P14-4-3	南出 哲也	(九州大学大学院医学研究院 医療経営・管理 学講座) MRI 装置更新に伴う検査実施頻度の変化の検 証：LIFE Study
P14-4-4	篠崎真希子	(茨城県竜ヶ崎保健所) 救急医療機関における入口対策・出口対策に かかる現状と課題について
P14-4-5	小池 創一	(自治医科大学) 開業に伴う医師の診療領域・診療場所の変化 について
P14-4-6	阿部 計大	(北海道大学医学研究院 医療政策評価学) 在宅時医療総合管理料等の 2100 回要件導入 が訪問診療提供量と患者入院に与えた影響
P14-4-7	佐藤 菊枝	(名古屋大学医学部附属病院) 人的医療資源推定のための全身麻酔手術とア クセス状況
P14-4-8	吉村 健佑	(千葉大学医学部附属病院) 厚労省 DPC 研究班の政策研究：25 年間の成 果と今後の展望

10 月 31 日 (土) 10:00～11:15 ポスター (新宿 NS ビル 30F スカイクンファレンス)

P14-5-1	三保 健	(千葉大学医学部付属病院次世代医療構想セ ンター) GIS を用いた患者受療状況の分析-千葉県に おけるデータ分析事業の取り組み-
P14-5-2	松木田 瞭	(筑波大学大学院) 急性呼吸器感染症の初診患者におけるオンラ イン診療と対面診療の処方実態の比較

P14-5-3	相徳 泰子	(Clever-Access Japan 株式会社) 費用対効果評価制度は“価格抑制”から“価値評価”へ転換できるか
P14-5-4	吉田 真季	(一般財団法人 医療経済研究・社会保険福祉協会 医療経済研究機構) 第8次医療計画災害医療分野の策定・評価におけるロジックモデル活用のある方
P14-5-5	田中恵理香	(Clever-Access Japan 株式会社) 日本と欧州における医薬品 HTA の価値評価の比較 ― 公開評価文書を用いた分析
P14-5-6	青木 慶子	(帝京大学) 在宅療養支援診療所に勤務する看護職が抱えているメンタルヘルスの現状
P14-5-7	高橋 一剛	(広島県健康福祉局医療政策課) 受療率トレンドからみる現状投影型モデルによる医療需要推計の有用性と実務的限界
P14-5-8	頓 金成矢	(アドバンスト・メディカルケア (株)) 外来医療機関向け「日本語版医療安全文化調査票」を用いた比較調査

第 15 分科会：公衆衛生従事者育成

10 月 29 日 (木) 14:40～15:55 ポスター (新宿 NS ビル 30F スカイカンファレンス)

P15-1-1	船水 祐志	(青森県西北保健所) 新任保健師の学習ニーズの特徴―研修受講者評価からの検討―
P15-1-2	平野美千代	(札幌医科大学) 行政保健師の職業意識に対する地域への愛着の寄与：2025 年度全国調査
P15-1-3	大冢賀政昭	(国立保健医療科学院 医療・福祉サービス研究部) 他計式タイムスタディによる小規模自治体における保健活動の実態把握 (第 1 報)
P15-1-4	横堀 花佳	(東京大学大学院医学系研究科) 他計式タイムスタディによる小規模自治体における保健活動の実態把握 (第 2 報)
P15-1-5	岩井 直子	(京都大学大学院 医学研究科人間健康科学系専攻) 他計式タイムスタディによる小規模自治体における保健活動の実態把握 (第 3 報)
P15-1-6	田中 結香	(山梨学院短期大学) 司法ソーシャルワークに関する研究の動向
P15-1-7	土方 奈々	(杉並区杉並保健所) 社会医学系専門医研修プログラム TOKYO プログラム推進委員会の活動報告
P15-1-8	神崎 秀嗣	(秀明大学看護学部) 看護師養成課程における放射線教育の現状と発問を用いた授業法について

10 月 29 日 (木) 14:40～15:55 ポスター (新宿 NS ビル 30F スカイカンファレンス)

P15-2-1	福山 由香	(株式会社保健師つむぐ) 僻地・離島における保健師活動の持続可能性への挑戦 (実践報告：第 1 報)
P15-2-2	高橋 彩夏	(株式会社保健師つむぐ) 僻地・離島における保健師活動の持続可能性への挑戦 (実践報告：第 2 報)
P15-2-3	赤間 由美	(山形大学大学院医学系研究科看護学専攻) 山形県内の中堅期保健師の働きがいに対する思い―保健師間の交流に着目して―
P15-2-4	赤塚 永貴	(横浜国立大学医学部看護学科) 行政保健師のデジタルヘルス・コンピテンシーと個人および自治体要因の関連
P15-2-5	南谷 健太	(森・濱田松本法律事務所外国法共同事業) 米国公衆衛生大学院における公衆衛生法教育の実態

P15-2-6	長沼 孝至	(港区みなと保健所 (元 江東区保健所)) 東京都公衆衛生医師の育成に向けた医学部保健所実習標準化の取り組み
P15-2-7	近藤 良伸	(愛知県衣浦東部保健所) 公衆衛生行政に従事する医師の仕事に関する医学教育の推進 (第 2 報)
P15-2-8	吉朝 加奈	(東邦大学看護学部) ハンセン病を通じた人権教育―看護学生の省察にみる医療者としての姿勢―

10 月 29 日 (木) 16:00～17:15 ポスター (新宿 NS ビル 30F スカイカンファレンス)

P15-3-1	高見 栄喜	(関西看護医療大学看護学部看護学科専門基礎分野) 初年次看護学生の睡眠と精神的健康・生活満足度の関連―COVID-19 前後比較―
P15-3-2	神谷真有美	(修文大学看護学部) 保健師教育課程を履修した看護師の意識調査―保健師の視点は看護実践にどう活かせるか―
P15-3-3	鈴木 千絵	(川崎市役所) 母子保健事業における保健師の対人支援スキル向上のための学び合う仕組みの再構築
P15-3-4	阿部 弥喜	(札幌医科大学) 行政保健師の実践能力の向上に有効な自己研鑽―経験年数による層別解析―
P15-3-5	鈴木 良美	(東京医科大学) 行政保健師の電話対応に関するスコーピングレビュー：【第 1 報】英文献の検討
P15-3-6	門脇 睦美	(東京医科大学) 行政保健師の電話対応に関するスコーピングレビュー：【第 2 報】日本語文献の検討
P15-3-7	中射 知美	(金沢市保健所試験検査課) 金沢市保健所情報発信チームの活動【第 1 報】
P15-3-8	北岡 政美	(金沢市保健所試験検査課) 金沢市保健所情報発信チームの活動―FETP 修了生の生かし方―【第 2 報】

10 月 30 日 (金) 13:00～14:15 ポスター (新宿 NS ビル 30F スカイカンファレンス)

P15-4-1	岡部 花枝	(順天堂大学医療看護学部) 行政組織の違いにおける男性保健師の職業的アイデンティティとキャリア形成
P15-4-2	大西 竜太	(東北大学大学院) 新任期待保健師の困難事例支援経験と職業意識の関連：内省経験と職場環境による差異
P15-4-3	武藤 五月	(郡山市保健所) 企業との連携協定を活用した保健師人材育成研修の実践報告
P15-4-4	原田ひとみ	(藍野大学短期大学部) 「地域・在宅看護論実習における看護学生の不安の変容プロセス」
P15-4-5	嶋村 清志	(滋賀県南部健康福祉事務所 滋賀県草津保健所) 全国衛生行政研究会 保健所等の施策立案機能と技術系職員の資質向上に関する実践事業
P15-4-6	松本 敦子	(茨城県国民健康保険団体連合会) 茨城県自治体新任保健師の人材育成研修における目的・目標の到達度【第 1 報】
P15-4-7	中村明希子	(茨城県保健医療部健康推進課) 茨城県自治体新任保健師の前職経験と指導体制の関連【第 2 報】
P15-4-8	塙 清美	(茨城県国民健康保険団体連合会) 茨城県自治体新任保健師の採用半年間の対人支援活動の現状と課題【第 3 報】

**10月30日(金) 14:25～15:40
ポスター(新宿 NS ビル 30F スカイクンファレンス)**

P15-5-1	名越 究	(鳥根大学医学部) 公衆衛生医師インターンシップ(第1報)主催者と参加者の想いと現実のギャップ
P15-5-2	町田 宗仁	(国立保健医療科学院公衆衛生政策研究部) 公衆衛生医師インターンシップ(第2報)インターンシップ企画ガイド策定の事例報告
P15-5-3	中堀 伸枝	(富山大学) 保健師基礎教育におけるアクティブラーニング型パンデミック対応演習の試案
P15-5-4	鈴木 香苗	(浜松医科大学 児童青年期精神医学講座) 保育士における発達心理学領域の研修ニーズと役職・経験年数との関連
P15-5-5	深川 周平	(札幌医科大学) 行政保健師の能力形成のキーとなる実践経験の構造とキャリア発達の能力的側面との関連
P15-5-6	細谷 紀子	(千葉県立保健医療大学 健康科学部看護学科) 小規模自治体における保健師活動のコア:事務管理職と保健師のインタビュー分析から
P15-5-7	難波 亨	(札幌医科大学) 自治体規模と行政保健師の政策及び組織管理能力の関連—小規模自治体に着目して
P15-5-8	石井 英子	(岐阜保健大学) 訪問看護の特別管理加算利用状況(月・週ごと)についての考察

**10月30日(金) 14:25～15:40
ポスター(新宿 NS ビル 30F スカイクンファレンス)**

P15-6-1	山口のり子	(福岡県直方市役所) 大学との協働による市町村保健師の人材育成—PDCA サイクル実践力向上をめざして—
P15-6-2	池田 由貴	(北里大学健康科学部看護学科) 児童虐待の恐れのある対象への家庭訪問における新人保健師への指導上の困難
P15-6-3	木村 智久	(帝京大学大学院公衆衛生学研究所) 保健所・市町村保健センター職員の能力自己評価:事務職と医療職の比較
P15-6-4	岡本 光	(大阪府健康医療部健康医療総務課) 都道府県と市町村間で人事交流をした保健師の心理・行動面の変化
P15-6-5	渡邊 玲子	(一般社団法人国際ナーシングドゥーラ協会) 療養上の世話をする看護職の寄り添い評価するスケールの開発とパイロット検証
P15-6-6	森屋 一雄	(佐賀県健康福祉部健康福祉政策課内 IHEAT 事務局) 佐賀県における感染症対策に対応する人材育成事業について(最終報)
P15-6-7	塩川 幸子	(旭川医科大学医学部看護学科) 新任保健師の訪問件数と家庭訪問能力との関連
P15-6-8	小林 晴子	(久留米市子ども未来部こども子育てサポートセンター) アンケート調査結果を踏まえた久留米市保健職人材育成マニュアル変更等の取組

**10月31日(土) 10:00～11:15
ポスター(新宿 NS ビル 30F スカイクンファレンス)**

P15-7-1	栗津 昌枝	(岐阜保健大学) 保健医療職の国際的視野の育成を目的とした教材の検討—ナラティブレビューを用いて—
P15-7-2	白谷 佳恵	(筑波大学医学医療系) 国内市町村における地域保健ニーズと保健師充足率:GISを用いた生態学的検討

P15-7-3	高橋美保子	(埼玉医科大学医学部社会医学) COVID-19 パンデミックによる保健人材育成活動への影響—自由記載の分析—
P15-7-4	武野 真澄	(大分県中部保健所) 新任保健師の地域診断における学習プロセスとプリセプター支援機能の構造化
P15-7-5	平田 真子	(活水女子大学看護学部) 市町村非常勤保健師の業務実態および活動上の課題に関する文献検討
P15-7-6	斉藤 瑛梨	(茨城県立医療大学保健医療学部看護学科) 市町村保健師の経験年数別ノンテクニカルスキルの特徴
P15-7-7	井上 直子	(埼玉医科大学) 地域への愛着醸成を目指した現地実習の効果について
P15-7-8	宮田沙紀子	(小牧第一病院) 保健師職の活動と生きがいおよびキャリアオーナーシップ-在宅保健師の会からの考察-

**10月31日(土) 13:00～14:15
ポスター(新宿 NS ビル 30F スカイクンファレンス)**

P15-8-1	森田 有香	(滋賀医科大学医学部附属病院 看護師) 行政保健師の就業継続意向に影響する要因の検討—滋賀県看護職実態調査より—
P15-8-2	田中 美帆	(大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻) 保健師の地域の強みを高める公衆衛生看護技術に関連する教授法
P15-8-3	八木亜紀子	(アアリイ株式会社) あなたの時代、教えてください～生活史早見表を活用した支援関係強化の試み～
P15-8-4	田川 文	(大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻) コアバリューに基づく切れ目ない保健師実践尺度の開発:尺度項目の精練
P15-8-5	川村 牧子	(人間総合科学大学) 看護基礎教育における街歩き VR 教材の試作と授業設計の検討
P15-8-6	大井 恭世	(東京都保健医療局保健政策部保健政策課) 東京都における新任保健師研修(集合研修)の実践報告 ～第一報～

第16分科会:保健所・衛生行政・地域保健

**10月29日(木) 14:40～15:55
ポスター(新宿 NS ビル 30F スカイクンファレンス)**

P16-1-1	木村 龍介	(群馬県衛生環境研究所) 群馬県におけるARIサーベイランスで検出されたウイルスについて
P16-1-2	吉井 絢子	(兵庫県保健医療部健康増進課) 県保健師が構築し活用する保健師記録アプリのシステム評価
P16-1-3	久保田莉菜	(群馬県衛生環境研究所) ノロウイルスに対するイムノクロマト法の検出性能評価
P16-1-4	山下 美幸	(相模原市立療育センター陽光園) 相模原市における地域の発達支援の実践(1)～保育所等への訪問型研修～
P16-1-5	佐藤久美子	(相模原市立療育センター陽光園) 相模原市における地域の発達支援の実践(2)～児童発達支援等への食支援～
P16-1-6	岩下 亜未	(兵庫県保健医療部健康増進課) 多職種連携による要介護者への口腔ケア定着事業の効果に関する検討
P16-1-7	引山 莉沙	(港区みなと保健所) 妊娠早期からの切れ目ない支援における助産師と保健師の連携に関する検討
P16-1-8	高原 理	(国立健康危機管理研究機構国立感染症研究所) 病原体検出情報サブシステムおよびARI病原体サーベイランスの利用状況について

**10月29日(木) 16:00~17:15
ポスター(新宿 NS ビル 30F スカイカンファレンス)**

P16-2-1	須賀 万智	(東京慈恵会医科大学) がん検診を正しく受けてもらう方策とは～働く人の健康意識に関するアンケート調査
P16-2-2	濱田 昌範	(尼崎市保健所) 公衆衛生学的特性から見た COVID-19 死亡率と兵庫県内 4 保健所の現在地
P16-2-3	近内美乃里	(鎌倉保健福祉事務所) 保健所の視点からみた感染対策向上加算 1 カンファレンス参加の意義
P16-2-4	松澤 知	(新潟県) 新潟県による医療法に基づく立入検査(放射線管理部門)の実施体制に関する全国調査
P16-2-5	古田 有希	(和歌山県福祉保健部福祉保健政策局医務課) 保健所における ACP の普及活動について
P16-2-6	安達 優真	(福島県立医科大学医学部) 福島県内保健所職員の放射線リスク認知(次世代影響不安)の実態と関連要因:横断研究
P16-2-7	堀川 芽衣	(静岡県熱海健康福祉センター) 受講後アンケートで評価した研修企画の効果ー県保健所における子ども虐待予防事業ー
P16-2-8	白鳥さやか	(習志野市役所) 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施における骨折予防取組の効果検証

**10月29日(木) 16:00~17:15
ポスター(新宿 NS ビル 30F スカイカンファレンス)**

P16-3-1	大川 貴史	(群馬大学大学院保健学研究科) ヘルスビッグデータ活用による市町村の健康施策立案の伴走支援スキーム構築(第1報)
P16-3-2	佐藤 由美	(群馬大学大学院 保健学研究科) ヘルスビッグデータ活用による市町村の健康施策立案の伴走支援スキーム構築(第2報)
P16-3-3	萩原加奈子	(国立保健医療科学院) 総合的なマネジメントを担う保健師の配置状況及び役割発揮を支える組織体制の実態調査
P16-3-4	杉本 九実	(帝京大学大学院公衆衛生学研究科) 自治体における自律的な保健事業の推進に向けた「伴走支援ガイド」の作成
P16-3-5	北島 勉	(杏林大学総合政策学部) 保健所における HIV 検査の多言語化に関する研究
P16-3-6	田口 将人	(北海道根室保健所兼中標津保健所) 北海道立保健所管内における輸入感染症としての結核患者発生の増加
P16-3-7	松尾 沙織	(特定非常利活動法人 シェア=国際保健協力市民の会) NPO と自治体の連携による公的な医療通訳体制整備に向けた試み
P16-3-8	橋本 啓一	(大分県北部保健所) 市の外国人相談機関と協働した外国人住民の医薬品アクセス改善に向けた実践報告

**10月30日(金) 13:00~14:15
ポスター(新宿 NS ビル 30F スカイカンファレンス)**

P16-4-1	石川貴美子	(中央大学法学部) 地域保健ガバナンスに参画する看護管理者育成ー政策提言演習での伴走型指導の効果ー
P16-4-2	上田 倫	(広島県健康福祉局食品生活衛生課) 全国自治体における食中毒疫学調査の体制・運用状況と課題認識の有無との関連
P16-4-3	堀内 栞	(大阪公立大学) 母子保健分野における行政保健師のワーク・エンゲイジメントと職業的自尊心との関連
P16-4-4	岩本江里子	(東京都多摩府中保健所) 制度や年齢の垣根を超えたひきこもり支援のネットワークづくり

P16-4-5	並岡重希子	(岩手県保健福祉部健康国保課) 地域保健対策における PDCA 推進上の課題と改善への示唆
P16-4-6	三原重矢巳	(愛知県保健医療局健康医務部医療計画課) 愛知県自治体における統括保健師から見た中堅期保健師の育成について
P16-4-7	須田 裕子	(島根大学医学部環境保健医学講座) 保健事業データ利活用の課題と支援ニーズー島根県市町村調査と活用支援の試行ー

**10月30日(金) 14:25~15:40
ポスター(新宿 NS ビル 30F スカイカンファレンス)**

P16-5-1	宇野 健司	(奈良県中和保健所) 県内病院を対象とした院内感染対策『見える化』推進事業
P16-5-2	堀内のぞみ	(文京区保健衛生部・文京保健所予防対策課) 事例対応の分析から見る文京区の措置入院者退院後支援体制の効果
P16-5-3	高橋 秀和	(北海道釧路保健所) 疥癬事例を契機に構築した小規模自治体における地域ネットワークを活用した感染対策
P16-5-4	平野美和子	(北区保健所) 東京都北区における VRE 感染症発生状況と保健行政と医療機関との連携に関する報告
P16-5-5	金田 侑大	(常磐病院) 東日本大震災後の浜通り地域 3 病院における初期臨床研修: 15 年間の軌跡
P16-5-6	木村 留理	(埼玉県熊谷保健所) 市、企業と協働による地域・職域連携の実践ー効果的かつ持続可能な連携モデルの検討ー

**10月31日(土) 10:00~11:15
ポスター(新宿 NS ビル 30F スカイカンファレンス)**

P16-6-1	今村 尚子	(大阪大学医学系研究科公衆衛生学) 日本における地域健康カルテの整備状況と特徴に関する全国調査
P16-6-2	塩本 高之	(石川県感染症情報センター) 自治体に帰任した FETP 修了者による還元の実践とその在り方に関する検討
P16-6-3	山下 友美	(大阪市健康局) 大阪市における地域・職域連携推進のための基盤整備と連携推進体制強化の取組
P16-6-4	村田乃理子	(名古屋市保健所西保健センター) 名古屋市保健所における公衆衛生医師・歯科医師の専門性を生かした分野別部会の活動
P16-6-5	塩見 美抄	(京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻) 小規模町村を管轄する保健所保健師による町村保健行政機能をまもる取り組み
P16-6-6	山田まどか	(鳥取県西部総合事務所 米子保健所) 鳥取県西部圏域における救急搬送の年次推移と関連要因の検討
P16-6-7	山口 一郎	(国立保健医療科学院) 放射線管理に関する課題解決のための匿名医療保険等関連情報データベースの活用方策
P16-6-8	藤田 綾子	(愛知県日進市) 地域診断データの住民共有を通じた地域づくりと介護予防施策形成への活用

**10月31日(土) 10:00~11:15
ポスター(新宿 NS ビル 30F スカイカンファレンス)**

P16-7-1	太田 美幸	(国立がん研究センターがん対策研究所検診研究部) 全国の自治体におけるがん検診受診率・精密検査受診率向上に向けた取組みの状況調査
---------	-------	---

P16-7-2	小林由美子	(一般財団法人医療経済研究・社会保険福祉協会 医療経済研究機構) 自治体保健師の働きやすさの背景にある職場環境要因に関する質的研究	P17-1-4	宮崎さおり	(愛媛大学大学院農学研究科) ヘルスリテラシーと食品摂取の多様性との関連：介護による修飾効果
P16-7-3	早川 貴裕	(栃木県安足健康福祉センター) 医師届出票情報を用いた地方自治体に勤務する公衆衛生医師の就業状況調査	P17-1-5	永松美優紀	(三田市健康福祉部健康増進課) 市町行政栄養士の能力向上を目指した新たな研修体制の構築と運営方針の検討
P16-7-4	瀧口 知津	(奈良県立医科大学大学院看護学研究科) QGISを用いた社会的脆弱性の把握に関する予備調査	P17-1-6	永井 加奈	(茨城県日立保健所) 二次医療圏を超えた嚥下調整食を中心とした医療・介護の連携について
P16-7-5	行竹三紀恵	(神奈川県健康医療局保健医療部がん・疾病対策課) 市町村の生活習慣病対策におけるデータ利活用の現状と課題—全国市町村調査から—	P17-1-7	山本 広史	(東京大学 大学院工学系研究科) 高齢者における日々の食事バランスの傾向と生体指標との関連
P16-7-6	仲尾次りか	(沖縄県総務部職員厚生課) 能登半島地震被災者支援を通じた保健所保健師教育への中長期派遣保健師としての関わり	P17-1-8	逸見 幸恵	(新潟県長岡地域振興局健康福祉環境部) 保育施設を通じた 20～40 代の食生活の実態及び支援ニーズの把握と提案
P16-7-7	落合 都	(枚方市 健康づくり課) 働く世代に対する自治体健康教育参加促進に向けたアプローチ方法の検討	10月29日(木) 16:00～17:15 ポスター(新宿 NS ビル 30F スカイクンファレンス)		
P16-7-8	塚越 博之	(群馬県衛生環境研究所) アンケート調査からみた地方衛生研究所の実験室安全管理の現状と改善点			

10月31日(土) 13:00～14:15
ポスター(新宿 NS ビル 30F スカイクンファレンス)

P16-8-1	高橋 寛	(岩手医科大学薬学部) 後期高齢者における多職種連携訪問指導業務：岩手県での試み	P17-2-1	富吉 真生	(福岡女子大学大学院 人間環境科学研究科) 日本人女性における大豆製品およびイソフラボン摂取と抑うつ症状との関連
P16-8-2	野々山紗矢果	(藤田医科大学地域包括ケア中核センター) 医療系学校法人による自治体支援—地域包括ケアを共に考えるアジャイル型政策形成—	P17-2-2	小山 聖奈	(名古屋大学大学院医学系研究科) 高齢者の社会的ネットワークと食事の質・食塩摂取との関連の二面性
P16-8-3	関川 麻実	(栃木県保健環境センター) 地方衛生研究所における健康危機対処計画に基づく訓練の実施と評価	P17-2-3	山田祐規子	(東京医療保健大学大学院和歌山看護学研究科看護学専攻研究生) 中大規模病院の交代制勤務看護師における食生活自己効力感の関連要因
P16-8-4	山田 寛子	(聖路加国際大学大学院看護学研究科) 訪問看護ステーションによる妊婦支援の現状と支援体制の課題：都内事業所を対象として	P17-2-4	菊川 真由	(国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所) 1～2 歳の乳幼児における外食・中食の摂取状況
P16-8-5	吹田 晋	(国立保健医療科学院) 地域・職域連携④モデル事業(2) 東京都港区-小規模事業場調査の分析-	P17-2-5	小島 悠子	(兵庫県保健医療部健康増進課) 兵庫県における在宅栄養管理体制整備(第1報：在宅療養者の栄養管理の実態)
P16-8-6	田中 克弥	(浜松医科大学大学院看護学専攻) 地域・職域連携⑤モデル事業(3) 観光都市における宿泊業従事者への健康調査	P17-2-6	信木由紀子	(兵庫県龍野健康福祉事務所) 兵庫県における在宅栄養管理体制整備【第2報：社会実装に向けた取組】
P16-8-7	北村 聖子	(愛荘町健康推進課) 地域・職域連携⑥モデル事業(4) 滋賀県愛荘町における職域主体を目指した取組	P17-2-7	兵頭 貴子	(愛媛大学大学院連合農学研究科 地域健康栄養学) 外来栄養指導患者における栄養評価と骨格筋指数の関連についての縦断研究
P16-8-8	都筑 千景	(大阪公立大学) 地域・職域連携① 全国自治体アンケートから見た地域・職域連携推進事業の進捗状況	P17-2-8	稲田満里菜	(前女子栄養大学大学院) 「完全」栄養を訴求する加工食品利用の動機と認知：習慣的利用者における質的研究
P16-8-9	大比淑和子	(椋山女学園大学) 地域・職域連携③モデル事業(1) 市町村における健康づくり推進事業所認定事業	10月30日(金) 13:00～14:15 ポスター(新宿 NS ビル 30F スカイクンファレンス)		
P17-3-1	清水 裕衣	(宮崎県都城保健所) 塩分測定をきっかけとした給食施設における「適塩」推進の取組			
P17-3-2	村上 和馬	(藤田医科大学大学院 医療科学研究科) 一般住民における JDI スコアと白血球 TXNIP 遺伝子の DNA メチル化率との関連	P17-3-3	岡田ひろみ	(鈴鹿医療科学大学) 地域在住中高年者における美食家志向が AGEs (終末糖化産物) に及ぼす影響
P17-3-3	岡田ひろみ	(京都光華大学健康科学部健康栄養学科) 地域高齢者における災害時の食品備蓄の実態と課題＝健康プロジェクトⅡの取組から＝	P17-3-4	齊藤 曜子	(仙台白百合女子大学) フレイル予防を目的とした食支援の検討【1】 食の多様性と調理行動・食事意識との関連
P17-3-4	齊藤 曜子	(仙台白百合女子大学) フレイル予防を目的とした食支援の検討【2】 食事作りの工夫と食の多様性	P17-3-5	中島 里美	(東京大学医学系研究科イートロス医学講座) 自己評価した食事の質と質問票で測定した食事の質の関連および誤認識に関連する要因
P17-3-5	中島 里美	(静岡県社会健康医学大学院大学) 減塩調味料の配布による降圧効果のランダム化比較試験：研究プロトコルと登録状況	P17-3-6	矢島 由佳	
P17-3-6	矢島 由佳		P17-3-7	大野 富美	

第 17 分科会：公衆栄養

10月29日(木) 14:40～15:55
ポスター(新宿 NS ビル 30F スカイクンファレンス)

P17-1-1	重住 京子	(新潟県三条地域振興局健康福祉環境部) 新潟県県央圏域の労働者の高血圧有所見者における食行動の特徴	P17-1-2	井上 拓哉	(群馬大学医学部産婦人科) 母親の魚および PUFA 摂取量と妊娠高血圧症候群リスクとの関連：エコチル調査
P17-1-2	井上 拓哉	(静岡県社会健康医学大学院大学) 減塩調味料の配布による降圧効果のランダム化比較試験：研究プロトコルと登録状況	P17-1-3	佐藤 清香	

P17-3-8	井上里加子	(岡山県立大学保健福祉学部栄養学科) 施設入所高齢者における身体状況及び腸内細菌叢に関する横断研究：GNRIに着目して
---------	-------	--

**10月30日(金) 14:25～15:40
ポスター(新宿 NSビル 30F スカイクンファレンス)**

P17-4-1	門谷 真歩	(慶應義塾大学病院) 地域住民に対して実施される食環境づくりの研究介入についての文献検討
P17-4-2	三澤 美菜	(秋田大学大学院 医学系研究科 衛生学・公衆衛生学講座) 生後半年までの母親の食事の質の軌跡と子どもの発達との関連
P17-4-3	徳島 仁美	(雲南市役所) 中山間地域高齢女性の減塩促進・阻害要因
P17-4-4	山沢 珠央	(山形大学大学院農学研究科) 職域労働者における尿中ナトリウムと栄養素・食品群別摂取量との関連
P17-4-5	桐井 恭子	(茨城キリスト教大学) 企業・地域連携による親子を対象とした大豆食育プログラムの実践報告
P17-4-6	矢口 舞	(早稲田大学大学院人間科学研究科) 小学生の食事の質に関する縦断研究—DRI スコアを用いた検討—
P17-4-7	串田 修	(静岡県立大学) 地域版尺度と化学分析値との比較による食塩摂取関連行動の地域差の検討
P17-4-8	吉田 純子	(福山大学生命工学部健康栄養学科) 東日本大震災後の食品摂取頻度と2年後の精神的健康との関連～福島県県民健康調査～

**10月31日(土) 10:00～11:15
ポスター(新宿 NSビル 30F スカイクンファレンス)**

P17-5-1	八重樫昭徳	(北海道大学大学院 医学研究院 公衆衛生学教室) 北海道の地域住民の食行動・生鮮食品入手方法・買物移動手段の夏と冬の差
P17-5-2	明神 大也	(国立大学法人 浜松医科大学) 日本における食品防御対策の発展過程と構造的特徴
P17-5-3	高林早枝香	(北海道大学大学院医学院公衆衛生学教室) 地域在住高齢者における食事の多様性指標と認知機能の低さとの関連
P17-5-4	坪井美也子	(大阪府四條畷保健所) 給食施設における非常災害時用食品備蓄等の実態調査から見た課題
P17-5-5	仁科 一江	(仁科医院) 食育の選食力の観点から、栄養成分表示を子供の視認性から捉えた検討
P17-5-6	高矢 央子	(武庫川女子大学大学院) 若年女性における身体的虚弱の実態と関連要因の検討
P17-5-7	笹田 怜子	(岩手県立大学盛岡短期大学部) 保育所給食からの微量元素摂取量の検討
P17-5-8	石坂 晴奈	(千葉大学大学院情報学研究院) 食習慣に関する意識・行動・情報源と性別・家族構成の関連の検討

**10月31日(土) 13:00～14:15
ポスター(新宿 NSビル 30F スカイクンファレンス)**

P17-6-1	山下 幸輝	(大阪公立大学大学院 生活科学研究科 食栄養学分野) 尿中 Na/K 比と K 給源食品摂取量の関連：NIPPON DATA2010
P17-6-2	由田 克士	(大阪公立大学大学院 生活科学研究科 食栄養学分野) 20歳からの10kg以上の体重増加が男性の健康状態に与える影響

P17-6-3	黒谷 佳代	(昭和女子大学) 大学生を対象としたフードパントリーにおける炊き出し提供の効果
---------	-------	--

P17-6-4	増田ひかり	(山形大学農学研究科農学専攻 食農総合科学研究室) 急性ストレス負荷後の果物摂取が生理的ストレス反応に及ぼす影響
---------	-------	---

P17-6-5	Aleef Daniel	(Hiroshima University) Associations of Meal and Sleep Timing with Menstrual Symptoms in Japanese Women
---------	--------------	---

P17-6-6	成田 美紀	(東京通信大学) 独居高齢者における食事調達手段による推計費用の比較検討
---------	-------	---

P17-6-7	實石 幸穂	(千葉大学大学院情報学研究院) 食生活関連情報に関する媒体利用と利用者属性との関連の検討
---------	-------	---

P17-6-8	徳野 裕子	(十文字学園女子大学) 関東在住若年成人における孤独感と食習慣・排便状況の関連
---------	-------	--

第18分科会：健康運動指導

**10月29日(木) 16:00～17:15
ポスター(新宿 NSビル 30F スカイクンファレンス)**

P18-1-1	水野かゝみ	(中部学院大学) 山間過疎地域の高齢者の身体機能と運動実施状況との関連について
P18-1-2	桶川 龍世	(藤田医科大学 医学部 公衆衛生学) 日本人労働者における身体活動量とエネルギー摂取量の関連
P18-1-3	田崎 裕美	(宇都宮市役所) 宇都宮市保健センター自作のDVD(Miya運動)を活用した運動効果について
P18-1-4	高橋 美咲	(帝京大学大学院公衆衛生学研究科) ソーシャルキャピタルと目的別歩行時間との関連—地域ウォーカビリティ別の検討—
P18-1-5	小野 玲	(国立長寿医療研究センター 老年社会科学研究部) 地域在住軽度要介護高齢者の長時間座位に関連する身体・心理・社会要因：寄り添い調査
P18-1-6	柿花 宏信	(神戸学院大学) 八尾市における公園てくてく健康づくり教室参加前後の公園利用変化

**10月30日(金) 13:00～14:15
ポスター(新宿 NSビル 30F スカイクンファレンス)**

P18-2-1	蓬畑恵久美	(青森県立保健大学大学院) 中学校における運動介入が体力・達成意欲に与える影響 — 後ろ向きの経時的観察研究 —
P18-2-2	神田 晃	(元 青森県立保健大学) 高齢者へのオンライン筋力トレーニング運動の場を、画面を通して家庭に
P18-2-3	井上 茂	(東京医科大学公衆衛生学分野) 子どもの身体活動政策・研究の国際比較：GoPE!2025 日本のカンントリーカード
P18-2-4	川原 瑞希	(東京科学大学公衆衛生看護学分野) 在宅勤務者に対する運動機能向上プログラムの効果検証：クラスター RCT【第1報】
P18-2-5	油納 友里	(東京科学大学公衆衛生看護学分野) 在宅勤務者に対する運動機能向上プログラムの効果検証：プロセス評価【第2報】
P18-2-6	藤井 廉	(九州大学大学院 医学研究院 医療経営・管理学講座) 自治体導入型モバイルヘルスアプリの利用パターンの類型化：LIFE Study

**10月30日(金) 14:25～15:40
ポスター(新宿 NSビル 30F スカイクンファレンス)**

P18-3-1	堀口 康太	(帝京大学大学院公衆衛生学研究科) 日本人成人における教育歴による場面別身体活動の格差
P18-3-2	柳田 昌彦	(同志社大学スポーツ健康科学部) 大学アスリートにおける筋力トレーニングが動脈硬化度(脈波伝播速度)に及ぼす影響
P18-3-3	岩倉 広和	(立命館大学) 長時間座位が安静呼吸中の横隔膜収縮率と精神的疲労感に及ぼす影響
P18-3-4	山吉 輝	(山梨大学大学院 総合研究部医学域社会医学講座) 早期の筋肉量低下指標に関連する網羅的血漿プロテオーム解析: YMoC Study
P18-3-5	坂本 譲	(東北学院大学) 大学生の身体活動と心身の健康に対するCOVID-19 活動制限の影響

第19分科会: 食品衛生・薬事衛生

**10月29日(木) 16:00～17:15
ポスター(新宿 NSビル 30F スカイクンファレンス)**

P19-1-1	尾崎 厚志	(福井健康福祉センター) 福井県における違法ケシの現状と課題について
P19-1-2	小林 美保	(聖路加国際大学大学院公衆衛生学研究科) 衛星画像データ中のクロロフィルa 情報を用いた貝毒プランクトン予測
P19-1-3	喜多 志帆	(石川県能登中部保健所) カキ養殖生産地を有する保健所におけるノロウイルスによる食中毒の判断とその課題
P19-1-4	阿部 風紗	(茨城キリスト教大学) ジビエ肉における解体条件の違いと微生物検出状況の関連
P19-1-5	中尾 裕之	(宮崎県立看護大学) ポリファーマシー対策における保健師と薬剤師の連携
P19-1-6	遠藤 昇里	(埼玉県衛生研究所) 埼玉県におけるノロウイルス検出状況
P19-1-7	神奈川芳行	(奈良県立医科大学公衆衛生学講座) 食品防御対策ガイドラインの新たな課題への対応と変遷
P19-1-8	長田 瑞花	(奈良県立医科大学) 食品工場における監視カメラ映像データ流出リスクの検討と課題
P19-1-9	田崎ひなた	(茨城キリスト教大学生活科学部食物健康科学科) 日本型食品防御モデルの再定義
P19-1-10	高田妃美香	(茨城キリスト教大学生活科学部食物健康科学科) 食料システム法は食品防御態勢に影響を与えるか?

**10月31日(土) 13:00～14:15
ポスター(新宿 NSビル 30F スカイクンファレンス)**

P19-2-1	山下 茜	(大手前大学大学院) 大学生における食中毒予防行動及び受診行動の実態
P19-2-2	木下 香織	(株式会社プロテックス) 人工ヒトノロウイルス粒子のカプシド構造を指標とした消毒剤の有効性評価
P19-2-3	上野可南子	(北九州市保健環境研究所) 調理後における温度管理の重要性の検証〜ウエルシュ菌食中毒を防止するために〜
P19-2-4	熊谷 春那	(山形大学農学部) 地域未利用魚を活用した高齢者向け嚥下調整食の開発

P19-2-5	河村理恵子	(関東学院大学大学院 工学研究科) 手指の洗浄消毒による二次汚染危害分析
P19-2-6	牧野 友彦	(厚生労働省医薬局医療機器審査管理課) コンパニオン診断(CDx)に見る薬事の課題とプログラム医療機器

第20分科会: 産業保健

**10月29日(木) 14:40～15:55
ポスター(新宿 NSビル 30F スカイクンファレンス)**

P20-1-1	各務 竹康	(福島県立医科大学 医学部 衛生学・予防医学講座) ダイバーシティアンケートのWeb 移行が回答傾向に与えた影響
P20-1-2	日高 友郎	(福島県立医科大学衛生学・予防医学講座) 医科大学労働者における職場ダイバーシティ推進に係るニーズの内容と時間的変遷
P20-1-3	西本 大策	(鹿児島大学 医学部保健学科 看護学専攻) 若年労働者における心理的苦痛・レジリエンスとバーンアウトとの関連: 4 回の横断調査
P20-1-4	仁科 昌久	(仁科労働衛生コンサルタント事務所) 産業医が行ってきた労働者の為の精神力強化策とその効果
P20-1-5	田中 翔平	(北7条ごうだ整形外科) とっさの反応に潜むパーソナリティ特性: 中高年者の反応時間と開放性との関連性
P20-1-6	高橋 愛	(大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻総合ヘルスプロモーション講座) 産学連携による行動変容推進プログラムの構築〜行動変容と検査値改善の関連分析〜
P20-1-7	吉川 尚志	(戸板女子短期大学 食物栄養科) 臨床工学技士の時間外勤務改革の取り組み
P20-1-8	水町 直美	(長崎大学大学院) 公務員のメンタルヘルス構造: パワーハラスメントの体験度およびその対処を中心に
P20-1-9	谷川 聖	(全国健康保険協会沖縄支部) 事業所における喫煙対策の実態と課題 ー禁煙サポート事業アンケート調査からの検討ー

**10月29日(木) 14:40～15:55
ポスター(新宿 NSビル 30F スカイクンファレンス)**

P20-2-1	高木 二郎	(山陽学園大学大学院) 職域における心理的安全性のストレス緩和作用
P20-2-2	木下輪太郎	(宮崎県福祉保健部健康増進課) 「健康経営®」推進が従業員の健康状態及び生活習慣に与える影響について
P20-2-3	吉田 穂波	(神奈川県立保健福祉大学大学院 ヘルスイノベーション研究科) テレワークにおける職場環境と働く人々のメンタルヘルスから明らかになった知見と提言
P20-2-4	横川 将之	(慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科) 従業員の主観的健康感およびワーク・エンゲージメントとプレゼンティズムとの関連
P20-2-5	伊井みず穂	(富山大学学術研究部医学系成人看護学講座) ワークホリズムに関連する職場要因と個人要因: 日本公務員研究
P20-2-6	望月由紀子	(東邦大学大学院) 外国人介護人材が安心して暮らし働き続ける環境づくりに向けた実践報告(第1報)
P20-2-7	望月千夏子	(湘南医療大学) 外国人介護人材が安心して暮らし働き続ける環境づくりに向けた実践報告(第2報)

**10月29日(木) 16:00~17:15
ポスター(新宿 NSビル 30F スカイクンファレンス)**

P20-3-1	前田 悠智	(藤田医科大学 医学部 公衆衛生学講座) 高年齢労働者への配慮の実態と事業所規模との関連：自由記述のテキストマイニング分析
P20-3-2	高野 雅子	(医療法人社団美心会黒沢病院) 病院健康管理室による外部評価を活用した健康経営推進と職員の健康維持・増進の成果
P20-3-3	横山 和仁	(国際医療福祉大学大学院公衆衛生学専攻) バーンアウト(燃え尽き)と働き方
P20-3-4	小川 俊夫	(摂南大学農学部食品栄養学科公衆衛生学教室) 就労者における腰痛の実態と影響に関する一考察
P20-3-5	山本 綾香	(医療法人桂名会 重工大須病院) 建設業事業場における健康に関する取り組みの現状—健康経営の視点から—
P20-3-6	村上翔太郎	(青森県立保健大学健康科学部) 小規模事業場経営者の健康経営関心度と健康関連指標との関連【第1報】
P20-3-7	千葉 敦子	(青森県立保健大学健康科学部) 小規模事業所経営者の健康経営関心度と健康関連指標との関連【第2報】
P20-3-8	國吉 光	(宝塚医療大学和歌山保健医療学部) 介護施設職員の腰痛と身体化症状負担との関連—労働生産性を含めた検討—

**10月30日(金) 13:00~14:15
ポスター(新宿 NSビル 30F スカイクンファレンス)**

P20-4-1	高木 由佳	(京都大学大学院医学研究科) 職場の健康経営施策と更年期症状による生活支障の関連：K6を介した媒介モデルの検討
P20-4-2	大山 篤	((株)神戸製鋼所東京本社健康管理センター) 海外派遣労働者の口腔保健をとりまく環境に関するWeb調査
P20-4-3	松本 瑞夏	(東北大学病院) COVID-19パンデミックにおける看護管理者のバーンアウト要因の統合的レビュー
P20-4-4	佐藤 秀之	(産業医科大学産業生態科学研究所環境疫学研究室) 高年齢労働者における社会的孤立とプレゼンティーズムの関連
P20-4-5	出井 涼介	(地域ケア経営マネジメント研究所) RI-ARモデルに依拠した介護職員の幸福度の動態に影響する要因
P20-4-6	佐々木晶世	(公益財団法人ダイヤ高齢社会研究財団) 仕事と介護の両立に関する研究【第1報】：多重介護と精神的健康度との関連
P20-4-7	安 順姫	((公財)ダイヤ高齢社会研究財団) 仕事と介護の両立に関する調査【第2報】：プレ介護期の介護規範意識と負担の関連
P20-4-8	宋 澤安	(名古屋大学医学系研究科) 中年期職業性ストレスと退職後認知機能・フレイル

**10月30日(金) 14:25~15:40
ポスター(新宿 NSビル 30F スカイクンファレンス)**

P20-5-1	谷 直道	(産業医科大学 産業生態科学研究所 人間工学研究室) 陸上貨物運送業における心理社会的ストレス因子と腰痛重症度の関連性
P20-5-2	森鍵 祐子	(山形産業保健総合支援センター) 地域産業保健センターにおける地域・職域連携の実態
P20-5-3	小森賢一郎	(国立健康危機管理研究機構) 情報伝達が労働に与える影響の検討—業務引き継ぎに関するアンケート調査を通じて—

P20-5-4	後藤可奈子	(産業医科大学 医学部 公衆衛生学教室) 日本人女性労働者における更年期症状の重症度と孤独感の関連：横断研究
P20-5-5	小池麻也子	(秋田大学大学院医学系研究科 衛生学公衆衛生学講座) 月経痛と鎮痛薬、ホルモン療法、生理休暇取得、バーンアウト
P20-5-6	荒木詩央里	(前滋賀医科大学医学部看護学科) 就学移行期の子をもつ親のメンタルヘルスに影響する要因：就業中の親に焦点を当てて
P20-5-7	佐藤 康仁	(国立保健医療科学院) 商業施設で使用するICタグハンドリーダ・ライタの使用と健康(自覚症状)との関連

**10月31日(土) 10:00~11:15
ポスター(新宿 NSビル 30F スカイクンファレンス)**

P20-6-1	鈴木 翔大	(筑波大学) 成人期前期の労働者における運動・身体活動・座位行動と企業が実施する支援との関連
P20-6-2	酒井 洸典	(東海大学医学部基盤診療学系衛生学公衆衛生学) テキストマイニングによる職場の不公平感の分析
P20-6-3	渡邊隆一郎	(順天堂大学) 介護福祉施設に勤務する女性職員における、若年層であることと抑うつ症状との関連
P20-6-4	瀬田 健博	(株式会社ヘルスアセスメントメディカルセンター) 就業(熱中症現場リスク)と治療の両立に関して
P20-6-5	黄 家琦	(順天堂大学大学院医学研究科公衆衛生学講座) 就労女性における月経前症候群と労働生産性との関連
P20-6-6	佐藤 愛	(筑波大学スマートウエルネスシティ政策開発研究センター) 中小企業における女性特有の健康課題に配慮したウェルビーイング経営導入に向けた試み
P20-6-7	山崎 健治	(島根大学大学院医学系研究科博士課程(環境保健医学講座)) 日本の中小企業で働く労働者の筋骨格系の痛みとPSCの関連について～中間報告～

**10月31日(土) 13:00~14:15
ポスター(新宿 NSビル 30F スカイクンファレンス)**

P20-7-1	田村 拓之	(株式会社 NEC ライベックス) 抑うつ傾向とプレゼンティーズムの関連は腰痛の有無で異なる
P20-7-2	金子 理恵	(株式会社 くまもと健康支援研究所) 就労者の介護相談の分析
P20-7-3	古屋 佑子	(東海大学医学部) 中小企業における治療と仕事の両立に利用できる勤務制度・体制整備導入のきっかけ
P20-7-4	相羽 洋子	(大阪青山大学) 職種別にみた仕事時の身体活動強度の違い—若年者と高齢者に着目して—
P20-7-5	武藤 剛	(東京女子医科大学医学部衛生学公衆衛生学講座) 燃え尽き症候群は、自己危険に追込む働き方と正の相関がある：裁量労働者縦断調査
P20-7-6	木津喜 雅	(独立行政法人労働者健康安全機構) 労災病院入院患者病歴調査公表資料からみた入院患者の復職不安の推移
P20-7-7	長谷川久之	(東京科学大学) フレカリアス雇用とワーク・エンゲイジメントとの関係における媒介要因

第 21 分科会：環境保健

10 月 29 日 (木) 14:40~15:55 ポスター (新宿 NS ビル 30F スカイクンファレンス)

P21-1-1	緒方 文彦	(近畿大学薬学部) 有価資源の循環システム構築を目指した金属 複合水酸化物による金イオンの回収能
P21-1-2	中田 陽子	(山梨県衛生環境研究所) 花粉を教材とした外来種に関する環境教育の 報告
P21-1-3	水野 友理	(近畿大学大学院薬学研究科公衆衛生学研究 室) 希少金属回収および有害金属除去を可能とす る層状複水酸化物の最適化
P21-1-4	佐々木隆聖	(青森県東津軽保健所) 青森県における住宅内温熱環境の実態と居住 者の温熱感受性及び健康関連指標との関連
P21-1-5	林 慎吾	(東北大学加齢医学研究所) 住宅断熱性と認知機能・睡眠時間との関連： 前向きコホート研究のベースライン解析
P21-1-6	宮田 潤	(長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 医療科 学専攻 離島・へき地医療学講座) プラネタリーヘルスの観点からみた生成 AI の環境負荷：ナラティブレビュー
P21-1-7	須田 千秋	(群馬大学大学院医学系研究科公衆衛生学分 野) 災害時を見据えた熱中症モニタリングの実装 可能性

10 月 29 日 (木) 16:00~17:15 ポスター (新宿 NS ビル 30F スカイクンファレンス)

P21-2-1	奥村 二郎	(近畿大学) 環境行政における、石綿 (アスベスト) によ る健康被害の救済の現状と課題
P21-2-2	増子 紗代	(公益財団法人 医療科学研究所) システムシンキングによる気候変動下におけ る社会的決定要因の変動と健康の関係性
P21-2-3	土田 暁子	(富山大学医学部公衆衛生学講座) 胎児期の金属曝露と 5 歳時の子どもの行動発 達との関連：エコチル調査
P21-2-4	松本 一希	(千葉大学予防医学センター) 市街地の樹冠被覆率と高齢者のメンタルヘル ス：JAGES2019-2022 縦断研究
P21-2-5	小寺 昭彦	(茨城大学 地球・地域環境共創機構／農学 部) 気候変動下の農作業暑熱リスクと適応策の課 題：茨城県のレンコン栽培からの示唆
P21-2-6	大沼美智子	(船橋市立看護専門学校) 東京都における気温と心疾患死亡の長期的 (1955-2024) 関連
P21-2-7	濱武 通子	(岐阜医療科学大学) 学校における常設型ミスト発生装置の細菌汚 染把握に関する複合的指標の検討

10 月 30 日 (金) 13:00~14:15 ポスター (新宿 NS ビル 30F スカイクンファレンス)

P21-3-1	金山 敦宏	(防衛医科大学校防衛医学研究センター) 河川における病原性レプトスピラの分布域変 動
P21-3-2	井越 静香	(千代田区) プール水・浴槽水の採水時に消毒薬が過マン ガン酸カリウム消費量試験に与える影響
P21-3-3	原田 浩二	(京都府立大学) 有機フッ素化合物 PFAS による地下水汚染と 飲用井戸
P21-3-4	池田 若葉	(三重大学大学院医学系研究科公衆衛生・産 業医学・実地疫学分野) IH 調理器使用と出生転帰の関連：中間周波 電磁界に関する周産期コホート研究

P21-3-5	高田 礼子	(聖マリアンナ医科大学予防医学教室) アスベスト熱処理による中皮腫発がん性消失 の検証
P21-3-6	石田晋太郎	(福岡大学医学部衛生・公衆衛生学) 風力発電施設の近接地域における風車音の知 覚と不眠症状との関連

10 月 30 日 (金) 14:25~15:40 ポスター (新宿 NS ビル 30F スカイクンファレンス)

P21-4-1	辻 雅善	(近畿大学九州短期大学生活福祉情報科) 風力発電施設の近接地域における風車音の知 覚と事業推進に対する態度の関連
P21-4-2	阪東美智子	(国立保健医療科学院) 建築衛生管理分野におけるデジタル技術の活 用の可能性と課題
P21-4-3	下ノ 蘭 慧	(国立保健医療科学院) 建築物環境衛生管理基準等の検証に向けた温 度と健康影響・室内環境測定法のレビュー
P21-4-4	大西 一成	(聖路加国際大学大学院公衆衛生学研究科環 境保健学分野) 黄砂・越境大気汚染イベント時における浮遊 細菌群集の変動と自覚症状との関連
P21-4-5	開原 典子	(国立保健医療科学院) 旅館業法施設の感染拡大防止対策に関する調 査研究 その 1 エアロゾル拡散の可視化
P21-4-6	林 基哉	(宮城学院女子大学) 旅館業法施設の感染拡大防止対策に関する調 査研究 その 2 エアロゾル感染リスク分析

第 22 分科会：国際保健

10 月 31 日 (土) 10:00~11:15 ポスター (新宿 NS ビル 30F スカイクンファレンス)

P22-1-1	若林 真美	(九州大学アジア・オセアニア研究教育機構) 学部教育における国際保健外交演習デザイン
P22-1-2	陰山 敬司	(早稲田大学 大学院 人間科学研究科) 外国人技能実習生が抱える課題と支援制度に 関する研究
P22-1-3	砥上 若菜	(熊本県健康福祉部長寿社会局認知症施策・ 地域ケア推進課) ベトナムにおける感染症対策体制の実態と示 唆～国際協力事業・第 1 報～
P22-1-4	柳樂真佐実	(島根県雲南保健所) ベトナムにおける医療提供体制再編と結核対 策国家プログラム～国際協力事業・第 2 報～
P22-1-5	早坂 章	(横浜市立大学大学院 データサイエンス研 究科) UHC サービスカバレッジインデックスの所 得・地域別定量化と人間開発指数との関連
P22-1-6	平山 大夢	(群馬大学) インドネシア西バプア地域における女性の貧 血関連要因の検討—民族的背景への着目—

10 月 31 日 (土) 13:00~14:15 ポスター (新宿 NS ビル 30F スカイクンファレンス)

P22-2-1	富田 佳穂	(順天堂大学大学院 医学研究科 グローバ ルヘルスリサーチ) ボリビア国オルロ県での自己効力感とソー シャルキャピタルの地域差・関連：横断研究
P22-2-2	神田 浩路	(旭川医科大学医学部社会医学講座) アフリカ 3 か国における JICA 帰国研修員事 後支援の試み
P22-2-3	陳 政	(千葉大学) 外国籍看護師研究の PS・WE 関連文献レ ビュー
P22-2-4	鈴木みゆき	(東京医療保健大学) スウェーデンにおける学校保健に関する文献 検討

P22-2-5	川崎 花純	(一般社団法人 Reachin Zero Dose Children) ガーナにおけるワクチン接種体制の成果と課題
---------	-------	--

P23-3-5	鈴木 愛	(筑波大学大学院) 障害福祉サービス利用者における 65 歳到達前後のサービスの推移
---------	------	---

P23-3-6	樽見 隼人	(筑波大学大学院) 地域在住高齢者における股関節近位部骨折術後の療養場所推移の類型
---------	-------	--

第 23 分科会：保健医療介護サービス研究

10 月 29 日 (木) 14:40～15:55 ポスター (新宿 NS ビル 30F スカイクンファレンス)

P23-1-1	大浦 智子	(国立長寿医療研究センター) 科学的介護情報システム (LIFE) 研修会 (実践) の当日と 3 か月後の自己効力感
P23-1-2	野崎 展史	(放送大学大学院) 入退院支援体制が在院日数に与える影響：疾患別差異に関する都道府県パネルデータ分析
P23-1-3	鈴木明日香	(帝京大学大学院公衆衛生学研究科) 地域医療連携ネットワーク登録糖尿病患者の血糖自己管理 PHR 利用実態
P23-1-4	次橋 幸男	(奈良県立医科大学 公衆衛生学講座) 大規模レセプトデータを用いた在宅医療の普及が入院医療に与えた影響の検証
P23-1-5	大西 丈二	(国立長寿医療研究センター) 日本と台湾、タイの高齢者介護制度に関する研究
P23-1-6	渡邊ともね	(東京大学大学院医学系研究科社会医学専攻公衆衛生学分野) がん患者の病院選択に関する探索的検討
P23-1-7	後藤 友子	(国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター) 多職種による病院 ACP 実践における患者中心性の客観的評価の実現可能性の検討

10 月 29 日 (木) 16:00～17:15 ポスター (新宿 NS ビル 30F スカイクンファレンス)

P23-2-1	山口佳小里	(国立保健医療科学院 医療・福祉サービス研究部) 訪問系介護サービスに適したモニタリング指標と評価職種：LIFE 活用に向けた検討
P23-2-2	森山 葉子	(国立保健医療科学院) 介護者支援ポジティブ心理教育オンラインプログラムの効果が高かった介護者の特徴
P23-2-3	高橋 理智	(国立がん研究センター がん対策研究所) 日本のへき地におけるがん患者の終末期ケアの質評価：死亡個票に基づく全国遺族調査
P23-2-4	打越 一幸	(医療法人社団清風会 介護老人保健施設清風苑) 介護 DB オープンデータを用いた BPSD 関連行動評価項目の記述可能性と限界
P23-2-5	小守林靖一	(岩手県・東北広域振興局保健福祉環境部・久慈保健所・二戸保健所) 救急医療資源の二次医療圏域内人口カバー率の可視化ー北東北 3 県 GIS 解析ー
P23-2-6	橋本 英樹	(東京大学) 保健・福祉境界領域におけるリスク管理情報の共有化に関する考察

10 月 30 日 (金) 14:25～15:40 ポスター (新宿 NS ビル 30F スカイクンファレンス)

P23-3-1	八重樫有里	(東京科学大学) 歯科衛生士の業務領域別時間配分と就業継続意向との関連：業務満足度を介した媒介分析
P23-3-2	栗原由美子	(千葉県山武市) 短期集中予防サービスの実装課題に対する多機関共催測定会連動型アプローチ：事例報告
P23-3-3	山元 遙子	(東京大学医学系研究科公衆衛生学分野) がん診療連携拠点病院における医療者調査の可能性と限界ー5 施設での検討
P23-3-4	石原 美和	(神奈川県立保健福祉大学人間総合科) 常勤医師が不在のへき地・離島における看護師機能の予備的比較分析

10 月 31 日 (土) 10:00～11:15 ポスター (新宿 NS ビル 30F スカイクンファレンス)

P23-4-1	國府田 梓	(東京科学大学大学院保健衛生学研究科) 日本における精神科訪問看護の利用者数の地域差に関連する要因：生態学的研究
P23-4-2	田代 理沙	(東京科学大学) 訪問看護ステーションに所属する特定行為研修修了者の地理的分布
P23-4-3	土屋瑠見子	(公益財団法人ダイヤ高齢社会研究財団) 科学的介護情報システム (LIFE) の事業所間比較に向けた ADL 改善のリスク調整
P23-4-4	木村 典子	(愛知学泉大学) 三大震災の比較分析からみる災害慢性期の健康リスクとコミュニティ保健対策の必要性
P23-4-5	中部 貴央	(東京大学医学部附属病院国立大学病院データベースセンター) 介護施設における家族の施設評価類型と法的紛争リスクの関連
P23-4-6	新野真理子	(国立がん研究センター) 高難度肝胆膵手術 14,852 例における居住医療圏の施設症例数と受療動態

10 月 30 日 (金) 13:00～14:15 ポスター (新宿 NS ビル 30F スカイクンファレンス)

P23-5-1	小宮山 潤	(筑波大学医学医療系) 高齢者へのリハビリテーション・栄養管理・口腔管理の複合的介入の系統的文献レビュー
P23-5-2	進藤 颯仁	(京都大学大学院 総合生存学館) UWB デバイスによる屋内位置情報を活用した長期介護施設のケア提供構造の定量化
P23-5-3	孫 瑜	(筑波大学医学医療系) 初診オンライン診療における同一医療機関への受診歴の有無と入院リスクの関連
P23-5-4	久田 友頼	(独立行政法人国立病院機構 下総精神医療センター 研究検査部) 地域包括ケアを支える看護職採用ニーズの偏在：二次医療圏別分析
P23-5-5	重田 史絵	(社会リハビリテーション研究会) 利用者本人・支援者間の生活機能評価の乖離と健康状態・支援評価との関連分析
P23-5-6	高橋 秀人	(筑波大学 医学医療系) 認定調査票特記事項記載内容と二次判定変更との関連ー形態素解析に基づく検討ー

第 24 分科会：睡眠予防医学

10 月 29 日 (木) 14:40～15:55 ポスター (新宿 NS ビル 30F スカイクンファレンス)

P24-1-1	淡野 桜子	(順天堂大学医学部公衆衛生学講座) 睡眠呼吸障害が身体機能に及ぼす影響に関する縦断的研究：東温スタディ
P24-1-2	松尾由美子	(順天堂大学大学院医学研究科公衆衛生学講座) 日本の女性勤務者における非回復性睡眠と QoL との関連
P24-1-3	松元 空	(東京科学大学工学院機械系) 日常生活における生活リズムと概日リズムのずれの可視化
P24-1-4	影山 淳	(浜松医科大学) 製造業シフトワーカーにおけるシフトおよびクロノタイプと睡眠・疲労の関連

P24-1-5	岩崎 真実	(順天堂大学大学院) 気圧トライアルが睡眠関連指標に及ぼす影響
P24-1-6	黒田佑次郎	(愛知医科大学) 医学生の social jetlag と就寝前スクリーン使用：コロナ禍前後の縦断調査
P24-1-7	田中 千実	(順天堂大学大学院医学研究科公衆衛生学講座) 児童の咀嚼習慣と日中の眠気との関連：松山子どもスタディ

10月31日(土) 10:00~11:15 ポスター(新宿 NS ビル 30F スカイクンファレンス)

P24-2-1	梅木 千真	(佐賀大医学部社会医学講座環境医学分野) 風力発電施設近隣住民の超低周波音曝露レベルと睡眠の質の関連：N-of-1 観察研究
P24-2-2	磯 治花	(順天堂大学大学院医学研究科公衆衛生学) 小児における睡眠時間と BMIZ スコアとの関連
P24-2-3	田中 有希	(日本大学 医学部 社会医学系 公衆衛生学分野) 入眠時音楽聴取者における不眠症状と音楽印象評価の関連
P24-2-4	佐藤 翔太	(順天堂大学大学院医学研究科公衆衛生学講座) 高校生の運動頻度および睡眠時間と睡眠休養感との関連
P24-2-5	内田 智絵	(慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学) 都市住民における健康関連 QOL と主観的・客観的睡眠指標との関連：神戸研究 NEXT
P24-2-6	宮崎 潤二	(国立循環器病研究センターオープンイノベーションセンター) 睡眠呼吸障害における高血圧発症の早期化と BMI との関連：神戸研究
P24-2-7	緒方 泰子	(東京科学大学) 看護師長の睡眠の実態および主観的疲労とワークエンゲイジメントとの関連

第 25 分科会：関連諸科学

10月30日(金) 13:00~14:15 ポスター(新宿 NS ビル 30F スカイクンファレンス)

P25-1-1	重茂 浩美	(早稲田大学) 疾患横断的にみたカテーテル治療の動向—医療機器開発に向けた背景調査—
P25-1-2	伊豆 勇紀	(宮城県) 生成 AI と 3D プリンターの活用による保育の質の共創
P25-1-3	小池 剛	(かながわ保全医学研究会) 人獣共通感染症 (SFTS) をワンヘルスの視点から考えるためのボードゲームの開発
P25-1-4	福井 義一	(甲南大学) 首尾一貫感覚を測定する SOC-29 から抽出された疑似 SOC-13 の妥当性
P25-1-5	由井 秀樹	(理化学研究所) 子どもを対象とするコホート研究における公的データベース連結の倫理的課題
P25-1-6	小野 二美	(東北大学東北メディカル・メガバンク機構) コホート調査におけるリコンタクトの受容と懸念 コホート参加者と非参加者の横断調査
P25-1-7	黄 辰悦	(東邦大学) 通いの場への参加促進におけるナッジの効果とその異質性に関する実証分析

10月30日(金) 14:25~15:40 ポスター(新宿 NS ビル 30F スカイクンファレンス)

P25-2-1	Thi Hue Tran	(神戸女子大学) 在住外国人のデジタル・ヘルスリテラシーと医療情報ナビゲーション
---------	--------------	---

P25-2-2	春原 怜史	(北海道大学大学院医学院公衆衛生学教室) 公衆衛生研究トピックの動向分析：日本公衆衛生学会一般演題の BERTopic 解析
P25-2-3	衛藤 憲人	(東海大学) Smartphone を用いた個人行動記録システムの検討-第四報-
P25-2-4	北島 巧海	(三重大学大学院工学研究科電気電子工学専攻) 地理空間情報と深層学習を用いた特徴抽出による国内地域出生率との関連因子記述の試み
P25-2-5	丹 亮人	(エム・アール・アイリサーチアソシエーツ株式会社) 二時点二次データと meta-learner 活用—SNS の孤独感への異質性因果効果
P25-2-6	瀬藤 和也	(京都府立医科大学) 食事由来の Neu5Gc と認知機能に関連する腸内細菌叢の検討
P25-2-7	古屋有紀子	(千葉大学) 食事バランスガイドのデザイン評価と食情報の入手経路に関する調査

English Session

10月31日(土) 10:00~11:15 ポスター(新宿 NS ビル 30F スカイクンファレンス)

PE1-1	玉城愛路恵	(沖縄県立中部病院) Prehospital Delay in Acute Ischemic Stroke: A Qualitative Study
PE1-2	Choy-Lye Chei	(Cancer Prevention and Control Division, Kanagawa Cancer Center Research Institute) Longitudinal changes in bone mineral density in relation to psychosocial factors
PE1-3	Fadli Alwi	(Department of Dental Public Health, Graduate School of Medical and Dental Sciences, Institute of Science Tokyo) Social Capital and Periodontitis in Japanese Older Adults
PE1-4	Anna Katrina Delizo	(Research Institute of Community Care Management, Sapporo, Japan) Modeling Cognitive Decline in Alzheimer's Disease Using CT-RDSEM
PE1-5	加藤真喜子	(東京大学大学院新領域創成科学研究科) Disaster health policies for vulnerable populations in high-income countries
PE1-6	吉開 恵	(京都大学大学院医学研究科 社会健康医学系専攻 医療経済学分野) Exploring the potential of exergames in residential care: A qualitative study
PE1-7	裾 暢	(筑波大学大学院 人間総合科学学術群) Handgrip Strength and Lung Function Decline in Japanese Adults: A Prospective Cohort Study
PE1-8	長谷部浩平	(北海道大学) Laughter and Incident Depressive Symptoms by Social Isolation in Older Adults

10月31日(土) 13:00~14:15 ポスター(新宿 NS ビル 30F スカイクンファレンス)

PE2-1	太田 正樹	((公財)結核予防会結核研究所) Pre-treatment lost to follow up TB cases, Lusaka, Zambia, 2024
PE2-2	汪 達紘	(岡山理科大学生命科学部) The suppressive effect of forest walking on early-stage lipid peroxidation in young adults
PE2-3	コラワリサラ	(Hiroshima University) Knowledge of Syphilis and HPV, and Associated Factors in a University Setting

PE2-4	小林 キミ	(東京都健康長寿医療センター 研究所) Feasibility and Acceptability of a Hand Sensorimotor Program for Older Adults with MCI
PE2-5	伊草 綾香	(埼玉県立大学) Changes in Stress and Mother–Infant Bonding Among First-Time Mothers
PE2-6	Akindele Adeoya	(東北大学大学院農学研究科 食科学国際共同大学院プログラム推進室) 日本および日本在住の外国人大学生における生活の質の理解
PE2-7	タスニンザリン	(東京科学大学) Polypharmacy and deterioration of oral health: 3-year cohort study of older Japanese
PE2-8	Yixin Sun	(筑波大学) School burnout and Strengths and Difficulties among primary school students in China

**10月31日(土) 10:00~11:15
ポスター(新宿 NS ビル 30F スカイカンファレンス)**

PE3-1	野田 貴志	(京都大学大学院医学研究科 社会健康医学系専攻 予防医療学分野) Once-Weekly Web-Based Intermittent Fasting for Weight Loss: A Parallel-Group RCT
PE3-2	Abir Nagata	(Research Center for Child Mental Development, Hamamatsu University School of Medicine) Association of Maternal Atopic Conditions with Behavioral Problems in Children
PE3-3	Hansani Madushika Abeywickrama	(Niigata University, Graduate school of Medicine, Dentistry and Health Sciences) Co-occurrence of NCD risk factors among middle-aged foreign residents in Japan
PE3-4	児玉 知子	(国立保健医療科学院 疫学・統計研究部) International Comparison of Evaluation Frameworks for Heatwave Health Impacts
PE3-5	ウーミン ズ	(東京科学大学) Oral Health, Prosthesis Use, and Dietary Diversity Among Older Adults in Japan
PE3-6	後藤 悠香	(ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン) Spousal tax reform and women's mental health: A natural experiment in Japan
PE3-7	羅 未名	(名古屋大学) Association of plasma tryptophan with eGFR decline in a Japanese population

**10月31日(土) 10:00~11:15
ポスター(新宿 NS ビル 30F スカイカンファレンス)**

PE4-1	Shalini Enon Perera Paththamesthri	(Nagoya University) Association Between Coffee Consumption and Incidence of Type 2 Diabetes
PE4-2	吉田 寛輝	(北海道大学大学院医学院 社会医学分野 公衆衛生学教室) Financial Commitment Contracts on Physical Activity and Sedentary Behavior
PE4-3	土生 裕	(京都大学大学院医学研究科 社会疫学分野) Expanding the Concept of Cultural Capital for Public Health Research
PE4-4	黄 維民	(国立中正大学 経営学院 医療情報管理研究所(台湾)) Responsible AI in Healthcare: An Empirical Study of Perception and Adoption

PE4-5	伊藤 明子	(赤坂ファミリークリニック) Health, Access to Food, and Accommodation Status of Refugees in Japan
PE4-6	山本 英子	(名古屋大学大学院医学系研究科医療行政学) The coverage of maternal continuum-of-care and associated factors in Lao PDR
PE4-7	Qiuyi Liu	(京都大学大学院 医学研究科 社会健康医学系 社会疫学分野) Leisure Engagement and Social Wellbeing During Retirement Transition

**10月31日(土) 13:00~14:15
ポスター(新宿 NS ビル 30F スカイカンファレンス)**

PE5-1	川端由以子	(国際ナースングドゥーラ協会) "Yorisoi" (Attuning/Caring) Scale in Recuperative Nursing: A Pilot Validation
PE5-2	森 千草	(国際ナースングドゥーラ®協会) Analysis of Nursingdoulas' "Yorisoi" Care: 2nd Report
PE5-3	南川優美奈	(国立環境研究所 環境リスク・健康領域) Postpartum Depression in Mothers of Neonates with Congenital Anomalies
PE5-4	李 寧怡	(横浜市立大学大学院国際マネジメント研究科) Japanese Version of the PAHCQ: Development and Validation
PE5-5	阿部 暁樹	(福島県立医科大学 医学部 放射線健康管理学講座) Radiation Literacy and Its Determinants Across Five Areas in Japan
PE5-6	ジャミルハサン	(聖路加国際大学大学院公衆衛生学研究科) 日本のがん死亡における地理的格差
PE5-7	Shafiur Rahman	(School of Health Innovation, Kanagawa University of Human Services, Japan) Inequalities in dietary diversity among reproductive-aged women in Nepal

**10月31日(土) 13:00~14:15
ポスター(新宿 NS ビル 30F スカイカンファレンス)**

PE6-1	モイヌルハク	(ヘルスイノベーションスクール - 神奈川県立保健福祉大学大学院) インド ネパールの小児貧血の社会経済 教育格差
PE6-2	アミール偉	(福島県立医科大学 医学部 放射線健康管理学講座) Medical students' views on curriculum reform in radiation disaster education
PE6-3	James William Hazel	(University of Amsterdam) Secondary Use of Genomic Data under the European Health Data Space and Implications for Japan
PE6-4	Nicole Ngai Yung Tsang	(WHO Collaborating Centre for Infectious Disease Epidemiology and Control, School of Public Health, Li Ka Shing Faculty of Medicine, The University of Hong Kong) Host genetics modulating susceptibility to influenza infection
PE6-5	Dennis Kai Ming Ip	(WHO Collaborating Centre for Infectious Disease Epidemiology and Control, School of Public Health, Li Ka Shing Faculty of Medicine, The University of Hong Kong) Quantifying SARS-CoV-2 Viral Shedding on Lateral-Flow Rapid Antigen Test

PE6-6	Aminu Kende Abubakar	(Division of Population Data Science, National Cancer Centre Institute for Cancer Control, Tokyo, Japan) Psychological Distress and Financial Hardship Among Young Cancer Survivors
PE6-7	平尾 晋	(公益財団法人結核予防会結核研究所) IGRA-positivity in foreign-born persons, central Okinawa, 2011-2025
PE6-8	伊東 則彦	(北海道 名寄保健所 (兼) 紋別保健所) Regional Health Promotion Project 2026 “the Zoonotic Disease(SFTS,Echinococcus)team”

【オンデマンド】示説（ポスター）一覧

第1分科会：疫学・保健医療情報

ODP1-1	清水 悠路	(大阪健康安全基盤研究所) 甲状腺ペルオキシダーゼ抗体と単純甲状腺嚢胞との関係
ODP1-2	川口谷充代	(札幌医科大学医学部 社会医学講座 衛生学分野) 北海道におけるB群溶血性連鎖球菌感染症の荚膜血清型と薬剤感受性
ODP1-3	松崎 健太	(福島県立医科大学健康増進センター) 福島県の健康寿命の医療圏格差の推移：福島県市町村別「お達者度」
ODP1-4	藤田 裕規	(関西医科大学) 地域在住日本人高齢男性の骨粗鬆症に対するスクリーニングツールの有効性評価
ODP1-5	中尾 元幸	(久留米大学医学部公衆衛生学講座) NDBオープンデータを用いたわが国におけるLOH症候群診療の時系列解析の試み
ODP1-6	陳 柔因	(東京都健康長寿医療センター研究所) 地域高齢者における入浴時間と主観睡眠の質：睡眠時間による修飾効果
ODP1-7	植田 春美	(静岡県立大学) 高齢者の在宅での看取り支援に関する研究—静岡県における自宅死亡に関する実態—

第2分科会：ヘルスプロモーション

ODP2-1	枝広あや子	(東京都健康長寿医療センター研究所) 寺院における読経を用いた機能向上プログラムの公的機関と協働した社会実装
ODP2-2	鈴木 研太	(日本医療科学大学) 認知症の予防と早期発見・早期対応に関する普及啓発：講演会による理解促進の試み
ODP2-3	伊藤 歩美	(群馬大学 未来先端研究機構) 月閉経期女性の抑うつ症状有症リスクの経時的変化と関連因子：日本ナースヘルス研究
ODP2-4	中西 唯公	(三重大学大学院医学系研究科看護学専攻) 若年女性における隠れ口コモの実態と関連項目について

第3分科会：生活習慣病・メタボリックシンドローム

ODP3-1	平良 賢周	(琉球大学大学院医学研究科公衆衛生学・疫学講座) 食育への無関心と肥満および高血圧保有との関連：横断研究
ODP3-2	高橋友香里	(岡山県保健医療部) 岡山県および周辺県における急性冠症候群に対する治療提供体制に関する検討
ODP3-3	田中 紗季	(岡山県保健医療部) 岡山県における心血管疾患に係る医療連携バスの更なる運用拡大に向けた取組について
ODP3-4	菊池美名子	(福島県立医科大学) 中年女性における脂質代謝の5年間変化と生活習慣の関連：福島県健診データの検討
ODP3-5	酒巻 恭子	(帝京大学医療技術学部看護学科) 職域における大腸がん検診陽性者の不安・困難状況について
ODP3-6	宮崎 孝	(埼玉医科大学) 特定保健指導における減塩プログラムの取り組み

第4分科会：保健行動・健康教育

ODP4-1	加藤 由加	(藍野大学短期大学部) 勤労者のアドバンス・ケア・プランニングの実践に影響を及ぼす要因の探索
--------	-------	---

ODP4-2	田部 結菜	(東北大学大学院医学系研究科) 小児予防接種における保護者の接種意思に影響を与える要因と情報源に関する文献検討
ODP4-3	横山 芳乃	(東京大学未来ビジョン研究センターデータヘルス研究ユニット) 健診・特定保健指導・レセプトデータを用いた禁煙に関連する要因の検討
ODP4-4	辻川 凜	(大阪経済大学人間科学部) 大学生を対象とした子宮頸がん検診啓発教育プログラムの評価
ODP4-5	尹 恵	(早稲田大学大学院人間科学研究科) 中国農村部女子高校生の月経セルフケア、支援体制とヘルスリテラシーとの関連

第5分科会：親子保健・学校保健

ODP5-1	子吉知恵美	(金城大学) 5歳児健診における就学に向けた継続支援と実施状況の関連
ODP5-2	関 美雪	(埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科) 第1子の乳児を子育てしている母親の育児エンパワメントに関連する要因の検討
ODP5-4	米本 直裕	(富山大学 医学部 医療統計学講座) 学校での自殺予防介入における援助希求と自殺関連行動に関する系統的レビュー
ODP5-5	後藤 英太	(後藤英太労働衛生コンサルタント事務所) 低体重児を、途上国にて、簡便、安価、かつ迅速に発見する方策—メタ分析の系統的総説
ODP5-7	加藤 則子	(十文字学園女子大学教職課程センター) 親支援プログラム受講が保護者の地域や近隣との関係性に与える影響
ODP5-8	高橋 佑弥	(札幌医科大学) 学校における保健指導の内容に関する文献検討
ODP5-9	渡辺 真澄	(淑徳大学看護栄養学部) 父親の育児困難感と首尾一貫感覚 (Sense of Coherence) の関連
ODP5-10	小林 久美	(国士舘大学体育学部スポーツ医科学科) 発育段階別にみた体格と体力の関連：新体力テストデータによる小5・中2の比較
ODP5-11	石野 晶子	(杏林大学保健学部看護学科看護看護教育専攻) 学童保育所に在籍する特別支援を要する児童を保育する学童保育支援員の困り事と課題
ODP5-12	小林 恵子	(佐久大学大学院看護学研究科) 子ども虐待の予防・対応を行う市町村保健師の支援および多職種連携の工夫
ODP5-13	星野 絵里	(佐久大学看護学部) 子ども虐待予防における保健師のIPWコンピテンシーと事例検討会、研修参加との関連
ODP5-14	出口奈緒子	(静岡大学) 自閉スペクトラム症のある子どもに対する教員のインクルーシブエフィカシーの実態
ODP5-15	赤穂由希子	(岡山市保健所) 岡山市における産後ケア事業の利用状況と1歳6か月児健康診査時の養育状況との関連
ODP5-16	大高のぶえ	(湘南医療大学専攻科) 保健師が抱く「気になる」に関する文献検討—子どもと親子・家族に着目して—
ODP5-17	小武家優子	(第一薬科大学 薬学部 健康・環境衛生学講座 衛生化学分野) 養護教諭対象の市販薬のオーバードーズに関する意識調査
ODP5-18	清水 菜月	(青森県立保健大学) 青森県小学6年生の栄養摂取状況に関連する生活習慣および食行動の特徴

ODP5-19 演題取り下げ

第 6 分科会：高齢者の QOL と介護予防

ODP6-1	堤 奈央	(西宮市保健所) デジタルデバイスを使用した郵便局拠点の健康実証事業～簡易聴力チェックの考察～
ODP6-2	野村 卓生	(関西医科大学 リハビリテーション学部) 地域在住高齢者の起居・移動機能と健康関連 QOL
ODP6-3	米澤 洋美	(石川県立看護大学) 全国シルバー人材センターにおける健康づくり活動の 10 年間の変容：2 時点調査の比較
ODP6-4	飯坂 真司	(淑徳大学看護栄養学部栄養学科) 地域高齢者のフレイル予防のための食料品アクセス支援プログラムのアウトカム評価
ODP6-5	Ya Wen Lin	(School of Nursing, China Medical University) Entresto and Rehospitalization Risk in Heart Failure Patients
ODP6-6	田口 友美	(佐賀大学医学部) 「通いの場」に關与するリハビリテーション専門職の現状と保健師との連携における課題
ODP6-7	山本 亮	(株式会社くまもと健康支援研究所) 後期高齢者におけるハイリスクアプローチによる経年的効果分析
ODP6-8	舟久保徳美	(福島県立医科大学) 地域住民における空腹感の頻度とオーラルフレイルとの関連
ODP6-9	杉浦 圭子	(東京都健康長寿医療センター研究所) 地域在住高齢者の外出頻度の低下と身体活動種類の状況との関連：和光コホート研究

第 7 分科会：高齢者の医療と福祉

ODP7-1	DaHsiu Song	(チャンピン ショウチュアン メモリアルホスピタル) 高齢社会における FDG PET/CT を用いた認知症の機能的スクリーニング
ODP7-2	村松 真澄	(旭川市立大学) 訪問介護における家族介護者の孤独感とうつ状態に関する新尺度の信頼性と妥当性
ODP7-3	小居 理恵	(阿南保健所) 退院支援連携の「頭打ち」構造と早期介入モデルへの転換
ODP7-4	室田 絢香	(東北大学大学院 医学系研究科) 複数の要介護高齢者の介護経験を有する家族介護者に関するスコアリングレビュー
ODP7-5	筒井 孝子	(埼玉県立大学大学院保健医療福祉学研究科) 保険者機能の規模格差と都道府県支援の役割-全国市町村・都道府県データの多層分析
ODP7-6	岡 猛	(国立長寿医療研究センター 科学的介護推進チーム) 介護老人福祉施設の科学的介護加算算定における施設要因と地域要因：全国分析
ODP7-7	津田 紫緒	(杏林大学保健学部) 親介護を担う就労者の介護状況と介護負担感

第 8 分科会：地域社会と健康

ODP8-1	山科 俊輔	(鳥根大学医学部環境保健医学講座) 地域在住高齢者における社会環境要因と虚弱性との関連：居住地標高による違いの検討
ODP8-2	大城真理子	(沖縄県立看護大学) 沖縄県 3 離島における乳がん相談支援体制づくりの比較検討—未形成事例に着目して—
ODP8-3	京極 千鶴	(非営利団体ココタネプラス) 不登校児の健診アクセス格差に対する市民活動の介入と制度化

ODP8-4	目下部愛依	(東京慈恵会医科大学) Educational Disparities in Childhood and Health Inequality: A Systematic Review
ODP8-5	鶴川 重和	(大阪公立大学) 超高齢化が進む地域における主観的な近隣環境と生活満足度の関連
ODP8-6	ジョーンズ敏子	(北島町役場) 地域の「居場所」がもつ性質と役割の整理：保健師が地域づくりに活かすための文献検討
ODP8-7	近藤 圭子	(札幌市立大学) Choosing Wisely を住民参加型医療として再考する
ODP8-8	宮前 史子	(東京都健康長寿医療センター研究所) 有識者インタビューによる認知症の「本人ミーティング」の促進・阻害要因の探索的研究
ODP8-9	片岡真由美	(国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 公共精神健康医療研究部) 心のサポーター養成事業の未実施要因：にも包括調査による全国市町村分析
ODP8-10	細川 陸也	(京都府立医科大学) 健康寿命と老衰死との関連—全国の二次医療圏を対象とした生態学的研究—
ODP8-11	益井 優奈	(茨城キリスト教大学 生活科学部) 地域健康を支える共同温泉の持続可能性～健康見守り機能と合意形成～
ODP8-12	浦本 美紗	(熊本市 健康づくり推進課) 校区単位の健康まちづくりにおける関係づくりを起点とした活動展開と課題
ODP8-13	島本太香子	(奈良大学 社会学部) 中高年期女性の健康感のジェンダー要因について
ODP8-14	田中 笑子	(武蔵野大学) リジェネラティブ・ヘルスプロモーションの可能性：生態系サービスによるがん家族支援

第 9 分科会：難病・障害の医療と福祉

ODP9-1	江崎 道代	(名古屋市中川区保健福祉センター) 介護現場の暴力・ハラスメントから職員を守る取り組み
ODP9-2	塩澤 友規	(青山学院大学経営学部経営学科) 神経疾患患者の外見ケアと社会参加
ODP9-3	谷掛 千里	(高槻市保健所) 医療的ケア児者や難病患者に対する災害支援の変遷 (MR 委員会障がい・難病グループ)
ODP9-4	浅田不二子	(久留米大学大学院医学研究科) 日本における多発性硬化症患者修飾薬の時系列評価
ODP9-5	眞浦 有希	(沖縄県立看護大学) 思春期・青年期の血友病をもつ子どものセルフケアを支える母親のケアプロセス
ODP9-6	原賀 美紀	(下関市立大学看護学部看護学科) 公衆衛生看護学教科書における障害児者支援に関する記述内容の特徴
ODP9-7	松村友紀子	(下関市立大学) e-Stat と GIS を用いた山口県全体と下関市の難病支援資源の可視化

第 10 分科会：精神保健福祉

ODP10-1	松隈 誠矢	(東京大学大学院教育学研究科身体教育学コース) 日常生活下での座位行動時間とストレスに対する感情反応性の個人内関係
ODP10-2	中原 由美	(福岡県筑紫保健所) 市町村の精神保健相談体制整備に対する保健所支援～同行訪問による人材育成に着目～
ODP10-3	森 蓉子	(愛媛県心と体の健康センター) 愛媛県における精神通院医療受給者の推移

ODP10-4	方村 弥鈴	(笑みくる訪問看護ステーション) 社会的孤立状態にある中高年への作業療法的 支援の可能性ー海外文献レビューの考察ー
---------	-------	---

第 11 分科会：口腔保健

ODP11-1	伊井 久貴	(長野県健康福祉部健康増進課) 長野県における歯科医療人材の現状と課題
ODP11-2	吉森 和宏	(千葉県衛生研究所) 千葉県の市町村におけるフッ化物洗口の普及 に向けての提案
ODP11-4	林田 尚斗	(日本歯科大学生命歯学部衛生学講座) 3 歳児重症う蝕の地域差と関連要因ー全国市 区町村データを用いた検討

第 12 分科会：感染症

ODP12-1	小島加奈子	(独立行政法人 名古屋医療センター) 名古屋医療センターにおける HIV 感染未治 療患者の生存調査 (2010～2025 年)
ODP12-2	伊藤 和広	(国立病院機構あわら病院) 日本紅斑熱の治療開始遅延と重症化関連因子 の検討
ODP12-3	矢野 拓弥	(三重県保健環境研究所) ヒトメタニューモウイルス遺伝子型の動向 (2025 年 4 月～2026 年 4 月) 三重県
ODP12-4	高山 愛	(文京保健所予防対策課) 感染症システム導入における業務効果と感染 症危機管理に備えた管理体制の構築
ODP12-5	木村 彬	(文京保健所 予防対策課) 医療機関と連携し早期終息した VRE 集団発 生事例
ODP12-6	伊藤 拳	(数理医科学研究センター) 陸上競技部長距離選手におけるピロリ菌抗体 陽性とペプシノゲン値および胃部自覚症状
ODP12-7	杉本 加代	(高知大学) 高知県内における成人男性の梅毒に関する知 識と感染意識の事態
ODP12-8	秋原 志穂	(札幌医科大学) 新型コロナウイルス流行期の感染予防行動と ヘルスリテラシーの関連
ODP12-9	飯泉 瑠花	(茨城県古河保健所) 外国出生結核患者支援における課題
ODP12-10	駒田真由子	(東京医療保健大学大学院) 勤労世代男性のインフルエンザワクチン接種 行動と同居の家族状況
ODP12-11	徳本 摩依	(宮崎県都城保健所) 結核集団感染における大規模接触者健診と医 療機関連携を踏まえた保健所の役割の考察

第 13 分科会：健康危機管理

ODP13-1	竹田 飛鳥	(国立保健医療科学院 防災・公衆衛生レジリ エンス研究センター) 地方自治体における災害時の歯科保健医療マ ニュアル整備の現状：全国質問紙調査
ODP13-2	宇藤 優子	(田川市役所福祉部保健福祉課保健センター) 災害時の初動体制確立に向けて～アクション カードの実行可能性の検証～
ODP13-3	遠田 大輔	(富山県立大学 看護学部) 認知症者の家族介護者における災害対策への 不確実性に関連する要因：横断研究
ODP13-4	青木 美樹	(国立健康危機管理研究機構 国立感染症研 究所 応用疫学研究センター) 令和 6 年能登半島地震における J-SPEED (症候感染症)に係るサーベイランス評価
ODP13-5	佐藤 弘樹	(大分大学医学部附属病院災害マネジメント 総合支援センター) 救急車 GPS データを用いた大雨時搬送先分 布の解析

ODP13-6	岩垣 穂大	(亜細亜大学) 原発事故の被災に伴う孤立・孤独に関する研 究ー2025 年度大規模調査の分析から
ODP13-7	中村 五月	(熊本大学) 福祉避難所の災害準備状況の実態調査に向け た国内外文献レビュー
ODP13-8	大河内彩子	(広島大学大学院医系科学研究所) 災害復興期における労働年齢層の心理的苦痛 要因：Firth 法による年齢層別検討

第 14 分科会：医療制度・医療政策

ODP14-1	計良 繁幸	(湘南医療大学大学院医療・マネジメントエ グゼクティブ領域) 2040 年問題に向けた医療介護事業者の事業 継続における課題について
ODP14-2	川口 浩子	(国際医療福祉大学大学院) ワクチンの費用対効果分析における生産性損 失の取り扱いに関する国際比較
ODP14-3	井口 麻里	(国際医療福祉大学大学院) COVID-19 経口治療薬の費用対効果に関する 文献レビュー
ODP14-4	市瀬 雄一	(東京大学) 全国調査を用いた本人回答と代理回答の回答 内容の違いに関する考察

第 15 分科会：公衆衛生従事者育成

ODP15-1	山田 小織	(佐賀大学) 行政保健師の保健事業評価に関する教育ニー ズ
ODP15-2	久保木紀子	(広島大学大学院医系科学研究所) 生活困窮世帯の子どもと養育者への支援技術 修得のための保健師基礎教育の検討
ODP15-3	下門 健人	(名桜大学) 沖縄県内の行政保健師が意識する“これから の時代”の保健活動のあり方
ODP15-4	馬場 文	(滋賀県立大学人間看護学部) 滋賀県保健師コンサルテーション研修受講に よる保健師の専門能力獲得状況
ODP15-5	園田 和江	(大阪成蹊短期大学) インクルーシブ保育での音楽活動による年中 児の行動変容ー保育者への調査ー
ODP15-6	小寺さやか	(神戸大学大学院医学系研究科) 保健師学生におけるグローバル化対応能力の 実態：予備的調査

第 16 分科会：保健所・衛生行政・地域保健

ODP16-1	町井 涼子	(国立がん研究センターがん対策研究所) 都道府県におけるがん検診精密検査機関リス トの作成・公開状況と登録要件
ODP16-2	田村須賀子	(富山大学学術研究部医学系) 統括保健師を担えるための専門的・行政的管 理能力と管理期までに必要な経験
ODP16-3	福永 一郎	(高知県須崎福祉保健所) 小規模自治体における保健師数と保健事業実 績量との関連について

第 17 分科会：公衆栄養

ODP17-1	池内 寛子	(栃木県保健福祉部健康長寿推進課) 誰一人取り残さない栄養政策の推進に向けた 自治体における実践に関する研究
ODP17-2	望月 朋美	(横須賀市役所) 戦略的プランニングガイドを活用した取組事 例 (若い女性のやせ改善のための取組)
ODP17-3	片桐 諒子	(千葉大学大学院情報学研究院) 生成 AI への食事に関する質問相談頻度およ び食品摂取頻度との関連の検討

ODP17-4	北澤 寧音	(山形県立米沢栄養大学) 地方大学生の食品摂取多様性がスーパーマーケット閉店後も維持された可能性：自然実験
ODP17-5	阿部 香織	(藍野大学短期大学部) 中高齢者における簡易チェックシートで評価した栄養摂取状況と骨格筋量減少との関連
ODP17-6	斎藤 鈴華	(北海道情報大学 医療情報学部) 認知機能と食品・栄養素摂取量との関連：コホートデータを用いた縦断的数理モデル解析
ODP17-7	松井 佑樹	(東邦大学大学院医学研究科予防医療学分野) 平日と週末のエネルギーおよび栄養素摂取量の違い：系統的レビュー

第 18 分科会：健康運動指導

ODP18-1	篠田 邦彦	(新潟大学医学部非常勤講師 身体運動研究会篠田塾) ウォーキングを足がかりとした離島における健康増進とスポーツ推進の融合 (第 3 報)
---------	-------	---

第 19 分科会：食品衛生・薬事衛生

ODP19-1	佐藤 帆香	(茨城キリスト教大学 生活科学部) ロボット配膳システム導入に伴う食品防御上の課題に関する基礎的検討
---------	-------	---

第 20 分科会：産業保健

ODP20-1	藤野 善久	(産業医科大学) 女性労働者における過多月経と貧困経験
ODP20-2	山田 淳史	(富山大学 成人看護学 2) 救急領域で働く看護師のバーンアウトに関連する要因の検討
ODP20-3	石川 頌子	(横浜市立大学大学院医学研究科地域看護学分野) 若年労働者におけるコーピング特性の類型と筋骨格系症状および心理社会的要因の関連
ODP20-4	十川 圭司	(川崎医科大学) 交通誘導員及び運転士のサングラス着用に対する一般市民の受容・印象についての調査
ODP20-5	能川 和浩	(千葉大学大学院医学研究院環境労働衛生学) 日本の運送業における男性労働者の職種と高血圧リスクの関係について
ODP20-6	足立 薫音	(香川大学) ストレスチェック受検者の産業保健スタッフへの援助要請と心理的ストレスの関連
ODP20-7	木村 聡子	(熊本県人吉保健所) 繰り返す意識調査が健康意識の向上に寄与するか
ODP20-8	大久保直紀	(産業医科大学 環境疫学研究室) 本邦における女性労働者の健康課題に対する事業所における取り組み

第 21 分科会：環境保健

ODP21-1	曾我部倅大	(近畿大院薬) 簡易水質測定法“M-CSS”と化石サンゴを組み合わせた環境保護システムの構築
---------	-------	---

第 22 分科会：国際保健

ODP22-1	石井 匡人	(秋田赤十字病院) IFRC アジア・大洋州地域における災害時 MHPSS 実装の構造的課題
---------	-------	---

第 23 分科会：保健医療介護サービス研究

ODP23-1	倉橋 知英	(大阪労災病院消化器内科) 研修医教育体制と性別要因が大腸内視鏡検査の質指標に及ぼす影響
---------	-------	---

ODP23-2	井上 祐介	(新見公立大学) A 町における「集いの場」参加者の特性と心身機能改善との関連
ODP23-3	鄭 丞媛	(新見公立大学) 「集いの場」参加と要支援・要介護認定状態の 5 年間の変化
ODP23-4	飯泉 天志	(茨城県立中央病院放射線治療科) 前立腺癌寡分割陽子線治療の急性毒性評価における EQ-5D-5L の構造的盲点と課題
ODP23-5	熊倉 良太	(金沢大学) GIS による子育て相談支援拠点の空間的アクセシビリティ評価

第 24 分科会：睡眠予防医学

ODP24-1	宮川 星夜	(北海道情報大学医療情報学部) 睡眠時間と睡眠の質の心身への影響に関する分析：睡眠日誌データを用いた多変量解析
---------	-------	--

第 25 分科会：関連諸科学

ODP25-1	内田 満夫	(群馬大学) 都道府県行政における生成 AI の導入状況に関する調査：その現状と課題
ODP25-2	大淵 修一	(東京都健康長寿医療センター) ウェアラブルによる高齢者の生活パターン分類とフレイル Swing-Japan 研究
ODP25-3	木村 朗	(群馬パース大学大学院) スマートフォン AI 顔面動作解析による地域高齢者咀嚼指標の妥当性検証
ODP25-4	川田 裕美	一次性頭痛診療の均てん化に向けた頭痛診断支援 AI の性能評価

English Session

ODPE-1	亀山 未来	(文京区保健衛生部・文京保健所保健サービスセンター) Educationally Motivated Intrusive Parenting in Early Childhood: A Scoping Review
ODPE-2	Sadia Afrin Mou	(Research Center for Child Mental Development, Hamamatsu University School of Medicine) Child Discipline Practices and Developmental Delay Among Children Aged 24–59 Months in Nepal
ODPE-3	高宮 朋子	(東京医科大学公衆衛生学分野) Physical Fitness Trajectories From Childhood to Adolescence: A Pseudo-Cohort Analysis
ODPE-4	Anthony DiStefano	(California State University, Fullerton) Individual social capital, ethnic capital, and mental health in Japan
ODPE-5	工藤 芳子	(昭和医科大学) 海外研修における多文化理解と公衆衛生学習における学生の精神的変化の定量的分析

第85回日本公衆衛生学会総会 サテライトイベント

国際臨床サーカディアンヘルス研究会 第2回年次集会

2nd Annual Meeting of International Association of Circadian Health Clinics

先端的な診療を目指して

サーカディアンリズム医学を患者ケアと治療に統合する

第一線で活躍する研究者・臨床医とともに、
サーカディアンリズム医学の臨床応用と最先端研究への
実装を巡る2日間の国際学会

大会長

谷川 武（順天堂大学） / 桑 和彦（名古屋市立大学）



開催日

2026年11月2日（月）・3日（火）



会場

順天堂大学 本郷・お茶の水キャンパス
7号館 小川秀興講堂
東京都文京区本郷 2-1-1

■ World-Leading Circadian Medicine Experts

- **Phyllis C. Zee, M.D., Ph.D.** Northwestern University, Chicago
- **Ken-ichi Honma, M.D., Ph.D.** Hokkaido University, Sapporo
- **Diane B. Boivin, M.D., Ph.D.** McGill University, Montreal
- **Frank A.J.L. Scheer, Ph.D.** Harvard Medical School, Boston
- **Shantha W. Rajaratnam, Ph.D.** Monash University, Melbourne
- **Achim Kramer, Ph.D.** Charité University, Berlin
- **Takeshi Tanigawa, M.D., Ph.D.** Juntendo University, Tokyo
- **Charles A. Czeisler, Ph.D., M.D.** Harvard Medical School, Boston

日本で開催するにあたり、日本国内からの参加者（国籍不問）を対象に特別参加費を設定しております。特別参加費による参加登録および演題登録は、右側のQRコードよりお申込みください。



info@circadianhealthclinics.com



circadianhealthclinics.com



INTERNATIONAL ASSOCIATION OF
CIRCADIAN HEALTH CLINICS